

事項一五 「ブラジル」移民雑纂

三四二 一月十四日 安藤新潟県知事ヨリ
坂田通商局長宛

「ブラジル」行農業移民家族構成ニ関スル件

保第六号 (一月十六日接受)

大正三年一月十四日

新潟県知事 安藤 謙介(印)

外務省通商局長 坂田 重次郎殿

伯国行農業移民家族構成要件中必要構成員数ニ依リ完成セル家族ニ附随者トシテ家長ノ同行スル兄弟姉妹及必要構成員数ヲ充ス為メ十二歳未満ノ実子女又ハ継子女ヲ有スル夫婦者或ハ実子女ナキ夫婦者ニ加入スル兄弟姉妹ハ血縁ニ依ル実兄弟姉妹ニ限リ養子縁組等ニ依リ以上ノ関係ヲ生シタル者ヲ含マサル義トハ存候ヘ共移民取扱人業務代理人ノ申出ニ依レバ他県ニ於テハ之等ノ者ニ対シテモ許可致居候趣ニ有之敢テ実害モ無之カト思考セラレ候ニ付テハ事情ニ依リテハ爾今右様ノモノニ対シテモ許可シ差支無之候ヤ目下差懸リタル義有之候間至急何分ノ御意見承知致度此段及照

会候也

三四三 一月十八日 在伯国畑公使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

「サンパウロ」州政府竹村及東洋移民会社ト
ノ日本移民契約解除決定ニ関スル件

第二号

「サンパウロ」州政府ハ毎年我移民千五百宛移入ニ関スル竹村及東洋トノ現契約ヲ解除スルコトニ決定セル旨同政府ニ就キ確メタリ尤モ此春移入スヘキ分ヲ入レタル後止メル趣意ト思考セラルルモ野田ヲ急派シ州政府力突然此ノ処置ニ出テタル事情ト併セテ調査ノ上委細通報スヘシ

三四四 一月二十日 坂田通商局長ヨリ
安藤新潟県知事宛

「ブラジル」行農業移民家族構成ニ関シ回答

ノ件

通送第二八一号

「サンパウロ」州政府同州行日本移民解約ニ

関シ同州農務長官説明ノ件

第四号

「サンパウロ」ニ急派セル野田ノ来電ニ依レハ農務長官ノ説明要旨左ノ如シ

解約決定ノ理由ハ主トシテ州ノ財政及一般ノ不景氣ノタメ単ニ日本人ノミナラス全体ニ官費補助移民ノ数ヲ減スル必要アリ然ルニ契約ヲ以テ補助ナセルハ目下日本人ニ限ラレ且ツ最モ高キ族費ヲ要スル割合ニ其成績歐洲人ニ優ルニモアラネハ今後景氣直リ産業勃興シ再ヒ日本移民ノ渡来ヲ要スルニ至ルマテ一時補助ヲ中止スト云フニアリ尚同長官ハ本邦移民力農業労働ニ適スルカ伯国人ト混血同化シ人種上伯国ニ対シ歐洲人ト同シ利益ヲ与ヘ得ルヤ否ト研究スヘキ問題ナレトモ之ハ未決ナルヲ以テ今回ノ処置ニハ関係ナシト附言セリ

三四七 一月二十二日 在伯国畑公使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

「サンパウロ」州政府日本移民解約決定動機

ニ関シ探索ノ結果報告ノ件

本件ニ関シ本月十四日付保発第六号ヲ以テ御照会之次第有之候処曩ニ本省ニテ配布セル伯国農業家族構成要件ニ実兄弟姉妹ト記シタルハ貴見ノ通り血縁アル兄弟姉妹ニ限リ養子縁組等ニ依リ之レガ関係ヲ生シタルモノヲ含マズ且ツ此種養子縁組ハ虚偽ノ家族構成ヲナス惧有之候ニ付渡航御許可相成ラサルコトニ御取計相成度此段及御回答候也

三四五 一月二十日 在伯国畑公使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

「サンパウロ」州政府日本移民ノ解約決定ニ

関シ報告ノ件

第三号

往電第二号ニ関シ為念今春以来ノ移民ニ付州政府ニ問合セタル所本年分ハ契約通実行シ同移民到着後契約第四条ノ規定ニ基キ解約スルコトニ決定セルニ付取扱人ヲシテ来年度ノ契約履行ナサシメサル為右ノ決定ヲ予告シタル次第ナリト回答アリタリ

三四六 一月二十一日 在伯国畑公使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

第五号

野田ノ復命ニ依レハ移民契約解除決定ノ動機ニ付尚種々ノ方面ヨリ探索シタルニ往電第四号農務大臣ノ説明ハ忌憚ナク其ノ真相ヲ吐露シタルモノニシテ同州ニ渡来シタル諸外國移民ハ数年前四万内外ナリシニ昨年ニ至リ十二万人ニ上リ勞力需給ノ均衡上單ニ日本人ノミナラス全体ニ官費補助移民ヲ制限シ同時ニ州ノ負担ヲ軽減スルタメ從來日本人ノミニ對シテ与ヘタル特典ヲ撤廃シ之レヲ歐洲移民ト同様ノ地位ニ置ク精神ニ出デタルモノニシテ敢テ我カ移民ノ不成績若クハ異人種排斥ノ理由ニ基クモノナシト思考ス現ニ同大臣ハ本邦移民自費渡来ハ毫モ差支ナク一樣ニ移民收容所ヲ經テ就地ノ便宜ヲ与ヘラルヘシト告ケ尚今回ノ処置ハ拓殖会社トノ殖民契約ニハ何等ノ影響ナク寧ロ州政府ハ速カニ第一回殖民ノ移入ヲ実行セシメタキ考ニテ土地区分其ノ他ノ準備ヲ講シ急ガセ居ル旨附言シタリト云フ將又本邦移民ヲ雇用セル耕主側ノ意嚮ヲ察スルニ不景氣ノ今日ニ於テ自カラ移民ノ旅費ヲ支弁シ若クハ一時立替ヘテ迄モ本邦人ヲ雇入レントスルモノハナカルヘク又日伯直通航路開始移民誘入ニ関スル青柳案ノ如キハ此際到底成立ノ見込ナキ

三四九 一月二十四日

在伯國畑公使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

「サンパウロ」州行日本移民解約決定撤回方

運動ノ余地ナキ旨回電ノ件

第六号

貴電第四号ニ関シ州政府ノ態度俄カニ変シタル主因ハ前電ノ通りナレトモ移民收容所長ノ言ニ依レハ竹村カ青柳案ノ如キ一計画ヲ企テ電報ニテ移民輸送特許運動ヲ試ミタルタメ却テ農務大臣ノ注意ヲ喚起シ延テ今回ノ決定ヲ促シタル疑アリト云フ解約ノ動機カ人種問題ニ基ケルニアラスヤトハ本官ノ当初直チニ想到シタル所ニシテ深ク此点ニ留意シ調査シタルニ今回ノ処置ハ人種問題ノ關係ナシト推測セラハルコト既報ノ如シ尤モ人種上本邦移民排斥ヲ主張スル論者ハ当國ニ於テモ若干アリ早晚排斥ノ声起ルヲ覚悟セサルヘカラス從テ之ニ對スル方策ヲ予メ研究シ置ク要アルヘシト思考ス本件契約ハ元來一年ツツ継続シ一方ノ都合ニ依リ輸送ヲ終ル毎ニ任意ニ解除シ得ルカ如キ頗フル不安心ナル性質ノモノナルノミナラス明治四十二年及四十四年ニハ帝國政府消極ノ方針ニ依リ移民輸送ノ許可ヲ得サリシタメ移

ト鑑定スレトモ該件運動ノ衝ニ当ル管ナル州下院「リーダー」ハ今回移民契約解除ヲ以テ寧ロ印度人開始ヲ必要トスル口実ヲ与フルモノナリトシ本年議會通過ノ見込アルト樂觀シ居レリト為念申添ユ

三四八 一月二十三日

牧野外務大臣ヨリ
在伯國畑公使宛(電報)

「サンパウロ」州行日本移民ノ解約決定撤回

方等ニ関シ意見提示セラレタキ件

第四号

貴電第四号ニ関シ解約ニ関スル正式ノ通告ハ今春移民到着後ナルヲ以テ尚相当余日アル処此際州政府ノ決定ヲ翻サシメ從來ノ契約ヲ継続セシムル為メ農務大臣ヲ動カス様運動ノ余地ナキヤ其方策等ニ関シ御意見電報アレ尚ホ本件ニ関シ州政府ノ態度俄ニ變更シタルハ貴電第四号ノ理由ヨリモ更ニ深キ原因ニ基クモノニアラスヤトノ疑アリ例ヘハ人種上ノ問題等ニ根底ヲ有スル如キコトハナキヤ尚十分取調ベ電報アレ

民取扱人ハ契約不履行ヲ余儀ナクセラレタルカ如キ行縣モアルニ付州政府今回ノ条理アル処置ヲ見テ狼狽スルカ如キハ寧ロ(電文不題)且耕主側ノ意嚮モ前電ノ通り強テ本邦人ヲ熱望セル現状ニモアラサレハ此ノ際當館ヨリ該契約継続ノ運動ヲナスハ甚タ面白カラサルノミナラス解除ノ理由既報ノ如クナレハ農務大臣ヲ動カシ州政府ノ決定ヲ翻サシムル余地ナシト信ス故ニ帝國政府ハ此ノ機ニ於テ對南米移民ノ政策ヲ確定シ愈々奨励ノ御方針ヲ執ラルル様決定セハ從來ノ如キ形式ヲ改メ勞働自由移民(自由移民ニ對シテモ旅費還附ノ法令アリ)ノミナラス相当資産アル高等移民渡航ヲ保護奨励スヘク Geo Paulo 州政府ハ勿論中央政府モ本邦自由移民ニ對シ歐洲人ト同様ノ待遇ヲ与フヘキニ付十分多数ノ本邦人ヲ入ルルノ新規ノ方法ヲ講スルヲ以テ得策ナリト思考ス

右ニ関スル卑見詳細ハ公信ニテ申進スヘシ

三五〇 一月二十六日

在伯國畑公使ヨリ
牧野外務大臣宛

「サンパウロ」州政府同州行本邦移民契約解除

決定ノ事情ニ関シ調査詳報ノ件

通機密第二号

(四月二日接受)

大正三年一月二十六日

在伯

特命全權公使 畑 良太郎(印)

外務大臣男爵 牧 野 伸 顯 殿

当国「サンパウロ」州農務長官ハ毎年本邦移民千五百名宛ヲ同州ニ誘入スル為メ移民取扱人竹村与右衛門及東洋移民合資会社ト同州政府間ニ締結セル現行契約ヲ解除スベシト命ジタル趣本月十六日「サンパウロ」市発行ノ新聞紙上ニ掲載有之右新聞ハ翌十七日当館ニ接到致候ヘ共從來該契約解除ニ関シテハ何等聞込ミタル次第無之余リニ突然ニテ真偽ノ判断ニ苦シミ候ニ付早速農務長官宛電信ヲ以テ該新聞記事ノ実否ヲ問合せ他ノ一面両移民取扱人代理人ニ対シテモ同ジク電信ヲ以テ右州政府ノ決定果シテ事実ナリヤ至急回電スベク且事ノ玆ニ到リタル詳細ノ事情逐一書面ヲ以テ当館ニ報告スベキ旨相命シ候処翌々十八日ニ至リ右州政府ノ決定ニ関スル新聞記事ハ事実相違ナキ旨農務長官ヨリ返電有之候尤モ此際全ク契約ヲ解除シ本年四五月ノ交誘入ノ筈ナル移民三千名ノ渡航ヲ差止ムル意ナルヤ或ハ契約第四

条ニ從ヒ本年ノ移民輸送終了後二ヶ月以内ニ解約ノ通告ヲ与ヘントスル趣旨ナルヤ判明致サズ同時ニ州政府ガ此処置ニ出テタル動機及其他ノ事情ヲ精細ニ調査スル必要アリト思考致シ候ニ付本月十八日拙電第二号ヲ以テ申進候通り野田通訳官ヲ「サンパウロ」ニ急派スルコトトシ尚ホ念ノ為メ再応州農務長官ニ電信ヲ發シ本年度ノ移民輸送ハ両移民取扱人ヲシテ之ヲ履行セシメラルル趣意ナルヤ否問合せ候結果右ハ契約通り実行シ同移民到着後契約第四条ノ規定ニ基キ解約スルコトニ決定セルニ付テハ移民取扱人ヲシテ來年度ノ移民ト何等予約ヲ為スコト無カラシメン為メ右決定ヲ予告スル所以ナル旨回電ニ接シ候ニ付即チ本月二十日往電第三号ノ通り申進タル次第第二御座候

斯クテ「サンパウロ」ニ出張ヲ命ジタル野田通訳官ハ十九日当地出發「リオデジャネイロ」市ヨリ夜行列車ニ乗り翌二十日「サンパウロ」市着即日州農務長官「ドクトルパウロ・デ・モラエス・バルロス」(Dr. Paulo de Moraes Barros)氏ニ会見ヲ求メ之ト長時間ノ懇談ヲ遂ゲ州政府ガ本邦移民契約解除ノ決定ヲ下スニ至リタル事情ヲ質シタルニ同長官ハ好意ヲ以テ一々野田通訳官ノ問ニ答ヘ更ニ詳細

ニ亘リテ説明スル所アリ右対談ハ四角張リテ我レ先ヅ一問ヲ發シ彼レノ答弁ヲ得テ更ニ第二問ヲ試ムルガ如キ問答ノ体裁ニ依ラザリシモ今便宜ノ為メ兩者対談ノ要旨ヲ問答体ニ直シテ記載スレバ左ノ如クニ有之候

問、今回貴州政府ガ日本移民移入契約解除ノ決定ヲナスニ至リタル理由ヲ聞クヲ得ベキヤ

答、右ハ主トシテ州ノ財政及一般ノ不景氣ニ鑑ミタル結果ニシテ外国移民ノ「サンパウロ」州ニ渡來スル者逐年増加シ昨年ノ如キハ實ニ十二万人ノ多キニ上レリ然ルニ昨年後半ニ至リ頗ニ不景氣ノ程度高マリ農工商業共ニ萎縮ノ姿ニシテ昨年ト同数若クハ其以上ノ外国移民渡來スルニ於テハ勢ヒ勞力需給ノ均衡ヲ破ルヲ免レス且一面州費予算ヲ節減シタル結果單ニ日本人ニ限ラズ全体ニ官費補助移民ノ數ヲ減ズル方針ニシテ客年中州政府ノ補助ニヨリ渡來シタル諸外国移民ハ日本人約七千名ヲモ加ヘテ凡七万人ナリシガ本年ハ大ニ其數ヲ制限スル積リナリ

又現今汽船会社ニ許可ヲ与ヘテ自由移民ヲ搭載シ來ラシムル方法ヲ以テ葡萄牙人及西班牙人ヲ招致シ尚ホ耕

主ノ指名セル各国呼寄移民並ニ伊国自費渡航移民ヲ入ルル丈ケニテモ恰モ州内所要ノ農業労働者ヲ得ベキ見込アリ然ルニ移民会社ト契約ヲ結ビ年々州政府ガ負担ヲ免ルル能ハザル補助金額ヲ予定シテ誘入スル移民ハ單ニ日本人ノミニ限ラルルヲ以テ上述ノ二大理由ニ基キ先ヅ第一ニ日本移民会社二個トノ契約ヲ夫々解除スルコトニ決定シタル次第ナリ。

問、貴下ハ契約ニヨリ誘入スルハ日本移民ノミナリト言ハルルモ州政府ハ現ニ英仏等ノ其々汽船会社ト南欧移民誘入契約ヲ結ベルニアラズヤ

答、汽船会社トノ取極ハ契約ニアラズシテ移民何千名マデハ搭載シ來ルコトヲ許可ストイフ Authorization ニ外ナラズ(此ノ移入許可ニ対シテハ實際渡航セシメタル移民家族數ニ応シ汽船会社ニ運賃ヲ支給シ汽船会社ハ移民ニ無料乗船切符ヲ發給ス)尤モ右移入許可ハ予メ人數ヲ定メテ与フルノミナラズ假令定數丈ケ移入セザル前ト雖モ州政府ハ費用其他ノ都合ニヨリ何時ニテモ六十日ノ予告ヲ以テ移民ノ乗船ヲ差止メ若クハ船賃補助額ヲ減ズルコトヲ得ルモノトス。

問、州費ノ都合上契約ヲ解除セラルルハ是非ナキモ若シ仮リニ帝國政府ガ自由移民ノ「サンパウロ」州ニ渡来スルヲ認容シ其結果多数ノ日本移民自費ヲ投シテ入来シ而シテ現行法令ニ從ヒ現ニ彼等ガ支払ヒタル三等船賃償還ヲ出願セバ如何

答、是亦州ノ經費ノ都合上人数ニ制限ナシニ旅費償還ヲ行フコトハ出来難キノミナラズ日本ヨリノ渡航旅費全額ヲ還附スルコトハ不可能ナリ蓋シ該規定ハ伊、西、葡三国移民ヲ目的トセルモノニシテ独逸移民ノ如キハ既に該規定外ニアリ故ニ金高ハ南欧移民ニ対スル最高額大人一名八磅ヲ限リトシ而シテ予メ州政府ガ同意ヲ与ヘタル余リ多キニ失セザル人数ヲ限リ現行法規ニ照シ其資格アル日本自費渡来移民ニ旅費還附ヲナスコトハ何等差支ナシ。

問、耕主ノ呼寄ニヨリ渡来スル日本移民ハ歐洲移民ト同様ノ補助ヲ得ベキヤ

答、耕主呼寄移民ハ呼寄セラルベキ移民家族ノ姓名人数ヲ明示シテ耕主ヨリ州政府ニ出願シ州政府ハ予メ協定アル汽船会社ニ船賃手形ヲ交付スルモノニシテ日伯間ニ

後第二回マデ沖繩鹿兒島二県ノ移民ハ頻リニ耕地ヨリ逃亡セリ而シテ大体ニ於テ一回毎ニ成績良好ニ赴キ彼等ヲ僱用セル耕主等ハ概シテ日本人ノ敏捷溫柔勤勉ナルヲ認め満足ノ状アレドモ而カモ一人トシテ日本農夫ガ永ク一耕地ニ落着カザル一大欠点ニ関シ苦情ヲ唱ヘザル者ナシ尤モ歐洲移民トテモ必シモ全部落着宜シトハ断言スル能ハザルモ伊西兩國移民ハ日本人ニ比シ遙ニ落着宜シク葡萄牙人ハ此点ニ於テ略々日本人ト伯仲ノ間ニ在リ要スルニ目下州内ニ在ル日本移民ノ成績ハ敢テ不良ナルニアラザルモ歐洲移民以上ニ優良ニシテ之ヲ差措キテマデモ日本人ヲ儲ヒ度シト希望スル向ハ殆ンド皆無ナリ。

問、移民取扱人等ノ州政府ニ対スル態度ニ不穩当ナル点アリシコトガ貴局ノ感情ヲ害シタル為メ今回ノ御決定ヲ促シタル如キコトナキヤ

答、否、両移民取扱人ノ代理人ハ勿論、拓殖会社代表者及珈琲販路擴張契約者ノ代理人モ其態度ハ常ニ紳士的ニシテ能ク契約上ノ義務ヲ重シ正当ノ權利ヲ礼讓的ニ主張スル外何等不当ノ要求ヲ為スガ如キ不都合ナル態

ハ定期航海ヲナス汽船会社ナキヲ以テ此方法ハ今実行シ難シ

問、日本自由移民ガ渡航後ノ旅費還附ヲ別問題トシ全然自費ニテ(毫モ州政府ノ負担ナクシテ)渡来スルハ差支ナキヤ

答、旅費自弁ノ日本自由移民ノ渡来ニ対シテハ貴國政府ニ於テ勞力需給ノ關係ヲ考慮セラルル必要アルベキモ州政府ニ於テハ各国自由移民ノ渡来ハ一樣ニ之ヲ歡迎シ農業家族移民ニシテ州内ノ農場ニ就地セントスル者ニ對シテハ現行法令ニ從ヒ收容所ニ於ケル寄宿勞働紹介及就勞地マデノ運賃官給等一切ノ便益ヲ享受セシム。

問、貴下ノ觀察セラレタル日本移民ノ価値如何又今回州政府ノ処置ハ日本移民ノ成績不良ナルコトモ一原因ニアラザルカ

答、元来州政府ハ試験的ニ日本移民ヲ移入セシメタル次第ナレバ其成績ニ関シテハ毎回調査ヲ怠ラズ即チ當農務局ノ調査ニヨレバ第一回移民ハ渡航後一ケ年以内ニ過半耕地ヨリ出奔シ成績最不良ニシテ第二回移民モ亦州政府及耕主ガ予期シタル好結果ヲ与ヘズ殊ニ第一回以

度ナカリシ。

問、再問ス今回ノ契約解除決定ハ人種ヲ異ニスル日本移民ヲ排斥セントノ御趣意ニ出デタルニアラザルカ若シモ貴州政府ノ真意ガ如何ナル方法ニ依ルモ今後日本人ノ渡来ヲ防遏セントスルニ在ラバ日本政府ニ於テ歡迎セラレザル移民ヲ強イテ奨励移入セシムルガ如キコト無カラシムル為メ明カニ之ヲ報告スルヲ得策ト信ズルヲ以テ此ノ点ニ関シ更ニ御明答ヲ乞フ。

答、日本人ガ農業労働者トシテ能ク当地ノ氣候及労働ニ慣ルルヤ否ヲ試験スル以外、別ニ日本人ハ能ク当国人ト同化混血シ新伯国民ヲ形成スル有益ナル分子トナルベキヤ否モ十分ニ試験調査スベキ問題ニシテ此点ヨリ伯國ガ已レニ同化シ易キ人種ヲ選ブハ亦当然ノコトナリト信ズ然レドモ此点ニ関スル日本人試験ハ今尚ホ其途中ニアリテ吾人ハ未ダ日本人ニ関シ可否ノ断案ヲ下ス能ハズ從ツテ今回ノ解約決定ハ何等人種上ノ問題ニ基因スルニアラズ唯從來該契約ニヨリテ特ニ日本人ノミニ對シテ与ヘタル特別ノ待遇ヲ撤廃シ之ヲ歐洲移民ト同一ノ地位ニ置カントスルモノナリ即チ日本人ハ契約

ニヨリ誘入ヲ為サザル迄ニテ他ノ適當ナル方法ニヨリ
日本移民ノ入国スルコトハ決シテ之ヲ拒ムコトナシ
問、貴州政府ハ特ニ一名ノ委員ヲ北米合衆国ニ派シ同国ニ
於ケル日本労働者ノ情况ヲ調査セシメツツアリト聞ケ
リ該委員ヨリ排日ヲ可トスル如キ報告到達シタル為メ
今回ノ処置ヲ執ラレタルニハアラザルカ

答、桑港巴奈馬博覽會準備トシテ派遣セル委員ニ傍ラ日本
労働者ニ関スル調査ヲ囑託シ居レドモ未ダ何等取纏マ
リタル報告ニ接セズ日本人ノ入国問題ニ関シ何等断案
ヲ下スノ時機ニ達セザルコト既述ノ通りナルヲ以テ全
ク人種上ノ理由ニ胚胎セズ。

問、然ラバ伯刺西爾拓殖会社ノ「リベイラ」地方日本人植
民地設置ニ関スル契約ハ今回ノ御決定ト何等關係ナカ
ルベキヲ信セントス如何

答、然リ、州政府ハ寧ロ速ニ第一回殖民ノ移入ヲ実行セシ
メ以テ日本人ハ果シテ永住の殖民トシテ適當ニシテ將
来伯國ノ利益トナルヤ否ヲ新ナル方面ヨリ研究セント
欲シ土地区分其他ノ準備工事ヲ急ガセ居レリ是レニテ
州政府ガ人種上日本人ヲ嫌忌スルモノニアラザルコト

然ノ通告ニヨリ損害ヲ蒙ムルコト無カラシメントノ同長官
ノ好意ニ出テタル次第ヲモ附言シタル趣ニ有之以上質問ニ
對スル長官返答ノ要旨ハ野田通訳官ノ電報ニ接スルヤ否直
ニ本月二十一日往電第四号ヲ以テ申報致置候

次ギニ野田通訳官ハ右農務長官ノ弁明セル所ハ果シテ事実
ナルベキヤ否ヤヲ確ムル為メ土地植民課長移民收容所長等
ニモ面会シ尚ホ其他ノ方面ヨリ内々探索ヲ試ミ殊ニ今回解
約決定ノ動機ガ人種問題ニ基ケルニアラズヤトハ本件發生
ノ当初直ニ想到シ得タル所ニ候ヘバ最モ深ク此点ニ留意シ
調査セシメ候元来本邦移民ハ人種、風習ノ差異著シキコ
ト到底歐洲人ノ比ニアラズ同化頗ル困難ナリト称シ或ハ日
本人ハ人種劣等ニシテ伯國人トノ混血ハ望マシカラズトテ
其排斥ヲ主張スル論者当国ニモ若干アリ屢々新聞紙上ニ此
種ノ議論ヲ公ニシタルコトハ其都度當館ヨリ報告セル通り
ニ有之早晚排斥ノ声起ルベキハ予メ覚悟スル必要アルベシ
ト存ゼラレ候モ今回ノ処置ハ毫モ人種問題ニ關係ナク農務
長官ノ説明ハ忌憚ナク事件ノ真相ヲ吐露セルモノト認メラ
レ只移民收容所長ノ言ニ依リ移民取扱人竹村ト右衛門ヨリ
電信ヲ以テ青柳案ニ酷似セル移民輸送特許ヲ得ントノ運動

了解アリタシ。

問、客年伊太利四汽船会社ニ補助金ヲ与ヘ同国移民ヲ招致
セントセラレタルモ伊国政府ノ反対ニ遭ヒ目下中止ト
ナレル方策ヲ再興シ伊国移民ヲ誘入セラルル關係上日
本移民誘入契約ヲ解カルル御真意ニハアラザルカ

答、否伊国移民ハ既ニ多数當州ニ定住セルヲ以テ彼等ヨリ
其親戚故旧ヲ呼寄せ若クハ全ク自由移民トシテ渡来ス
ル数年々一万数千ノ多キニ上リ直接間接ヲ問ハズ州費
補助ノ方法ニヨリ特ニ同国移民ヲ招致スル必要ナキノ
ミナラズ仮令間接ニモセヨ補助金ヲ交付シテ同国政府
ノ禁止セル移民ヲ誘引スル如キハ国交上面白カラザル
ヲ以テ當州ハ特ニ同国移民ノ誘入ニ重キヲ置クガ如キ
コトナシ元来本官ハ外国移民ニ関スル方針ハ屢々新聞
等ニヨリ喧伝セラレ延イテ国交ヲ害シタル例尠カラザ
ルヲ以テ一切秘密ヲ守リ来レルモ貴官ハ態々日本公使
ノ名ニ於テ來訪質問セラレタルヲ以テ特ニ腹藏ナク説
明スル次第ナレバ其御含ミニテ御聴取アリ度シ。

云々ト答ヘ尚ホ契約解除ハ本年ノ移民到着後之ヲ行フ筈ナ
ルニ拘ラズ予メ之ガ決定ヲナシタルハ移民取扱人ヲシテ突

ヲ試ミタル為メ却ツテ当局者ノ注意ヲ惹起シ若シ左ナキト
キハ瑣細ナル日本移民ニ関スル契約ノ存在ヲ失念シ居タル
ナラント思ハル農務長官ヲシテ恰モ年初予算施行開始期
ニ際シ之ヲ思出サシメ以テ此処決ニ出デシメタルナラント
ノ新理由ヲ発見シタル趣ニテ尚ホ耕主側ノ意向ヲモ探リタ
ルニ本邦移民ハ農務長官ノ指摘セル如ク動モスレバ何等正
當ノ理由ナクシテ契約中耕地ヨリ出奔スル傾向アルノミナ
ラズ歐洲人ナレバ言語相近似シ新着移民ト雖モ多少意志疎
通ノ便官アルニ拘ラズ日本人ハ全然言語習慣ヲ異ニスルヲ
以テ新着移民一団毎ニ通弁ヲ雇ヒ其日給ヲ支払ハザル可ラ
ザル余計ノ負担アリ而カモ歐洲移民以上ノ労働成績ヲ著グ
ルニモアラザレバ旁々此際進ンデ農務長官ニ對シ日本移民
誘入契約継続ノ運動ヲ敢テスル耕主モナク珈琲下落シ不景
氣ノ今日ニ在リテハ成ルベク負担ト面倒少キ歐洲移民ヲ扱
ブコトナルベク耕地労働者ハ日本人ニ限ルトテ私費ヲ以テ
本邦移民ヲ招致スル如キ熱心家ハ皆無ナルベシト觀察セラ
レ候殊ニ本件契約ハ元々一年ゴツ継続シ一方ノ都合ニヨリ
毎回ノ輸送実行後隨意ニ之ヲ解除スルコトヲ得ベキ甚ダ不
安心ナル性質ノモノニシテ之ヲ永続的ノモノト思料スベカ

ラザルハ勿論ナルノミナラズ我政府ニ於テモ常ニ「サンパウロ」州珈琲園行移民ヲ以テ試験的ノモノナリトシ第一回移民ノ成績甚ダ不良ナリシ結果明治四十二年度ノ移民渡航ヲ差止メラレ又第二回移民ノ成績モ一時憂慮スベキ形勢ナリシ為メ同四十四年ノ移民輸送ハ之ヲ許可相成ラザリシ実例モ有之移民取扱人等ガ州政府今回ノ条理アル処置ヲ見テ狼狽スルガ如キハ寧ロ不体裁ノ極ト存ジ候ノミナラズ解約ノ理由及耕主等ノ態度上記ノ如クニシテ今更農務長官ヲ動かシ州政府ノ決定ヲ翻サシムル余地ナシト相信シ候ニ付即チ右ノ趣旨ニテ本月二十二日往電第五号及同二十四日往電第六号ヲ発シタル次第第二御座候

最後ニ野田通訳官ハ参考ノ為メ日伯直通航路開始兼本邦移民誘入ニ関スル青柳ノ計画ハ同州政費節約ノ折柄州議會ヲ通過シテ成立ヲ見ルノ望アリヤ否ヤヲ知ラン為メ該件運動ノ衝ニ当ル約アル州下院「リーダ」ニシテ伯刺爾爾殖畜会社ノ法律顧問タル弁護士「ドクトル・アントニオ・マルチンス・フオンテス・ジュニオル」(Dr. Antonio Martins Fontes Junior) 氏ヲ訪ヒ其意見ヲ叩キタルニ氏モ亦今回ノ解約決定ハ何等人種上ノ問題ニ触レ居ラザルヲ信ズル旨

既報ノ通り青柳案ノ企モアリ又政府ノ方針確定ノ上ハ確乎タル基礎ノ上ニ移民方策ヲ相定メタキ愚見モアリ旁々此際州当局者ノ感情ヲ害シ將來ノ計画成立ニ障害ヲ与フルカ如キ程度ノ運動ハ是レヲ避クルコト得策ナリト思考ス過日青柳ニ此旨ヲ通シ置キタルニ本使ノ忠告ニ遵ヒテ農務大臣ノ一親友ニ依頼シ穩カニ当局者ニ對シ相談シ貰フコトニ取極タル旨回答ニ接シタリ移民取扱人ニ對シテモ其辺篤ト御警告相成様致度シ

三五二 二月九日 牧野外務大臣ヨリ
在伯国畑公使宛(電報)

「サンパウロ」州政府ノ本邦移民契約解除ニ

関シ竹村殖民商館及東洋移民会社間共同動作

ヲ協約ノ件

附記一 協約覚書

二 協約施行方法書

三 協約施行方法書ニ對スル意見

第五号

「サンパウロ」州政府移民契約解除ノ件ニ関シ竹村東洋兩取扱人ハ今後同一歩調ヲ執リ運動方法等一定ノ方針ヲ取極

談話シ且是レ却ツテ青柳ノ計画セル航路開始ニ関シ其必要アルコトヲ主張スル上ニ一新口実ヲ与フルモノナレバ該案ヲ本年ノ州議會ニ提出シテ之ヲ通過セシムル見込十分ナリトノ樂觀說ヲ吐露シタル趣ニ有之不取敢其旨往電第五号ヲ以テ添申致置候ヘ共同州財政ノ現況等ニ鑑ミ「フロンテス」氏ノ言ノ如ク斯ク容易ニ成功ノ見込アリトモ思惟シ難ク候ニ付此点ニ関シテハ尚ホ篤ト形勢觀測ノ上何分ノ義追報致スベク候

以上本件調査ノ成行電信説明ヲ兼ね茲ニ及具報候 敬具

三五二 二月七日

在伯国畑公使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

「サンパウロ」州行本邦移民契約決定ノ撤回

方ニ関シ東洋移民会社及竹村殖民商館個別的

ニ運動ノ件

第二〇号

往電第六号ニ関シ過般來在 São Paulo 東洋竹村兩代理人ハ本店ノ命ニ依リ個々別々ニ躍起運動ヲナサントスルノ模様アリ其營利的ノ立場ヨリ見レハ無理カラサル次第ナルモ

メ在伯代理人ヲシテ共同一致州政府ニ交渉セシムル旨ノ協約ニ調印シ其趣夫レ夫レ代理人ヘ電報セシ管ニ付貴官ハ右御含ミノ上双方一致ノ行動ニ出ヅル様充分右代理人ヘ御諭告アリタシ尚ホ兩会社ハ今後ノ運動方法ニ関シテモ申合セタル次第アリ当方ヘ提出ノ儀コレアルモ之ニ對シ援助ヲ与フルヤ否ヤハ目下詮議中ナリ又青柳ニ對シテハ今後移民一般ノ利害ニ関スル問題ハ勿論スベテ重要ノ問題ニツイテハ予メ貴官ト充分打合ヲ遂ケタル上ニアラサレハ決シテ行動ヲ開始セサル様篤ト御訓諭アリタシ殖畜会社ヨリモ本人ニ對シ同意味ノ訓令ヲ發スル管移民問題大体ノ方針ニ関シテハ貴信ヲ待テ何分申進スベシ

(附記二)

協約覚書(写)

今般聖「パウロ」州政府ニ於テ竹村与右衛門(以下甲ト称ス)並ニ東洋移民合資会社(以下乙ト称ス)ニ對スル現存移民供給契約破棄ノ内意アルニ際シ甲乙ハ相互ニ利害ノ全然一致スルコトヲ認メ之ニ對スル今後ノ方針ニ付テ左ノ通り協約ス

第一条 甲乙ハ今後相互ニ同一ノ歩調ヲ執リ常ニ相一致シ

テ事業ノ増進ヲ図ル可キモノトス

第二条 甲乙ハ予メ運動方法ニ関スル一定ノ方針ヲ協議シ之ヲ相互ノ駐伯代表者ニ伝ヘ其代表者ヲシテ共同シテ聖「パウロ」州政府ニ対スル運動交渉ニ当ラシムル事

第三条 甲乙ハ本協約ノ趣旨ヲ政府当局ニ具申シ其充分ナル援助ヲ受クヘク力ムル事

大正三年二月三日

高知市菜園場町百九拾八番屋敷

竹村殖民商館主 竹 村 与右衛門（印）

東京市京橋区新肴町拾番地

東洋移民合資会社

業務担当社員社長 川 田 鷹（印）

（附記二）

協約施行方法書（写）

本日附協約ノ趣旨ニ基キ聖「パウロ」州政府ニ対スル運動ノ方針ヲ左ノ通り協定ス

第一、補助金ヲ相当ノ程度（現契約ノ半額即チ四磅ト手数料壹磅）マデ減シ春秋二期ニ合計六千人以上ノ輸送ヲ確實ナラシムル事

（附記三）

協約施行方法書ニ対スル意見（大要）

第一案ハ州ノ負担ヲ歐洲移民ト略同一程度ニ引下グルモノニシテ（手数料一磅ハ別トシ）移民ニ取リテハ從來ニ比シ甚不利ナルモ先ヅ形式上著シキ不都合ナキガ如シ但シ人数ハ六千人以上多々益々可ナリ

第二案ハ単ニ人数ヲ増加シ移民会社ノ利害ヲ確保スルニ止マリ移民ニ取リテハ甚不利ナルノミナラズ州法ニ依リ保障セラルル利益（即チ家族移民ニ対シ乗船港ヨリ「サントス」港迄ノ三等旅費トシテ支出シタル額ヲ還付スルコトヲ得云々）並ニ日伯通商航海条約第四条ノ利益ヲ自ラ拋棄スルモノニシテ将来ノ為メ並ニ他外国ニ対スル関係上甚不得策ナリ

右ノ次第ナルヲ以テ第一案ハ兎ニ角第二案ニ至リテハ到底政府ニテ援助ヲ与ヘ難キノミナラズ政府トシテハ此カル契約ノ訂結アルト否トニ拘ラズ我移民ニ対シ歐洲移民ト同様ノ利益ヲ主張スヘキモノト思考ス第一案モ表面歐洲移民ト同様ナルモ州法ノ規定ハ「乗船港ヨリ「サントス」港」迄ノ三等旅費トアルヲ以テ日本ヨリ「サントス」港迄ノ船賃

但此場合ニハ二磅ノ保証金納入ノ制度ハ之ヲ廃止シ又補助金支払期限ノ短縮ヲ図ル事

第二、前項ノ不成功ナル場合ニ於テハ甲乙双方ニ於テ一年ヲ通ジ老万人以上ノ供給契約ヲ締結スル目的ヲ以テ運動スベキ事但現契約中一磅ノ手数料ハ之ヲ掘置キ補助額ニ付キテハ極度迄減額シ又已ヲ得サル場合ニ於テハ之ヲ全ク拋棄スルモ日本移民輸送ノ權利ヲ保全スベキ事

但此場合ニハ家族構成条件ヲ現契約ヨリ一層寛ナラシムル事

第三、右以外時々相互ニ協定ノ事

大正三年二月三日

高知市菜園場町百九拾八番屋敷

竹村殖民商館主 竹 村 与右衛門（印）

東京市京橋区新肴町拾番地

東洋移民合資会社

業務担当社員社長 川 田 鷹（印）

註 右協約寫書及協約施行方法書写ハ二月九日川田氏ヨリ坂田通商局長ニ提出セラレタリ

ヲ歐洲ヨリ同港迄ノ船賃ト同一ニ看做ス事ヲ甘受スヘキヤ否ヤハ大ニ考量ヲ要スル点ナリトス

要之本件ハ結果重大ナルノミナラズ移民会社側ノ意見モ尚研究充分ナラサルカ如キヲ以テ畑公使ノ意見書到達ヲマチテ更ニ詮議ヲ進ムル事至当ナラサルヤニ思ハル（通商局調）

三三三 二月十二日

坂田通商局長ヨリ
熊本県外十五県知事各宛

「ブラジル」行呼寄移民旅費補給資格ニ関スル件

附記

大正二年十二月十五日附在リオデジャネイロ松村総領事ヨリ牧野外務大臣宛領第六四号
右同伴

通送第六三四号

熊本 広島 福島 沖繩 長崎 福岡 高知 山口
佐賀 宮城 大分 三重 愛媛 愛知 栃木 岡山

以上各県知事宛各通

移民取扱人竹村与右衛門並ニ東洋移民合資会社ガ伯刺西爾国「サンパウロ」州政府ト締結セル現行移民供給契約書第十三条ニ依レバ既ニ「サンパウロ」州内ノ労働地ニ就職中

ノ自己ノ家族ト同居センガ為メ自費ヲ以テ渡航シ共ニ労働ニ従事スル總テノ本邦移民ニ対シ州政府ハ旅費還附ニ関スル現行条令ノ規定ニ基キ英貨八磅以内ニ於テ移民ガ支払タル三等旅費ヲ還付スルコトヲ約ストアリ然ルニ該契約文中ノ在伯呼寄人ト被呼寄人トノ家族關係ノ限度明瞭ナラサルニヨリ其筋ノ意向ヲ確メタル処既ニ州内農場ニ就地セル父母ト同居センガ為メ呼寄ニヨリ渡航スル年齢二十一歳以下ノ独身移民ニ在リテハ英貨八磅ノ旅費補給ヲ受クルハ疑ヒナキモ其以外ノモノ例ヘバ被呼寄人ガ年齢二十一歳以上ノ子女ナルトキ又ハ其父母兄弟姉妹從兄弟甥姪ナルトキ該補給ヲ受クル資格ナキモノト決セラル、ヤモ料リ難ク目下之レガ取調中ニ有之候此ノ如キ次第ニ付後者ニ該当スル被呼寄人ハ渡航費全額ヲ自弁スル覺悟ニテ準備スルニ於テハ安全ナルベキモ若シ州政府ノ補給ヲ引当トナスニ於テハ失望ノ場合可有之ト存候尤モ無資格被呼寄人ニテモ「サントス」港ヨリ呼寄農場迄ノ輸送並ニ其間ニ於ケル宿泊飯食等ハ總テ普通契約移民ト同様州政府ノ費用ヲ以テ之レヲ支弁スル義ニ有之候右ノ趣可然方法ヲ以テ各被呼寄人ニ御通達相成度此段申進候也

可適労働者三名以上ヨリ成ル家族ナルトキハ乗船港ヨリ「サントス」迄ノ三等旅費トシテ支出シタル額ヲ還付スルコトヲ得

補款 上記特典既ニ州内ノ農場ニ就地セル自己ノ父母ト同居スル為メ渡来スル年齢二十一歳以下ノ独身移民ニ対シテモ特ニ之ヲ享受セシムルコトヲ得

該移民契約ハ固ヨリ前掲州法令ノ範圍内ニ於テ締結セラレタルハ勿論ナリト存候得共該契約文中身分ヲ明記セサル為他日誤解ヲ来スモノアランコトヲ恐レ為念本邦呼寄移民旅費補給資格ニ関シ第一、既ニ州内ノ農場ニ定住セル家族ト同居スル為メ渡来スル日本自由移民ニ対シ此等移民カ三名以上ノ家族ヲ構成シ居ラザル場合ニ於テモ尚ホ州政府ハ旅費トシテ英貨八磅ヲ還附スルヤ、第二、州政府ハ既ニ農場ニ定住スル家族若クハ親戚ノ呼寄ニ依リ之ト同居スル為自費ニテ渡来スル兄弟、姉妹從兄弟、甥姪等ニモ同様八磅ヲ還附スヘキヤ、第三、既ニ農場ニ定住セル父母ト同居スル為メ渡来スル年齢二十一歳以上ノ子女並ニ自己ノ子女ト同居スル為メ渡来スル年齢六十歳以下ノ父母ニモ同様ノ特典ヲ与ヘラルルヤノ三点ニ付州政府農務長官ニ問合セタルニ

註 地方長官行訓令省略

(附記)

領第六四号

(大正三年二月五日接受)

大正二年十二月十五日

在「リオデジャネイロ」

總領事 松村貞雄(印)

外務大臣男爵 牧野伸顯殿

呼寄移民旅費補給資格ニ関スル件

当国「サンパウロ」州政府ト本邦移民取扱人トノ間ニ締結セル移民契約第十三条ニ依レハ「既ニ州内ノ農場ニ定住セル家族ト同居センカ為メ自費ヲ以テ渡航シ農業ニ従事スル總テノ日本移民ニ対シ政府ハ旅費還附ニ関スル現行法規ノ規定ニ基キ金額八磅以内ニ於テ移民カ支払ヒタル三等旅費ヲ還附スルコトヲ約ス」トアリ而シテ其現行法規中移民ノ旅費ニ関スル事項ハ千九百七年四月一日官令第一四五八号第一百一条ニ次ノ如ク規定シアリ

自費ヲ以テ渡来シ農業労働者トシテ州内ノ農場ニ就地スルカ若クハ殖民地ニ入り地区ヲ占有シテ農業ニ従事スル農業移民ニ対シ州政府ハ若シ此等移民ガ十二歳以上ノ

呼寄移民ニ対スル旅費補給ハ前記官令第一百一条補款ヲ嚴格ニ解釈シテ之ヲ適用シツツアリ即チ第一問ニ対シテハ既ニ州内農場ニ就地セル父母ト同居センカ為渡来スル年齢二十一歳以下ノ独身移民ニ限り旅費トシテ英貨八磅ヲ還附スヘキモ第二問第三問ノ場合ハ總テ旅費ノ補給ヲナササル旨回答ニ接シ候就テハ右資格ヲ有セサルモノニシテ単ニ自費呼寄移民タルノ覺悟ヲ以テ渡来スルニ於テハ何等差支無之モ若シ右ノ内呼寄移民ニ対シテハ總テ旅費ノ補給ヲナスモノト誤解スルモノ有之候ハハ甚タ氣之毒ノ結果ト相成候次第ニ付關係移民取扱人ハ勿論旅券下附ノ局ニ当ル地方官憲ニ対シテモ篤ト右ノ次第御警告置相成候様致度此段申進候

敬具

追テ本文記載ノ資格ナキ呼寄移民ハ本邦「サントス」間ノ旅費ハ補給ヲ受クル能ハサルモ「サントス」ヨリ呼寄農場マテノ輸送並ニ其間ニ於ケル宿泊飯食等ハ總テ普通契約移民ト同様州政府ノ費用ヲ以テ之ヲ支弁スル儀ニ有之候為念右申添候

三五四 二月十三日 牧野外務大臣ヨリ
在伯国畑公使宛(電報)

「サンパウロ」州行本邦移民解約ニ関スル意
見等電報方ノ件

第六号

貴電第六号末段御意見簡單ニ電報アレ尚貴電第一〇号末段
青柳が当局者ニ対シ相談云々トハ如何ナル相談ナリヤ併テ
電報アレ

三五五 二月十三日 在伯国畑公使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

「サンパウロ」州行本邦移民ニ関シ回電及請
訓ノ件

第一二号

貴電第六号前段ハ取調ヲ要スル点アルニ付キ一兩日中ニ電
報スヘシ同末段ニ関シ相談ハ解約決定ヲ翻サシメン為ノ相
談ナリ尚貴電第五号ニ関シ両会社今後ノ運動方法ニ関シ申
合セ提出スヘキ件ハ御詮議決定前本使参考ノ為御垂示アラ
ンコトヲ請フ

三五六 二月十六日 牧野外務大臣ヨリ
在伯国畑公使宛(電報)

「サンパウロ」州行本邦移民解約決定ノ撤回
方ニ関シ意見問合ノ件

第七号

州政府ヲシテ解約ノ決定ヲ翻サシムルコトハ運動ノ余地無
キ旨貴電第六号御稟申ノ次第アリタルニ貴電第一二号ニヨ
レバ青柳ハ目下該運動ヲ試ミツツアル趣ノトコロ右ハ貴官
ニ於テ其後該運動ノ成功ヲ期待セラルルニ至リタル次第ナ
リヤ此点ニ関スル意見ハ兩取扱人カ今後ノ運動方針ヲ定ム
ル上ニ關係少カラサルニ付何分ノ儀電報アリタシ

三五七 二月十七日 在伯国畑公使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

「サンパウロ」州政府ノ同州行本邦移民解約
決定ハ罷ス余地ナキ旨回電ノ件

第一四号

貴電第七号ニ関シ本使ハ依然州政府ノ決定ヲ翻ス余地ナシ
ト信スルモ移民取扱人側ノ運動ヲ全然差止ムルコト不可能
ナルヘキヲ以テ青柳ニ対シ若シ運動スルトセハ兩代理人ト

協議ヲ尽クシ将来ノ計画ニ悪影響ヲ及ボサザル程度ニ止ム
ヘキ旨警告ヲ与ヘ往電第一〇号ヲ以テ其ノ結果ヲ申報シ置
キタル次第ニシテ決シテ該運動ノ成功ヲ期待シテ懲憑シタ
ル義ニアラス往電ハ本使ノ意ヲ尽ササル所アリタル為メ貴
電第七号ヲ煩シタリト思ハルルニ付本電御読了ノ上ニテ尚
一応前電御一読ヲ乞フ

三五八 二月十七日 在伯国畑公使ヨリ
牧野外務大臣宛

「ブラジル」行移民携帯旅券ノ伯国領事官ニ
依ル査証方ニ関シ調査回報ノ件

附屬書 伯国聯邦土地移植民規則抜萃

通公第一七号 (四月十三日接受)

大正三年二月十七日

在伯

特命全權公使 畑 良 太 郎 (印)

外務大臣男爵 牧野伸顯殿

伯国行移民ハ出發港ニ於テ其旅券ニ伯国領事ノ査証ヲ受ク
ルヲ要スルコトハ同国法ノ規定スル所ナリヤ又出發港ニ於
テ旅券ニ伯国領事ノ査証ヲ受ケザリシ者寄港地ニ於テ伯国

領事ノ査証ヲ受ケタルトキハ之ヲ出發港ニ於テ受ケタルト
同様ノ効力アリヤニ関シ当国ニ行ハル、法令ノ關係更ニ取
調ノ上回報致スベキ旨客年九月十六日付通送第七四号貴信
ヲ以テ縷々御申越ノ趣敬承仍テ早速公文ヲ以テ当国政府ニ
及問合置候処本月十四日附ニテ本日接手シタル回答ノ主旨
ハ

一、伯国現行ノ土地移植民規則ニ依レバ移民所持ノ書類ハ
乗船港ニ於ケル移民事務官ノ査証若シ該事務官ナキト
キハ伯国領事官ノ査証ヲ受クベキ規定アルヲ以テ伯国
行移民ノ携帯スル旅券ハ即チ此ノ査証ヲ受ケザルベカ
ラズ。

二、伯国聯邦政府ハ現今何レノ外国港ニモ移民事務官ヲ任
命シ居ラザルヲ以テ移民旅券ノ査証ハ領事官ニ於テ之
ヲ取扱フモノトス。

三、移民旅券ニ伯国領事官ノ査証ヲ受クルコトハ之ヲ乗船
港ニ於テスルモ將又寄港地ニ於テスルモ妨ゲナシ。
トイフニ有之右ニ関シ当館ニ於テ聯邦及「サンパウロ」州
移植民規則ニ就キ調査シタル關係条文別紙トシテ添附致置
候間御参考相成度候尚ホ伯国領事官ガ外国官憲ノ発附ニ係

ル旅券ヲ査証スル場合ニ徴収スベキ手数料ハ一通毎ニ伯金貨三「ミルレイス」(英貨六志九片相当)ニ候ヘ共移民ノ旅券ニ対シテハ査証手数料ヲ免除スベキ旨各領事官ニ到達シアル趣ニ有之候(明治四十四年十二月二十七日野田通訳官提出兵庫県外八県出張復命書中神戸駐在伯国副領事ニ質問事項ノ部御参照)

此段回答申進候 敬具

(附屬書)

別紙

千九百十一年十一月三日官令第九千八十一号

伯国聯邦土地移植民規則抜萃

第九条 移民ノ年齢、品行、職業及親族關係ハ乗船港ニ於ケル移民事務官若シ該事務官ナキトキハ伯国領事若クハ代弁領事ノ査証ヲ受ケタル信憑スベキ書類ヲ以テ之ヲ挙証スベシ。

千九百七年四月十日州令第四百五十八号

「サンパウロ」州移植民規則抜萃

第二条 移民ノ年齢、品行及労働可能ハ移民ノ最終住居地官庁ノ証明書ヲ以テスルカ然ラザレバ旅券、家族証明書

府ヨリ誘入者ニ交付スル補助金)ヲ支給シテ該移民ヲ受取ルベシ。

三五九 二月二十日

在伯国畑公使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

我「ブラジル」行移民ニ関シ自由移民奨励ノ

方針採用方上申ノ件

第一五号

貴電第六号ニ関シ伯刺西爾國が過剰ノ我國民海外發展ニ対スル天恵ノ好適地ナルハ世既に定論アリ加之移住民ニ対シテハ旅費還附、就地迄ノ無賃輸送、一定ノ期間医薬食料及宿舍ノ給与等ヲ始メトシ諸般ノ利便ヲ図カリ就中移民輸送ノ汽船ニ対シ補助金ヲ与フル法律規定アリテ移住民ヲ歡迎スルコト他ニ又其比ヲ見ス去レハ本邦ニ於テモ近來當國ニ著目シ移住セントノ志ヲ抱クモノ尠カラスト雖當國ヘハ毎年十数万ノ歐洲移民入國シ其内約三分ノ二ハ全ク自費渡航者ニシテ今後ハ成ルベク官費補助ヲ要セサル此種ノ自由移民ヲ奨励歡迎スルコトニ當國政府ノ方針一変シ來レルヲ以テ最早彼ノ「サンパウロ」州政府ノ補助ヲ受クル契約移民選出ノ方法ニ依頼スルガ如キハ時勢ノ許ササル所ナリ故ニ

若クハ伯国領事又ハ代弁領事若クハ外國ニ駐在スル本州移民官ノ証明書ノ如キ信憑ノ価値アル他ノ書類ヲ以テ之ヲ挙証スベシ。

第二十条 前条ニ於テ必須トセル要件(移民ハ十二歳以上四十五歳以下ノ可適労働者少クモ三名ヨリ成ル品行方正ノ農民家族タルヲ要ストノ規定)ハ其最終住居地ニ於ケル當該官憲ノ發給シタル証明書ヲ一家族毎ニ移民誘入者ヨリ乗船港ニ在ル州政府ノ移民官ニ提示シテ之ヲ立証スベシ。

第二十三条 第二十条ニ規定セル書類ハ州政府ノ見込ニヨリ旅券面ニ記載セル事項ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得。

第二十五条 州政府ノ移民官ヲ置カザル港ヨリ移民乗船スト假定シ而シテ移民誘入者ニ於テ本規則ノ条件ニ適合セザル移民ノ「サンパウロ」市移民收容所ニ於ケル拒絕処分ニ服從シ且同誘入者ニ於テ乗船港駐在伯国領事官ハ認証(訳註、査証ヲモ含ムト解釈スベシ)ヲ經タル第二十条、第二十二條(乗船移民家族明細表ナリ)及第二十三条規定ノ書類ヲ提示スルトキハ州政府ハ第十七條ノ形式ヲ以テ定メタル金額(訳註、誘入移民ノ人数ニ応シ州政

帝國政府ハ現下ノ趨勢ニ鑑ミ契約移民ノ外渡航ヲ許ササル從來ノ方針ヲ捨テ大ニ自由移民(家族構成ノモノハ旅費ノ還附ヲ受ク)就中州政府若クハ中央政府ノ殖民地ニ入り小地主トナラントスル者ノ渡航ヲ奨励シ且ツ當國ニ企業セントスルモノニ各般ノ便宜ヲ与ヘ大和民族ノ大殖民地ヲ南米ニ樹立スルヲ以テ我移民政策ノ基礎トセラレンコトヲ望ム其方法ニ關スル卑見左ノ如シ

第一 日伯間直航定期航海ヲ開始シ其最初ハ専ラ移民ノ輸送ヲナシ之ニ対シ伯刺西爾國政府ヨリ補助金ヲ受クルコト

元來汽船会社ノ受クル補助ハ家族構成移民ニ限り其人頭ニ応スル三等旅費ノ合計ナレトモ本邦ハ遠隔故一人八磅以上ハ六ケ數カルベク予メ妥協ノ必要アリ

第二 移民会社ノ募集ヲ廢シ全國ニ亘リ苟モ純農若クハ諸職人等ニシテ素行及ヒ健康上非難スル点ナキ當國渡航志望者ニハ坐ナガラニシテ許可ヲ得セシメ且大ニ費用ノ輕減ヲ計ルニアリ其方法左ノ如シ

(一) 在伯刺西爾國公使館ニテ起草シ帝國外務省ノ檢閲ヲ受ケタル伯刺西爾渡航移民案内ヲ各地方庁ニ廻附シ移

民ノ渡伯ヲ勧誘シ渡航許可及ヒ旅券下附ハ町村長ニ於テ取次クコトトセハ県庁往復ノ煩勞ナクシテ手数料二十円ノ支出ヲ免カル

(二) 移民旅券手数料免除

(三) 乗船地迄ノ汽車ヲ無賃トスルコト

(四) 出帆期日ノ三日前ヨリ乗込ヲ許シ乗船地ニ於ケル費用ヲ節約セシムルコト

(五) 従来ノ如ク自分不相応ナル被服所持品等ニ付失費ヲナサシメサルコト

(六) 船医又ハ公医ヲシテ無料又ハ実費ニテ種痘ヲ行ハシムルコト

(七) 従来ノ移民船賃百六拾円ハ汽船会社直接輸送トナルニ於テハ百四拾円位ニ割引シテ可ナランカ此等ノ方法ニ依レハ移民一名ノ負担ハ約八拾円ヲ軽減セラルヘキニ付州政府補助金八磅ヲ得サルモ其結果ハ同様ニシテ移民ハ渡航費支弁ノタメ別ニ困難ヲ増スモノニアラス而シテ資格アルモノノ輸送ニ対シテハ汽船会社ノ受クル補助金ノ大部分ハ之ヲ右移民ニ還附スルコトトセハ此種移民ノ負担ハ更ニ大ニ軽減セラルヘシ

レハ執レノ汽船会社ナリトモ競フテ従事スヘク思考セラル本使カ移民取扱人ニ定期航海開始移民輸送ヲ委ネントノ趣意ハ兩取扱人ノ従来ノ關係ニ鑑ミ其利害ヲ顧慮シタル為メノミ將又青柳案ナルモノハ目下ノ有様ニテハ成否素ヨリ判明セス又我移民政策ヲ定ムル基礎トスヘキモノニ非サルモ該案ノ主旨通り行ハルルトセハ直航定期航海開始ニ際シ単ニ当国法律ニ定ムル所ノ恩恵ヲ受クルヨリ遙カニ有利ニシテ当国ノコト故運動次第或ハ出来得ルヤモ知レサルニ付兩移民取扱人ハ青柳ト妥協シ先ツ同案ニ依リ差向キ春秋二回ノ航路開始運動ヲ試ムルモ一策ナランカ但シ其成立ヲ當ニセスシテ航路ノ開始ヲ計画シ青柳成立セハ之ニ乗換フルコトトスヘシ右ハ卑見ノ大要ニ有之右御参考ノ上御方針御決定速カニ実行ノ域ニ至ランコトヲ切望ス

三六〇 二月二十三日

牧野外務大臣ヨリ
在リオデジャネイロ松村總領事宛

「ブラジル」行呼寄移民旅費補給資格ニ関ス

ル件

通送第七号

本件ニ関シ客年十二月十五日付領第六四号ヲ以テ具申ノ次

第三 州政府並ニ中央政府殖民地及移民(電文不明)並ニ各種企業調査ノ為メ其道ノ人ヲ派シ其報告ヲ廣ク発表スルコトトシ差向キ公使館員ヲ増サスシテ領事館ニ専門技師ヲ附スルコト

以上ノ方法実行ニ際シ従来ノ移民取扱人ノ利益モ出来得ル限り之レヲ考慮スルノ要アラン然レトモ現在ノ如ク同様ノ目的ニ二会社ノ存在シ且ツ移民ヲ募集セシムルカ如キハ大ニ移民ノ出費ヲ過大ニスルヲ以テ第二ノ方法アラハ募集ハ之レヲ廢シ二会社ハ合同シテ移民輸送業ヲ営ムコトトセハ或ハ従来ノ移民業ヨリ利益多カルヘク況ンヤ従来募集手数料二十円ハ殆ント実費ニ掛ル由ナレハ募集ヲ廢セラルモ格別損失ナキノミナラス従来ノ輸送ニ比シ左ノ利益アランカ

一、自由移民其他企業家ノ便乘

一、愈々定期航海開始ト極マレバ返リニハ当初ハ倫敦ヘ廻ハリ取ルカ或ハ亞爾然丁共和国「ウルゲイ」共和国ニテ取り得ル見込ナキニアラス

一、漸漸本邦貨物ノ運搬及婦国者増加

若シ政府ニシテ自由移民奨励御決定ノ上ハ定期航海開始ハ非常ニ有望ナルヘキニ付万一移民取扱人ニ於テ之ヲ欲セサ

第有之候ニ付不取敢關係地方長官ニ対シ別紙^(註)寫ノ通り通牒致シ尚ホ竹村移民取扱人並ニ東洋移民合資会社ヘモ内示致置候然ルニ「サンパウロ」州政府ト本邦移民取扱人トノ間ニ締結セル移民契約第十三条ニ記セル被呼寄人ニ関シテハ其意義十分の確ナラザルモノ有之候モ当事者間ニ於ケル契約締結當時ノ精神ハ子女ハ勿論実兄弟姉妹若クハ甥姪迄ヲモ含マシムルニ在リテ前任藤田總領事代理ニ於テモ州政府当局者ヨリ公然ナラサルモ前示ノ解釈ニヨルベキ了解ヲ得タル由ニ有之既ニ本件ニ関シテハ明治四十五年二月二十日付送第七号貴館宛通牒ノ末文ニ於テ呼寄家族ノ意義明瞭ナラサルニヨリ在伯領事ニ於テ其地ノ事情ニ徴シ証明ヲ与フベキ旨訓達ノ次第有之貴官ニ於テモ従来前示程度ノ者ニ対シ呼寄証明書ヲ發給セラレ居リ候前記ノ了解ト符号致スモノト存候然ルニ若シ貴信ノ如ク契約書第十三条ニ依ル被呼寄移民ヲ二十一歳以下ノ子女ニ限ルトスルトキハ在伯移民ノ多クハ其子女ト共ニ一家族ヲ構成シ渡航シタルモノナルガ故ニ後ニ至リ呼寄スヘキ子女ナルモノハ事実上殆ント皆無ナルベク然ルニ關係者ニ於テ當時此ノ如キ實際ニ適用ナキ契約ヲナシタルモノトハ思考致シ難ク且最初渡航スル家

族移民ニハ実兄弟姉妹及甥姪ノ加入スルヲ無制限ニ許スモ
 独リ呼寄ノ場合ニ限り局限セル程度ノモノトナス如キハ矛盾ノ嫌ヒ有之要スルニ契約書第十三条ノ解釈ニ就テハ尚ホ
 研究ノ余地アルベクト存候ニツキ其地在留移民取扱人ノ業務代理人ヲシテ更ニ充分其筋ト示談セシムルコトニ御取計
 相成度尚本件ノ如キ移民取扱人ノ契約上ノ疑義ニ涉リ候コトハ契約当事者間ニ於テ決定スヘキ事項ニシテ貴官ニ於テハ本省ノ命令又ハ関係移民取扱人ヨリ伯国官憲ニ紹介方ヲ願出タル場合等ニ非サレバ直接州政府当局者ヘ公文ニテ交渉セラル、如キ事無之様致度本件ハ稍ヤ我方ヨリ問題ヲ招致シタルノ感有之候ニ付向後御注意相成度此段申進候也

註 別紙(関係地方長官宛通送第六三四号)ハ前掲ニ付省略

三六一 三月四日 在伯国畑公使ヨリ
 牧野外務大臣宛

伯国行移民ニ対スル伊太利政府ノ方針ニ関スル件

附記

大正二年十二月二十八日在伯国畑公使ヨリ牧野

外務大臣宛第一〇八号信

伊国移民伯国輸送禁止令取消ニ関スル件

動セリナド称セルハ全ク虚構ノ言ニシテ斯クノ如キ虚言ヲ弄シテ伯国政府ノ注意ヲ喚起セルハ甚ダ不都合ナリト攻撃シ且伯国ニ於ケル伊太利移民ノ待遇宜シカラザルコトニ論及シ尚ホ伊国下院ニ於テハ社会党ノ一議員「アンジエロ・カブリニ」氏ヨリ「ブリネッチ」令ノ存廃ニ関シ政府ニ質問シタルニ外務次官「ピエトロ・デイスカレア」氏ハ之ニ対シ答弁シテ曰ク該令撤廃セラル、ニ至ルナラントノ伯国某々新聞ノ報道ハ全然無根ノ虚説ナリ我ガ移民参事院ハ伊国人ガ船賃無料若クハ一部補助ノ恩典ニ浴シテ伯国其他ニ移住スル禁令ヲ緩メ若クハ廃止スルコトハ直接間接ヲ問ハズ之ヲ許容セサルベシ又伊国政府ハ移民出稼先ノ何国タルヲ論ゼズ旅費ノ支給若クハ移住奨励金ヲ受クル如キ手段ヲ用ヒテ移住ヲ挑発スル人ヲ為シ誘致ヲ抑止スルコトニ関シテハ固ク決心スル所アリト雖、海外ニ移住セントスル伊国移民ニ関シ箇々ニ真摯且合理ナル特別ノ提議ヲナス者アル場合ニハ法律ニ遵由シテ之ヲ受理審査スルニ躊躇セザルベキ旨ヲ述ベタルヲ以テ質問者ハ此弁明ニ対シテ満足ノ意ヲ表シタル後、更ニ語ヲ継ギテ我ガ政府ガ移民政策ヲ變更スルニ意アルカノ如キ憶説ノ流布ニ努メ以テ此事ニ熱中セル輩

通公第二〇号

(四月十八日接受)

伊太利政府ハ依然トシテ千九百二年ノ「ブリネッチ」令ヲ固執シ自国移民ガ外国政府ノ補助ニヨリ海外ニ渡航スルコトヲ禁止セルヲ以テ伯国側ヨリ其融和策ニ関シ頻リニ運動スル所アリ客歲十二月ニ至リ伊太利人「ドナト・パテリ」ナル者右「ブリネッチ」令取消ニ関スル用務ヲ帯ビ且伯国当局者ト具体的打合セヲ為サンガ為メ来伯セリト声明シ当国新聞記者ニ向ヒ伯国農務卿ハ先ヅ伊国ニ於テ多数ノ會員ヲ有スル農業労働者聯合会ヲ動カシ同会ハ更ニ移民参事院ニ向ツテ運動シタル結果、一定ノ保障条件ノ下ニ該聯合会員ヲ移民トシテ渡伯セシムルモ差支ナキコトニ同参事院ノ評議一決セリ云々ト談話シタル趣ハ客年十二月二十八日附公第一〇八号ヲ以テ及具報置候通りニ有之候処其後当国新聞紙上ニ現ハレタル羅馬通信ニ依レバ右「パテリ」ノ談話ハ其本国ニ於テ大ニ物議ヲ醸シタルモノト相見エ就中伊国政府ノ半官報ヲ以テ目セラル、「トウリブナ」新聞ノ如キハ当国新聞ニ掲記セラレタル「パテリ」ノ談話ニ関スル記事全文ヲ転載シタル上同人ガ伯国行移民ノ渡航認容ニ関シ伊国政府ノ同意ヲ得タリトカ或ハ移民参事院ト協議ノ上行

ノ無謀ノ挙ハ政府ニ於テ之ヲ排除セザルベカラズト論ジ尚ホ特別ノ場合ニ許容セラルベキ除外例ノ下相談ハ危険ナル旨ヲ政府ニ注意シ質問者ハ移民参事院ヲ信認スル者ナルヲ以テ同院ニ於テハ常ニ事件ヲ綿密ニ審査シ伊国移民全体ノ利益ヲ考慮セシメ度シトノ希望ヲ述ベタル趣ニ有之尚ホ最近ノ羅馬發電報ニ依レバ曩ニ伯国經濟界ノ不況ニ鑑ミ同国移住ノ不利益ナル旨ヲ移民参事院ヨリ布告シ置キタルヲ今回更ニ同一ノ趣意ヲ以テ伯国現下ノ不景氣回復スルマデ当分ノ間成ルベク移民ノ渡伯ヲ中止セシムル様再ビ達示シタル由ニ有之候

以上ノ事実ヲ綜合スルニ伯国行移民ニ対スル伊国政府ノ方針ハ十年以来一日ノ如ク「ブリネッチ」令ヲ嚴守シ自費渡航移民ノ外ハ自国民ノ伯国ニ移住スルヲ許可セザルモノト存ゼラレ候ニ付曩ニ青柳郁太郎ガ憂慮シタル伊国政府ノ態度一変ノ為メ当国ニ於ケル本邦移植民事業計画ノ上ニ不利益ヲ来スコトナキヤトノ懸念ハ當時上申致置候

本使ノ見込通り敢テ顧慮スルニ足ラザルコト益々明白ト相成候様思考致候
 御参考迄右申進候 敬具

(附記)

公第一〇八号

(二月二十三日接受)

大正二年十二月二十八日

在伯

特命全權公使 畑 良太郎(印)

外務大臣男爵 牧野伸顯殿

伊太利国移民伯国輸送禁止令取消ニ関スル件

客月十九日附通機密第五号日伯航路開始並ニ本邦移民補助ニ付青柳郁太郎ノ計画ニ関スル拙信中伊太利移民伯国輸送禁止ニ関スル「プリネッチー」令ニ対シ伯国側ヨリ其融和策ニ関シ頻リニ運動中ナル趣申述ヘタル処過日伊太利人「ドナト、バテリー」ナル人右「プリネッチー」令取消ニ関スル用向キヲ帶ビ伯国当局者ト具体的打合ノ為メ渡伯シタル由ニテ同人ガ当国新聞記者ニ対シ同伴ノ成行ニ付語リタル大要ナリト称スルモノヲ見ルニ凡ソ次ノ如シ。

伊太利移民ヲ伯国ニ誘入スルコトハ「プリネッチー」令ノ為メ甚ダ困難ニシテ該令廢止ノ目的ヲ以テ從來試ミラレタル外交手段ハ悉ク失敗ニ了リ少クトモ現下該令ヲ廢止スルコトハ殆ンド不可能ナリ。

委員ヲ派シテ間接ナガラモ強硬ニ伊太利政府ニ説カシメタルヲ以テ斯ク双方ヨリ協力運動シタル結果ハ頗ル良好ニシテ移民参事院ニ於テハ同会ヨリ移民ニ与フル補助ハ或ハ会自身ノ費用ヲ以テスルモ或ハ伯国ノ費用ヲ以テスルモ可ナレトモ伯国ハ斯クシテ渡来スル移民ニ対シ契約ヲ以テ諸種ノ保障ヲ与ヘザルベカラズ又此等移民ヲ以テ産業組合制度ヲ基礎トセル一ノ農業植民地ヲ設置スベシトノ条件ノ下ニ其ノ會員ヲ移民トシテ伯国ニ渡航セシムルモ差支ナキコトニ評議一決セリ。

仍テ同会ハ伊国政府ノ同意ヲ得テ其會員中ヨリ移民ヲ伯国ニ向ケ渡航セシムル計画ニシテ同会ハ移民ヨリ請求アルトキハ其旅費支給ノ便益ヲ与フル旨ヲ之ニ知ラシムルヲ要ス。

予ノ来伯ハ正ニ上述セル契約案ト移民参事院ノ決議トヲ調和シテ伯国農務省ト商議ヲ為サンガ為メナリ。

不幸農務卿ノ交迭アリタレドモ此ハ契約ノ基礎ノ認可ヲ受クル上ニ困難ヲ齎ラスコトナカルベシ何トナレバ所要ノ保障ハ大低孰レモ既ニ伯国ノ法律ガ移民ニ之ヲ許与セルノミナラズ此等保障ヲ与フルコトニ関スル商議ハ伊太

伯国農務卿ハ本件ヲ實際的ニ解決シ以テ伯国ヲシテ自由ニ伊太利移民ヲ受取スルコトヲ得セシメント欲セリ。

伊国ニハ前陳「プリネッチー」令ノ外尚ホ農業労働者聯合会ト名クル甚ダ有力ナル下級人民労働組合アリテ其實力ノ如何ニ大ナルカハ會員トシテ名簿ニ載セラレタル農民ノ数三十四万家族ノ多キニ達セルヲ見テ之ヲ察知スルコトヲ得ベク同会ハ土地耕作ニ従事スル者ノ利益ヲ保護シ且會員ニ利害關係ヲ及スベキ一切ノ問題ニ関シテ會員ヲ指導スルヲ以テ目的トス。伯国農務卿ハ即チ該農業労働者聯合会ニ対シテ運動ヲ始メ先ヅ移民ノ伯国渡航ニ関シテ伊国内ニ伝ヘラレタル惡意ノ報道ニ基因セル疑懼及忌避ノ念ヲ一掃シ次キニ伊太利出稼移民ノ一部ヲ伯国ニ向ハシムルノ利便ヲ了解セシメンコトニ努力セリ。而シテ幸ニ同会ノ贊助ヲ得タルヲ以テ此上ハ移民参事院ヨリ移民伯国行賛成ノ意見書ヲ得ルノ一事ヲ遺スノミトナレリ。

是ニ於テ同会ヨリ更ニ移民参事院ニ運動シタル結果同会ハ伯国ニ出稼スル伊太利人ノ安泰ニ関シ一種ノ保証者タルガ如キ地位ニ立ツニ至リ他ノ一面伯国農務卿モ亦運動

利政府ノ發意ニ基ケル事實アルヲ以テナリ

今回ノ企圖ニ基ク最初ノ植民地ハ之ヲ「パラサー」州ニ設置シ伊太利人一千家族ヲ入ル、筈ナリ

右伊太利ノ計画ハ前記ノ如ク先ヅ「パラナー」州ニ殖民地ヲ造ルニアリテ本邦移民ニ直接何等ノ關係ナク且ツ將來続々伊太利移民ノ移入ヲ見ルニ至ルトスルモ曩ニ拙信通機密第五号中ニ述ヘタル如ク本邦移民事業ニ及ボス影響ハ極メテ微弱ナルベシト予想セラル、モ兎ニ角伊太利移民ハ当国ニ於ケル移民ノ大宗ニシテ当国政府モ亦タ其移入ヲ希望シ居ル事故同国移民ノ状況ハ我移民事業發展上ヨリ見テ多少ノ注意ヲ払ハサル可ラザルモノト思考致候就テハ本使ニ於テモ聞込次第報告ヲ怠ラサル考ニ有之候得共尚ホ本省ニ於カレテモ伊太利本国ニ於ケル伯国行移民ニ関スル事情御取調相成リ必要ノ事項御垂示相成候様致度不堪希望候
右報告旁及稟請候 敬具

三六二 三月五日

牧野外務大臣ヨリ
在伯国畑公使宛(電報)

「サンパウロ」州行本邦移民解約問題ニ関シ
同州政府ニ対シ現状維持又ハ補助金減額ニ依

ル契約維持ノ運動方針決定並青柳ノ計画中止ノ件

附記 伯国行移民補助契約解除一件

第一号

貴電第一五号ニ関シ

御意見ノ次第ハ諒トスル処ナルモ実行上困難アルノミナラズ尙調査ヲ要スル点モ有之ニツキ差向キ兩移民会社ヨリ州政府ニ対シ現状維持ノ運動ヲナシ右意見込ナキ場合ニハ補助金ノ幾分減額ヲ承諾ノ上(手数料ノ一磅ハ必ス含ムトシテ)契約ヲ維持スルノ運動ヲ試マシメ万一是亦到底成立シ難キ場合ニハ更ニ考量ヲ加フル事ト致シタク会社ヨリモ右ニヨリ夫々代理人ニ訓令スル筈ニツキ貴官ニ於テモ右ノ運動ニ対シ相当ノ援助ヲ与ヘラルベシ隨テ青柳ノ移民一万人ノ計画ハ一先ヅ中止セシメラレタシ

(附記)

伯国行移民補助契約解除一件

(大正三年三月通商局調)

明治四十三年中移民取扱人東洋移民会社及竹村与右衛門ガ各自伯国「サンパウロ」州政府ト締結シタル移民供給契約

聯スル人種の並ニ社会的問題モ研究ヲ要スルモ右ハ未定ニ属シ今回ノ処置ニハ關係ナシ云々

因ニ曰ク自由農業移民補助ニ関スル「サンパウロ」州法律ノ規定左ノ如シ

「サンパウロ」州移民民法抜萃

「第八十条 農業自由移民ニハ乗船港ヨリ「サントス」迄ノ三等船賃ノ全部又ハ一部ヲ償還スヘシ但右移民ハ可適労働者三人ヲ有スル家族移民タルヲ要ス」

前記規定ハ一般外国人一様ニ適用サルルヲ以テ日本人モ亦同様ノ惠遇ヲ受クヘキモ實際幾何ノ補助金ヲ得ヘキヤハ從來先例ナキヲ以テ不明ナリ

依テ政府ハ更ニ畑公使ニ電命シテ必要ノ取調ヲナサシメ且ツ意見ヲ徴スルトコロアリ其結果關係移民会社ニ於テハ考量ノ末先以テ州政府ニ対シ現状維持ノ運動ヲナシ万一不成効ノ場合ニハ其後ノ態度ニ関シ更ニ考究スル筈ニシテ政府ニ於テモ公使ニ訓令シ必要ノ後援ヲ与フルトコロアルヤ勿論ナリ

三六三 三月十三日

在伯国畑公使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

ノ要点左ノ如シ

一、毎年千五百名以内ノ農業移民ヲ四、五、六月中ニ到着セシムルコト

二、家族構成条件ハ原則トシテ十二歳以上四十五歳以下ノ可適労働者三名以上タル事

三、州政府ハ渡航費トシテ十二歳以上ノ移民一名毎ニ英貨九磅(十二歳以下之ニ準ジ減減ス)ヲ補助シ内幣磅ハ手数料トシテ移民取扱人ニ支払フ事

四、当事者ノ一方ハ最近移送ノ移民到着後二ヶ月以内ニ何時タリトモ契約ヲ解除スル事ヲ得ル事

然ルニ大正三年一月中旬東洋及ヒ竹村ガ州政府ヨリ承知シタル所ニヨレバ同政府ハ本年春季移民輸送終了後現契約ヲ解除スヘキ意向ナルコト明トナレリ而シテ解除ノ理由トシテ在伯国我公使ノ査報セル処左ノ如シ

州農務長官ノ野田通訳官ニ説明セル処ニヨレハ右ハ主トシテ州ノ財政上ノ都合及一般經濟界ノ不景氣ノタメ單ニ日本人ノミナラス全体ニ官費補助移民數ヲ減スルノ必要アリ然ルニ契約ヲ以テ補助スルハ且下日本人ニ限ラレ居ルヲ以テ今回之ヲ補助ヲ中止セント欲ス日本人移入ニ関

「サンパウロ」州行本邦移民解約問題ニ関スル訓令ニ対シ意見上申ノ件

第一九号

貴電第一一五号ニ関シ

往電第一五号上申ノ方法目下実行困難ナル趣ヲ以テ御採用相成ラザリシハ本使ノ大ニ遺憾トスル所ナルト同時ニ現契約繼續運動ノ余地ナキコトハ反覆上申シ置キタルニ拘ハラス其余地アリト御認定相成リタルハ如何ナル根拠ニ基カレシモノナルヤ甚タ了解ニ苦シム所ナリ若シ此ノ際際ヒテ現狀ヲ維持セントセハ有力ナル大政事家等ノ力ヲ借り農務長官ヲ圧迫スルノ外ナク然ルトキハ其ノ成否ニ拘ハラス現ニ日本人ニ好意ナキ同長官ノ感情ヲ根本的ニ害シ排日ニ急転セシムルノ虞アリ將又補助金減額ノ提議ノ如キハ將來ニ向ヒテ一大惡例ヲ殘スモノニシテ決シテ良策ニアラスト信ス故ニ此ノ際際ハヘキ策ハ法律ノ規定ニ準拠シ州政府ヨリ輸送者ニ補助金ヲ支給スル移民ヲ誘入スルニ在リテ一人八磅ニテ春秋二回ニ六千人ヲ輸送スル協定ヲ為スコト必スシモ難事ニアラサルヘシ又自費渡航ヲ希望スル移民ハ家族構成ノ条件ニ適合セサルモノト雖許可スルコトニ改メラレタシ

兩代理人モ全然本使ト同意見ニシテ本社ノ再考ヲ電請スル趣ナルカ本件ニ関シテハ往電第一二号中ニ御詮議ノ決定前御垂示ヲ稟請シ置キタルモ御採用ナカリシタメ兩取扱人ニ御達相成ル前ニ前陳ノ卑見ヲ陳ブル能ハサリシハ遺憾至極ナリ

尚州政府ト交渉ニ際シテハ青柳ヲ利用セシムルコト得策ナリト信スルニヨリ此ノ点特ニ兩取扱人へ御垂示ヲ請フ

三六四 三月二十日 牧野外務大臣ヨリ
在伯国畑公使宛(電報)

「サンパウロ」州政府ヨリ一人八磅補助協定
ノ成効見込等ニ付問合ノ件

第一三号

貴電第一九号ニ関シ

現状維持ハ貴官ニ於テ成効ノ望ヲ有セラレタル次第ニアラサルモ尚青柳ノ運動ヲ容認セラレタル次第ニ付当方ニ於テモ為念現状維持ヲ第一案トシタルニ過キサルモ御申越ノ如キ次第ナルニ於テハ強テ之ヲ主張スルノ意ナク殊ニ州政府ヲシテ一人八磅ノ補助ヲ与フル協定ヲ承諾セシムル望アルニ於テハ結局実益上現状維持ト大差ナキニ付之ガ運動ヲ試

ミ可然ト思考セラルルモ實際右運動ハ州政府ヲシテ財政上現契約ト略同様ノ負担ヲナサシムルモノナルニ拘ラス尚成効ノ見込アリヤ回訓ヲナスニ先チ今一応貴見承知シタシ尚右補助ハ移民業者ニ与フル意ナリヤ又ハ海運業者ニ与フル意ナリヤ併セテ回電アレ青柳利用ノ儀ハ兩会社へ申通スベシ

三六五 三月二十日 牧野外務大臣ヨリ
在桑港沼野總領事代理宛(電報)

「サンパウロ」州政府加州日本人状態調査ノ
実否問合ノ件

第二一号

新聞電報ニヨレハ伯刺西爾國「サンパウロ」州政府派遣委員目下在加州日本人状態ヲ調査中ナル趣右事実ナリヤ

註 三月十七日ノ時事新報ハ三月十五日桑港電報ヲ掲載セリ

三六六 三月二十日 在桑港沼野總領事代理ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

「サンパウロ」州政府ノ加州日本人情況調査
ニ関シ回答ノ件

第八〇号

第二〇号

貴電第一三号ニ関シ新規ノ方法ハ州政府カ毎年予算ニ計上スル移民輸送補助金ノ範圍内ニ於テ各国海運業者同様ノ權利ヲ得ルニアリテ現契約ノ如ク州政府ニ特別負担ヲナサシムルニアラス且日本移民ノミニ与ヘ来リシ待遇ヲ改メテ之ヲ歐洲移民ト同一ナラシメントスル農務大臣ノ趣意モ立ツ次第ニ付当業者ニ於テ尽力次第十分成効ノ見込アリト信ス尚右補助ハ海運業者ニ与ヘタル義ナレハ移民会社ハ其名義ヲ變更スル必要アルヘシ詳細ハ一月二十六日通機密第二号及二月二十一日通機密第三号拙信御参照アリタシ

註 右電報ノ趣旨ハ三月二十八日坂田通商局長ヨリ川田東洋移民合資会社社長及水野南米植民社社長宛通達セラレタリ

三六九 三月二十六日 牧野外務大臣ヨリ
在伯国畑公使宛(電報)

「サンパウロ」州行本邦移民解約ニ対スル善
後措置ニ関シ畑公使ノ意見採用ノ件

第一六号

貴電第一九号並ニ二〇号ニ関シ

貴官ノ御申出ニ信賴シ御意見ノ通り兩移民会社ヨリ其筋へ運動スル筈ニ付右ニ對シ充分ノ援助ヲ与ヘラレタシ尚青柳ヲ利用スル事兩会社共異存ナシ委細兩会社代理人ヨリ聞取ラレタシ

三七〇 三月三十一日 在伯國公使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

「サンパウロ」州政府ノ加州日本人情況調査

「ラムブレイア」ニ委託ノ動機回答ノ件

第二二號

貴電第一四號ニ關シ南米諸國ハ夙ニ北米ノ本邦移民問題ニ注意シ「サンパウロ」州農務大臣モ明治四十年十一月五日公信第六七號拙信ノ通日本人誘入ノ可否ヲ攻究スル為委員ヲ北米ニ派遣シタルコトアリ又現任農務大臣モ本邦人誘入ニ依ル將來ノ影響ニ關シ研究ヲ進メ現ニ巴奈馬博覽會委員ニ囑託シ北米ニ於ケル本邦移民ノ調査ヲ行ハシメ居ル旨通機密第二號拙信報告シ置キタルガ右委員ハ Lampreia 氏ナリ同氏ノ意見ハ我滯伯移民ニ大關係アルニ付若シ我ニ有利ナル復命ヲナサシムル方法ヲ講セラル、ヲ得ハ最モ好都合ナリ

三七二 四月十三日

在リオデジャネイロ松村總領事ヨリ
牧野外務大臣宛

「ブラジル」行呼寄移民旅費補給資格ニ關スル件

附屬書一

大正二年十一月二十八日付在「リオデジャネイロ」野田總領事代理ヨリ「サンパウロ」州農商工部長官宛書翰訳文

二 大正二年十二月九日附右返翰訳文

三 「サンパウロ」州移植民規則抜萃訳文

通領第一九號

大正三年四月十三日

(五月二十二日接受)

在リオデジャネイロ

總領事 松村貞雄(印)

外務大臣男爵 牧野伸顯殿

本件ニ關スル客年十二月十五日附領第六四號具申ノ次第ニ對シ本年二月二十三日附通送第七號貴信ヲ以テ縷々御來示ノ趣閱悉致シ候然ル処移民契約第十三條ノ解釈ニ關スル本省ノ御意見ハ本官ノ見所ト著シキ懸隔有之候ノミナラズ該規定ニ謂フ所ノ移民ト當館ニ於テ与フル呼寄証明ノ關係並ニ該契約條項ノ疑義ニ關シ州政府當局者ニ公文照會ヲ為

三七一 四月二日 牧野外務大臣ヨリ
在桑港沼野總領事代理宛(電報)

「サンパウロ」州政府ノ加州日本人情況調査

ニ便宜供与方ノ件

第二五號

在伯公使ヨリノ報告ニヨレハ貴電第八〇號ノ Lampreia 氏ハ桑港博覽會準備委員ニシテ「サンパウロ」州農務長官ノ囑託ニヨリ本邦移民ノ調査ヲ為シタルモノニテ同氏ノ復命報告ハ「ブラジル」ニ於ケル我移民ノ將來ニトリ重要ナル關係アル儀ト思考セラル、ニ付同氏再度貴地方面ヘ出向キタル節ハ前回同様十分ノ便宜ヲ与ヘ先方ノ好感ヲ博スル様勵メラルベシ尚同氏貴地出發後屬僚ノ貴地ニ殘留スル者アラバ同様ノ心得ニテ待遇セラルベシ

(欄外註記)

「同氏ハ三月十八日紐育ヘ向ケ桑港ヲ去リタリ

同氏滯桑中沼野領事ハ官邸午餐ニ招キ又在米日本人會ハ乾書記長ヲ視察ニ同行セシメタリ(最初川上氏同行ヲ領事館ヨリ依頼シタルガ同氏差支アリ乾氏之ニ代ハレリ)」

スニ至リタル事情等ニ就キテモ誤解相成居リ候点點カラザル様相見受候ニ付左ニ逐一弁明ヲ試ミ尚ホ今後心得ノ為メ御垂示ヲ仰ギ度ク候

第一、移民契約第十三條ノ解釈ニ就テ

既ニ「サンパウロ」州内ニ定住セル家族ト同居センガ為メ渡來スル本邦移民ニ付シ現行法令ノ範圍ニ於テ八磅以内ノ渡航費還附ヲ行フベシトノ現移民契約第十三條ノ規定ハ明治四十年十一月六日調印ノ州政府及元皇國殖民合資会社間第一契約及翌四十一年十一月二十五日改締ノ第二契約ニハ存在セズ同四十四年十月四日附州政府及竹村移民取扱人間ノ第三契約中ニ初メテ之ヲ挿入シ尋イデ同年十一月十二日附州政府及東洋移民合資会社間ノ契約ニモ其儘該規定ヲ採用シタルモノニ有之右條項ノ解釈ニ關シテハ同年十月十五日附公第九八號信ヲ以テ該契約書原訳全文ヲ進達スルニ際シ野田臨時代理公使ヨリ左ノ如ク上申致シアリ候

新ニ第十三條ノ規定ヲ挿入シタルコトモ亦確ニ新契約ノ一勝利タルベク候何トナレバ千九百十七年四月十日ノ州令第千四百五十八號ヲ以テ公布セラレタル現行移植民法施行細則第一百一条乃至第一百一十條ニ拠ルトキハ年齢十二歳

以上ノ可適労働者少クモ三名ヨリ成ル家族若クハ既ニ州内ニ定住セル家族ト同居セントスル年齢二十一歳以下ノ独身者ニシテ「サントス」港マデノ旅費ヲ自弁シ来著後耕地又ハ植民地ニ入りテ農業ニ従事スル者ニハ州政府ヨリ三等旅費ヲ還附スベキ旨ヲ規定シアリ然ルニ右ハ従来専ラ歐洲移民ノミニ適用セラレ本邦自由移民ニ対シテハ其旅費少クモ歐洲移民ノ二倍以上ニ達スルガ故ニ之ヲ適用セザルモノト解釈セラレタリシガ今回挿入ノ新条項ニヨリ本邦自由移民ニ対シテモ日本ヨリ「サントス」港マデノ三等船賃ノ内八磅マデハ現行法規ノ定ムル条件ニ從ヒ之ヲ還附スルコト、相成リタルガ故ニ有之候

仍チ本条項ノ解釈ハ既ニ契約調印ノ当時ヨリ一定致シ居リ契約条文ト移植民規則ノ明文トヲ彼是對照査閱スルニ於テハ事理極メテ明瞭ニシテ単ニ本官上申ノ根拠トナレル農務長官ノ回答（別紙乙号訳文）之ヲ確ムルノミナラズ其後兩移民取扱人代理人ノ当館ニ申報セル所亦全然之ト同意義ニ有之候ニ付此上研究ノ余地アルベシトハ毛頭思考致サレズ候ヘ共御来示ノ如ク前任藤田總領事代理ニ於テ契約當時ノ精神ハ子女ノ外尚ホ実兄弟姉妹甥姪マデモ含マシムトノ解

御参考トシテ上申シ置クヲ適當ト思考致シ候要スルニ当館ニ於テモ契約第十三条ハ成ルベク広義ニ解釈セシムルヲ利益ト認メタルニ付仍チ農務長官ニ対シ別紙甲号訳文中ニ記載ノ通り契約第十三条ハ移植民規則第一百条（補款）ノ規定ヲ拡張セルモノニシテ苟クモ既ニ州内ノ農場ニ定住セル家族若クハ親戚ト同居センガ為メ當該農場ニ定住ノ目的ヲ以テ渡来スル農業労働者ナルニ於テハ其既婚未婚ノ別、年齢、親戚關係及各家族ヲ構成スル人数ノ如何ヲ問ハズ總ベテ日本移民ニ対シ州政府ヨリ旅費還附ヲ行フ趣意ナリト解釈セシメンコトニ努メタル次第ニ有之候

第二、契約第十三条ト呼寄証明ノ關係ニ就テ抑々在伯移民ガ自己ノ家族若クハ親戚ヲ呼寄セントスル場合ニ當館ニ於テ証明書ヲ下附スル例ヲ開キタルハ明治四十四年五月五日附公第五二号信ヲ以テ藤田臨時代理公使ヨリ提出ノ報告書第十三条ニ本邦移民ノ家族若クハ親戚呼寄ニ関シ被呼寄人ノ旅費貸与ヲ承諾スル耕主アリ「此類ノ呼寄ハ双方ノ便宜ナレバ許可シテモ差支ナキモノト思ハル」トノ意見開陳アリタルニ対シ同年六月二十三日附送第四四号ヲ以テ右「移民家族ノ呼寄ニ関シテハ貴館ノ証明アルモノ

釈ニ依ルベキ了解ヲ州政府当局者ヨリ非公然ナガラ得ラレタリトノ言明アル以上ハ必ズヤ何等カノ根拠ナカルベカラズト存ゼラレ候ニ付右根拠同官ニ就キ御確メノ上折返シ御明示相成候様致シ度尤モ公然ナラザル了解ヲ論拠トシテ事理明白ナル法律上ノ解釈ヲ左右スルコトハ頗ル困難ノ事業トハ存ジ候ヘ共兎モ角同官ノ言明ニシテ確實ナル根拠ヲ有スルモノナランニハ移民取扱人代理人ヲシテ更ニ其筋ト示談セシムル上ニトリテ我ニ有利ナル一材料タルベク候

尚ホ貴信中契約第十三条ノ規定ニ関シ關係者ニ於テ當時斯クノ如キ實際ニ適用ナキ契約ヲ為シタルモノト思考セラレズトカ或ハ矛盾ノ嫌ヒアリトカノ御批評ニ対シテハ當館ニ於テ弁明ノ責任ナキコト勿論ニ有之候ヘ共東洋移民合資会社ガ去ル明治四十三年十一月十二日ヲ以テ州政府ト移民契約ヲ締結スルニ當リ移民輸送ハ仏國馬耳塞マデハ日本郵船会社汽船ニヨリ同港ヨリ「サントス」マデハ仏國船ニヨリ計画ナリシニ拘ラズ其第十条ニ於テ日本ヨリ伯國ニ至ル移民直輪汽船ニ関シ竹村契約ト同一ノ規定ヲ設ケタル如キ（明治四十三年十二月十日附公第一二八号御参照）實際ニ適用ノ見込ナキ条項ヲ規定セル好箇ノ実例アルコト丈ケハ

ハ渡航許可スルコトニ相成居候」旨ノ御回示アリタルニ基因シ元々移民契約第十三条ト何等ノ關係ヲ有シ居ラザルコト御了解ニ難カラザル所ト思考致シ候換言スレバ當館ニ於テ呼寄証明ヲ与フル趣旨タルヤ呼寄人ガ現ニ耕地植民地等ニ在リテ農業其他ノ正業ニ従事セルコト及被呼寄人渡航ノ上ハ呼寄人ハ之ヲ自己ノ家族ニ組入レ一致協力シテ其業ヲ励ムカ又ハ自己ノ家族ニ組入レザルモ其所在地ニ於テ労働口ニ就カシメ得ル見込アルコトヲ証明セザレバ渡航許可ヲ与ヘラレザル御方針ナルニヨリ仍チ之ニ遵由シタル次第ニ有之決シテ被呼寄人ガ契約第十三条ノ規定ニ適合シ旅費還附ヲ受クル資格アル旨ヲ証明スル意義ニアラザルコトハ明治四十四年十二月十六日附領第四二号信中「別記既ニ交附済ノ分ハ勿論今後発附ニ係ルモノモ農業移民又ハ確實ナリト認メラル、工業ニ従事スルモノニ有之候ニ付渡航御許可並ニ其他ニ関シ特ニ便宜ヲ与ヘラレ候様御措置相成度」旨藤田總領事代理ヨリ上申アリ又大正元年十一月二十五日附領第五二号信ヲ以テ更ニ同官ヨリ「当國「サンパウロ」州農場ニ於テ労働中ナル移民ノ親戚家族呼寄ニ関シ當館ニ於テ差支ナシト認メ今日迄呼寄証明書ヲ下附セシモノハ別表

記載ノ通りニ有之候云々」ノ上申アリタルノミニテ契約第十三条ノ規定ニ合格セルモノト認メ証明書ヲ発附セリトノ申報一モ無之ニ徴シ愈々明白ニ可有之ト存ジ候從ツテ今回ノ貴信中「既ニ本件ニ関シテハ明治四十五年二月二十二日附送第七号貴館宛（実ハ公使館宛）通牒ノ末文ニ於テ呼寄家族ノ意義明瞭ナラザルニヨリ在伯領事ニ於テ其他ノ事情ニ徴シ証明ヲ与フベキ旨訓達ノ次第有之貴官ニ於テモ從來前示程度ノ者ニ対シ呼寄証明書ヲ発給セラレ居リ候ハ前記ノ了解ト符号致スモノト存候」トノ御来示ハ呼寄証明ナルモノ、本来ノ趣旨ニ関シテ根本的ニ誤解ヲ有セラル、結果ニ外ナラズト了解致シ候

第三、本件ニ関シ州当局者ニ公文照会ヲ為スニ至

リタル事情ニ就テ

却説明明治四十四年末マデニ当館ニ於テ呼寄証明書ヲ下附シタル被呼寄人ノ数ハ累計二十六名ナリシガ此内翌年四月蔵島丸ニ便乗シテ渡航シタルハ福島県人五名、熊本県人一名計六名ノ少数ナリシヲ以テ州政府ハ之ガ旅費還附ヲ行フニ当リ別段ニ注意ヲ払ハズ只竹村移民取扱人ノ業務代理人ガ請求セル儘ニ殆ど何等ノ調査ヲ為サズシテ快ク一名ニ付八

磅宛ヲ支給シタルニヨリ契約第十三条ノ解釈ニ関シテハ何等問題ヲ惹起スルコトナカリシモ其後呼寄証明ノ出願大ニ増加シ明治四十五年（大正元年）中当館ニ於テ証明ヲ与ヘタル被呼寄人ノ数合計二百九十名ニ上リ客年五月第二雲海丸ニテ五十七名、若狭丸ニテ七十二名合計百二十九名ノ呼寄移民来着シ兩移民取扱人代理人ヨリ其渡航旅費還附ヲ州政府ニ出願スルニ及ビテ茲ニ初メテ該条項ノ解釈ニ関シ問題發生シタルモノニ有之候是ヨリ先キ若狭丸便乗呼寄移民ノ内ニテ「ソブラド」耕地ニ就地シタル福島県人一同ヨリ何時頃旅費還附ヲ受ケ得ラルベキヤ承知致シ度旨九月十五日附ニテ当館ヘ伺出デタルニヨリ仍チ同月二十九日附ニテ東洋移民会社業務代理人ニ問合セタル処十月一日附ヲ以テ右呼寄移民ノ渡航補助金ハ契約移民ノ分ト共ニ州政府ニ請求シタルモ法令ノ規定ニ適合セザルモノトシテ支払ヲ受クルニ至ラザリシニ付再度交渉ヲ試ミ目下尚ホ縣案中ナレバ確答ヲ為ス能ハズト返答シ来リタルノミニテ爾來該交渉ノ結果ニ就キ同代理人ヨリ約二ヶ月ノ久シキ何等ノ報告ヲ得ズ然ルニ一面次回即チ本年ノ移民船ニ便乗渡航セシムル目的ニテ当館ニ呼寄証明ヲ出願スル者続出（昨年中証明ヲ与

ヘタル被呼寄人ノ数合計千二百有余名ノ多キニ達セリ）シタルニヨリ既渡航者ニ対スル補助金ニシテ縣案中ニ属スルモノハ別問題トシ将来一層多数来着スベキ呼寄移民ニ対シ州政府ハ契約第十三条ニ從ヒ旅費還附ヲ行ハルベキヤ否ヲ確メタル上早便之ヲ本省ニ報告シ差向キ渡航期切迫セル多数ノ被呼寄移民ト移民取扱人ノ間ニ誤解ノ生ズルヲ未然ニ防グベキ必要相生ジ候モ代理人ノ交渉ニ一任シタルノミニテハ既記ノ如ク容易ニ埒明カザリシヲ以テ茲ニ野田總領事代理ハ已ムヲ得ズ直接農務長官ニ問合セヲ為スニ至リタル次第ニシテ事件ハ既ニ三四ヶ月以前ニ發生シ居リ決シテ我方ヨリ招致シタルモノニアラザルコトハ前陳ノ事情並ニ問合公文ノ内容ニ照ラシ十分御了解可相成答ト存ジ候而シテ竹村取扱ニ係ル第二雲海丸便乗ノ呼寄移民ニ関シテモ同様ノ事情アリシニ付右公文照会ト同時ニ更ニ兩移民取扱人代理人ニ対シ本件ノ成行至急回報方達シ置キタル処竹村ノ永島代理人ヨリハ十二月十三日附（同十七日接到）ヲ以テ第二雲海丸ニテ来着シタル呼寄移民五十七名ノ内三個ノ家族ヲ構成セル十六名ニ対シテハ移植民規則第一百一条ニヨリ渡航費補助金ノ交付ヲ受ケタルモ残余四十一名ノ单独移

民ハ同規則ニ從ヒ耕主呼寄移民トシテノ手續ヲ経ザリシ者ナリトノ理由ニヨリ補助金支給ヲ拒絶スル旨当局ヨリ指令アリタル旨ヲ申報シ又東洋ノ田口代理人ヨリハ同月十六日附（二十二日接到）ニテ本邦呼寄移民ハ移植民規則ニ規定セル耕主呼寄移民ニアラザルヲ以テ補助金支給ヲ拒絶スル旨州政府ヨリ説明アリタルニ付更ニ契約第十三条ヲ指摘シ且竹村取扱ニ係ル前年度呼寄移民（蔵島丸渡航者六名）ノ前例ヲ援キテ再願シタルモ今ニ下附ヲ受クルニ至ラズ要スルニ州政府ハ此請求ニ応ズル意志ナキモノト認メラル、旨ノ回答有之斯ク兩代理人ニ於テ州当局者ト示談ヲ重ネタル顛末ハ夫々之ヲ移民取扱人ニ報告シ後者ヨリ更ニ本省ニ上申シタル答ト相考候

兎ニ角本件ニ関シ野田總領事代理ガ直接州政政当局者ニ公文ニテ交渉シタルハ去ル明治四十四年四月二十二日附公文ヲ以テ藤田臨時代理公使ヨリ農務長官ニ五箇条ノ質問ヲ発セラレタル等ノ先例ニ徴ヒタルモノニ有之候ノミナラズ其目的タルヤ既述ノ通り既渡航者ノ旅費還附ニ関スル實際問題ヲ離レテ別ニ契約者ノ一方タル州政府ノ意向ヲ確メ契約第十三条ノ解釈如何ニ密接ノ利害關係ヲ有スル向後ノ呼寄

移民多数ノ利益ヲ保護セントスルニアリテ決シテ關係移民取扱人ヲ差措キ之ニ代リテ契約上ノ疑義ヲ決定セント試ムルガ如キ非常識ノ拙策ヲ弄シタルモノニ無之如上ノ事情ノ下ニハ寧ロ適當ナル臨機ノ措置ニシテ毫モ非難ヲ受クベキ性質ノモノニアラザル様思考セラレ候

第四、其他注意ヲ要スル二点ニ就テ

又前項永島代理人ノ回報中呼寄移民五十七名ノ内三箇ノ家族ヲ構成セル十六名ハ既ニ州内ニ定住セル父母ト同居センガ為メ渡来シタル年齢二十一歳以下ノ未婚ノ子女トイヘル契約第十三条ノ解釈ニ適合セザル移民ナルニ拘ラズ旅費還附ヲ受ケタルハ畢竟移民契約第十二条ニ於テ「現行移植民規則ノ規定ニシテ本契約ノ規定ニ抵触セザル者ハ仍チ本契約ノ一部トシテ効力ヲ有スベシ」トノ明文アルニ基キ仍チ規則第一百一条本文ニ照シ十二歳以上ノ可適労働者三名以上ヨリ成レル家族トシテ旅費還附ヲ受ケタルモノニ有之而カモ其還附金額ガ乗船港ヨリ「サントス」港マデノ三等旅費トシテ支出シタル全額ニアラズシテ大人一名八磅宛ナリシハ即チ契約第十三条ノ規定ヲ適用シタルモノナレバ結局該条項ハ家族ヲ構成セル本邦自由移民ニ旅費ノ一部還附ノ途

ヲ開ケルモノナルコト第一項ニ引照セル野田臨時代理公使説明ノ通りニ有之候

最後ニ兩代理人ノ回報中ニ見エタル耕主呼寄移民ナルモノハ現行移植民規則第七十二条乃至第七十九条（別紙丙号訳文）ニ詳細ノ規定アリテ我ノ所謂呼寄移民若クハ契約第十三条ニ規定セル在伯家族ト同居センガタメ渡来スル移民トハ自ラ別物ニ有之候ニ付委細別紙ニ就キ御詳悉ノ上彼是混同相成ラザル様希望致シ候

此段申進候 敬具

（附屬書一）

別紙甲号

在「リオデジャネイロ」野田總領事代理ヨリ

「サンパウロ」州農商工部長官宛書翰訳文

千九百十三年十一月二十八日

在リオデジャネイロ

日本總領事代理 野田 良治

「サンパウロ」州農商工部長官

「ドクトル パウロ・デ・モラエス・バルロス」殿

以書翰致啓上候陳者「サンパウロ」州政府ト日本移民取扱

来スル年齢十二歳以上ノ可適労働者少クモ三名ヲ以テ家族ヲ構成セル日本移民並ニ既ニ州内ニ定住セル家族若クハ親戚ト同居スル為メ渡来スル日本自由移民トハ共ニ均シク貴州ノ進歩ニ貢獻スルモノニシテ孰レモ農業労働ニ従事スル点ニ於テ彼是ノ間ニ寸毫ノ差異無之候

右ノ次第ニ付報告上ノ都合モ有之候間左記ノ疑問ニ対シ御説明ヲ仰ギ度ク候

第一問、既ニ州内ノ農場ニ定住セル家族ト同居スル為メ渡来スル日本自由移民ニ対シ此等移民ガ三名以上ノ家族ヲ構成シ居ラザル場合ニ於テモ尚州政府ハ英貨八磅ヲ還附セラル、ヤ

第二問、州政府ハ既ニ農場ニ定住セル家族若クハ親戚ノ呼寄ニ依リ之ト同居スルタメ自費ニテ渡来スル兄弟姉妹、從兄弟姉妹、甥姪等ニモ同様八磅ノ額ヲ還附セラルベキヤ

第三問、既ニ農場ニ定住セル父母ト同居スルタメ渡来スル年齢二十一歳以上ノ子女並ニ自己ノ子女ト同居スル為渡来スル年齢六十歳以下ノ父母ニモ同様ノ特典ヲ与ヘラル、ヤ

人竹村与右衛門及東洋移民合資会社トノ間ニ千九百十年十月四日及千九百十一年十月三十日附ヲ以テ夫々調印セラレタル二箇ノ同文契約書第十三条ニ拠レバ「既ニ州内ノ農場ニ定住セル家族ト同居センガ為メ自費ヲ以テ渡航シ農業ニ従事セル総ベテノ日本移民ニ対シ政府ハ旅費還附ニ關スル現行條例ノ規定ニ基キ金額八磅以内ニ於テ移民ガ支払ヒタル三等旅費ヲ還附スルコトヲ約ス」トノ規定有之候処該条文中圈点ヲ施シタル部分ノ解釈上疑義相生ジ候ニ付将来起ルコトアルベキ誤解ヲ避クル為メ貴局ノ御説明ヲ得度ク候尤モ当館ニ於テハ該契約条文ハ千九百七年四月十日官令第千四百五十八号第一百一条（補款）ノ規定ヲ拡張セルモノニシテ苟クモ既ニ州内ノ農場ニ定住セル家族若クハ親戚ト同居センガ為メ當該農場ニ定住ノ目的ヲ以テ渡来スル農業労働者ナルニ於テハ其既婚未婚ノ別、年齢、親戚關係及各家族ヲ構成スル人数ノ如何ヲ問ハズ總ベテ日本移民ニ対シ州政府ヨリ旅費還附ヲ行ヒ而シテ現行法令ノ規定ナルモノハ単ニ旅費還附ヲ請求スル手續ニ關シテノミ適用セラルベキ義ト解釈致居候

前記兩契約書第二条ニ從ヒ州政府ノ補助金支給ヲ受ケテ渡

右至急御回答ニ接シ度此段及問合候 敬具

(附屬書二)

別紙乙号

「サンパウロ」州農商工部長官ヨリ野田総領

事代理宛返翰訳文

S・第一二二一号

千九百十三年十二月九日

「サンパウロ」州農商工部長官

「パウロ・デ・モラエス」(手署)

日本総領事代理 野田良治殿

覆啓去ル十一月二十八日附貴翰ヲ以テ御照会相成候日本移民取扱人竹村与右衛門及東洋移民合資会社ト「サンパウロ」州政府間ニ千九百十年十月四日及千九百十一年十月三十日附ヲ以テ夫々調印シタル契約ノ解釈ニ関シテハ当該契約第十三条ハ千九百七年四月一日官令第千四百五十八号第一百一条補款ノ嚴格ナル意義ニ於テ解釈セラルベキモノニ有之該補款ハ其後ノ移民關係法規ヲ集成セル千九百十三年七月九日官令第千四百号ノ同条トシテ挿入セラレ居リ候仍テ「サンパウロ」州政府ハ貴館来信第一問ニ対シテハ既

ニ州内ノ農場ニ就地セル父母ト同居センガ為メ渡来スル年齢二十一歳以下ノ独身移民ニ限り總ベテ三等旅費英貨八磅ヲ還附スベク第二問及第三問ニ対シテハ旅費還附ヲ為サザル旨茲ニ及回答候 敬具

(附屬書三)

別紙丙号

「サンパウロ」州移植民規則抜萃

第二篇

第三章 呼寄移民ノ誘入

第七十二条 政府ハ本規則ノ定ムル所ニ從ヒ農場又ハ植民地ニ入ルベキ移民呼寄ニ対シ汽船会社ト協定シテ呼寄船切符ヲ発行スルコトヲ得

第七十三条 本州内ノ植民地ニ入り又ハ賃銀ヲ得テ農場労働ニ従事スベキ移民ノ誘入願書ハ之ヲ就業紹介所ニ差出スベク政府ガ州ノ費用ニテ呼寄船切符ノ供給ヲ契約セル汽船会社ノ代理店ニ此等移民ノ配当ヲ為シ以テ夫々其誘入ヲ実行セシムベシ

補款 該配当ハ書式Aニ從ヒ呼寄船切符ニ対スル支払命令ヲ以テ之ヲ行フベシ

第七十四条 前条ノ願書ハ書式Bニ從ヒテ認メー「ミルレイス」ノ州印紙ヲ貼用シタル上ニ

(イ) 州内ニ定住セル農場所有主又ハ

(ロ) 植民地ニ定住シ其地区代価ノ内少クモ第一回年賦

金ヲ納付シタル植民

地ニ署名スベシ

補款第一、賃銀労働者ヲ呼寄セントスル願書ナルトキハ就業紹介所ニ於テ発附スル当該移民手帳ノ印紙料トシテ被呼寄人ニ家族毎ニ「ミル」百「レイス」ノ金額ヲ添附スルコトヲ要ス

補款第二、農場所有主ハ其定住地市町村農務委員会長ノ署名シタル附屬書式Cニ拠ル証明書ヲ其願書ニ添附スベシ

補款第三、前補款ニ規定セル証明書ハ出願者自ラ其願書ヲ就業紹介所ニ提出シ且同所ニ於テ当人ノ州内定住農業者タルコトヲ認知シタル場合ニハ之ヲ省略スルコトヲ得ベシ

補款第四 就業紹介所長ハ其月中ニ発行シタル支払命令一覽表ヲ毎月末州農務長官ニ提出スベク且該表中ニ

ハ之ヲ分担セシメタル会社名、呼寄移民ノ人員、国籍、年齢、出発国、呼寄船切符ノ金額、其他該切符發行動態及之ニ基因セル政府ノ責任ヲ知悉スルニ必要ナル事項ヲ記示スベシ

補款第五 就業紹介所長ハ其年中呼寄船切符ヲ以テ到着シタル移民一覽表ヲ毎年末ニ州農務長官ニ提出スベク且同年中無効ニ帰シタル支払命令ヲ添示スベシ

第七十五条 自身出頭シテ願書ヲ提出スル能ハザルトキハ之ヲ郵送スルコトヲ得ベシト雖此場合ニハ出願者ノ農場所在地ノ市町村農務委員会長、植民地監理官又ハ其代理、若クハ出願者住居地ノ市町村役場書記ノ署名セル進達書ヲ附スベシ

第七十六条 農務長官ハ州ノ利益ヲ確保スル為メ適當ト思考スルトキハ呼寄移民ノ旅費トシテ支出スベキ金額ノ一部若クハ全部ニ相当スル保証金ヲ金庫ニ供託スベキコトヲ出願者ニ命ズルコトヲ得ベク若シ之ニ応ゼザルトキハ当該出願ニ対シ許可ヲ与ヘザルモノトス

補款第一 本保証金ハ移民ノ「サンパウロ」市移民収容所到着ヲ俟チ同所ニ於テ願書記載事項ニ符号セル移

民ナルコト検査ノ上判然シタルトキ直ニ之ヲ出願者ニ還附スベシ

補款第二 当該願書中ニ掲ゲラレタル移民ノ為メ發行シタル呼寄船切符ガ所定期間内ニ利用セラレザリシ結果トシテ無効ニ帰シタル場合ニ於テモ亦直ニ保証金取下ゲヲ許可スベシ

第七十七条 若シ出願ノ費用ニテ到着シタル移民ニシテ其願書中ノ掲記事項特ニ家族構成及其職業ニ関スル点ノ符号セザルコトガ移民收容所ニ於テ所長ガ臨機行フ所ノ捜探調査ニヨリ判明シタル場合ニハ該願書署名者ハ此等移民ノ旅費及州ノ支出セル費用ニ関シテ責任ヲ負フベシ但シ誘入会社ノ周旋ニ係ル場合ハ該会社之ガ弁償ノ責ニ任ズベシ

補款第一 前掲規定ノ実施上出願者ハ附屬書式Bニ從ヒ作製セル願書ノ備考欄ニ呼寄移民ガ誘入会社ノ周旋セル者ナル旨ヲ記入スルコトヲ要シ若シ之ヲ為サザリシトキハ出願者自ラ呼寄移民ノ資格ヲ知悉セルモノト見做シ前条ノ責任ハ之ヲ出願者ニ負ハシムベシ
補款第二 就業紹介所ハ若シ当該願書中ニ移民ガ誘入会

民誘入ニモ適用ス

〔附屬A号書式〕

州労働局

就業紹介所

移民呼寄事務

本支払命令ハ千九百……年……月……日附願書第……号ニ從ヒ……町村……停車場……ニ就地スベキ左記移民ノ為メ……港ヨリ「サントス」港迄ノ呼寄船切符大人……名分ニ対シ之ヲ發行ス

被呼寄人明細書

姓 名	親族関係	年齢	居住地	備考
何 某	何 々	……	……	

本支払命令ニ基キ附与シタル乗船券ハ其発給ノ日附後……箇月ヲ経テ被呼寄人ガ当市移民收容所ニ到着セザルトキハ当然無効ニ帰スベシ

船賃及其支払条件ハ千九百……年……月……日ノ協定ニ依ル

社ノ周旋ニ係ル旨ノ申告アリタルトキハ書式B呼寄船切符ニ対スル支払命令備考欄ニ其旨ヲ明記スルコトヲ要ス

補款第三 若シ当該願書中ニ申告セル所ト符号セザル移民誘入ニ関スル責任ガ誘入会社ノ負フベキモノナルトキハ此等移民ニ対スル船賃ハ之ヲ同会社ニ支払ハザルモノトス但シ願書署名者ノ責任ニ属スベキモノナルトキハ誘入会社ハ其供給シタル乗船券ノ金額ヲ受領シ願書署名者ハ当該金額ヲ直ニ金庫ニ納付スベキ告知ヲ受クベシ而シテ不納ノ場合ニハ司法手續ニヨリ徴収セラル、ノミナラズ尚ホ州ニ対シテ賠償ヲナサル間ハ同人ノ署名セル願書ハ一切受理セラレザルモノトス

第七十八条 政府ヨリ派遣セル外国駐在移民官ノ担任ニ係ル州ノ植民地行移民ニ対スル呼寄船切符ノ発行及請求ハ此目的ノ為メ特ニ農務長官ノ発スル訓令及其与フル権限ヲ以テ之ヲ定ムベシ

第七十九条 移民手荷物ノ保障、其紛失若クハ侵害ノ場合ニ於ケル賠償ニ関スル第六十七条ノ規定ハ之ヲ呼寄移

千九百……年……月……日

州労働局就業紹介所

〔附屬B号書式〕

州労働局

就業紹介所

移民呼寄事務

……停車場附近……町村ニ在ル……耕地ノ所有者タル下名何某ハ就業紹介所ノ手帳ニ掲記セラレタル一般の条件ノ外尚ホ左記ノ条件ニ從ヒ其所有耕地ニ小作労働者トシテ就地セシムベキ別記ノ者ヲ呼寄移民トシテ誘入致度此段及出願候也

咖啡千本ニ付 一ケ年 ……

草取 ……

咖実採取「アルケイレ」(五十「リトル」)ニ付……

日傭賃銀、食事附又ハ食事ナシ……………

咖啡千本ニ付……………ノ割合ヲ以テ物品貸売ヲナスコト

採取賃銀ノ支払及總勘定ハ……………ニ於テ行フコト

自作ハ……………ヲ栽培スルヲ許可ス

尚ホ下名ハ左記ノ申告事項ニ関シテ責任ヲ負ヒ可申候

証人 何 某

(「ミルレイス」州印紙貼用)

出願人 何 某

被呼寄人明細書(A号書式ニ掲グル所ト同一ニツキ略ス)

〔附屬C号書式〕

町村農務委員会

移民呼寄事務

.....町村農務委員長タル予何某ハ.....氏ガ当町村ニ.....ヲ所有シテ定住セル農業者タルコトヲ認知証明ス

千九百.....年.....月.....日

委員長 何 某

三七三 四月十六日 在伯国畑公使ヨリ
加藤外務大臣宛

伯国農務大臣ト会談報告並ニ聯邦移民規則改

正ニ対スル我希望事項ニ付請訓ノ件

機密第四号 (六月二日接受)

大正三年四月十六日

在伯

特命全權公使 畑 良 太郎(印)

外務大臣男爵加藤高明殿

本年三月二十四日附公第二六号拙信ヲ以テ申進置候通り本使ハ三月二十二日伯国聯邦農務大臣夫妻ヲ正賓トシテ宴会ヲ催シ候処同大臣ハ四月十二日夫人同伴答礼(答礼ノ遅延セルハ夫人ノ病氣ニ因ル)ノ為メ本使夫婦ヲ訪問シタルニ付本使ハ機ヲ見テ夫人ノ応対ヲ妻ニ任せ大臣ヲ隣接喫烟室ニ伴ヒ話題ヲ移民問題ニ移シ大要左ノ談話ヲ為シタリ

問 日本人ハ同化セザル人種ナリトノ説アレトモ余ハ然ラズト信ス例ヘハ歐洲人就中羅匈系統ノ國人ハ来伯後直チニ伯國人ト意思ヲ通スルコトヲ得即チ言語類似シ風俗習慣モ亦タ略相同シキヲ以テ直チニ伯國人ト同化スルノ觀ヲ呈ス之ニ反シテ日本人ハ第一言語風俗慣習ヲ異ニスルガ故ニ同化シ難キガ如ク解スルモノアルベシト雖モ其ハ言語風俗慣習ヲ異ニスルノ結果ニシテ日本人ノ天性ニ非ス例ヘハ英米独仏等二三、四年留学セル日本人ハ英ニ遊ビタルモノハ英風、仏ニ遊ビタル人ハ仏風ノ感化ヲ受ケ就中二十歳以下ニシテ八、九年モ留学シタルモノハ我々

ノ目ヨリ見ルトキハ何レモ己レノ留学地ノ風俗ニ心酔シ稍日本人ノ本性ヲ喪ウタルニハアラザルカトノ感ヲ為ス事アリテ日本人ハ寧ロ到處同化シ過ギルニハアラズヤト思ハル只タ言語風俗慣習異ナル為メ当初ノ間ハ同化シ難キ觀ヲ呈スルモ永ク同一ノ地ニ留ラバ自然第二ノ故郷タル感ヲ為スハ少クトモ他人種ト異ナル所ナク特ニ子ノ時代ニ至ラハ伯國ニ生レタルモノハ言語ハ勿論伯國人ト同一ニテ何等相異ナル所ナシト信ス彼ノ北米ニ於ケル排日ハ政治上經濟上及人種の偏見ノ結果ニシテ決シテ正當ノ理由アルニアラズ伯國ハ北米ト全然移民ニ関スル根底ヲ異ニシ土地肥ヘテ大ナルモ民少ク日本ハ之ニ反シテ年ニ六十万宛人口増加スルモ土地狭キヲ以テ日本人ヲ伯國ニ移住セシムルハ有無相通シ双方ニ取リテ非常ニ利益ナリト信ス「サンパウロ」農務長官ガ移民移入契約ヲ今回限リニテ廃止スル事ニ取極メタルハ少クトモ日本ニ対シ余リ好意ナキモノ、如シ同長官ハ日本人ハ今尚ホ試験中ナリト言ヒ居ル由ナレトモ日本人ガ同化スル人種ナル以上ハ日本人ノ多数移住ト日伯人ノ混血トハ伯國ノ為メニ決シテ惡結果ヲ来スモアラズト信ス貴見如何

答 北米ノ排日ハ經濟的政治等ノ原因ニ基キ同化難云々ハ口実ニ過キサルベシ自分ハ日本人ニ対シテ好意ヲ有スルモノニシテ日本人ニシテ来伯セハ法律ノ規定ニ從ヒ旅費ノ還付ヲ受ケ又二年後帰國セントスルモノニ旅費ヲ支給スル規定アリ(移住後二年以内ニ於テ寡婦又ハ孤児トナリ若クハ疾病又ハ負傷ノ為メ労働ヲナス能ハサルニ至リタルトキハ願ニヨリ旅費ヲ給シテ帰國セシムルノ条項アリ大臣ノ談ハ此条項ヲ指スモノ乎)船会社又ハ船主ト予メ人員及補助額ヲ約定スルモノナルモ日本ハ伯國トノ間ニ未タ航路ヲ有セサルヲ遺憾トス要スルニ中央政府ノ移民規則ハ州政府ノモノニ比シ頗ル移民ニ有利ナリ詳細事ハ来省アラハ殖民局長ヨリ説明セシムベシ、尤モ目下現行法ノ改正審査中ニシテ伯國ヲ踏台トシテ隣國ニ赴クモノ等ヲ防クモ其改正ノ一ナリ

問 右ノ外改正ノ要旨ヲ聞クヲ得ヘキヤ日本人ニ関シ何等特別ノ規定ヲ設ケントセラルルヤ

答 日本人ニ対シテニ規定ヲ設クル心算ナシ現ニ移民ニ対スル補助金ハ僅少ナリ自分ハ前任者ト異リ大ニ儉約主義ヲ執リ居レルモ移民ニ関シテハ大ニ經費ヲ増大シ補助ヲ

厚フセント心掛ケ居レリ改正ノ条項ハ未タ具体的ニ確言
スル程度ニ達シ居ラズ

問 中央政府補助ノ移民ハ中央政府ノ殖民地ノミニ容ルヘ
キモノナルヤ

答 中央政府ノ殖民地ニ容ルノミナラズ州ノ需要アルトキ
ハ中央政府ハ媒介者トナリテ契約セシム此場合政府ハ移
民ノ利益ヲ代表ス尚ホ目下改正審査中ニアルヲ以テ若シ
日本ニ希望アラバ何ナリト申出デラレタシ

問 御厚意ヲ謝ス若シ申出ツルトセバ何時迄ニ進達スヘキ
ヤ

答 五、六兩月ハ大統領ノ選舉審査等政治上多忙ナレバ七
月初メ迄ニ申出ラレタシ何レ議會ニ提出シテ協賛ヲ求メ
ザルベカラズ

問 大統領改選セラルルモ同党派ノ事故内閣員ニ大更迭ナ
カルヘント思考セラル如何

答 大統領變レバ大臣ノ更迭スルハ普通ナリ多クハ大統領
自己ノ信認スル人ヲ任用スヘシ然シ人ヲ替ユルモ党派同
シキニ付方針ニ變改アラザルベシ

本使ハ尚ホ幸ニ相識ノ榮ヲ得タル閣下ノ日本人ニ好意ヲ有

三七四 四月三十日

坂田通商局長ヨリ
伊沢警視總監、永井高知県知事宛

「ブラジル」国行移民携帶旅券ノ査証ニ關ス

ル件

通送第二〇六六号

竊ニ東洋汽船株式会社ノ南米定期船ニ搭乘シテ智利国「パ
ルパライソ」港ニ到着セル本邦移民数名ハ伯国ニ向ケ同港
ヲ出発スベキ英國太平洋汽船会社汽船ニ転乗渡航ヲ続行セ
ントシタルニ同会社ハ彼等ノ携帶セル旅券面ニ伯国領事ノ
証明アラザルノ理由ニヨリ切符ノ発売ヲ拒ミタル件ニ關シ
伯刺西爾國ニ於ケル法規上ノ關係ヲ取調タル処今般別紙^(註)寫
ノ通り在伯烟公使ヨリ報告有之候ニ付右寫實管下移民取扱
人ニ御交付相成度此段申進候也

(通公第一七号ヲ四通騰寫シ三通ヲ警視庁宛公信ニ添付
ス而シテ其三通中屯通ハ肩ニ東洋移民合資会社分一通ハ森
岡移民合資会社分一通ハ日本殖民合資会社分ト記スコト尚
ホ他ノ一通寫ハ竹村与右衛門分ト記シ高知県公信ニ添付送
付ノコト)

註 別紙ハ前掲ニ付省略ス

セラルルヲ知り欣喜ニ堪ヘス閣下ノ御留任ハ兩國將來ノ利
益ニ貢獻スルトコロ鮮ナカラズト信スルニ付飽迄閣下ノ御
留任ヲ希望スト述ヘ又近々「サンパウロ」視察ノ意アル事
ヲ述ヘタルニ同大臣ハ御望ナラバ同州統領農務長官等ニ紹
介スヘント云フ本使ハ其好意ヲ感謝シ尚ホ余談ヲ尽シテ相
分シ候本使ハ何レ農務省ヲ訪ヒ殖民局長ニ面談可致心組ニ
有之其際移民規則改正之要旨ヲモ聞知スルヲ得度ト相考居
候兎ニ角農務大臣ノ日本ニ於テ希望ノ点アラハ無遠慮申出
ツヘントノ提議ハ大ニ我ニ好都合ナル儀ニ有之旧則ハ專ラ
歐洲移民ヲ基トシテ制定セラレタルモノナルヲ以テ改正ノ
際ハ本邦移民ヲモ考量中ニ加フルハ勿論本邦移民ニ對シ何
等殊別ノ規定ヲ設ケサル様機ヲ見テ本使ノ希望ヲ申入レ置
度考居候就テハ若シ我提議事項ニ付御意見有之候ハバ二月
二十一日付通機密第三号拙信附屬現行規則英訳文御参照之
上何分之儀御垂示相煩度致希望候此段及稟申候 敬具
追テ農務大臣「ケイロツツ」氏ハ「リオ」市警視總監ヨ
リ昨年十一月榮轉シタル人ニシテ總監在職中頗ル令名ア
リ農務大臣トナルニ及ヒ幾多ノ大改革ヲ實行シ敏腕ノ噂
高キ人ニ有之候

三七五 五月六日

加藤外務大臣ヨリ
在伊國林大使宛

伊國移民ノ「ブラジル」國渡航禁止令取消運

動ニ關スル件

通送第六三号

伊國政府ハ千九百二年「プリネッチー」令ヲ以テ渡航費ノ
全部又ハ一部ノ補助ヲ受ケ又ハ其他ノ方法ニ依リ惠遇セラ
ル、移民ノ伯刺西爾國ニ渡航スルヲ禁止シ今尚ホ之ヲ勵行
シ居リ現ニ千九百二十二年中伯國聯邦政府及「サンパウロ」
州政府ヨリ伊國四汽船会社ニ對シ每航海四万「ミルレイス」
ノ補助金ヲ交付シテ伯伊間ニ直通航路ヲ開始スヘキ契約ヲ
締結シ伊國移民ノ移住ヲ奨励シ兼テ伯國產物ノ販路擴張ヲ
計ラントスルヤ伊國政府ハ右契約ハ三等運賃ヲ低廉ニシ伯
國行伊國移民ヲ容易ナラシムルモノナレバ事實上「プリネ
ッチー」令ニ違反スルモノナリトテ同年十二月右四会社ニ
對シ三等船客ノ輸送ヲ差止メタル事例アリテ毫モ其取締ノ
手ヲ寬ニスルノ模様ナシ之ニ反シ伯國ニ於テハ爾來伊國政
府並同國有力者ニ對シ右禁令ノ緩和方ニ關シ種々ノ手段ヲ
試シタルモ未タ其効ヲ見ルニ至ラサル模様ナリシガ客年末

伊国人「ドナト・パテリー」ナル者「プリネット」令取消方ニ関シ伯国当局者ト具体的打合ヲ為スノ用務ヲ帶ビ渡伯シ其際同人ガ伯国新聞記者ニ対シ語ル処ニ依ルニ伯国ハ伊国移民ノ移入ヲ欲スルモ伊国政府ハ容易ニ肯セサルヲ以テ伯国当局者ハ伊国農民間ニ勢力アル伊国農業労働者聯合会ヲ動カシ同会ノ尽力ニ依リ伊国内ニ於ケル対伯国惡感情ヲ一掃シ次テ同会ヲ伯国行移民ノ主動者タラシメムトシ其ノ贊助ヲ得同会ハ更ニ移民評議會ニ運動シ伯国農務卿亦間接ニ伊国政府ヲ説キタル結果評議會ハ伯国ニ於テ移民ニ対シ契約ヲ以テ諸種ノ保障ヲ与フルコト等ノ条件ノ下ニ同会ニ属スル農民ヲ移民トシテ伯国ニ渡航セシムルコトニ異議ナキコトヲ決議シ同会ハ之ガ実行上伊国政府ノ許可ヲ得テ其会員中ヨリ移民ヲ募集シ移民ヨリノ請求ニヨリテハ旅費支給ノ便宜ヲ与ヘントスルノ計画進行シ「ドナト・パテリー」ハ乃チ上叙ノ契約案ト移民評議會ノ決議条件トノ調和ヲ計リ伯国農務省ト商議セムカ為渡伯シタルモノナリトノ事ニ有之候

以上ハ今般在伯畑公使ヨリノ報告ニ有之候処対伯刺西爾伊国移民ノ再興ハ本邦移民事業ニ対シ直チニ重大ナル影響ヲ

合ノ上漸ク兩者ノ間ニ協議繼マレリ要領左ノ如シ

「向フ六ヶ月間青柳ハ別ニ移民輸入運動ヲナサス専ラ兩社ノ運動ヲ援助スヘシ元來青柳ハ伯刺西爾移民取扱機關ノ統一セントスル意アルモ此ノ際若シ兩社又ハ第三者ヲ加ヘタルモノヲ以テ新会社ヲ組織セラルルニ至ラハ其ノ名ニ於テ運動スヘク若シ六ヶ月間ニ新会社組織ニ付兩社ノ同意ヲ得サルニ於テハ自カラ移民輸入ノ運動ヲナスノ自由ヲ保留ス」

運動ニ関シテハ農務長官ハ兎角本邦移民ニ好意ナキヲ以テ為念先ツ以テ我好意ヲ有スル州ノ有力者並ニ耕主ヲ説キ成ルヘク本邦移民ヲ歡迎スルノ傾向ヲ助長セシメ然ル後公然交渉ヲナスコト青柳兩代理人間ニ一致シ居ルニ付本使モ其ノ意ニ任セ置ケリ去レハ本使ハ農務長官ニ面会ノ節殊更ニ具体的ノ談話ヲ避ケ単ニ大体ノ意見ヲ述ヘ長官ノ好意ヲ求メ置キタルニ過キス若シ兩社ト青柳トノ間互ニ相排擠シ若クハ統一運動ヲ試ムルカ如キコトアラハ徒ラニ州政府ノ輕蔑ヲ受ケ伯刺西爾移民發展ニ一大障害トナルノミナラス各自ノ利益ニモアラサル旨双方ヘ申聞ケ置ケリ要スルニ目下ノ形勢ニ於テハ兩社合同シテ青柳ノ年來州ノ朝野ニ扶植シ

及ホスモノトハ認メラレスト雖モ將來我國対伯移民ノ發展上常ニ注目ヲ要スル義ニ付伊国移民ノ伯国行禁止令解除方並ニ同国行伊国移民（自由移民以外ノ）ノ輸送再興計画ニ関シ責任国ニ於ケル朝野ノ意嚮及右計画ニ対スル運動ノ成行等ニ関シ御取調ノ上隨時御回報相成候様致度此段申進候也

三七六 五月十三日 加藤外務大臣ヨリ
在伯国畑公使宛（電報）

「サンパウロ」州行本邦移民解約ニ対スル善後措置ノ成行問合ノ件

第三三三号

往電第一六号ニ関シ其後ノ成行電報アレ

三七七 五月十四日 在伯国畑公使ヨリ
加藤外務大臣宛（電報）

「サンパウロ」州行本邦移民取扱ニ関シ兩移民会社代理人ト青柳協定ノ件

第三三三号

貴電第三三三号ニ関シ運動開始前兩社代理人ト青柳ト妥協協力ノ必要アルニ付キ本使出張中懇々利害得失ヲ説キ数回会

アルInfluence ト其ノ敏腕トヲ利用シ移民取扱機關ノ統一ハ伯利西爾移植民發展上ノ急務ナリト思考セラルルニ付キ此ノ点兩会社ヘ御訓諭アリタシ

尚伯刺西爾移民政策ニ関シテハ前任大臣宛往電第一五号並ニ機密拙信卑見御一読ノ榮ヲ得タシ

三七八 五月二十五日 在伯国畑公使ヨリ
加藤外務大臣宛

「サンパウロ」州行本邦移民誘入善後策ニ関スル件

附記一 在伯国青柳伯刺西爾拓植株式会社取締役通信
第一一号及第二二号写
二 在伯国青柳都太郎ヨリ大浦農商務大臣宛書信
写（二）

機密第五号 （七月二十五日接受）

大正三年五月二十五日

在伯

特命全權公使 畑 良太郎（印）

外務大臣男爵 加藤高明殿

本年四月二十五日乃至十一日本使「サンパウロ」州視察ノ

状況ニ関シテハ以別信可及御報告候へ共東洋竹村両会社ノ移民誘入運動開始前々先ツ両会社代理人ト青柳トノ間ニ妥協ヲ遂ケシメ又州統領ヲ始メ政府要路ノ士移民関係当局者並ニ我ニ対シテ好意ヲ有スル同州人士等ニ会見シ本邦移民誘入ニ関シ州政府ニ対スル運動ノ方法ヲ熟慮シ善後策ヲ講スルハ本使今回同州出張ノ主タル要務ニ有之候ニ付左ニ青柳對兩社代理人間ノ妥協ノ次第州当局者並ニ同州民間ノ有力者等ト会谈ノ模様並ニ兩社運動方法決定ニ至ル迄ノ顛末要領及御報告候

本使ハ「ペトロポリス」出發前予メ青柳ヘ電信ヲ以テ「サンパウロ」ニ於テ会见方打合セ置候ニ付同人ハ本使到着ノ節同地ニ於テ本使ヲ待受ケ爾來同人ハ始終本使ト同一ノ旅館ニ宿泊シ食卓ヲ共ニシタルヲ以テ其意中ヲ探ルノ機会ハ十分ナル而已ナラス東洋移民会社代理人田口道造並ニ竹村移民館代理人永島藤三トモ屢会谈ノ機会ヲ得タリ之レヨリ先キ御承知ノ通り東洋竹村ノ兩会社ハ互ニ相協同シテ青柳ノ力ヲ藉リテ運動スルコトニ決シ兩代理人モ各右ニ関スル訓令ヲ受ケタルトコロ兩代理人ハ先ツ本使ニ於テ青柳ノ意嚮ヲ確メ與レ候様依頼申出アリタルモ元來本件ハ兩社對青

柳ノ關係タル而已ナラス青柳ハ現ニ東洋移民会社ノ顧問タルノ關係モアルコト故先ツ兩代理人ヨリ直接青柳ニ交渉ヲ試ミ若シ妥協困難ナル場合ニハ本使幹施ノ勞ヲ辭セサル旨ヲ答ヘ置キタル次第モ有之候ニ付本使「サンパウロ」着ノ節ハ既ニ兩者間ニ數回ノ会合アリタル趣ナリ然レトモ東洋竹村兩代理人ハ青柳ノ態度ヲ以テ兎角誠意ヲ欠クモノト認メ嫌焉タラサルモノノ如ク又青柳ノ心事ヲ忖度スルニ同人ハ予テ单独ニ例ノ定期航海開始一万人輸送ノ計画ヲナシ其權利ヲ得ント腐心シタル行懸リ上從來「サンパウロ」州朝野ノ間ニ扶植シタル「インフリュエンス」ヲ利用シ移民輸送ニ関スル權利ヲ獲得シ同人ヲ信用セル大浦子爵等ノ援護ヲ受ケ伯国移民機關統一ノ美名ノ下ニ政府ノ認可ヲ得東洋竹村等ニシテ苟モ伯国ニ移民ヲ誘入セントセバ同人ノ提出スル条件ヲ容レ同人ノ獲タル權利ヲ繼承スルノ外ナカラシメ此間ニ処シテ大ニ利益ヲ占メントスルノ野心ヲ有スルモノノ如シ然レトモ本使ハ從來屢々具申ノ通り青柳ヲシテ現在ノ二会社ヲ出シ抜キ此舉ニ出テシメバ二会社モ必ズ躍起運動ヲ為シメニ伯国移民事業混亂ノ結果ヲ來ス可キニ付兩会社ヲシテ青柳ヲ味方ニ引入レ其勢力ヲ利用セシムル

(一) 青柳氏ハ伯国移民取扱機關ノ統一ヲ理想トシ兩社又ハ兩社ト第三者トヲ加ヘタル一ノ新移民会社ヲ組織センコトヲ希望ス

(二) 青柳氏ハ向フ六ヶ月間ニ第二項ニ関シ兩社ノ同意ヲ得サルトキハ何時タリトモ任意ニ自ラ移民輸入ノ運動ヲナスノ自由ヲ保留ス但シ同氏ノ任意運動開始前ニ於テ(一)ノ機關成立スルニ至レバ氏ハ此ノ機關ノ名義ヲ以テ運動ヲナスニ異議ナシ

(三) 青柳氏ノ所謂新機關ニ於テハ少クトモ「サンパウロ」州タケハ移民ノ募集行為ノミナラズ船舶ノ運用ヲモ兼行スルモノトス

(四) 事情ノ發展ヲ期スル以上結局兩者ノ理想モ並青柳氏ノ理想ト相違ナカルベキモノト兩代理人ハ信スト雖モ同氏ノ取扱機關統一案ニ対シテハ各本社ノ訓令ヲ俟ツモノトス(四)兩社カ(一)及(二)ノ目的ニ向テ青柳氏ト協合シタル場合同氏ノ要求セントスル報酬条件ニ対シテハ同氏自身モ差當リ何等具體的成案ヲ有セス

(以上ノ妥協ハ四月二十九日書面ニ認メ翌三十日修正ヲ加ヘタルモノナリ)

(一) 向六ヶ月間青柳氏ニ於テ別ニ箇人トシテ移民輸入運動ヲナササルノミナラス無報酬ヲ以テ兩社ノ運動ニ援助ヲ与フルコトヲ承諾ス

然レトモ兩代理人ハ本社ヨリ何等決定の訓令ヲ受ケ居ルニアラザレバ各直ニ右妥協ノ次第ヲ本社ニ申送ルト同時ニ兩社合同一新移民会社ヲ組織スルヲ得策トスルノ意見ヲ申述フル趣ニ候兎ニ角此妥協ニ於テ青柳ノ態度ハ判明トナリ同人ヲシテ六ヶ月間ニ兩社合同シテ新会社ヲ組織スルニ至ラバ同人ハ新会社ノ名ニ於テ運動ヲ為スコトヲ約言セシメタルハ本件ノ解決上非常ニ好都合ニ有之候右妥協ニ依レバ青柳ハ多少専横ナルノ觀ナキニアラサルモ同人ノ主張ハ其内心ノ如何ハ暫ク措キ実ニ公明正大ニシテ同人ノ主張貫徹セバ伯國移民發展上非常ノ利益アルハ爭フ可ラサル而已ナラズ六ヶ月ト期限ヲ定メ若シ此期限内ニ合同セサレバ何時タリトモ任意ニ自カラ移民輸入ノ運動ヲ為スノ自由ヲ保留セルハ却テ此際兩社ノ合同ヲ速カナラシムルノ上ニ於テ効驗アル可クト被存候尤モ本使ハ青柳ニ對シテハ夫レトナク今日ノ場合假令兩社カ期限内ニ合同セサルニモセヨ合同セサルヲ以テ内心欣ブ様ノ心懸ケニテハ結局同人ノ為メニモ却テ不利益ナレハ六ヶ月ノ期限ヲ画シタルハ兩社ヲシテ速ニ合同セシムル手段ト心得サル可ラサル所以並ニ合同未定ノ今日ト雖モ衷心兩社ノ為メニ尽力ス可ク決シテ六ヶ月後ニ

兩社ノ合同セサル場合ヲ慮リ自己ノ運動ニ余地ヲ存セシメシカ為メ今日兩社ノ為メニスル運動上十全ヲ欠クカ如キコト無キ様遠廻シニ勸告シ今日ニ於テハ如何ナル場合ニ於テモ現在兩社ヲ突キ離シ单独ノ行動ハ如何ニ有力ナル筋ノ援助アルモ帝國政府ノ認許セサルトコロナル可キニ付同人ノ為メニ計ルニ同人ハ對伯移民機關統一者、對伯移民事業發展ノ功績者トノ名譽ト兩者ヨリ運動ニ對スル相当ノ報酬ヲ得ルヲ以テ満足スルヲ得策トスル旨ヲ申聞ケ又兩社代理人ニ對シテハ万一兩社ノ合同不成立ニ終リタル曉青柳カ自由行動ヲ執リ互ニ相排擠シ無統一ノ運動ヲ試ムルガ如キコトアリテハ徒ニ州政府ノ輕蔑ヲ受ケ伯國移民發展ニ一大障害ヲ与フル而已ナラズ各自ノ利益ニモアラザルコトヲ申聞ケ置キ候

移民誘入運動ニ關シテハ州政府ヨリ我移民ニ對シ州法令ノ規定ニ從ヒ各國移民ト同様ノ待遇及補助ヲ受ケントスルニ外ナラサルヲ以テ縱令今直ニ州当局者ニ交渉ヲ試ミタリトスルモ州当局者カ排日ヲ公言セサル限りハ条理上拒絶ノ辭ナカル可クト被存候ヘ共人員及補助額ノ如何ハ全ク当局者ノ掌中ニアルハ勿論ニシテ現農務長官「モライス・バルロ

ス」氏兎角本邦移民ニ好意ナキハ事實ナルヲ以テ此際我ニ好意ヲ有スル州有力者並ニ耕主ヲ説キ可成本邦移民ヲ歡迎スル傾向ヲ助長セシメ然ル後公然交渉ヲ為スコトニ青柳及兩代理人一致シ居リ固ヨリ急ヲ要スル場合ニ無之候ニ付本使モ之レヲ是認致置候左レハ本使ハ州統領代理副統領「ペイラ・ギマラエス」氏ニ面會ノ際ハ勿論農務長官ト會談ノ際モ殊更ニ具體的ノ談話ヲ避ケ北米ト當國トハ移民ニ關スル根底ヲ異ニスル所以並ニ伯國ハ數億ノ民ヲ容ルモ尚余リアル広大ナル天然ノ美國ナルモ人口少ナク之ニ反シ日本ハ土地狹ク人口過剰ニシテ毎年六千万ノ人口鼠算の増加シツツアリ而シテ今日迄日本移民ノ成績ハ大体ニ於テ可良ニシテ「サンパウロ」州ノ風土ハ日本人ニ適當スルモノト見エ病氣ニ罹ルモノモ概シテ少ナキヲ以テ伯國側ニテ日本人ヲ歡迎スル上ハ日本人ハ幾萬ニテモ供給スルコトヲ得可ク又日本政府ハ益移民ノ撰撰ヲ嚴重ニシ之レニ諸般ノ便宜ヲ与ヘ日伯間ノ關係ヲシテ益密接ナラシムル様留意スベシ云々等單ニ大体ノ意見ヲ述ヘ可成同長官ヲシテ本邦移民ニ對スル好意ヲ惹起セシムルニ努メタルニ過キス尚本使ハ州ノ有力者ニシテ予テ青柳ノ親交アル上院議員「トレド・ピザ」

(Toledo Piza) 下院議員弁護士「ドクトル・フォンテス」(Dr. Fontes Junior) 前衛生局長ニシテ目下事業家ナル「ドクトル・エミリオ・リヴァス」(Dr. Emilio Rivas) 及弁護士「ガブリエル・レッサ」(Dr. Gabriel Lessa) 等ノ諸氏ト會談又ハ會食スルノ機會ヲ有セシカ此等ノ諸氏ハ何レモ本邦ニ好意ヲ有シ我移民誘入ニ賛成同情ヲ表シ居リ「ピーザ」氏ノ如キハ運動方法ニ關シテモ諸種ノ注意ヲ与ヘ就中運動着手前予メ本邦移民成績表ヲ作り置キ交渉ノ際我移民好成績ノ実況ヲ具體的ニ説明スルノ材料トナスヲ可トス等ノ氣付ヲ述ヘ候ニ付本使ハ其好意ヲ謝シ今後ノ尽力ヲ依頼致置候而シテ右「ピーザ」ノ氣付ハ至極機宜ノ手段ト相考候ニ付青柳及兩社代理人ヘモ同氏ノ説通り実行可然旨勸告致置候

要之目下ノ形勢ニ於テ兩社合同一新会社ヲ組織シテ青柳ノ年来州ノ朝野ニ扶植シアル「インフリュエンス」ト其敏腕トヲ利用シ移民取扱機關ヲ統一スルハ伯國移植民發展上急務ナリト思考被致候ニ付此点兩社ヘ御訓諭アランコトヲ切望ス

將又兩社合同ノ上統一セル對伯移民機關タル会社成立ノ上

ハ從來嘗テ当国ニ移民ヲ誘入シタル経験ナキ他移民会社又ハ一箇人ノ躍起の運動ヲ試ムルハ大ニ移民發展策ノ妨害ト相成可申ニ付之レヲ許可セサル御方針ヲ執ラレ候様致度然ラサレバ折角ノ統一モ或ハ無意味ニ終ルノ結果ト相成可申ト存候ニ付右予メ御含置相成度候

以上ノ要領ハ本月十四日付往電第三十三号ヲ以テ及御報置候ヘ共右説明旁此段及報告候 敬具

(附記一)

写

在伯国青柳伯刺西爾拓植株式会社取締役通信

第十一号及第十二号

通信第十一号 発「イグアペ」大正三年五月二十二日
受東京 同 六月三十日

拜啓畑公使ヨリ移民会社ノ対州政府交渉ニ関シ援助致候様希望被申越移民会社ヨリモ同様意味ニテ出京懇望有之候ニ付公使ノ「サンパウロ」来ヲ機トシ四月二十三日当地出立「サンパウロ」ニ赴キ滞在約三週間去ル十八日相戻リ候「サンパウロ」ニ於テハ前年来懇意ノ関係ニヨリ州上院議員タル「リンス」「パシユア・サレス」「ビイザ」「カン

伯国移民株式会社ヲ新設シ之ガ株式ヲ現在移民会社ニ適当ニ割当テ所有セシムルト同時ニ政府ヲシテ伯国移民ノ取扱ヲ総テ此新会社ニ一任セシムルノ尤モ然ルベキヲ申添タリ此儀ハ畑公使ニ於テモ賛成ナル旨明言セラレ候尚右相談ノ小田原評議ニ終ラザル様小生ハ之ガ実行ニ対シ六ヶ月即チ十月末日迄ノ期限ヲ付シ申候

現在当地咖啡移民ノ取扱ニ從事スルモノハ東洋移民会社及竹村商会ノミナルガ此等分立セルノ故ヲ以テ尚相手タル州当局ノ操縦スル所トナリ我不利益ヲ招致スルコト少カラズ現ニ移民契約中ヨリ先ヅ州立植民地特設条項ヲ削ラレ次デ契約年限ニ干スル条項ヲ除カレ更ニ移民渡航補助ニ関シ無意味ノ式傍規定ヲ以テ確實ナル屯墾ニ代ラレシ等凡ソ契約ヲ改ムル毎ニ必ズ改悪ノ結果ヲ来セルカ如キハ則チ其実例ニ候然ルニ聞ク所ニ由レバ森岡商会ハ咖啡移民ノ取扱ニ割込マンカ為メ近々更ニ其代理人ヲ当地ニ派遣セントスト云フ是レ「ボヤ」ニ油ヲ注グガ如シ

移民機関統一ノ要ハ此一事ニ見ルモ明白ナラズヤ況ヤ移民就業地ニ於テ之ヲ指導誘掖スルノ要務ハ機関統一後初テ之ヲ行ヒ得ルニ於テヤ

デッド・ロドリノゲス」諸氏ニ移民問題相図リ候処執レモ時局ノ容易ナラザルコト短兵急迫ノ非ナルコトヲ説カレ候此四氏ハ州統領或ハ州農務長官又ハ伯国農務長官ノ経歴ヲ有スル人ニシテ最モ這般ノ事情ニ通ズルモノナリ且ツ現ニ州統領病氣ノ故ヲ以テ統領ノ事務代理致候州副統領ノ如キモ農務長官「モライス・バールス」氏ト同様ノ意見ヲ有スル由ニ付事ノ解決ノ容易ナラザル想像ニ難カラズ

依テ小生ハ畑公使ニ対シ此際公使ガ理屈ヲ以テ州政府当局ニ肉薄スルノ不得策ナルヲ説キ移民会社代表者ニ対シテハ静カニ時局ノ展開ヲ待ツノ可ナルヲ勸告シ此度ハ一切運動ガマシキコトニ及ハズ一ト先ヅ当地ニ引取り申候

然シ伯国移民事業今ヤ第二期ニ入り候ニ付テハ濠洲、北米、又ハ加奈太ニ於ケル我移民ノ事歴ニ鑑ミ此際外務省移民会社等当事者ハ将来ノ事業経営法ニ関シ大ニ考ヘザルベカラズ是迄ノ如ク無方針無組織ニテ從事候ニ於テハ伯国移民事業ハ他ト同一ノ運命ニ陥ルベキコト明白ニ候之ニ由テ小生ハ此際移民問題解決ノ為微力ヲ致スノ条件トシテ移民会社ニ対シ速ニ伯国移民取扱機関ヲ併合シ統一スルコトヲ要求致候而テ之ガ実行方法トシテハ外務省ト交渉シ本国ニ於テ

通信第十二号 発「イグアペ」大正三年五月二十六日
受東京 同 七月十日

拜啓先般「サンパウロ」出張ノ節同地在留民ヨリ総領事館設置請願ニ関シ相談有之候間出願連名ノ承諾致候処右ハ小生立出ノ翌日左記ノ通外務大臣宛電報ニ及ビ候由同地ヨリ通報有之候

「サンパウロ」五月十八日發電

在留同胞一万五千ノ利害ニ鑑ミ此際外交材幹アル総領事官ヲ当地ニ駐在セシメ且ツ之ニ対シ特別外交費御支出アル様御詮議ヲ仰グ右請願ス 「サンパウロ」在留邦人総代

以上

(附記二)

在伯国青柳郁太郎ヨリ大浦農商務大臣宛書信

写(一)

(一)五月三十日附書信写

拜啓益御安泰被為渡奉恐賀候

僖、伯国移民ハ開始後七年ヲ経、移民渡航一万五千ニ相達シ候就テハ自然此等移民ノ取締、指導及医療等ニ関シ種々施設ノ要有之候特ニ伯国人ト和合シ其同情失ハザル様相図

リ候義ハ移民發展上最モ肝要ニ有之候処当今我移民取扱機關ハ四分五裂全ク組織ヲ有セザルガ為メ此等内々相關クニ急ニシテ其辺手配難相成此儘ニテハ斯業擴張ノ望無之コト勿論トシテ遂ニハ本邦移民ノ信用ヲ失墜シ伯国ヲシテ加奈太、北米ニ倣ハシムルニ至ルヤモ難計候

昨年移民事業基礎確立策相立テ電信申上候ハ此辺ノ事情ニ相基ツキ候次第ナルガ当時早速ニ政府当局ノ同意ヲ得ルコト能ハスシテ事行ハレス誠ニ不堪遺憾候該案ノ遂行ハ既ニ其機會ヲ逸シ今更致シ方無之候間、此際現在移民取扱機關ヲ統一シ其營業ヲ整理シ是等欠陥相補ヒ候様致度、之ニ就テハ畑公使モ賛成相成候故現ニ伯国移民取扱居候東洋移民会社及竹村商会ヘモ各代理人ヲ通シ意見申送り候更ニ閣下ノ御賛成ヲ得当路ノ御詮議相仰キ度希望仕候

伯国移民取扱機關統一案

一 伯国移民取扱ニ関シ一株式会社ヲ設立シ伯国行ノ移民ノ取扱ハ總テ之ニ依ラシムル事

資金ハ大ナルヲ要セス払込額拾万金ニテ足ルヘシ是レ組織ノ問題ニシテ資本ノ問題ニアラザレバナリ

二 右会社ハ伯国ニ対スル移民事業ヲ統一シ移民遂行上必

敬具

大正三年五月三十日

伯国「サンパウロ」州桂植民地ニ於テ

青 柳 郁 太郎

大浦子爵閣下

(二)六月二日附書信写

拝呈前日一書差上候処尚念ノ為メ副、同封仕候本文ノ趣意ハ伯国移民ノ取扱ニ対シ移民会社ヲ合同一致セシムルニ有之候間此場合其大趣意ニ於テ異論アルヘキ筈ハ無之候得共諸テ之カ実行上新会社株式引受ノ割合ヲ如何ニスヘキカ移民会社ノ内ニハ是迄伯国移民取扱ヒノモノト全ク取扱ハサリシモノト有之自然此等互ニ成ルヘク多数株式ヲ所有セントシテ相争ヒ為メニ事埒明カザルヤモ難計候若シ右様ノコト相起リ候ハバ之カ仲裁ニ付御配慮被下度奉願候御参考マテニ現在移民会社名及之カ主タル人々申添候 頓首

大正三年六月二日「イグアペ」ニテ

郁 太 郎

大浦大人閣下

現在移民会社

要ナル事務一切ヲ処理スルモノトス

三 右会社ノ株式引受ニ関シテハ現在移民取扱人ヲシテ優先權ヲ有セシムル事

四 右会社成立ノ上ハ政府ニ於テ普通移民取扱人ニ伯国行移民ノ取扱ヲ許可セサル事

以上

又此機會ニ於テ要路ノ御考慮相願度ハ伯国移民ニ関シ政府ニ於テ積極方針立テラレ度コトニ候尚「サンパウロ」ニハ總領事官ヲ駐在セシメ且ツ之ニ相当交際費支給相成候様致度候

伯国ハ今ヤ天下ノ一大富源トシテ列国ノ着眼スル所ニシテ各機先ヲ制セントシ相競フ有様ハ恰モ支那ニ於ケルカ如シ形勢尚混沌タル今日我政府ニ於テ移民遂行方針相立テラレ適當ナル移民機關ヲ設クルト同時ニ相当外交手段ヲ講セラレ候ハバ伯国ニ於ケル本邦人ノ地盤ハ十年ヲ出デズシテ確立シ貿易ニ航海ニ本国ヲ利スルノ基相開クベキコト疑ヲ容レザル所ニ候「サンパウロ」總領事館ノコトニ至テハ我多数移民ノ利害及「サンパウロ」州ノ伯刺西爾合衆国内ニ於ケル政治上經濟上特殊ノ位置ニ鑑ミ当然ノ義ト奉存候

東洋移民会社 東京 川 田 鷹

竹村商会 土佐 竹村与右衛門

日本殖民会社 東京 鈴木 梅四郎

森岡商会 森岡真既ニ引退營業ハ他人ニ關係無シ

註 右二書ハ六月二十一日大浦大臣ヨリ坂田局長ニ送附越サ

レタルモノノ写ナリ

三七九 六月一日 川田東洋移民合資会社社長ヨリ坂田通商局長宛

「サンパウロ」州呼寄移民ニ関シ東洋移民会

社伯国出張所ヨリノ報告提出ノ件

附屬書 東洋移民合資会社伯国出張所ヨリ本社宛書信写

(一)

外務省通商局長

坂田重次郎殿

謹啓御達ニ依リ伯国呼寄移民ニ関シ弊社伯国出張所ヨリノ来翰ニ通写提出供御高覽候 敬具

大正三年六月一日

東京都京橋区新肴町十番地

東洋移民合資会社

社長 川田 鷹

(附屬書)

東洋移民合資会社伯国出張所ヨリ本社宛書信

写(一)

(一)

大正二年十二月二十日

東京 本社御中

○當第百三十八号ニ対シ

呼寄移民ニ州政府ガ補助金ヲ交附セザル理由ハ左記總領事館宛ノ回答文ニテ御了解被下候事ト存候總領事館ヨリモ州政府ニ対シ照会相成居候由ニ付彼是ノ結果到底支払ハレザルモノトスレバ法律上ノ問題トナスヨリ外無之ト被存候

州政府ノ主張ノ如クスレバ移民ノ呼寄ヲナスニハ制規ノ手續ヲ要スルモノナレドモ事実コレヲナスニハ相当時日ヲ要シ且ツ中々煩累多ク此辺目下研究中ニ付追テ可申上候

當時呼寄希望者ニ対シテハ州政府ノ補助金ヲ受ケ得ラレ

セル家族ニ加入センガ為メ来レル總テノ移民ニ対シハ磅ヲ返済スベキ旨ヲ明記シコレニ準拠シテ竹村商館扱昨年度以前ノ呼寄移民ニ対シ補給セラレタル前例モアルコトナレバ右ニ則リテ交附ヲ求メ候得共今ニ支弁ヲ受クルニ至ラザルノミナラズ州政府ハ其請求ニ応ズルノ意志ナキモノト認メラレ候

弊社ノ伯国ニ於ケル所謂呼寄移民トシテハ本年五月到着ノ若狹丸便ヲ以テ初トシ其多クハ竹村商館扱在留移民ノ貴館ヨリ呼寄証明ヲ得タル被呼寄人ガ弊社ニ渡航ノ周旋取扱ヲ申込ミタルモノナリシト其當時呼寄移民ニ対スル州政府ノ取扱振リニ明瞭ヲ欠キタルトニヨリ乗船前船賃ノ全部ヲ渡航者ヨリ受取り置キタルヲ以テ州政府ガ補助金ヲ支払ハズトスルモノ之ヲ弊社トシテハ損害無之候得共渡航者トシテノ失費容易ナラザルモノニモ有之旁々州政府ノ主張ガ正当ナラザル限リコレヲ暗黙ニ附スルハ将来ニ惡例ヲ作ル次第ナレバ弊社ハ尚ホ慎重ニ研究ヲ重ネタル上其必要ニ応ズル機宜ノ方法ヲ講ジ度存居候

大正二年十二月十六日

東洋移民合資会社

ザルコトヲ前知セシメコレヲ承知ノ上ニテ出願セシメ居リ候間貴方ニ於テモ代理人ヲシテコノ旨ヲ通ジ船賃全額払込ノ件ハ從來ノ通りニ御取計被下度候

總領事館ノ照会ニ応ジ回答シタル書面ノ写シ

本年十一月二十七日東第二四号ヲ以テ州政府ノ呼寄移民渡航補助金ニ関スル件ニ付御照会ノ次第拜承本件ニ対シ州政府ノ支払ヲ否認スル理由トシテ説明スル所左ノ如クニ候

一、呼寄移民ハ当州ニ定住スル耕主ヨリ出願スルヲ要シ該出願書ニハ其所在地ノ郡市ノ農事委員長ノ署名セラル証明書ヲ添付スルヲ要ス然ルニ日本移民ハコノ手續ヲ履マズ

一、移民ノ輸入ヲ取扱フ汽船会社ハ予メ州政府ノ認可ヲ得テ呼寄移民ノ召喚ニ対スル旅費支給ノ手形ヲ州政府ヨリ受ケザルベカラズ然ルニ日本移民ハコノ手續ニヨラズ

以上ハ現行移住民法規第七十二条乃至第七十四条ニ規定スル所ナレトモ日本移民ニ向テハ州政府対移民会社間ニ特別契約ヲ締結シ其第十三条ニ於テ既ニ州ノ労働ニ従事

業務代理人 田口 道造

帝國總領事 松村貞雄殿

(二)

當第百五十八号

(大正三年一月十三日附)

東京本社御中

拜啓呼寄移民ニ関スル件ハ當第二百四十二号ヲ以テ申上候通り当州移植民法ニ所謂呼寄移民ハ右ノ外ニ無之即チ

一、呼寄移民ハ当州ニ定住スル耕主ヨリ出願スルヲ要シ該出願書ニハ其所在地ノ郡市ノ農事委員長ノ署名セラル証明書ヲ添付スルヲ要ス

一、移民ノ輸入ヲ取扱フ汽船会社ハ予メ州政府ノ認可ヲ得テ呼寄移民ノ召喚ニ対スル旅費支給ノ手形ヲ州政府ヨリ受ケザル可ラズ

以上ニ関シテハ現行法規第七十二条乃至第七十四条御参照下サレ度而シテ該呼寄移民ニ対シテハ出願人ガ責任ヲ負ブルモノナルガ故ニ反則ノ移民殊ニ逃亡者多キ實際上ノ事実ニ鑑ミ之ヲ耕主トシテ所謂呼寄移民ノ出願ヲナスモノ皆無ナリトノコトニ有之候サレバ日本移民ノ向後ノ呼寄(州法令ノ)ニ向テモ同様制規ノ手續実行不可能ニ御座候

然ルニ茲ニ補助金ノ給付ヲ得ベキノ方法トシテハ現行法規第三節第三款ニ於テ「自由移民ニ対スル渡航費償還ノ事」ノ規定アリ其第百一条但書ニ於テ「單身移民タリトモ其年齢二十一歳以下ニシテ已ニ当州ニ於テ耕作ニ従事スル其両親ト同棲スルノ目的ヲ以テ来ルモノニ対シテハ特ニ之ヲ与フルコトヲ得」トアリテコノ規定ニ副フモノハ渡航費ノ償還ヲ求ムルコトヲ得ルモノニシテ同条ヲ解剖スレバ左ノ如クニ相成リ候

一、夫婦ヲ中心トシ十二歳以上ノ労働ニ堪ユル三名以上ヨリ成ル農業家族移民ニシテ旅費ヲ自弁シテ来レルモノハ渡航費ノ償還ヲ求ムルコトヲ得

一、単独者ノ場合ニハ耕地ニ定住スル両親ノ下ニ来ルベキ其子女ニ限ルコト

一、前項ノ子女ト雖モ其年齢ハ二十一歳以下ニ限ルコト

一、以上三項ニ適セザルモノハ渡航費ノ償還ヲ求ムルコトヲ得ズ

依テ日本移民ノ場合ニモ右規定ニ適セザルモノ即チ兄弟姉妹甥姪其他ノ近親者ハ渡航費ノ償還ハ受ケ得ザルモノニ有之候畢竟日本移民間ニ又ハ日本官憲若クハ吾人間ニ云フ所

領第二九号

(七月二十一日接受)

大正三年十一月十日

在「リオデジャネロ」

総領事 松 村 貞 雄 (印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

本邦移民百十名独逸船ニテ客月二十一日頃重爾然丁「ブエノスアイレス」市ニ到着シタル為メ同地ニ於テ物議ヲ醸シ新聞紙モ益シニ本邦移民反対ノ論說ヲ掲ケ之ヲ非難セル趣ノ同市発電報同月二十一日及二十二日ノ「リオ」市新聞ニ掲載アリ右独逸船ハ「ブエノスアイレス」ヲ終点トシ南米太平洋岸ニ赴カサルモノナレバ此等本邦移民ハ当国ヨリ転航シタルモノト推定スルニ難カラサルヲ以テ爾來取調ヘタル処右ハ全ク当国「サントス」港ヨリ乗船シタルモノナルコト明白トナレリ今其募集転航及就働ノ事情ヲ概報セハ凡ソ左ノ如シ

一、募集人 募集人ハ工藤文五郎(福島県)有村立衛及有村栄(鹿児島県)ノ三名ニテ何レモ皇国第一回移民トシテ当国ニ渡来シタルモノナルカ曩ニ亜国ニ転航シ過般移民募集ノ為メ「サンパウロ」ニ来リ右之内工藤文五郎ハ本邦人

謂呼寄移民ハ当州法令ノ規定ニ一致スルモノニアラズシテ単ニ日本人間ニ唱道セラル、用語タルニ止リ又総領事館ニテ発給スル証明ハ旅券下附ニ便ナルノミニテ旅費還付ニハ何等關係ナシト云フニ帰著致候

現行法規第百一条ニ規定ノ自由移民ニ対スル渡航費ノ償還ヲ求ムル手續トシテハコレニ適シタル移民ガ耕地ニ入りタル上耕主及地方裁判官(Juis de Paz)ニ依テ其事実ヲ証明セラレ移民ヨリ旅費償還ヲ政府ニ出願スルノ順序ニシテ出帆出港出発ノ当時ニ於テ何等為スベキ手續ハ無之由ニ御座候

以上ノ次第ハ移民局長ノ説明スル所ニ有之万々間違ハ有之間敷ト存候得共貴方ニ於ケル取扱分ハコノ種移民ニ対シテハ從來ノ如ク渡航費全額御取立テ相成リ候様御取計被下度候 以上

伯国出張所

田 口 道 造

三八〇 六月十日

在リオデジャネイロ松村総領事ヨリ
加藤外務大臣宛

在伯日本移民「アルゼンティン」へ移住ノ件

百十名ヲ率キテ五月十八日「サントス」港出帆ノ漢堡亜米利加会社汽船 Cap Bianco 号ニテ先発シ他ノ二名ハ今尚ホ「サンパウロ」ニアリ

一、募集地 専ラ「サンパウロ」市及「サントス」港ニアル邦人ヲ募集セリト云フ尚ホ有村立衛ハ耕地ニ入りテ誘惑ヲ試ミタルモ嚴ク排斥セラレ遂ニ毆打セラレタリト伝ヘラル
一、募集人員 漢堡亜米利加会社「ブエノスアイレス」支店ヨリ「サントス」代理店ニ向テ在「サンパウロ」工藤文五郎ナルモノ同国人三百名ヲ亜国ニ連来ルニ付乗船セシムヘキ旨電報アリタリト云フニ付所要ノ人員ハ三百名ナルガ如シ

一、募集手数料 手数料ハ一人十五「ミル」ニテ前払ナリ
一、渡航費ノ支弁法 「サントス」港ノ旅費及滞在費ハ当人ノ負担ニテ「サントス」ヨリノ旅費ハ一時先方ニテ立替フルモノトス

一、応募者ノ資格 何等ノ制限ナク大体労働ニ堪ヘ得ルモノナレバ差支ナカリシト云フ
一、労働ノ種類、賃銀其他 労働ハ甘蔗栽培ニ従事スルモノニシテ単独者ハ砂糖工場ニ使用スト云フ労働地ハ「ブエ

ノスアイレス」市ヲ離ル汽車程三十時余ノ処ナリ賃銀ハ精確ナラザルモ一人一日二「ペソ」位ニテ契約期間六ヶ月ハ生活費ヲ貸与シ期限ニ至リテ計算ス期限後引続キ労働スルモノハ刈取量ニ從テ割増賃銀ヲ給スト云フ

一、今回転航セルモノ、姓名表 今回ノ転航者百十名ノ姓名ヲ船客名簿ヨリ訳出セバ次ノ如シ(内家族ヲ構成セルモノ約半数アリ)

(註 以下転航者百十名ノ姓名等省略ス)

御参考迄右申進候 敬具

本信写在智利公使へ送付

三八一 六月十日 在伯国知公使ヨリ
加藤外務大臣宛

東洋及竹村取扱ノ本邦移民「サントス」港上

陸及耕地配置ノ状況報告ノ件

附屬書 野田通訳官ノ視察報告書

通公第四六号 (七月二十一日接受)

大正三年六月十日

在伯

特命全權公使 畑 良太郎(印)

取、兵庫及長野ノ三県ハ今次初メテ少数ナガラモ伯国行移民ヲ出セリ

本移民ヲ運送セル日本郵船株式会社所有汽船ハ昨年春秋二回ニ同様ノ任務ヲ遂行シ今回ハ第三航トシテ本年三月十日午後一時三十分神戸港ヨリ解纜シタルガ間モナク土佐沖ニ於テ暴風ニ遭遇シタルモ同月二十一日朝無事ニ新嘉坡着、同地ニ於テ飲料水及食料品ノ補足ヲナシタル後、即日午後五時三十五分拔錨、南阿「ナタル」港ニ向シテ進航中、南印度洋「マウリシアス」島近海ニ於テ稀有ノ颶風ニ際会セリト雖船員必死ノ努力ヲ以テ難ナク之ヲ凌ギ四月九日英領「ナタル」ニ寄港、石炭ノ補給ヲ受ケタル後、翌十日午後三時四十五分同港ヨリ出帆、途中時々多少ノ風波アリシモ航海概シテ平穩ニシテ四月二十六日無難ニ目的地「サントス」港ニ到着セリ神戸解纜以來日ヲ闊スルコト四十有七日、航行時間一千八十四時三十三分(四十五日四時三十三分)航海里程總計一万二千百十六哩ニ達スル長途ノ大航海タリ備考一之ヲ第一航ノ航行時間四十四日ト二十四分及第二

航同上四十三日十時四十九分ナリシニ比シ稍々延長シタルハ全ク既記天候險惡ノ日アリシニ因ルトイフ

外務大臣男爵 加藤高明殿

東洋移民合資会社取扱移民搭載船若狹丸及竹村与右衛門取扱移民搭載船帝國丸「サントス」港到着ノ時機ヲ見計ヒ当館々員一名ヲ同港へ出張セシメ移民ノ上陸及耕地配置ニ関スル状況ヲ視察セシメタル上其報告書ヲ徴シ差出スベキ旨本年三月三日附送第二三号公信ヲ以テ御訓示ノ趣敬承野田一等通訳官ヲシテ右任務ニ当ラシメ候処今般別冊報告書提出致候ニ付及送附候間御査閲相成度此段申進候 敬具

(附屬書)

野田通訳官ノ視察報告書

大正三年 航本邦移民伯国「サンパウロ」州到着状況

甲 東洋移民合資会社取扱移民

東洋移民合資会社取扱ニ係ル伯国「サンパウロ」州行本邦移民ハ別表第一号ニ記載セル如ク男女計一千五百名ニシテ四百十二ノ家族ヲ構成シ別ニ旧移民中ヨリ呼寄ニ係ル近親者百八十八名アリ通計一千六百八十八名ニシテ就中福島県人最多数ヲ占メ熊本、広島及福岡ノ三県之ニ次ギ岡山、山口、佐賀、静岡及愛媛ノ五県亦孰レモ十家族以上ヲ出シ鳥

航海中移民ノ動靜ハ頗ル平穩靜肅ニシテ能ク船内ノ規律ヲ遵守シ其待遇及食事向ニ関シテモ一般ニ満足ノ意ヲ表セルモノ、如シ

汽船若狹丸ニテハ移民等ノ無聊ヲ慰ムル為メ或ハ蓄音機ヲ各所ニ転用シ或ハ活動写真ヲ演シ或ハ時々演芸会等ヲ催シ尚ホ三月二十六日ニハ赤道通過ヲ祝スル為メ赤道祭ヲ舉行シ四月六日及同二十日ニハ前部甲板上ニ大舞台ヲ設ケ午前ヨリ午後ニ亘リテ盛大ナル演芸会ヲ催フシタリトイフ

其他航海中ノ出来事トシテハ出産四件及死亡二件アリタル外何等特記スベキモノナシ

航海中ノ糧食ハ移民總数ノ内三歳以下ヲ除キ三歳以上七歳マデハ大人ノ四方ノ一、七歳以上十二歳未滿ハ之ヲ大人ノ二分ノ一ト見做シ此換算人員一千五百五十余人ニ対スル予定在船日数約五十日分ヲ本準備トシテ搭載シ更ニ航海中若クハ寄港地ニ於テ不測ノ事故ニヨリ延長スルコトアルベキ予想日数二十日分ノ副準備及非常ノ場合ニ總移民ニ対シ滿六食分ニ相当スベキ乾麵包ヲ用意セリ

糧食ノ品目、品質及其貯藏法、毎食ノ分量及献立、毎食ノ見積価格等總ベテ本船ハ前二回ノ例ニ依リタルヲ以テ茲ニ

之ヲ贅説セズ

移民ノ衛生ニ関スル船内ノ設備、換氣法、清潔法及諸般ノ注意モ亦前二航ノ例ニ依リ殊ニ主任船医大平紀国ハ東洋取扱第一回移民ノ運送船タリシ神奈川丸以来毎回ノ移民ヲ診療シ今回ハ実ニ第四回ニシテ大ニ経験ヲ積メル上懇篤ニ其任務ヲ尽シ益々好評ヲ博セリ

今、同船医ノ報告ニ拠ルニ移民ノ健康状態ハ神戸出帆後数日間ハ船体烈シク動揺シ船暈ニ悩マサルモノ多カリシモ乗船前全移民ニ蛔虫駆除薬ヲ服用セシメタル為メ蛔虫ニ基ク苦痛少ク治療上好結果ヲ呈シ新嘉坡着マデノ間ニ於ケル患者ハ船暈、感冒等ニシテ孰レモ軽症ナリキ
次ニ新嘉坡「ナタル」間ニテハ運動不足ノ為メ胃ヲ害シ又船暈ノ為メ頭痛嘔吐食慾不振等ノ症状ヲ呈スル者多ク且咽喉氣管ヲ害セシ者アリシモ總ベテ船内治療ニヨリテ全快シタリ尚婦人及小児ニシテ全身ニ汗疹ヲ生ジタルモノアリシモ各移民ニ供給スル淡水ノ量ヲ豊ニシ且淡水浴ヲ行ハシメタルヲ以テ除々ニ汗疹患者ノ数ヲ減ジ「サントス」港到着ノ際ニハ殆ンド皆全治セリ

「ナタル」「サントス」間ニテハ気温寒冷ナリ小児ノ咽

喉氣管ヲ患フル者多カリシモ是レ亦概シテ輕症ニシテ船内治療ニヨリ快癒セリ

航海中出生シタルハ男一名女三名ニシテ若狹丸ノ名ニ因ミ男子ハ若雄、女子ノ内二名(孰レモ三月十九日出生)ハ若江及若代ト命名セリ死亡二件ハ十三歳ノ男児一名結核性腦膜炎ニ因リ又二歳ノ幼兒(男)一名毛細氣管枝炎ニテ死亡セルモノトス

四月二十六日午前八時十分若狹丸「サントス」港内、檢疫錨地ニ着スルヤ当日ハ日曜ナリシニ拘ラズ同九時ニ至リ檢疫官上船シ出發港及寄港地ヨリ齎シタル健康証書並ニ乗組船医ノ作製シタル船客及船員現在病者ノ報告書ヲ呈出セシメ船医ヨリ現在病者ノ状態ヲ聴取シタル後、病室ニ就キテ患者ヲ視診シタルノミニテ別ニ人員点呼ヲ行ハズ同九時三十分檢疫ヲ終リ陸上トノ自由交通ヲ許可セラレタルヲ以テ税関、水上警察及移民局吏員続イテ乗船シ同十時總ベテノ入港手續終結セリ

斯クテ若狹丸ハ午前十一時二十分檢疫錨地ヨリ拔錨シ正午十二時第七号埠頭ニ繫留、移民ノ昼食終リテ午後一時ヨリ移民ノ上陸ヲ開始シ「サントス」港移民局吏員、移民会社

代理人及事務員、若狹丸ニ便乗シ来レル通訊練習生、耕地通訊等ノ懇切ナル指揮監督ノ下ニ極メテ平穩ニ且秩序正シク行ハレ船側ヨリ約十間ヲ隔テ倉庫ノ外側ニ曳込ミタル輸送汽車ニ移乗シ午後六時十分全部上陸シ終レリ而シテ若狹丸ヨリハ当日移民ノ「サンパウロ」市移民収容所到着遲刻スル場合ヲ予想シタ食ニ充ツベキ弁当及「シイ、ビスケット」ヲ移民各自ニ供与携帯セシメタルガ二等客車十九台ニ滿載セラレタル移民千七百名(航海中ノ出生及死亡ヲ差引キ神戸港乗船ノ時ヨリ二名ヲ増ス)ハ二回ニ「サントス」

港ヲ発シ第一列車十一台ハ午後四時三十分発車シテ同八時三十分「サンパウロ」市収容所ニ着シ、残り八台ヨリ成ル第二列車ハ同六時七分「サントス」ヲ発シテ夜十時三十分収容所ニ到着シタリ

上陸ノ際夫ノ肩ニ縋リテ歩行シタル病中ノ婦人一名アリタルモ別ニ担架ヲ要シタル者トハ皆無ナリキ

移民ノ服裝ハ筒袖ノ和服ニ袴ヲ穿チタル婦女子若干名アリタル外總ベテ洋装ニシテ何等不体裁ナル者ナカリシノミナラズ帽子靴等寧ロ贅沢ニ過ギ一見シタル所労働者ト思ハレザル程度ノモノ尠カラズ本官ハ再ビ移民ノ服裝ニ就キ少ク

トモ一名毎二十円乃至二十円ノ渡航費節約ヲ為サシメ得ル余地アルコトヲ感ジタリ

移民携帯手荷物ノ陸揚ハ翌二十七日午前六時ヨリ開始シ午後三時結了、貨車十数台ニ滿載シテ「サンパウロ」市移民収容所ニ送ラレタリ

本年ノ「サンパウロ」州歐洲移民入來數ハ一般不景氣ノ結果トシテ甚ダ少ク毎年四、五月ノ交ニハ七八百名乃至千名以上ノ移民ヲ搭載セル汽船頻々「サントス」港ニ到着シ「サンパウロ」市移民収容所ノ狹隘ヲ感ズルガ常ナルモ本年一纏メニ一千名以上來着シタルハ今次ノ本邦移民ヲ最初トシ当日収容所ニハ僅々数十名ノ歐洲移民寄宿シ居リタルニ過ギズ從ツテ本邦移民ハ毫モ窮屈ヲ感ズルコトナク鼎別及耕地別ニ区分セル各室ニ分居シ移民列車到着後、下車、夕食、入室等ニ関シテハ収容所吏員ノ外、移民会社員並ニ十数名ノ通訊ニ於テ種々斡旋ノ勞ヲ執リ第一列車ニテ着シタル移民ハ午後十一時、第二列車ニテ遅ク着シタル移民ハ夜半過ギ各自ノ室ニ入り就寝セリ

移民中特ニ船医ヨリ注意ヲ要スル患者トシテ指定セラレタル者及収容所着後発病シタル者計九名ハ孰レモ収容所内ノ

病院ニ入り治療ヲ受ケタルガ内、肺結核ニ罹レル女一名ハ四月二十九日同所ニテ死亡セリ

移民ノ点呼ハ收容所到着ノ翌々日即チ四月二十八日ヲ以テ結了シ且予ネテ移民会社業務代理人ガ精選ノ上内約シ置キタル各耕地主ト移民間ノ労働契約モ所長立会ニテ調印済トナリ続イテ到着シタル移民手荷物ノ税関検査モ所内ノ出張所ニ勤務セル税関吏例ニ依リテ簡單迅速ニ之ヲ行ヒ同月二十九日ヨリ五月二日ニ至ル四日間ニ移民ヲ夫々被雇耕地ニ向ケ汽車ニテ出発セシメタリ而シテ乗車ハ入所ノ時ト同ジク收容所ノ昇降場ニ於テシ乗車券一耕地分ヅ、点呼ヲ行ヒ移民会社員誘導シテ之ヲ車中ニ送入セリ

病氣ノ為メ一同ト共ニ出発スル能ハザリシモノハ快癒ヲ俟ツテ五月四日及十二日ニ夫々目的ノ耕地ニ向ヒ福岡県人一名ノミハ関節痲痺斯ヲ患ヒ快癒迄ニ日数ヲ要スルヲ以テ引続キ所内ノ病院ニテ治療ヲ受ケ居レリ
要スルニ移民收容所ニ於テハ前数回同ジク所員一同ノ懇篤ナル待遇ヲ受ケ食物ソノ他ニ関シテ苦情ヲ訴フル者ナク秩序正シクシテ能ク規律ヲ守リ何等ノ紛擾ヲ醸サザリシハ所長以下所員ノ等シク感嘆セル所ナリ

二「ミルレイス」ヲ給スルモノ 十八耕地

二「ミルレイス」ヲ給スルモノ 二耕地

(二)移民ニ自作ヲ許ス土地

咖啡樹間ニ耕作ヲ許シ尚ホ園外ニモ土地

ヲ貸与スルモノ 二十二耕地

間作ヲ許サズ別ニ園外ニ土地ヲ貸与スル

モノ 一耕地

又賃銀ノ勘定及記帳ハ毎月之ヲ行フモノ七耕地、隔月ニ行フモノ六耕地、毎三ヶ月ニ一回之ヲ行フモノ十耕地ニシテ此等条件ハ必ズシモ均一ナラズト雖モ甲ノ条件優良ナルトキハ乙ノ条件ニ於テ劣ル所アルガ常ニシテ数条件揃ヒテ悪シキ耕地アルコトナシ從ツテ移民ノ幸不幸ハ単ニ一二条件ノ優劣ヲ見テ直ニ之ヲ断ズルコト難シ

尚ホ家族親戚ノ呼寄ニ依リ渡航シタル移民百八十八名ハ夫々呼寄人ノ許ニ送遣セラレ「モンソン」植民地ニ入りタル者一名、「サンパウロ」市中ニ留マリタル者二名、「サントス」港及「リオデジャネイロ」市ニ落着キタル者各一名、合計五名ヲ除ク外ハ総ベテ三十箇所ノ咖啡耕地ニ就地シタルガ就中多数ノ呼寄移民アリタルハ「パルメラス」二十六

今次ノ東洋取扱第四回移民ヲ配送シタルハ別表第二号ニ示セル如ク合計二十三耕地ナルガ此内十一耕地ハ既ニ同社取扱ニ係ル前回若クハ前数回ノ本邦移民ヲ傭用セル所トシ他ノ十二箇所ハ今回初メ我ガ移民ヲ試用スルモノトス

此等二十三耕地ハ執レモ大規模若クハ中規模ノ咖啡園ニシテ労働契約中普通条件ト称スルモノハ州内総ベテノ咖啡園ヲ通ジテ一様ナルモ移民ノ取得ニ直接ノ關係アル所謂特殊条件ハ左記ノ如ク多少ノ相異アリ

(イ)咖啡樹受持手入賃(千本ニ対スル年額)

百三十「ミルレイス」ヲ給スルモノ 四耕地

百二十「ミルレイス」ヲ給スルモノ 八耕地

百十「ミルレイス」ヲ給スルモノ 五耕地

百「ミルレイス」ヲ給スルモノ 六耕地

(ロ)咖啡採取賃(一「アルケイリ」ニ付)

六百「レイス」ヲ給スルモノ 十五耕地

五百五十「レイス」ヲ給スルモノ 二耕地

五百「レイス」ヲ給スルモノ 六耕地

(ハ)日傭労働賃銀

三「ミルレイス」ヲ給スルモノ 三耕地

名、「サンタ・エルネスティナ」二十四名、「ソブラド」

二十名、「サン・ラファエール」十名、「レオポルディナ」

九名、「サン・プテロ・デ・パライズ」八名トス

此等呼寄移民ハ悉皆單獨者ナレバ渡航後州政府ヨリ旅費還附ヲ受クル資格ナシト雖モ上陸港ヨリ移民收容所ヲ經テ目的地ニ至ルマデノ費用ハ家族移民ト同ジク總ベテ州政府ノ支弁セル所タリ

乙 竹村移民取扱人取扱移民

移民取扱人竹村与右衛門ノ取扱ニ依リ南滿洲汽船会社所有汽船帝國丸ニ搭乗シ本年三月二十五日神戸港ヲ出発シタル本邦移民ハ別表第三号ニ掲グル如ク州政府トノ誘入契約ニ基ク咖啡園行農業家族移民男女合計一千五百一名此家族数四百八、呼寄移民三百十三名通計一千八百十四名ニシテ過半ハ福岡、熊本、広島ノ三県ヨリ募集シ之ニ亞ギテ高知、福島ノ二県ヨリ比較的多数ノ応募者アリ残余ハ山口、福岡、三重、岡山、香川、愛媛、兵庫、島根ノ八県人ニシテ兵庫及島根二県ノ移民ヲ竹村ノ手ニテ渡伯セシメタルハ今回ヲ以テ嚆矢トス

本移民運送ノ任ニ当レル汽船帝國丸ハ既ニ昨年秋季ノ竹村

取扱移民一千九百四十六名ヲ搭乗シテ無難ニ着伯シタル経
験アリ今回ハ実ニ其第二航ニシテ神戸港出帆前船渠ニ入り
修繕及掃除ヲ経タル為メ速力モ大ニ増進シ三月二十五日午
後一時神戸港ヨリ解纜後天候始終良好ナリシヲ以テ航走ヲ
続クルコト二十九昼夜ノ後（本船ハ若狭丸ト異ナリ前航ト
同ジク新嘉坡寄港ヲ省キ「スンダ」海峡ヲ経テ印度洋ニ入
レリ）四月二十二日午前十一時五十分ヲ以テ南阿「ナタル」
港埠頭ニ安着、同港ニ於テ炭水、糧食品及氷等ヲ積入レ同
二十四日午前七時出帆其後五月五日頃マデハ兎角天候陰鬱
ニシテ湿潤ナリシモ何等ノ故障ナク爾後漸次天候回復シ五
月十一日午後四時二十分「サントス」港外ニ着シ水先人ノ
上船ヲ俟ツテ遡航ヲ続ケ五時五十二分港内予定錨地ニ投錨
セリ航程総計一万一千八百八十七哩、日数前後四十八日ニ
亘ルモ正味航行時間ハ大約四十五日余ニ過ギズ之ヲ前航ニ
比較スルニ凡十日ノ早著ニシテ同船トシテハ非常ノ好成绩
ト評セザルベカラズ

本船ハ前航ノ経験ニ鑑ミ移民ノ給養、娯樂及健康上ニ最善
ノ注意ヲ払ヒ且航海中移民ノ監督トシテ便乗セル松田順平
ハ去ル明治四十五年ノ釧島丸以来、昨年春季ノ第二雲海丸、

各種漬物類、乾物類、塩魚、缶詰等ヲ多量ニ積入レ移民在
船予定日数ヲ五十日間ト見積リ尚ホ不慮ノ場合ニ備フル為
メ更ニ二十日分ヲ見込ミ移民大人千七百名ニ対スル六十日
分ノ準備ヲ整ヘ生牛肉、魚肉、野菜、氷ノ如キハ出発港ニ
於テ積込ミタル外別ニ寄港地「ナタル」ニ於テ価格一千五
百円分ヲ購入補充セリ

毎食一人分ノ価格ハ朝食十銭午食十五銭晩食十五銭合計一
日分四十銭ノ標準ニシテ若狭丸ノ報告ト一致スルモ原料ノ
品質ハ稍々彼レニ劣レル所アリシモノノ如シ

移民ノ衛生ニ関スル船内諸般ノ設備ハ前航ノ時ニ比シ更ニ
若干ノ改良ヲ加ヘタルヲ以テ航海中移民ノ健康状態ハ概シ
テ良好ニシテ総員千八百有余名ノ内纔ニ二名ノ病死者ヲ出
セルニ過ギズ

神戸出帆後数日間ハ約五百名ノ船量者ヲ生ジ寄港地「ナタ
ル」ヨリ解纜後モ亦数日間船体動揺シ多数ノ船量者アリタ
ルモ漸次慣ルルニ從ヒテ其数ヲ減ジタリ其他ノ疾病ハ感冒、
胃腸病、急性呼吸器疾患、皮膚病、外傷等ニシテ概ネ生活
状態ノ変化若クハ氣候ノ劇変ニ基因スル疾患ニシテ慢性病
極メテ少ク患者数毎日平均四五十名内外アリシモ総ベテ船

同年秋季ノ帝国丸ニ至ルマデ既ニ三回最モ適當ニ其任務ヲ
果シタル無比ノ適任者ニシテ熱誠以テ移民ヲ慰撫スルニ努
メ兼ネテ時々有益ナル訓話ヲナシ一意移民ノ修養ニ注意シ
タルヲ以テ全航海中移民ハ能ク船内ノ規律ヲ守リ其挙動極
メテ静穩ナリシトイフ

本航海中帝国丸ニテハ騰写版ヲ利用シテ「帝国新聞」ト名
付クルモノヲ発行シ三月三十日ノ分ヲ初号トシテ五月十日
ノ第二十三号ニ至ルマデヲ船内諸所ニ掲示若クハ配附シ同
船ニ設備セル無線電信ニ依リテ得タル報道ヲ初メトシ船内
ノ出来事ヲ報ジ或ハ訓話ヲ挿ミ移民ノ投書ヲ掲ゲテ慰藉教
訓ノ用ニ供シ松田監督主トシテ其発行ヲ主宰シ尚ホ同監督
ノ発企ニテ屢、総代組長会、組長夫人会、家長会、家婦会、
青年会、少女会等ノ如キ有益ナル集会ヲ催フシ訓諭至ラザ
ル所ナカリキ

航海中移民ノ食事ハ若狭丸ノ如ク汽船会社賄ニアラズシテ
竹村移民取扱人ノ直営賄トシ明治四十三年ノ旅順丸以来毎
回竹村移民ノ賄方ヲ請負ヒタル楠瀬某ニ於テ前回ト同様之
ヲ担任シ食事ニ関シ移民ノ苦情アリシヲ聞カズ、
糧食ハ上等白米、麦、醬油、味噌、食塩、沢庵漬、梅干、

内治療其効ヲ奏シ死亡者ハ前記ノ如ク二名アリタルノミ又
何等伝染病ノ発生無カリキ

移民中妊婦ノ数二十名内外アリテ内五名ハ月滿チテ航海中
分娩シ母子共ニ健全ナリシモ三名ハ三四ヶ月若クハ五六ヶ
月ニシテ流産セリトイフ

死亡者二名ノ内一名ハ二歳ノ幼女ニシテ急性腸加答兒ヨリ
急性脳膜炎ヲ起シタルニ因リ又他ノ一名ハ年齢十一歳ノ少
女ニシテ顔面広汎性蜂窩織炎ヨリ是亦急性脳膜炎ヲ続発シ
タルモノトス

五月十一日午後五時五十二分帝国丸「サントス」港内予定
錨地ニ投錨スルヤ間モナク検疫官來船シ船長ヨリ提出シタ
ル書類ヲ点検シ且船医ヨリ航海中ノ衛生状態及現在患者ナ
キ旨ヲ聴取リタル上例ニ依リ極メテ簡單ニ検疫手續ヲ了リ
タルハ午後六時三十分ナリキ

翌十二日午前六時帝国丸ハ検疫錨地ヨリ拔錨同七時二十四
分第四号埠頭ニ繫留例ノ如ク移民局吏員、竹村移民取扱人
ノ代理人、其指揮下ニ在ル事務員及通訳等十数名來船シ午
前十時三十分ヨリ移民ノ上陸ヲ開始シ無事平穩裏ニ午後四
時三十分マデニ移民全部上陸シ了リ一同ヲ乗セタル二等客

車ハ二列車トナリテ別々ニ「サンパウロ」市ニ向ヒ午後六時三十分ト同九時三十分ノ兩回ニ移民收容所ニ安著シタリ其他上陸及汽車輸送ノ方法等ハ若狹丸輸送移民ト大差ナキヲ以テ之ヲ略ス

移民ノ手荷物ハ実ニ四千拾五箇ノ大数ナリシガ移民ノ上陸ト同時ニ其陸揚ヲ開始シ昼夜兼業ニシテ翌日午前一時ニ之ヲ終レリ

既述ノ如ク本年ハ歐洲移民ノ渡来数甚ダ少ク本移民到着ノ前後モ收容所ニ寄宿セル外国移民数十名ニ過ギザリシヲ以テ本邦移民ハ毫モ窮屈ヲ感ズルコトナク同所吏員ノ世話モ能ク行届キ入所ノ翌日ハ静ニ休息セシメ其翌十三日ヲ以テ各家長ヲ呼出シテ人員点呼ヲ行ヒ十四、十五ノ兩日ニハ携帯手荷物ノ税関検査アリ税関吏ハ最初頗ル嚴重ニ検査ヲ行ヒタルモ遂ニハ其煩ニ堪ヘズシテ大ニ寛大トナレリ十六日ニハ被雇耕地別ニ從ヒテ移民手荷物ノ整頓ヲ行ヒ同日夕刻耕地ニ向ヒタルヲ先發トシテ十九日朝マデニ移民全部「サンパウロ」市移民收容所ヲ出払ヒタリ

收容所内ノ病院ニ入り治療ヲ受ケタル者六名アリテ内一名ハ心臟病ノ為メ死亡シ別ニ出産ノ為メ入院シタル者二名及

産後養生ノ為メ入院シタルモノ二名アリタリ
收容所ニ於テ出生シタル二名ノ女兒ハ孰レモ健全ナリ
移民上陸後各被雇耕地ニ向ヒ出発スル迄ノ間竹村ノ業務代理人ハ予ネテ通訳中ヨリ食事係、荷物係、点呼係、病院係等ヲ若干名ヅツ選定シ置キ専ラ移民ノ為メニ諸般ノ便宜ヲ図ラシメタリ

其他ノ状況ハ東洋移民会社取扱移民ノ部ニ記述シタル所ト大同小異ナルヲ以テ茲ニハ略ス

本移民ヲ配附シタル咖啡耕地ハ別表第四号ノ通り合計二十五耕地ニシテ内十三耕地ニハ既ニ本邦移民労働シ居リ残り十二耕地ハ今回初メテ本邦移民ヲ雇入レタルモノトス

「サンタ、エルネステイナ」耕地ハ東洋移民会社取扱ニ係ル昨年春秋二回ノ移民ヲ就地セシメタル所ニシテ今回ハ東洋竹村双方ヨリ移民ヲ供給セリ

移民ガ此等耕地主ノ間ニ調印シタル労働契約中所謂特殊条件ハ

(イ)咖啡樹受持手入賃(千本ニ対スル年額)

百三十「ミルレイス」ヲ給スルモノ	一耕地
百二十五「ミルレイス」ヲ給スルモノ	一耕地

(ニ)移民ニ自作ヲ許ス土地

一定ノ園内ニ作物ノ種類ヲ限リテ間作ヲ許スモノ	九耕地
間作ヲ許シ尚ホ園外ニ土地ヲ貸与スルモノ	三耕地
園外ニ土地ヲ貸与スルモノ	十三耕地

ニシテ咖啡樹受持手入賃ノミニ就キテ見ルトキハ東洋取扱移民配附耕地ニ比シ大ニ遜色アルガ如キモ単ニ該条件ノミヲ以テ移民収入ノ多少ヲ論ジ且其幸不幸ヲ断ズル能ハザルハ既ニ東洋取扱移民ノ部ニ一言シタル通りナレバ各移民ノ取得ハ机上ノ空論ヲ避ケテ之ヲ実地ノ成績ニ見ザルベカラズ

呼寄移民総数三百十三名ノ内一名ハ航海中死亡シタルヲ以テ之ヲ除キ上陸者三百十二名アリシガ此内目的地タル「リオデジャネイロ」市ニ赴キタル者五名、「サンパウロ」市ニ留マリタル者二名ヲ除キ残余ノ三百五名ハ三十四箇所ノ耕地ト「モンソン」植民地(二名)ニ入り既ニ各所ニ在留労働中ナル家族若クハ親戚ニ合セリ就中最多數ノ呼寄移民アリタルハ「ベラ、ギスタ」耕地ノ七十七名ニシテ之ニ次

グヲ「サンタ、ガブリエラ」耕地ノ三十三名、「コンキス

(四)咖啡採取賃(一「アルケイリ」ニ付)

本年七百「レイス」ト定メタルモノ	二耕地
明年六百「レイス」ト定メタルモノ	二耕地
本年六百「レイス」ト定メタルモノ	十一耕地
明年四百五十「レイス」ト定メタルモノ	一耕地
本明南通ジテ六百「レイス」ト定メタルモノ	十耕地
同上五百「レイス」ト定メタルモノ	一耕地

(ハ)日傭労働賃銀

三「ミルレイス」ヲ給スルモノ	八耕地
二「ミルレイス」半ヲ給スルモノ	十四耕地
二「ミルレイス」ヲ給スルモノ	三耕地

タ」耕地ノ二十八名、「グワタパラ」耕地ノ二十四名、「サン、ジヨアキン」耕地ノ十六名、「サン、マルティンニヨ」耕地ノ十四名、「サン、ルイーダ」耕地ノ十二名等トス而シテ「サンタ、ガブリエラ」「ベラ、ギスタ」「コンキスタ」ノ三耕地ハ咖啡王ノ称アル「コロネル、フランシスコ、シュミット」氏ノ所有ニ属シ同氏所有ノ他ノ四耕地ニ入りタル二十八名ヲ合セ氏ノ咖啡園七ヶ所ニ就地シタル呼寄移民ノ数合計百六十六名ニ上レリ以テ同氏所有耕地ニ於ケル本邦移民ノ待遇良好ニシテ移民満足セルノ証左ト

ナスニ足ラン
尚ホ竹村取扱呼寄移民中ニハ可適労働者三名以上ヨリ成ル家族若干アリテ此等ハ現行法令ノ規定ニ從ヒ大人一名ニ付英貨八磅ノ割合ヲ以テ渡航旅費ノ還附ヲ受クベシ
右報告候也

大正三年五月

在伯国

公使館一等通訳官 野田良治

大正三年東洋移民合資会社取扱移民県別表

県名		家族移民				呼寄移民				通計			
		家族数	男	女	計	男	女	計	男	女	計		
福島	一本島	一〇三	二〇五	一五六	三六一	四六	五	五一	二五一	一六一	四二二		
熊本	熊本島	七九	一五五	一二四	二七九	三四	五	三九	一八九	一二九	三一八		
広島	広島	六一	一二三	九〇	二一三	一三	五	一三	一三六	九〇	二二六		
福岡	福岡	五四	一〇四	九七	二〇一	三八	九	四七	一四二	一〇六	二四八		
岡山	岡山	二〇	四九	三二	八一	一	一	二	四九	三二	八一		
山形	山形	一九	三六	二九	六五	一	一	二	三七	二九	六六		
佐賀	佐賀	一四	三三	二八	六一	二	一	三	三五	二九	六四		

静岡	一〇	二二	二〇	四二	一	一	二	二二	一六	二〇
愛媛	〇	二二	一六	三八	一	一	二	二二	一六	三八
長崎	九	一七	一三	三〇	一	一	二	一七	一三	三〇
滋賀	七	一二	一四	二六	一	一	二	一二	一四	二六
岐阜	六	一一	一一	二二	一	一	二	一二	一一	二三
新潟	六	八	一二	二〇	一	一	二	一四	一二	二六
愛知	五	一三	九	二二	一	一	二	一四	一二	二六
鳥取	四	八	九	一七	一	一	二	一四	一二	二六
兵庫	三	七	八	一五	一	一	二	一四	一二	二六
長野	二	六	四	一〇	一	一	二	一四	一二	二六
沖繩	一	一	一	二	一	一	二	一四	一二	二六
総計	四二二	八三一	六六九	一、五〇〇	一六六	二二	一八八	九九七	六九一	一、六八八

備考—以上表記セル内航海中福島、岡山、佐賀三県ノ移民中各女一名出生シ福岡県ノ分ニ男一名ノ出生アリ又岡山広島三県ハ夫々男一名ヲ失ヘリ
故ニ「サントス」港上陸人員ハ男九百九十六名女六百九十四名通計千六百九十名トナレリ

別表第二号

大正三年東洋移民合資会社取扱移民配置一覽表

耕地	所在地	最近停車場	配置移民数	通訳姓名
Guataparà	Companhia Guataparà	Guataparà	112	平野運平 監督
Da Serra	Joaquim Prudent Corrêa	Sarandy	30	半沢虎雄
Santa Veridiana	Conselheiro Dr. Antonio Prado	Santa Veridiana	30	田中豊吉
Morro	Prudente José Corrêa	Palmeiras	72	馬場留四郎

Graminha	Firmino Soares de Oliveira	Tribirica	15	53	明糖
Pau Alto	D. Jria Alves Ferreira	Villa Bonfim	20	74	(旧移民アリ)
Rio Doce	Dr. Olympio Machado	Itoby	15	60	長谷川
Bella Vista	José Ozorio de Souza	Visconde Parnahyba	15	50	山田弘三
Bagussu	Joaquim Silveira de Lima	Bataaes	15	53	古閑富彌
Coqueiro Aca	Antonio Alves Ferreira	Eugenheiro Brodowsky	20	65	斎藤武雄
Salinho	Manoel Rodrigues Simões	Rodrigues Alves	30	101	大塚政治郎
Santa Anna Mataruna	Santiago Meirelles	Visconde Parnahyba	20	80	井上春蔵
Santa Maria	Francisco Corrêa	Eugenheiro Brodowsky	12	42	東定八
Ba Vista	Antonio Barbosa Ferraz Junior	Silveira do Val	66	18	岩本一郎
Paraizo	Rodrigo Lacerda Soares	Serra Azul	15	59	吉岡民吾
Santa Ernestina	Joaquim Meira Botelho	Santa Ernestina	12	42	目黒静
Santa Eudoxia	Senador Alfredo Ellis	Alfredo Ellis	5	18	原口七郎
Nossa Senhora de Conceição	Barão do Amaral	São Manoel	4	14	加納一意
Leopoldina	Vicente Soares de Barros	Araquá	3	11	(旧移民アリ)
São João	José Pedro de S. Meirelles	Matto Grosso de Bataaes	2	6	福川薩然
Sobrado	Comp. Agrícola Araquá	Treze de Maio	1	4	菅野倉吉
Floresta	Dr. Honorio Olympio Machado	Bataaes	2	7	遠藤豊之助
Conceição	Alves Lima & Cia.	Chavantes	8	29	(旧移民アリ)
合計二十三耕地			412	1,502	

別表第三号

大正三年竹村与右衛門取扱移民県別表

県名	家族数			呼寄移民			通計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
福岡	一九八	一六二	三六〇	一六五	六三	二二八	三六三	二二五	五八八
熊本	一八八	一六六	三五四	二一	二四	二五	二〇九	一七〇	三七九
広島	一四〇	一一五	二五五	一五	二	一七	一四六	一一七	二六三
高知	七八	五〇	一二八	一五	四	一九	九三	五四	一四七
山口	五六	四四	一〇〇	一五	二	一七	七	四六	一一七
山形	三三	二三	五〇	三	一	四	三四	二三	五七
福島	三三	二八	六一	一	一	二	三二	一八	五〇
三重	二四	二六	五〇	一	一	二	二四	二六	五〇
岡山	二一	一八	三九	一	一	二	二一	一八	三九
香川	二〇	一九	三九	二	一	三	二二	一九	四一
愛媛	二〇	二〇	四〇	一	一	二	二三	二一	四四
兵庫	九	二〇	二九	一	一	二	九	二	一一
島根	七	八	一五	一	一	二	七	六	一三
宮城	四	六	一〇	一	一	二	二	一	三
大分	一	一	二	一	一	二	一	一	二
沖繩	一	一	二	一	一	二	一	一	二
総計	八二六	六七五	一、五〇一	二三一	七七	三〇八	一、〇五七	七五二	一、八〇九

備考※之ニ「リオデジャネイロ」市行呼寄移民男四名女一名合計五名ヲ加フルトキハ総計一千八百十四名トナリ更ニ航海中ノ出生五名死亡二名ヲ差引スルトキハ「サントス」港上陸移民数一千八百十七名トナル

別表第四号

大正三年竹村取扱移民配置一覽表

耕 地	所 有 主	最 近 停 車 場	配置移民数		通 訳 姓 名
			家 族	人 員	
Santa Rita	Joaquim Firmino de Junqueira	Joaquim Firmino	50	181	宮 本 末 記
Villa Costina	Sabino de Costa Machado	Villa Costina	30	114	鎌 田 信 一 郎
Santa Maria	Rinaldo Salles Oliveira	Engenheiro Brodowsky	23	82	金 子 小 三 郎
Buenopolis	Joaquim de Cunha Bueno	Buenopolis	20	74	滝 沢 三 三 郎
Guanabara	Americo Salles Oliveira	Jardinopolis	16	65	出 利 葉 林 吾
Santa Isaura	Manoel M. Junqueira	Francisco Maximiano	15	58	加 納 二 三
Bella Vista	Henrique de Cunha Bueno	Illa Grande	12	48	佐 藤 市 四 郎
Fartura	João Ferreira da Rosa	Engenheiro Brodowsky	12	44	村 崎 豊 重
Baixaão	Francisco M. Junqueira	Francisco Maximiano	10	37	佐 方 伝 八
São Bernardo	Augusto Soares de Arruda & Irmão	Pantaleão	10	35	佐 藤 吉 次
São Luiz	Antonio Junqueira	Francisco Maximiano	6	22	鞍 谷 半 三 郎
Guaraciaba	José Aleixo da Silva Passos Junior	Engenheiro Brodowsky	2	6	門 馬 伝 藏
Santa Ernestina	Joaquim Meira Botelho	Sta. Ernestina	3	10	目 黒 伝 静
Restinga	Joaquim Firmino de Junqueira	Restinga	40	141	合 田 久 一
Perobas	Magino Diniz Junqueira	Orlandia	30	104	畑 中 仙 次 郎
Bôa Vista	Joaquin da Cunha Diniz Junqueira	Francisco Maximiano	20	87	富 岡 進
Bôa Vista	Elias Carneiro Girdes	Pirajú	24	80	羽 田 松 次 郎
Brejo Grande	Martinho da Silva Prado	Domingos Villela	12	37	平 野 運 平 兼 監
De Alho	José Aleixo da Silva Passos	Engenheiro Brodowsky	15	58	屬 浦 謙 三
Bom Jardim	João Carlos de Aguiar	〃	12	51	岩 本 又 左 門
Varge Alegre	Hygino Calheiro	Igarapava	10	37	西 沢 為 造

Esperanca	Oscar Hayward Lopes	Botucati	10	41	四 角 善 七
Santa Ubalдина	Valencio Augusto de Barros	Andes	10	37	岩 本 介 三 郎
São João	Junqueira Filhos & Cia.	Carlos Magalhães	10	36	(旧移民アリ)
São Roque	João Francisco Martins	Pirassununga	6	23	立 石 権 太 郎
合計二十五耕地			408	1,508	

三八二 六月十三日

在伯国畑公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

「サンパウロ」州行本邦移民取扱事業へノ森

岡ノ割込策ニ関シ稟請ノ件

第四〇号

森岡代理人西坂ハ空手帰国シ難キ立場ニアリテ先ツ青柳ヲ誘惑シテ現在会社ノ間ニ割込策ヲ試ミ若シ成ラサル時ハ単独運動ヲナサントスル計画ナルカ如シ尤モ青柳ハ既ニ東洋竹村ノ為メニ尽力ヲ約シ居ルヲ以テ誘惑手段ハ奏功ノ虞ナカルベキモ此際森岡ノ単独運動ハ既定ノ御方針ヲ蔑視シ頗ル有害ト思考セラルルニ付本使ハ西坂ニ対シ単独運動ハ不可ナルニ付青柳及両代理人ト交渉シ森岡ハ未タ当国ヘ移民輸入ヲナシタル事ナキモ一昨年飯田ヲ派遣シタル等ノ関係モアレハ特ニ仲間入ヲ承諾スル様両本社ヘ從憑方ヲ依頼シ

且同人等モ森岡ニ対シ条件ノ如何ニ拘ハラス両会社ト妥協ヲ得策トスト申送ル外他ニ策ナカルヘシト申聞ケ置キタリ
スル事情ナレハ往電ヲ以テ上申シ置キタル六ヶ月ノ期間内ニ両会社ノ妥協成立セサルニ於テハ青柳モ自由行動ヲ執リ得ル事トナリ対伯移民事業ノ大混乱ヲ招ク虞アルニ付両会社ヲシテ至急妥協ヲ遂ケシメ青柳カ援助ヲ拒ム能ハサル様ニシ尚両会社ト森岡間ニモ前陳ノ趣旨ヲ以テ妥協ヲ行フ様夫々御懇諭アラントヲ請フ

三八三 六月十五日

在伯国畑公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

「サンパウロ」州行本邦移民取扱事業ニ関シ

森岡ノ単独行動阻止及三社妥協方稟請ノ件

第四一号

五月五日附通送貴信ニ依レハ森岡ノ単独運動開始ニ対シ本

省及兩社ハ何等異存ナキカ如ク察セラルル所往電第三三三号ノ通最善ノ結果ヲ得シカ為州政府ニ對シテハ目下兩社ノ運動モ差控居ル今日森岡ヲシテ州政府ニ對シ自由ニ運動セシムルハ甚タ面白カラサルハ勿論若シ不成功ニ終レハ未タシモ万一森岡一社丈ケカ満足スル程度ニ於テ我移民發展上不利ナル約定ヲ為シ得ストモ限ラス尤モ其実行ノ拒否ハ帝國政府ノ自由ナルモ之カ為メ州政府ニ對スル兩社ノ運動上尠カラサル障害ヲ与フル義ニ付此際單獨運動ハ一切ナサシメサルコトトシ前電ノ通三社妥協方可然御配慮アリタシ

三八四 六月十六日

坂田通商局長ヨリ
北海道庁長官、警視總監、各府県知事宛

在伯国移民家族呼寄証明書ノ下付人名表二関
スル件

通送第四〇六九号

伯刺西爾國ニテ就働中ノ本邦人が其家族ヲ呼寄セ同居労働センガ為メ在伯帝國領事ノ証明書ヲ受ケテ被呼寄人ノ許ヘ送付シ之レニヨリテ渡航スル移民ノ便宜ヲ計リ伯國行移民ヲ輸送スル直航船アル場合ニハ前示被呼寄移民ニ関シ在伯帝國領事ヨリ本省ヘ送付ニ係ル人名表ヲ可成被呼寄人所在

地ノ地方庁ヘ送付スル手續ヲ執ルコトト致居候処右ハ今後特ニ送付不致候ニ付出願人ノ提出スル証明書ニヨリ可然御処理相成度此段申進候也

三八五

六月十六日 加藤外務大臣ヨリ
在リオデジャネイロ松村總領事宛

「サンパウロ」州行呼寄移民旅費補給資格ニ

関スル件

通送第一七号

本件ニ関シ本年四月十三日付通領第一九号ヲ以テ御申越ノ趣聞悉然ルニ契約第十三条ハ呼寄証明書發給トハ何等關聯ナシト主張セラレ候モ前任藤田總領事代理ガ明治四十四年五月頃ヨリ該証明書ヲ發給スルニ方リテハ契約第十三条ニ基キタル家族移民呼寄トシテ証明書ヲ發給シタリトノ言明アルニ拘ラズ貴官ハ之レヲ然ラズト打消サル、謂レ之レナカルベク尤モ本件ハ文書上ニ明白ニ解決セラレタル事柄ナラサルニ因リ前任藤田總領事代理ノ了解ハ後任者ニ於テ繼承セラル、ヲ得ズシテ現在貴官弁明ノ旨趣ニテ呼寄証明書ヲ發給セラレシト云フニアレバ一応理由アルモ最初証明書ヲ發給シタル時ニ遡リ尚ホ契約第十三条ハ呼寄証明トハ無

交渉ナリト断言セラレ候ハ事実ノ考究足ラサルヤニ思考セラレ候元來契約第十三条ノ解釈ニ就イテハ当初ヨリ不明ノ廉アルヲ心付キタリシモ兎モ角移民取扱人ハ在伯移民ノ呼寄ニ係ル家族移民ノ取扱ヲナサルベカラザルニヨリ明治四十四年十一月七日付ニテ竹村取扱人ノ代理人ヨリ当省ヘ伯國移民募集認可願ニ對スル上申書ヲ提出シ其上申書覚書ノ第六項ニ「伯國州政府トノ契約第十三条ニ依ル自由移民ニ對シテハ移民取扱人ニ於テ戸籍謄本ヲ添ヘ曩ニ渡航シタル移民ノ家族ナルコトヲ証明シタル者ニ對シテハ許可セラ

ル、様各地方官庁ヘ達セラレタシ」ト願出次テ明治四十四年十二月中同取扱人ノ代理人ヨリ呼寄移民取扱条件書ヲ差出シ候ニ付右承認スルト共ニ翌四十五年二月二十日付送第七号信ヲ以テ藤田代理公使ヘ委曲通知致置尚ホ該公信ニハ福島県知事ノ照會書並ニ当省ノ回答書モ添付有之候義ニ付果シテ其當時既ニ貴官弁明ノ如キ解釋明白ナルニ於テハ其旨御開申可相成筈ト被存候

貴官ハ契約第十三条ノ解釈ハ契約調印ノ當時ヨリ一定シ居リ移植民規則ノ明文トハ彼是對照査閱スルニ於テハ事理極メテ明瞭ナリト言明セラレ候モ如カク明瞭シタルハ最近ノ

コトニテ其以前ニ在リテハ解釈上ニ疑議アリタレバこそ客年十一月野田總領事代理ノ州当局者ヘノ照會トナリ在伯被呼寄移民ノ旅費還附請求トナリ又在伯業務代理人ノ調査研究トナリタルニ非サルヤ殊ニ最初家族移民トシテ貴館ニ於テ証明書ヲ与ヘラレ之レニヨリ渡來セル移民ニ對シ少数ナガラ州当局者ハ家族關係ニ就キ嚴格ナル解釈ヲ試ムルコトナク容易ニ移民業務代理人ガ請求セル儘八磅宛ノ旅費補給ヲナシタル等ノ事実ニ徴スルニ仮令貴館ノ呼寄証明書ヲ發給セラレタルモノ、全部ガ契約第十三条ニ依リ旅費ノ補給ヲ受ケ得ルモノニ非サルニセヨ該呼寄証明書發給ノ事実ト契約第十三条トハ当初ヨリ密接ナル關係有之候ハ今更否定難致事柄ニ有之候唯明治四十五年來貴館ノ呼寄証明數劇増ノ結果州政府ニ於テハ曩ニ同様ノモノニ對シ旅費補償ヲナシタルニ拘ハラズ俄ニ法律上ノ解釈ヲ楯トシ之ヲ拒否スルノ態度ニ出タルモノニシテ之等事實ハ貴信第三ノ記事ニ依

レバ已ニ數ヶ月間ノ懸案トナリ居リ其間竹村東洋兩代理人ニ於テ州当局者ト示談ヲ重ネタル趣并ニ其願末ニ関シテハ該移民取扱人ヨリ當省ヘ上申セシ筈ナル由御申越相成候ヘ共當方ニテハ更ニ斯カル上申ニ接セザリシノミナラズ此種

ノ事ハ当然貴官ヨリ御報告相成ルベキ筋ト存候処何等報告セラル、処ナク却テ州政府ニ対シ当方ノ訓令ヲ待タズ直接交渉ヲ開始セラレ遂ニ不利ナル解釈ヲ与ヘラル、ニ至リタルハ甚遺憾ノ義ニ有之候本件ハ已ニ貴館ト州政府ノ関スル限り一度交渉終了セシモノニ付致方モ無之候へ共今回ノ貴信ニ於テ前頭ノ事情ヲ無視シ当方ニ誤解有之候様申出ラレ候ハ其意ヲ得ザル義ニ付右御心得迄回答申進候也

三八六 六月十七日 加藤外務大臣ヨリ
在伯国畑公使宛(電報)

青柳ノ運動ノ情況及森岡移民会社单独行動ニ

付問合ノ件

第四〇号

貴電第四〇号第四一号ニ関シ追テ何分申進スヘキモ差向キ青柳ノ運動ハ其後如何ニ進行シ居ルヤ又西坂カ单独ノ行動ヲ取ルトセハ如何ナル方法ニテ運動スル積リナリヤ取調ヘ回電アレ

三八七 六月二十日 在伯国畑公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

東洋竹村両社代理人及青柳ノ運動並森岡代理

シタシトノ念ヲ有スルモノト認メラルルニ付本使ハ此際单独運動ヲ許スハ政府ノ意ニ反スルモノトシテ之ヲ差控ヘシメ居ル次第ナリ

註 右電報写ハ後段「又西坂ノ单独運動ハ」以下ヲ削除ノ上六月二十三日坂田通商局長ヨリ東洋移民会社社長川田鷹及竹村移民取扱人水野電ニ送付セラレタリ

三八八 六月二十三日 加藤外務大臣ヨリ
在伯国畑公使宛(電報)

東洋竹村両移民会社ハ「サンパウロ」州政府ヨリノ補助金支給運動ヲ断念シ自由移民渡航ヲ計画シ居ル件

第四一号

貴電第四三号ニ関シ
両移民会社ハ在伯代理人ヨリ目下ノ財政状態ト現政府ノ下ニテハ如何ナル補助金モ到底得難キコトニ有力者ノ意見一致ストノ電報アリタルニヨリ補助金運動ヲ今後ノ好機會迄一先中止シ州政府ヨリ移民收容所ノ供給ト汽車無料輸送ノ二点ヲ保証セシムル外ハ一切補助金ヲ受ケサル自由移民ヲ送ルコトニ決心シ承認ヲ願ヒ出テタリ

一五 「ブラジル」移民雑纂 三八八 三八九 三九〇

人ノ单独運動ニ付報告ノ件

第四三号

貴電第四〇号ニ関シ両社代理人ハ其後我ニ好意ヲ表スル朝野有力者ヲ歴訪シ其ノ意嚮ヲ内探シタルニ現農務大臣ハ排日ニ傾キツツアルモノノ如ク此際補助ヲ得テ本邦移民輸入ヲ承諾セシムルコト困難ナリト推測セラルルモ今秋本邦移民雇入ヲ希望スル耕主多ク注文数今日既ニ各社三百家族以上ニ達セルヲ以テ旅費自弁ノ移民輸入ヲ試験的ニ実行シタシトノ意ヲ本使ニ語レリ依テ本使ハ先ヅ此際予定ノ通現行法令ノ規定ニ從ヒテ船会社トシテ補助ヲ受クヘキ本邦移民ノ数及補助金額ニ関シ公然州当局者ニ交渉ヲ試ミ又耕主注文ノ移民輸入ノ許否及今秋輸入セントスル移民ニ対スル補助金ニ関シテモ州政府ノ意嚮ヲ確カメ然ル後考量ヲ加フル方可然ト申聞ケタル所両代理人ハ青柳トモ相談ノ上右ノ趣意ヲ以テ行動シ追テ結果ヲ報告スヘシト述ヘタリ又西坂ノ单独運動ハ其ノ方法ト手段等ヲ選フモノニアラス苟モ自己ニ得ル所アレバ後日ノ發展利害両社運動ノ妨害等ハ素ヨリ眼中ニアルナク寧ロ両社ノ邪魔ニナルコトヲ希望シ若シ運動ノ結果得ル所ナケレバ両社ニ対スル妨害丈ハ是非共遂行

貴官ノ御意見ハ貴電ニテ承知シ居ルモ右願出ニ対シ何等申越サルルコトアラハ電報アレ

三八九 六月二十五日 在伯国畑公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

「サンパウロ」州行本邦自由移民ノ渡航ハ州政府ノ意嚮ヲ確メタル後ノ事トシタキ件

第四五号

貴電第四一號ニ関シ次期伯国大統領及現任州農務大臣ハ孰レモ自由移民主義ヲ称道スル程ナレハ早晚無補助ニテ本邦移民ヲ輸入セサルヘカラサル時期到来スヘキハ勿論ナルモ公然州政府ノ意嚮ヲ確メズシテ直チニ我レヨリ進ンテ自由移民輸入ノ交渉ニ移ルハ将来不利益ヲ招クノ虞アルニ付一応前電ノ趣旨ニ基キ両代理人ヲシテ州政府ノ意嚮ヲ確メシメ其模様ニ依リ自由移民選出許否ニ関シ考慮ヲ加フルコトト致シタシ

三九〇 六月三十日 在伯国畑公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

「サンパウロ」州行本邦移民ニ関シ森岡代理人ノ单独運動差止方ノ件

第四六号

西坂ノ本社ヨリ受ケタル電信中ニハ協定ニ暇ヲ取ラレテハ
イケン政府ニ運動セヨ会社ノ外契約出来ヌカトアリ政府ト
ハ「サンパウロ」政府ト察セラルル所此際同人ニ運動ヲ許
スノ大局上不利ナルハ屢具陳ノ通ナルニ付追テ何分ノ御回
訓アル迄依然同人ノ運動ヲ差控ヘシムヘキヤ折返シ何分ノ
義御返電アリタシ

三九一 七月二日 在伯国畑公使ヨリ
在伯国畑公使宛(電報)

森岡本社ヨリ代理人ニ单独運動見合方電報ノ
件

第四三号

貴電第四六号ニ関シ

森岡ヨリ西坂ヘ公使ノ指図アル迄運動見合スヘキ旨電報ノ
答

三九二 七月四日 在伯国畑公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

森岡ト東洋竹村両社トノ妥協不成立ノ場合ニ
付上申ノ件

第四八号

西坂ハ目下内々 Minas 州政府ニ対スル運動準備中ナリト
察セラル若シ兩社対森岡ノ妥協成立セサル場合ニハ西坂ニ
「サンパウロ」以外ノ運動ヲ自由ニセシムルコト得策ナリ
ト思考ス
御参考迄ニ申進ス

三九三 七月一日 在伯国畑公使ヨリ
加藤外務大臣宛

南米ニ於ケル排日熱防止ニ関シ意見具申ノ件
通機密第七号 (八月十九日接受)

大正三年七月一日

在伯

特命全權公使 畑 良 太 郎 (印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

近来南米ニ於ケル本邦人ノ増加ト共ニ漸ク排日の氣運發生
ノ兆候アリテ今ヨリ之ガ防止ノ策ヲ講スル事極メテ必要ノ
義ト存セラレ候ニ付例ヘバ南米諸国殊ニ当伯国新聞紙ノ我
国及国民ニ対スル虚報誤解ヲ是正シ併セテ彼我ノ間ニ於ケ
ル意思ノ疎通ヲ図ル等排日の氣運ノ勃興ヲ未然ニ防遏スル

ノ方法則チ簡易ナル「エヂュケーションナル、キヤムペーン」
ニ関シ本使ノ卑見開陳致スベキ旨本年三月二十七日附通
機密送第三号ヲ以テ縷々御訓示ノ趣敬承致シ候

第一当国ニ於テ刊行セラル、巨多ノ新聞紙中従来屢々本邦
移民排斥論ヲ掲載シ或ハ現ニ排日の傾向ヲ有スルモノハ多
クハ第二流三流ノ新聞若クハ伊太利人独逸人等ノ機關紙ナ
レバ正面ヨリ道理ヲ説キテ其誤報謬見ヲ訂正セシムルコト
極メテ困難ナル事情アルハ本邦黄色紙ト彼是甲乙ナキモノ
、如クサレバトテ不断ニ新陳代謝シツ、アル多数ノ臆臆記
者通信員等ヲ一々買収若クハ籠絡スルコトハ實ニ巨額ノ費
用ヲ要スルノミナラズ其割合ニ効能少カルベキ見込ニ有之
候ニ付之ニ対シテハ寧ロ左記ノ方法ニ依ル方適當ナラント
思考致シ候

(イ) 有力ナル第一流ノ新聞例ヘバ Jornal do Commercio,
Jornal do Brazil, O Paiz, O Correio da Manhã, O
Goiado de São Paulo 等ノ内ニ、三ヲ選ビテ我ノ味方ト
ナシ置キ各其主筆記者等ヲシテ平常我ニ有利ナル論說記事
ヲ掲載セシムル外、排日新聞ガ誤報謬說等ヲ掲ケタル場合
ニハ之ガ是正弁駁ノ任ニ当ラシムルコト

(ロ) 仮リニ主筆記者等ヲ全ク我ニ手懐ケルコト出来ズトス
ルモ当館ニテ起草ノ上送付スル記事ハ総ベテ之ヲ掲載シ與
ル、丈ケニ社長編輯長等ヲ籠結シ置クコト

(ハ) 伯国人(他ノ南米諸国人亦然リ)ハ概ネ遊惰ニシテ其
時々ニ新聞記者ヲ捉ヘテ我レノ希望スル記事論說ヲ起草若
クハ翻譯センコトヲ依頼スルモ迅速ニ之ヲ実行セス荏苒日
ヲ経ルガ常ナレバ公使館、領事館ニ文章ニ堪能ナル雇外國
人ヲ置キ之ニ我欲スル通りノ新聞原稿ヲ起草セシメ前項ニ
ヨリ我ガ味方ト定メタル新聞社ニ送りテ之ヲ掲出セシムル
コト

(ニ) 敵味方ノ區別ヲ論セス各新聞社ニ対シ日本及日本人ヲ
紹介スル上ニ參考トナルベキ欧文ノ官公出版物、書籍新聞
雜誌ヲ領布スルコト

而シテ右有力ナル新聞社長、主筆記者等ヲ懷柔シ我ガ味方
トナス為メニハ各自ノ性質、嗜好地位名望等ニ応シ饗応叙
勲、贈品等臨機適宜ノ手段ヲ講スベキハ勿論ノ義ニ有之候
ノミナラズ愈之ヲ実行セントスルニハ帝國公使館所在地
「ペトロポリス」市ニ在リテハ不可能ニ付首府「リオ」市
ニ於テ活動スルノ必要有之候

第二、彼我ノ間ニ於ケル意思ノ疏通ヲ図ル方法ハ甚ダ多様ニ有之候ヘ共御申越ノ御趣意ニ從ヒ多額ノ經費ヲ要セサル範圍内ニ於テスルニハ左ニ掲グル手段ニ依ルノ外無カラント相考候

(イ)日本員ノ名士益々親密ニ交際スルコト(伯国名士中ニテ從來当公使館ト交際セル日本員ノ士ハ元老「ピニエイロ、マシャド」氏、「ジョルナル、ド、コメルシオ」新聞社長「ジョゼー、カルロス、ロドリゲス」、同主筆「フエリクス、パシエコ」、上院議員「アドミラル、インデイオ、ド、ブラジル」、下院議員「モレイラ、ギマライス」中佐、詩人「メロ、モラエス」氏等枚挙ニ遑アラザルモ帝國公使館ハ是迄山中ノ「ペトロポリス」市ニ籠居シタル等ノ理由ニヨリ兎角疏遠ニ流ル、嫌アリシハ特ニ御一考ヲ煩ハシ度キ点ニ有之候)

(ロ)南米名士ノ本邦漫遊ヲ勧誘スルコト

(ハ)本邦富豪ノ南米漫遊ヲ勧誘スルコト

(ニ)前二項ヲ一層盛大ニスル為メ相互ニ觀光団ヲ組織交換スルコト

(ホ)彼我ノ學術協会及其他ノ会ヲシテ相互ニ名譽會員、通信

モ行ハシム、又時々名士ヲ聘シ日本ニ関スル講演ヲ請フコト

此目的ノ為メニモ在伯公使館ヲ「リオ」市ニ移転セザルベカラズ

以上ハ御下問ノ御趣旨タル所謂簡易ナル「エデュケーショナル、キヤムペーン」ノ実行方法ニ関スル卑見ニ有之候ヘ共尚ホ退イテ熟慮スルニ斯克ノ如キ「エデュケーショナル、キヤムペーン」ハ排日的氣運ノ勃興ヲ未然ニ防止スル上ニ幾多ノ効果アルベシト雖モ未ダ以テ完然ナルモノニ無之ト被存候

抑々排日ノ原因タルヤ素ヨリ社会万般ノ方面ニ關係セル頗ル複雑多岐ナルモノニシテ一言以テ之ヲ蔽フ能ハサルモ其根底ハ人種ノ相異ニ基キ我レヨリ専ラ下層ノ労働者即チ移民ヲ送入シ以テ白人若クハ土着労働者ト對抗競争ヲ為サシムルニ至リテ益々本邦人ヲ嫌惡スルノ念ヲ高メシムル義ニ可有之殊ニ本邦人ガ濠洲ニ排斥セラレ加奈陀布哇ニ虐待ヲ蒙リ北米合衆國ニ迫害セラレタル風潮ハ忽チニシテ南米諸國ニ波及シ實際ニ於テハ南北両米大ニ事情ヲ異ニスルモノアルニ拘ラス南米諸國ニ於テモ亦本邦人ハ排斥スベキモノ

會員等ヲ推薦セシムルコト

(ハ)西班牙語(又ハ少クトモ仏蘭西語)ヲ以テ本邦紹介ノ一良書ヲ著述シ弘ク之ヲ配附スルコト(當國ノ國語ハ葡萄牙語ナルモ少シク教育アル者ハ容易ニ西班牙語ヲ読解ス又別ニ翻譯書ヲ出版セシムルトシテモ甚ダ容易ナリ)而シテ此著述ハ本邦及本邦人ニ関スル簡明正確ナル記述ヲ目的トセルモノト欧米人ノ觀察ニシテ首肯スルニ足ルモノヲ纂訳シタルモノトノ二様タルベキコト

(ロ)重要ノ港市(伯國ニテハ「マナオス」、「ペラー」、「ベルナンブコ」、「バイヤ」、「ベロオリソント」、「サントス」、「フロリヤノポリス」、「クリテイバ」、「ポルト」、「アレグレ」等)ニ名譽領事ヲ置キ主トシテ本邦紹介ノ任ニ當ラシムルコト、尤モ人選ハ日本員ニシテ相當ノ地位名望アル伯國人ニ限ルベシ

(ハ)公使館又ハ領事館ニ附屬シテ日本紹介局(Japan Information Bureau)ヲ設置スルコト、此紹介局ハ本邦商品陳列所ト小圖書館トヲ兼ねタルモノタルベク商品見本ハ点数ヲ少クシ主トシテ優等品ヲ展示シ圖書館ニハ欧文ノ書籍、新聞雜誌ヲ備ヘ且出版物広告商品目錄類ノ配附ヲ

又排斥シ得ラル、モノト輕信セル輩尠カラズ斯ル情況ニ候ヘバ北米合衆國英領植民地ヲシテ日本人ヲ白人ト同等ニ待遇セシムルヲ得サル限り南米ニ於テノミ排日無カラシメントスルハ恰モ実物ヲ除カスシテ影ヲ除カントスルニ等シク從テ「エデュケーショナル、キヤムペーン」ハ到底排日ヲ根底ヨリ除去スルコト能ハス單ニ之ヲ緩和スルノ手段タルニ過キスト思考セラレ候

左レバ此際採ル可キノ策ハ前記「エデュケーショナル、キヤムペーン」ヲ実行シツ、當伯國ニ向ツテ有ラユル階級ニ屬スル本邦人ヲ出來得ル限り迅速且多數ニ移住セシメ資本家ハ続々土地ヲ買占メ或ハ諸種ノ事業ヲ經營シ商業家ハ國內到ル処ニ本邦商品ノ販路ヲ擴張シ移民植民亦各々其能ニ応ジテ小資本ヲ蓄積シ小地主トナリ帰化セント欲スル者ハ帰化シテ伯國人トナリ選舉權被選舉權ヲ獲得スベク伯國ニ於テ出生シタル者ハ當國ノ國法ニ從ヒ生レナガラニシテ伯國人タルベク今後十年ヲ期シテ十万人ノ家族移住者(移民ノミニ限ラズ)ヲ渡伯セシムルニ於テハ二三十年ヲ出デズシテ本邦人ノ人数勢力共ニ増大シ如何ニ排日ヲ試ミントスルモ到底行ハレ難キコト猶ホ當國南部諸州ニ於ケル日耳曼

人ノ如クナラシムルニアリト被存候

尤モ移民送出ヲ専門トスルガ如キハ本邦人ノ勢力扶植ノ目
 のニ副ハサルノミナラズ却ツテ排日熱ノ勃興ヲ促進スルノ
 虞アルコト前陳セル通りニ有之候ニ付移民ノ誘入ト同時
 ニ本邦農夫數十家族乃至數百家族ヲ雇役シテ大農場ヲ經營
 スル程ノ資本家並ニ商工業家ヲモ渡伯セシメ又日伯間ノ定
 期航海ヲ營ム汽船会社ヲ設立セシムル等ノ必要ヲモ認メ居
 ル次第ニ有之候

尚ホ乍序当国内地ニハ未ダ探検行届カサル地方多々有之北
 米前大統領「ルーズヴェルト」氏一行ノ如キ今回地学上極メ
 テ有益ナル探検ヲ遂ケタル程ニテ本邦ニ於テモ動植物学者
 地質学者等相応ノ学識アル専門家若干名ヨリ成ル探検隊ヲ
 組織シ派遣スルコトヲ得バ其我ニ与フル実益ハ決シテ南極
 探検ノ比ニアラサルノミナラズ学界ニ貢獻スル所亦多カル
 可ク延イテハ日伯意志疏通ノ一大援助トナルベキヲ確信致
 候

此段回答申進候 敬具

三九四 七月九日 加藤外務大臣ヨリ
 在伯国畑公使宛(電報)

代理人カ数年前農務大臣タリシ Candido Rodrigues 氏ニ
 依頼シ現農務大臣ノ意向ヲ探ラシメタル結果トシテ同氏ノ
 復命セルモノナル由ニテ果シテ事実ナルヤ否ヤ疑ハシキ点
 アルニ付目下確メ中ナリ

三九六 七月十三日 加藤外務大臣ヨリ
 在伯国畑公使宛(電報)

サンパウロ州農務大臣ノ移民法ニ関スル言動

ニ付真相回復方訓令ノ件

第四六号

貴電第五〇号ニ関シ

移民会社ヘノ電報ニヨレハ州農務大臣ハ現行移民法制定当
 時ノ精神ハ歐洲移民ニ在リトシ日本移民ニ対シテハ收容所
 及鉄道ノ利便モ与フル限リニ非スト明答シ耕主ノ注文ニ基
 キ今秋千家族ノ自弁移民輸入ノ提議モ全然許可セス尚現行
 法ノ適用ヲ歐洲移民ニ限ル意味ニテ今期議會ニ法案ヲ提出
 セントスルノ意アリトイフ右ハ貴官ノ確報ニ接セサル前俄
 ニ信ヲ置キ難キモ大体ノ形勢ヨリ察スルニ問題ノ根底ニ排
 日思想蟠マリ居ルノ疑アリ

一般ノ形勢我ニ不利ナルモノノ如ク自然南米移民ノ大局上

「サンパウロ」州行本邦移民ニ関シ同州農務
 大臣言明ノ真意及善後策電報方ノ件

第四五号

貴電第四三号及四五号ニ関シ

東洋移民代理人ヨリ農務大臣ハ労働者ノ充實ト經費無キヲ
 理由トシ收容所鉄道ノミノ便宜ヲ得ル自弁移民サヘモ絶對
 ニ拒絶シ法律ノ条項如何ハ問フ所ニ非スト言ヘル旨電報セ
 ルトコロ右事実トセハ目下ノ当局者ハ日本人ノ此上ノ渡来
 ヲ好マズ從テ歐洲人ニ与フル法律上ノ特典ヲモ事實ニ於テ
 拒マントスルノ意味ナリヤ將タ単ニ日本人ノ移入ニ関シ収
 容所鉄道等ノ便宜ヲ契約ノ締結ニヨリ取極ムルヲ欲セサル
 意味ナリヤ事実御確メノ上今後ノ措置方ニ関スル貴見ト共
 ニ回電アレ

三九五 七月十日 在伯国畑公使ヨリ
 加藤外務大臣宛(電報)

「サンパウロ」州行本邦移民ニ関スル同州農
 務大臣ノ言明ニ付確メ中ナル件

第五〇号

貴電第四五号ノ件ハ本使モ代理人ヨリ報告ニ接セルモ右ハ

重大問題ヲ惹キ起スコトナキヲ保セス依テ此際野田ヲ「サ
 ンパウロ」ニ急派シ青柳及移民会社代理人ト熟議ノ上適當
 ノ方法ヲ以テヨク事ノ真相ヲ突止メシメ今後ノ措置振ニ関
 スル貴見ト共ニ電報アレ尚此際移民会社側ヨリ重役一名ヲ
 派遣シ貴官ト氣脈ヲ通ジ機宜ノ方策ヲ執ラシムルノ議アル
 トコロ右ニ関スル貴見ヲモ併セテ回電アレ

三九七 七月十四日 在伯国畑公使ヨリ
 加藤外務大臣宛(電報)

自費移民計画ニ関シ東洋竹村両社代理人ハ青
 柳ヲ無視シ州農務大臣ト交渉ノ件

第五一号

往電第五〇号ニ関シ六月二十日往電第四三号ヲ以テ稟請ノ
 通今秋自費移民移入計画ニ付兩代理人ヨリノ申出ニ対シ本
 使ハ先ツ予定ノ通現行法令ニ依リ補助ヲ受ケ得ヘキ本邦移
 民數及金額ニ付公然当局者ニ交渉ヲ試ミ又耕主ノ注文ニ基
 キ今秋移入セントスル移民ニ対スル補助金ニ関シテモ当局
 ノ意向ヲ確メ然ル後考量ヲ加フヘシト申聞ケ兩代理人ハ青
 柳ニモ相談ノ上右ノ趣意ヲ以テ行動スルコトニ取極メ置キ
 タルニ兩人ハ青柳ニ相談セス專ラ前農務大臣 Candido 氏

ト協議ノ上大要左ノ如キ兩人連署ノ質問書ヲ作り本月三日同氏ヲ經テ農務大臣ニ手交セシメタリ

「多数耕主ノ注文ニ応シ兩移民会社ハ來ル十月末迄ニ就働セシムル為ニ汽船ヲ以テ日本移民ヲ移入シタキニ付左ノ事項ニ付質問ス

(一)政府ハ兩提議者ニ対シ官令第二章第二項第一款ニ依リ移入スル移民ノ旅費補助トシテ歐洲移民ニ対スルト同様ノ額ヲ与フヘキヤ

(二)前項ニシテ許可セラレストセハ日本自由移民ハ官令第一

〇一条ニ基キ歐洲移民ト同様旅費ノ還附ヲ受クヘキヤ

(三)前項移民ヲ移入シタル場合ニハ官令第三章ノ恩恵ハ日本移民モ亦与ヘラルモノト解シ可然ヤ

同氏ハ右質問書交付ト共ニ農務大臣ト会谈ノ結果トシテ農務大臣ハ労働者ノ充実に經費ノ都合トヲ理由トシテ日本移民ニ対シテハ補助又ハ旅費還附ハ勿論自由移民ニ收容所汽車等ニ付便宜ヲ供スルコトモ絶対ニ之ヲ許ササル旨ヲ語レリト復命シ尚農務大臣ノ反対ハ予想外強硬ニシテ法令ノ条項如何ニ拘ラス絶対ニ日本移民ヲ拒絕セントスルモノノ如シ附言セル旨報告ニ接セリ然ルニ右代理人ノ執リタル手段

ラス而シテ政府ハ既ニ日本移民誘致ノ契約ヲ破棄シタルノミナラス今日日本移民ノ誘致ヲ適當ナリトスル何等ノ事情ナキニ付該二問ハ勢ヒ否定セサルヲ得ス

(四)第三問ニ関シ自由移民タル三等船客ニ対スル收容所ノ使用、目的地迄ノ輸送等ニ於ケル特典ハ政府ノ承認ヲ經スシテ当然總テノ移民ノ受クヘキモノトス然レトモ該法ハ歐洲ヨリ來ルモノ又ハ歐洲人ニ対シテノミ規定セラレタルモノト解釈ス何トナレハ制定ノ際重細重人ハ考量ノ外ニ置キ若シ之ヲ誘致ヲ要スル場合ニハ曩ニ日本移民ニ対シ行ハレタルカ如ク契約ノ方法ヲ執ルコトヲ規定セルヲ以テナリ

右交渉ニ関シ代理人カ本使ノ計画ヲ無視シタル為少カラサル行違ヲ生シ就中收容及汽車ノ便益ニ関シ単ニ當局者ノ意向ヲ探クルニ止メス文書ヲ以テ確答ナサシメタルハ本使ノ意外トスル所ニシテ此後農務大臣ノ意ヲ翻サシムル上ニ一大障礙トナルヘキニ付深ク遺憾トスル所ナルモ今更如何トモシ難ク右ニ対スル今後ノ処置ニ付考フルニ農務大臣今回ノ言明ハ本年一月往電第四号及第五号ヲ以テ稟申シタル解約後ニ於ケル本邦移民待遇ニ関シ野田通訳官ニ対シテ与ヘ

ハ曩ニ申聞ケ置キタル趣旨ト合致セサルノミナラス農務大臣ノ回答モ亦少シク了解シ難キ感アルニ付直ニ兩代理人ニ対シ直接農務大臣ニ面会ノ上先ツ資格ヲ有スル日本自由移民ノ受クヘキ旅費還附額ノ幾許ナルヤヲ質問シ此際他ノ点ニ言及スルヲ避クヘキ旨ヲ命シ置キタル所兩代理人ハ結果報告ノ為昨十二日「リオデジャネイロ」來着其談ニ依レハ代理人訪問ニ対シ農務大臣ハ曩ニC氏ノ復命セルト同様ノ談ヲナシ尚州移民法ハ元來歐洲人ノミヲ目的トシテ制定セラレタルモノナルモ法文上日本人除外ノ意明ナラサルニ付將來誤解ヲ避クル為其意ヲ明ニスル新法案ヲ議會ニ提出スル考ナリ予ハ今日迄各國ニ於ケル日本移民ノ状態ヲ精査シタル後慎重研究ノ上其成績佳良ナラサルヲ確認シタルニ付日本移民入国ヲ容易ナラシムル補助便宜等ハ一切之ヲ与ヘサル考ナリト明言シタリト云フ尚前記質問ニ対シテハ農務大臣ノ名ニ於テ次官ヨリ大要左ノ如キ答弁書ヲ送り來リタリト云フ

「(一)第一問及第二問ニ関シ補助及旅費還附ニ関スル規定ハ事宜ニヨリ政府ノ自由意思ヲ以テ是等ノ恩典ヲ与ヘ得ヘシトノ權能ヲ認ムルニ止マリ素ヨリ確定的ノモノニア

タル言明ト全然相反シ居ルハ勿論法令ヲ曲解シテ我意ヲ徹セントスルモノナルニ付一応其点ニ関シ質問ヲナスヲ順序ナリト考フルモ平素ヨリ日本人ニ同情ナキ農務大臣カ研究ノ上日本移民ニ入国ノ便宜ヲ与ヘスト決心スル迄ニ其思想ヲ變ジタルコトハ察スルニ難カラサルノミナラス此際不快ノ事態ヲ未然ニ防カントセハ同人等ノ勢力ヲ利用シ農務大臣ノ意ヲ翻カヘサシムルノ外良策ナカルヘシトノ趣意ニテ其尽力ヲ要請スルニ止メ日本人ヲ希望スル耕主側ヲシテ運動セシムルコト並ニ其他ノ對抗の運動ハ却テ農務大臣ノ反抗ヲ増ス虞アルニ付暫ク差置キ州當局者モ一兩年後ニハ全部交渉スヘキニ付此際爭議ヲ開キ排日世人ノ注意ヲ惹起スルハ却テ不得策ト思考スルニ付本使ハ差当リ目下出京中ノ州統領並同州ニ關係アル政事家ニ面会シ農務大臣ニシテ若シ我意ヲ實現セシムルカ如キコトアラハ由々敷國際問題ヲ惹起スヘキハ当然ノ結果ナリトノ印象ヲ与フル方得策ナリト思考セラル

右不取敢申進ス

三九八

七月十五日

在伯国畑公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

「サンパウロ」州農務大臣ノ排日の態度ニ対

スル善後策ニ付稟申ノ件

第五二号

貴電第四六号ニ関シ差向キ前電卑見善後方法ヲ試ミ其上ニテ事宜ニ依リ野田ヲ「サンパウロ」ニ派遣スルコトト致度シ尚今後ノ措置振リニ関シ御氣付ノ義モアラハ御垂示ヲ仰ク移民会社ヘノ電報中ニ自弁移民輸入ヲモ全然許可セストアルハ収容所及鉄道輸送ニ関スル便益スラ与ヘストノ意味ニテ絶対的ニ其入国ヲ拒ム意ニ非ス此際移民会社側ヨリ重役一名派遣スルコトハ其人物及技倆ニ応シ多少効果アルヘキモ之レカ為目下ノ形勢ヲ容易ニ挽回シ得ヘシトハ思ハレサルニ付之ヲ派遣スルト否ヤトハ一ツニ移民会社ノ意ニ任セ然ルヘシト思考ス

三九九 七月十六日

加藤外務大臣ヨリ
在伯国畑公使宛(電報)

「サンパウロ」州ニ於ケル排日の移民法案提

出阻止方訓令ノ件

第四七号

貴電第五一号及第五二号ニ関シ差当リ貴見ノ通出京中ノ州

統領及政事家ニ懇談ノ上排日ニ類スル法案ノ提出ヲ見ル事ナキ様充分尽力アレ今後ノ措置振ニ付テハ詮議ノ上追テ電報スヘシ尚貴電第五一号収容所及鉄道等ノ特典ハ亜細亞人ニ対シテハ契約ノ方法ヲ執ル事ヲ規定ス云々トアル処右法律ノ規定大要簡單ニ電報アレ

四〇〇 七月十八日

在伯国畑公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

収容所及鉄道等ノ特典ノ享受ハ契約ノ結果ナル件

第五三号

貴電第四七号末段ニ関シ収容所及鉄道ノ特典ハ一般的ニシテ亜細亞人ニ対シテハ契約ニ依ラサルヘカラサル規定ナキモ官令第三十六条ニ新ナル方面ヨリ移民ヲ奨励スルニハ契約ニ依ルトアリテ日本人力從來該特典ヲ受ケタルハ契約ノ結果ナリトシ現ニ契約ナキ日本人ニハ現行法令一般の規定ヲ適用セスト云フニ在リ

四〇一 七月二十五日

在伯国畑公使ヨリ
加藤外務大臣宛

「サンパウロ」州政府本邦移民ニ対スル態度

変遷ニ関シ詳報ノ件

附屬書一

竹村東洋両代理人ヨリ「サンパウロ」州農務長官宛質問書訳文

二

右質問書ニ対シ「サンパウロ」州農務次官回答書訳文

三

竹村東洋両代理人「サンパウロ」州農務長官七月十日会談ノ要領

機密第六号

(十一月二日接受)

大正三年七月二十五日

在伯

特命全權公使畑良太郎(印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

曩ニ「サンパウロ」州政府ガ移民取扱人竹村与右衛門及東洋移民合資会社ト締結セル本邦移民誘入契約ヲ解除セントノ意ヲ発表シタル際兩移民会社側ニ於テハ専ラ右契約ノ復活ヲ希望シ之ガ運動ヲ試ミントシタルモ元來州農務長官「モラエス・バルロス」氏ハ州政府ガ毎年多額ノ費用ヲ支出シテ外国移民ヲ招致スル從來ノ方針ヲ拙劣ナリトシ寧ロ純然タル自由移民主義ヲ抱キ州ノ現行法令ニ從ヒテ与ヘツツ

アル補助スラモ機會アラバ之ヲ撤廃セントスル意向ニシテ本年中同州珈琲園労働者ノ需要著シク減退スベキ予想ト州政府ノ財政甚ダ不如意ナルニ鑑ミ一旦解除ニ決定シタル契約ヲ復活セシムルコトハ到底其望ミナキノミナラズ剛慢ナル同長官ハ兎角本邦移民ニ対シテ好感情ヲ有セザルヲ以テ旁々該契約存続ノ運動ハ益々其奏効困難ナルベシト推察セラレ候然ル処當時本件ノ真相取調ノ為メ「サンパウロ」ニ出張ヲ命シタル野田通訳官ガ農務長官ト会談ヲ遂ゲ右契約ノ理由ニ就キ種々質問ヲ試ミタルニ対シ同長官ガ返答シタル趣旨ハ本年一月二十一日往電第四号及同月二十六日附機密通第二号信ヲ以テ及具報置候通りニ有之専ラ州經濟上ノ都合ニヨリ契約解除ノ決定ヲナスニ至リタルモノニシテ單ニ日本移民ニ限り契約テフ特別ノ形式ヲ以テ州政府補助ノ下ニ誘入ヲ奨励シ來レル方法ヲ廢止スルニ過キササルモノナレバ日本移民ガ州法令ノ規定ニ從ヒ諸般ノ恩典ヲ受クベキハ勿論ナリトノ意ヲ言明シ且自費渡航移民ニ対シ後ニ旅費還附ヲ行フコトニ関シテモ談話スル所アリ只余リ多数ノ移民ヲ突然誘入スルコトハ予算施行上困却スルヲ以テ誘入前予メ相談アリ度シト述ヘタルモ尚ホ本件ハ日頃本邦移民反

討論者ナリトノ世評アル同長官ノ異人種排斥ニ胚胎スルコトナキヤトノ懸念当然起リタルニ付野田通訳官ハ繰返シ此点ニ関シテ質問スル所アリシニ同長官ハ「日本人ガ農業労働者トシテ能ク当地ノ氣候及風土ニ慣ルルヤ否ヲ試験スル以外別ニ日本人ハ能ク当国人ト同化混血シ新伯国民ヲ形成スル有益ナル分子トナルベキヤ否モ十分ニ試験調査スベキ問題ニシテ此点ヨリ伯国ガ己レニ同化シ易キ人種ヲ選ブハ亦当然ノコトナリト信ズ然レドモ此点ニ関スル日本人試験ハ今尚ホ其途中ニアリテ吾人ハ未ダ日本人ニ関シ可否ノ斷案ヲ下ス能ハス從ツテ今回ノ解約決定ハ何等人種上ノ問題ニ基因スルニアラズ」ト説明シ要スルニ前記農務長官ノ言明ハ日本移民ニ対シ今後歐洲移民ト同様ノ待遇ヲ与フルノ趣意ナルヲ以テ當時ノ事情ニ倣シ此点ニ満足スル外無之仍チ前任牧野大臣ト書信若クハ電信ノ往復ヲ重ネタル末兩移民会社側ヲシテ移民補助契約ノ復活ヲ斷念セシメ之レニ代フル州法令ヲ以テ規定セル一般的恩典ニ浴シテ本邦移民ヲ誘入スル目的ニ向ツテ今後ノ措置ヲ採ルコトニ大体ノ方針一決シタル次第ニ有之候

スル感情ハ益々面白カラズ漸次排日ニ傾キツツアリト言ハシヨリハ寧ロ急転直下シテ殆ント露骨ニ本邦移民排斥ノ態度（其原因ハ後ニ叙述ス可シ）ヲ示シ來レルヤノ觀有之、加之爾來同州ノ不景氣ハ逐日其程度ヲ高メ都市ニ於ケル諸工場ノ中廢若クハ人減ラシハ勢ヒ無數ノ都會労働者ヲ驅リテ田舎ニ向ハシメタル為メ珈琲園ニ於ケル労働者ノ需要ハ耕作地拡張ノ中止ト相俟ツテ次第ニ減少シ昨年中外国移民ノ入州數約十二万人ナリシモ本年ハ其半數ヲモ要セサルノ景況ヲ呈シ來リ候事情既ニ斯クノ如クナレバ今後我ガ移民誘入ニ對シテ懸念スベキ点少カラズト思考セル折柄兩移民会社側ニ於テモ此際州政府ノ補助ヲ得テ本邦移民ヲ誘入スルノ至難ノ業タルベキヲ洞察シ且今秋本邦移民雇入ヲ希望セル耕主多ク其注文ニ係ル移民數各社三百家族以上ニ達セル趣ニテ右注文ニ応ズル為メ州政府ヨリ單ニ移民收容所ニ於ケル宿泊及汽車無賃輸送ノ二点ノミニ關シテ官費支弁ノ保障ヲ得テ旅費自弁ノ本邦移民誘入ヲ試験的ニ実行シ度シトノ意ヲ兩社代理人ヨリ申出候ニ付本使ハ先ツ既記ノ予定方針ニ從ヒ現行法令ノ規定ニ基キ汽船会社トシテ誘入ヲ承認セラルベキ本邦移民ノ員數及之ニ對シテ支給セラルベキ

補助金額ニ關シ公然州当局者ニ交渉ヲ試ミ又耕主ノ注文ニ係ル今秋ノ移民誘入ノ可否及此等移民中法令ニ從ヒ資格アル者ニ對シ渡航就地後還附セラルベキ旅費額ニ關シテモ州政府ノ意嚮ヲ確メ然ル後臨機考慮ヲ加フル方可然ト申聞ケ候処兩社代理人ハ青柳トモ相談ノ上右ノ趣旨ニテ行動スベシト約シ「サンパウロ」ヘ引揚ケ候仍チ右ノ次第客月二十日發往電第四三號ヲ以テ申進候処同二十三日發貴電第四一號ヲ以テ兩移民会社ハ之ト同様ノ意味ニテ補助金ヲ受ケザル自由移民送出ニ決シ其承認ヲ願出テタル趣ヲ以テ尚ホ一応卑見ヲ徵セラレ候ニ付「サンパウロ」州当局ノ態度既述ノ如クナルノミナラズ伯国次期大統領「ウエンセラオ・ブラーゾ」氏モ現在州農務長官ト同ジク自由移民奨励主義者ナレバ早晚本邦移民ヲ無補助ニテ誘入セザル可ラザル時期到來スベキハ勿論ナガラ未ダ一回モ州政府ノ意向ヲ確カメズシテ直ニ我レヨリ進ンデ自由移民誘入ノ交渉ニ移ルハ將來ノ不利益ヲ招ク虞アルヲ以テ一応前記往電第四三號ノ趣旨ニ基キ兩代理人ヲシテ州政府ノ意向ヲ確メシメ其模様ニヨリ自由移民送出ノ可否ニ關シ考量ヲ加フルコトト致度旨客月二十五日發往電第四五號ヲ以テ再応上申シタル次第ニ有之候

而シテ兩代理人ハ「サンパウロ」ヘ帰着後書面ヲ以テ在「イグアペ」青柳郁太郎ニ相談シタリト称スルモ該相談タルヤ後ニ至リ本使ガ知悉シタル所ニ拠レバ予ネテ本使ガ申含メ置キタル所トハ大ニ相違シ居リ候實際青柳ハ反對ノ意見ナリシニ拘ラズ兩代理人ハ本社ノ命令ナレバ青柳ノ意見ニ從フノ必要ナシトシ單ニ自己ノ採ルベキ措置ニ就キ青柳ニ對シ一片ノ通告ヲナシタルノミニテ何等真正ノ意義ニ於ケル相談ヲナサズ兩人限りノ專斷ニテ予テ本使ガ懇々申含メ置キタル所トハ全然其主意ヲ異ニセル別紙第一号訳文ノ如キ七月三日附ノ質問書ヲ作製シ之ニ署名シタル上本件ニ關シ從來多大ノ尽力ヲ為シ呉レツツアリト称スル數年前州ノ農務長官タリシ「カンディド・ロドリゲス」氏ヲ經テ之ヲ農務長官ニ交附シタル趣ニ有之同長官ハ「カンディド」氏ニ對シ日本移民ニハ一切補助金ヲ与ヘザルノミナラズ收容所宿泊及内地無賃輸送ノ便益スラモ之ヲ許スルコトヲ拒否シタル旨七月九日兩代理人ヨリ電報アリ続イテ同日貴電第四五號ヲ以テ右ニ關スル御問合セアリタルモ當時農務長官ヨリハ未ダ兩代理人ニ向ツテ公然ノ回答ナク單ニ「カンディド」氏ガ同長官ノ意嚮ヲ索リタル結果ノ報告タルニ

過ギズシテ更ニ往電第四三三號ノ主意ニ依リ直接同長官ニ就キ其意嚮ヲ確カメ方電命致シ候其結果兩代理人ハ事件報告ノ為メ本月十二日「リオ」市ニ來着シ本使ニ直談セル所ニヨレバ農務長官ハ別紙第三三號寫ノ通り前ニ「カンヂイド」氏が復命シタルト同様ノ意味ニテ元來州ノ移植民法ハ歐洲人ヲ目的ト制定セラレタモノナリト雖モ法文上日本人除外ノ意明カナラザルヲ以テ將來ノ誤解ヲ避クル為メ此意義ヲ明瞭ナラシムベキ新法律案ヲ本期州議會ニ提出スル筈ニシテ日本移民ノ入來ヲ容易ナラシムベキ補助便宜等ハ一切之ヲ与ヘザル考ナリト明言セル趣ニ有之尚ホ曩ニ「カンヂイド」氏ヲ經テ提出セル質問書ニ對シテモ別紙第二三號訳文ノ通り第一問及第二問ニ對シテハ補助及旅費還附ニ關スル規定ハ政府ノ自由意志ヲ以テ此等恩典ヲ与ヘ得可シトノ權能ヲ認ムルニ止リ必シモ確定的ノモノニアラズ且州政府ハ日本移民ノ誘致ヲ適當ナリト思惟スベキ何等ノ事情ヲ發見スル能ハサルトノ理由ヲ以テ否定的ノ回答ヲ与ヘ又第三問收容所ノ使用及目的地マデ無賃輸送ノ特典ハ當然總ベテノ移民ノ享受スベキモノナレドモ該法令ハ之ヲ制定スル當時立法者ニ於テ亜細亞移民ヲ考慮ノ中ニ置カス專ラ歐洲ヨリ來

ル者若クハ歐洲人タル移住民ヲ目的トシテ制定セルモノト解釈スルヲ要スト回答シ遂ニ本邦人ニ對シ差別的待遇ヲ与ヘントスルノ意ヲ表示スルニ至リ候

尤モ上記農務長官ノ回答ハ移民取扱代理人ニ對スルモノニシテ去ル一月ニ野田通訳官ニ言明シタル所トハ大ニ相違シ居リ今一応帝國公使館ヨリ公然質問ヲ試ミタル上ナラデハ直ニ之ヲ公然タル確定的回答ト認ムルコト能ハサルハ勿論ノ義ニ有之候ヘ共兎ニ角同長官ハ今回移民會社代理人ノ質問ニ答フル為メ特ニ法律顧問ニ命ジテ調査ヲ行ハシメタル事實モ有之且當館ニ於テ研究シタル所ニヨルモ去ル明治三十九年ニ現行移植民法制定ノ當時本邦移民ノ誘入ハ恰カモ皇國殖民合資會社代表者ノ運動ヲ以テ計畫中ナリシモ本邦移民ノ誘入ヲ獎勵實行スルニハ別ニ法律制定ノ必要アリシヲ以テ時ノ州統領ハ州議會ニ向ッテ一ノ教書(同年十月五日付)ヲ發シ歐洲移民ノ不足ヲ補充スル手段トシテ新ナル方面ヨリ日本移民ヲ獎勵誘致スルノ適當ナルヲ説キ先ヅ試験的ニ一万人ヲ限り補助ヲ与ヘテ之ヲ誘入スベシト懲憑シ本邦移民ヲ目的トスル特別移民法案ハ同年十月八日ヲ以テ議會ニ提出セラレタルモ他ニ緊急ノ議案輻湊シタル為メ遂

ニ討議ノ運ニ至ラズ(明治四十年一月十六日付往信公第六號御參照)是ニ於テ現行法中ニ新ナル方面ヨリ移民ヲ奨励スルヲ適當ト認ムル場合ニハ契約ノ方法ニヨリ之ヲ行フベキ規定ヲ設ケ(明治四十年二月二十八日付往信公第十二號御參照)之ニ基キテ州政府及皇國殖民會社間ニ最初ノ移民誘入契約締結セラレタルコトモ事實ニ相違無之候ニ付現行法制定ノ當時其全部ヲ本邦移民ニ適用スルコトヲ考慮シ居ラザリシハ如何ニモ農務長官ノ言ノ通りニ有之候併シ一旦法律トシテ公布セラレ而カモ日本人除外ノ明文ナキ以上今更立法當時ノ事情ヲ云々シテ之ヲ歐洲人以外ナル日本人ニ適用セズト言フハ不条理ノ甚シキモノニシテ苟クモ公平ナル眼ヲ以テ現行法令ヲ閱讀スルモノハ州當局者ガ排日思想ヲ有セザル限り收容所宿泊及目的地迄鐵道無賃輸送ノ便宜等ハ本邦移民ニモ同様ニ与ヘラルベキモノト解釈セサル可ラスト思考被致候農務長官ガ最近ニ至リ斯克マデニ本邦移民誘入ニ反對シ愈々排日ノ態度ヲ示スニ至リタル原因ヲ探究スルニ元來本邦移民誘入ヲ補助シタル動機ハ伊太利政府ニ對スル牽制並ニ歐洲移民ノ不足ヲ補フニアリタルヲ以テ同長官ハ最早補足ノ目的ヲ以テ補助誘入ノ必要ナキニ至リ

タルノミナラズ特ニ此不景氣ノ秋ニ當リ假令收容所及輸送ノ費用ノミナリトハイヘ等シク州金庫ノ負擔ヲ免レサル方法ニヨリ態々日本移民ヲ誘致スルノ必要ナシト思考シツツアリタル折柄、曩ニ北米加州ニ於ケル排日ノ事情調査ヲ囑託シ置キタル「カメロ、ラムブレイヤ」ヨリノ報告恐ラク我レニ不利ナルモノナル可ク將又加州ガ中央政府ノ權威ニ服セズ飽ク迄我意ヲ遂行シタル実例ヲ見テ「サンパウロ」州モ亦之ト同様ノ舉ニ出ヅルモ敢テ不可ナシト勘考シ終ニ既記ノ如キ決心ヲナスニ至リタルモノナル可ク即チ農務長官排日的意思見發表ノ近因ハ前記「ランブレイヤ」氏ノ加州排日ニ關スル復命報告ニアリト推察セラレ候農務長官ノ決心斯克マデニ堅カルベシトハ何人モ予想スルヲ得サリシト雖本使ハ同長官ノ本邦移民誘入ニ反對ノ意アルコトハ大体推測シ居リ候ニ付扱コソ往電第四三三號ノ事項ニ關シテ兎ニ角一応州政府ノ意嚮ヲ探リ其ノ模様如何ニヨリテ旅費自弁移民ニ關シ更ニ考慮ヲ費シ卑見ヲ開陳シテ御訓令ヲ仰グ心組ニ有之候処何ゾ測ラン兩代理人ハ今秋三千人ノ移民誘入ニ熱中シタル結果農務長官宛質問書ノ冒頭ニ於テ該三千人誘入ノ希望ヲ述ベテ之レヲ質問ノ主眼トナシタルノミナラ

ズ追テ考慮ヲ加フベキ筈ナリシ旅費自弁移民ニ対スル收容所及汽車輸送ノ便宜ハ日本人ニモ与ヘラルモノト了解シ可然哉ト質問シ而カモ文書ヲ以テ確答ヲ為サシメタルハ本使ノ深く遺憾トスル所ニシテ斯ク書面ヲ以テ公然回答ヲ得タルコトハ今後農務長官ヲシテ其意ヲ翻サシムル上ニ一大障害ト可相成ト存シ候要スルニ本使ノ腹案ハ先ヅ探リヲ入レ其模様次第之レニ適応シテ旅費自弁移民誘入方ヲ研究シ同長官ガ曩ニ野田通訳官ニ与ヘタル言質モアルコト故同官ヲ派遣シテ之下面談セシムル心組ナリシモ此画策ハ前記ノ次第二テ逐ニ水泡ニ帰シ了リ候

却説州農務長官ノ態度上述ノ如クニシテ就中現行法令ヲ本邦移民ニ適用セズト言フニ至リテハ前ニ野田通訳官ニ与ヘタル言明ト全然相反スルヲ以テ一応此点ニ関シ同長官ニ質問ヲ為スコト当然ノ順序ナリトハ思考致候ヘ共表面ヨリ同長官ヲ詰問シ却ツテ其感情ヲ害スル如キハ策ノ得タルモノニアラザルノミナラズ日伯条約第四条ニ基キ条約上ノ權利ヲ主張スル如キモ偶々以テ世人ノ注意ヲ惹起シ排日論者今尚ホ極メテ少数ナリト見受ケラルル時ニ当リ故ラニ日本人問題ヲ議會及新聞紙上等ニテ討論セシムル動機ヲ与ヘ延イ

民ハ歐洲移民ト同一ノ待遇ヲ享ケザルベカラズトノ抗議ヲ公然申込ムノ外ナカル可ク事若シ茲ニ到ラバ所謂排日問題ナルモノヲ惹起セシムルコト上一言シタル通りニ有之候ノミナラズ兎角感情ニ支配サレ易キ伯国民ノ事トテ假令抗議ノ結果通理ニ於テ勝ツモ之ガ為メ当国官民ノ惡感ヲ買ヒ却ツテ實際上損失ヲ蒙ムルノ結果ヲ来サモ図リ難シ加之今回ノ事タルヤ全ク農務長官ノ意志ヨリ出テタルモノニシテ幸ニモ排日思想ハ未ダ同州全体ニ普及シ居ラザルモノト認メラレ且「サンパウロ」州統領ノ任期四年ノ内最早其半ヲ過キタル今日ナレバ州政府ヲシテ本邦人ニ対シ歐洲人トノ差別的待遇ヲ与ヘズトノ意ヲ表示セシムルヲ得バ当分夫レニテ満足シ現任農務長官ノ在職中多少我レニ不利ナルコトアルモ其任期了ルマデハ陰忍スル方我移民政策ノ大局上得策ナルベク此際輕卒ニ排日問題ヲシテ世間ノ話柄ニ上ラシムルヲ避ケンガ為メ即チ七月十四日往電第五一号ヲ以テ申進候通り先ヅ以テ非公式ニ州統領始メ有力ナル政治家ノ援助ヲ藉リテ本件ヲ無事ニ解決センコトヲ切望致居ル次第ニ御座候

尚ホ右拙電ト引違ヒニ本月十三日發貴電第四十六号ヲ以テ

テ少数者ニ局限セラレ居ル排日思想ニ油ヲ注ギ其火ノ手ヲ強ムル如キコトアリテハ甚ダ不得策ナリト存セラレ候ニ付本使ハ差当リ目下出京中ノ州統領「ロドリゲス、アル〇ス」氏並ニ「サンパウロ」州選出ノ聯邦上院議員「フランシスコ、グリセリオ」本邦人ニ対シ多大ノ同情ヲ有スル聯邦上院議員「インディオ、ド、ブラジル」及当国政界ノ大立物タル「ピニエイロ、マシャド」氏等國中第一流ノ政治家ニ面会シ若シ農務長官ニシテ其我意ヲ押通ス如キコトアラバ由々敷國際問題ヲ惹起スベキハ当然ノ結果ナリトノ印象ヲ与ヘ此際斯クノ如キ不快事ヲ未然ニ防遏セントセバ同人等ノ勢力ヲ利用シテ同長官ノ意ヲ翻ヘサシムルヲ最良ノ方法トスル旨ヲ説キテ此等有力者ノ尽力ヲ要請スル方寧ロ得策ナルベシト思料致シ候尤モ此以外ノ運動方法トシテハ本邦移民ヲ希望スル耕主ヲシテ州政府ニ願書ヲ提出セシメ且州農會ノ有力者ヲ動カスコト、州ノ上下両院議員中我レニ好意ヲ表セル者ヲ動カスコト及新聞ヲ利用スル等ノ方法有之候ヘ共万一此等ノ方法奏効セサル場合ニハ日伯条約第四条並ニ明治四十二年十一月十六日當時ノ伯外務卿「リオブランコ」氏ヨリ内田公使ニ宛テタル回答書ニ依リ我ガ移

本件ハ自然南米ニ於ケル本邦移民事業ノ大局上重大問題ヲ惹起スル虞アルニ付此際野田通訳官ヲ「サンパウロ」ニ急派シ青柳及移民会社代理人ト熟議ノ上適當ノ方法ヲ以テ事ノ真相ヲ突留メシメ今後ノ措置振ニ関スル卑見ト共ニ電報スベク且移民会社側ヨリ重役一名派遣ニ関スル本使ノ意見上申可致旨御訓示相成候ニ付右ニ対シ差向キ往電第五一号ノ善後策ヲ試ミ其上ニテ時宜ニ応ジ同通訳官ヲ派遣スルコトト致シ度ク又移民会社ヨリ重役派遣ノ義ハ其人物及技倆ノ如何ニ応ジ多少ノ効果アルベキモ之ガ為メ目下ノ形勢ヲ挽回シ得ベシトモ思ハレズ候ニ付一ニ移民会社ノ意ニ任セ可然旨及返電置候処本月十六日發貴電第四七号ヲ以テ往電第五一号卑見通り出京中ノ州統領及政治家ニ懇談ノ上排日ニ類スル法案提出ヲ見ルコトナキ様十分ニ尽力可致旨御訓令ノ趣敬承本件ハ御垂示ノ通り南米移民ノ大局上重大問題ヲ惹起スルノ虞有之候ニ付御來訓ノ趣旨ニ基キ専心其円満ナル解決ヲ見ル様尽力致スコク何レ州統領其他政治家ト会谈ノ上其模様ハ本件統報トシテ逐一可及報告候ヘ共茲ニ本件今日迄ノ經過ヲ叙述シ此段及具報候 敬具

(附屬書一)

別紙第一号

竹村東洋両代理人ヨリ「サンパウロ」州農務長官宛質問書訳文

州内ニ於ケル多数ノ耕主ヨリ日本労働者家族ノ受ケタル注文ニ応シ兩移民会社（東洋、竹村）ハ来ル十月末迄ニ珈琲耕作度ニ就働セシムル為メ二汽船ヲ以テ日本移民ヲ誘入致ニ付テハ閣下ニ対シ左記ノ諸事項ニ就キ質問スルノ光榮ヲ有ス

(一) 州政府ハ上記兩移民会社ニ対シ官令第二章第二項第一款ニ基キ誘入スル移民ノ旅費ノ補助ヲ受クル事ヲ承認スルヤ但シ右補助トハ歐洲移民ニ対スルモノト同様ナリ
(二) 上記ノ条件ニシテ認可セラレサルニ於テハ日本自由移民ハ同官令第三章第三項第一〇一条ノ規定ニ基キ州内耕地ニ配置セラレタル場合歐洲移民ノ相当スル額ヲ還付セラ
ルルヤ

(三) 最後ニ州政府ニ旅費ヲ負担セシメズシテ上記移民ヲ誘入シタル場合同官令第三章第一項及第二項中ニ規定ノ恩恵ハ日本移民ニ対シテモ均霑セラルルモノト解釈シテ差支ナキヤ

竹村与右衛門代表者

恐惶謹言

第三問ニ関シテハ左ノ通り思考スベシ

自由移民ト認メラレタル三等旅客ニ与フルコトトナレル「サントス」港ニ於ケル上陸移民収容所迄ノ輸送其就地スルマデ同所内ニ於ケル滞在及内地ノ目的地マデ輸送ノ恩典ハ予メ政府ノ許可ヲ経ルヲ要セズシテ總テノ移民ニ普及スルモノトス

但シ法律ハ仮令明白ニ言フ所ナシト雖モ而カモ歐洲ヨリ出発シ来ル移民若クハ歐洲起源（訳註即チ歐洲人種ニ属スル）ノ移民ノミニ関スルモノナリト考量セザル可ラズ何トナレバ立法者ハ該法律制定ノ時ニ当リ亜細亞移民ニ関シテ考慮スル所ナク亜細亞移民ハ単ニ例外ノ手段トシテノミ考察シ之ガ奨励ヲナス為メ特別ノ形式ヲ設定セルヲ以テナリ而シテ玆ニ所謂特別ノ形式トハ日本移民ノ為メニ締結セラレタル契約即チ是レナリ

以上

農務次官エウジエニオ、レフエーブレ（手署）

（附屬書三）

別紙第三号

竹村東洋両代理人「サンパウロ」州農務長官七月

永島藤三

東洋移民合資会社

田口道造

農務長官宛

（附屬書二）

別紙第二号

「サンパウロ」州農務次官回答書訳文

日本移民ニ関スル件ニ就キ本月二日附貴柬ヲ以テ御問合セノ趣了悉右ニ対シ長官ノ名ニ於テ左ノ通り及回答候
第一問及第二問ニ関シテハ移民誘入ニ対スル補助及自発的ニ渡来スル移民ノ旅費還附ニ関スル法律ノ規定ハ確定的ノモノニアラズ又有ラユル移民ニ附与セル權利ヲ構成スルコトナシ右ハ政府ニ於テ適當ト思考スルトキ適當ノ形式及条件ヲ以テ此等ノ恩典ヲ許与スルコトヲ得ベキ單純ナル權能ヲ政府ニ付与セルモノニ過ギズト思料ス

而シテ政府ハ過般日本移民誘入ノ為メニ存在シタル契約ヲ廃棄シ且日本補助移民ガ引続キ誘入セラルルノ適當ナルコトヲ指摘スル何等ノ事情ナキニヨリ上記二問ニ対スル回答ハ勢ヒ否定的ノモノタラザルヲ得ズ

十日会談ノ要領

州政府ハ補助移民ハ勿論自由移民モ概算ヲ以テ一ケ年内ニ州ニ渡来スベキ数ヲ予算シ州政府ノ必要トスル準備ヲナス予算ハ一ケ年内ノ需要供給ノ關係ヲモ研究シテ作成スルカ故ニ予算以外ニ移民ノ来ル時ハ徒ニ予算ヲ乱シ却テ不便ヲ醸ス本年モ既ニ定メタル予算ノ範圍ニテ移民ヲ輸入スルコトトナリ居ルヲ以テ此上輸入ヲ企ツル余地ナシ而シテ日本移民ヲ当州ニ輸入スベキヤ否ヤニ付テハ猶研究ヲ継続スルノ必要アリ既ニ第一回移民ハ沖繩鹿児島等ノ不良分子ヲ輸入シタルガ為メ四割強ノ逃亡ヲ見タルコト明白ナル事実ナリ当時ハ今後ノ移民モ斯クノ如ク逃亡スルモノナルヤヲ疑ハシメタリ而シテ其後ノ移民成績ハ二年來引続キ輸入セラレタル移民就地以來ノ情況ヲ調査シ一方「イグアッペ」ニ入耕スベキ日本殖民ノ成績ヲモ研究シテ徐々ニ日本労働者ノ当州労働ニ適スルヤ否ヤヲ決スベシ為メニ「イクアッペ」引渡ノ如キモ大ニ目下急カシメツツアリ吾人ハ日本移民問題ヲ粗雑ナル調査ニヨリ解決セントセス慎重ニ慎重ヲ以テスル考ナレバ現ニ北米墨国秘露等ニ於ケル日本人ノ成績ヲモ研究シツツアリ

法令ニ対スル解釈ハ「現行法ハ歐洲移民ニノ適用スベキガ立法ノ精神ナレバ自然日本移民ニハ適用セサルコトナルナリ現法規ニハ明確ニ歐洲移民ニ限ル旨ヲ記セサルガ故ニ迷ヲ生スル恐アリ故ニ近ク議會ノ開会ヲ待ツテ議案ヲ提出シ現法規ノ歐洲移民ノミニ適用スルモノナルコトヲ明瞭ナラシムル管ニナリ居レリ」

今秋輸入計画ノ移民ニ付テハ耕主ヨリ注文ハアランモ州政府ハ政府トシテノ予定ノ如ク移民輸入関係ヲ処置セサルヘカラス勿論来ルモノヲ拒ムコトハ出来サレトモ州政府トシテハ予定以外ハ輸入セサルヲ便ナリトス 以上

四〇二 七月二十七日 加藤外務大臣ヨリ
在伯国畑公使宛(電報)

「サンパウロ」州排日の移民法案提出阻止ノ
為同州統領及政治家ト会談ノ結果電報方訓令
ノ件

第五〇号

往電第四七号州統領及政事家ニ御会談ノ結果回電アレ

四〇三 七月二十七日 伊沢警視總監ヨリ
加藤外務大臣宛

除通知書ノ写并ニ訳文相添此段及御届候也

大正三年七月四日

東京市京橋区新肴町拾番地

東洋移民合資会社

社長 川田 鷹

警視總監 伊沢多喜男殿

(別紙)

「サンパウロ」州土地移殖民局長ヨリ東洋移民合
資会社在「サンパウロ」代表者宛通知書訳文)

農商工務部土地移殖民局

第六五〇

サンパウロ一千九百十四年五月二十六日

ルア・バロン・デ・イタペチンガ十三番A

東洋移民合資会社代表者

豊島 昌殿

拝啓本年一月十五日附農務長官ノ公文ニ從ヒ当然ノ結果ト
シテ同長官ハ貴下ガ一千九百十一年十月三十日政府ト締結
セラレタル当州内ニ日本移民誘入契約ヲ同契約第四条規定
ニ基キ解除ニ決定候間此段及通告候也 頓首

「サンパウロ」州行本邦移民供給契約解除報
告ノ件

附屬書 川田東洋移民会社社長ヨリ伊沢警視總監宛届書

第二六六号ノ二

(七月二十八日接受)

大正三年七月二十七日

警視總監伊沢多喜男(印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

東洋移民合資会社ニ於テ南米伯刺西爾共和国「サンパウ
ロ」州政府ト移民供給契約有之爾来其輸送ヲナシ来リ居リ
候処今般該契約解除ノ旨同政府ヨリ通知有之候趣ニテ別紙
ノ通同会社ヨリ届出有之候処此レヲ以テ排日の意味ヲ含ム
モノト直ニ断定シ難キモ不取敢其顛末書相添ヘ報告候也

(附屬書)

川田東洋移民会社々長ヨリ伊沢警視總監宛届書

御届

明治四十五年五月二十五日附ヲ以テ届出仕候弊社、南米伯
刺西爾共和国「サンパウロ」州政府間移民供給契約ノ儀今
般解除スル旨五月二十六日附ヲ以テ同契約第四条ニ準拠シ
通知ニ接シタル儀弊社伯国出張所長ヨリ報知有之候間該解

局長 アントーニオ・アラウージョ・シントラ

註 右通知書原文写省略

四〇四 七月二十八日 在伯国畑公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

「サンパウロ」州行本邦移民問題ニ関シ同州

統領及政治家ト会談ノ結果報告ノ件

第五五号

貴電第五〇号ニ関シ州統領ニ面談シタルニ統領ハ一年來病
氣ノ為メ副統領実権ヲ握リ居ルヲ以テ本件ニ関シテモ何等
知ル所ナキモ果シテ然ラハ右ハ己レノ政見ニ副ハサルモノ
ナリトノ意ヲ洩ラシタリ本使ハ統領ノ好意ニ応シ用意シタ
ル非公式ノ覚書ヲ手交シタルニ熱誠ノ上自分ノ力ノ及フ限
リ良好ナル解決ニ尽力シ追テ何分ノ回答ヲ為スヘシト云ヘ
リ又「サンパウロ」及關係アル朝野政治家中最モ勢力アル
聯邦上院議員 Glycerio ハ本件ノ円満ナル解決ヲ一身ニ荷
フ意気込ニテ差向キ副統領及農務大臣ヘ書面ヲ発シ又統領
ニ直談シテ農務大臣ヲ抑制セシムル考ナルモ統領ノ健康上
未タ其機會ヲ得ス又本件当初以來熱誠ニ本使ニ助言ヲ与ヘ
ツツアル聯邦上院議員 Intio ハ本件ハ「グ」氏ノ威

望ト敏腕ニ依頼スルヲ要ス徒ラニ多数政治家ニ事ヲ図ルハ却テ不可ナリト勸告シ本使モ同感ニ付此上他政治家往訪ハ差控居レリ要スルニ今回ノ出来事ハ「サンパウロ」州一般的排日ノ氣運ニ胚胎シタルモノニアラスシテ会々当局者ノ意見ニ基クモノナレハ必スヤ遠カラス円満ナル解決ヲ見ルヘシトシ樂觀シ居レリ

四〇五 七月三十一日

加藤外務大臣ヨリ
在伯国畑公使(電報)

「サンパウロ」行本邦移民問題ニ関シ「グリ

セリオ」氏ノ尽力ニ対スル評價問合ノ件

第五一号

東洋移民代理人ヨリ本社ニ対シ公使ハ非公式ニ「グリセリオ」氏等ノ援助ヲ藉リ「サンパウロ」州ノ形勢ヲ挽回セント努メツツアルニツキ右運動ト相俟テ有効ノ結果ヲ収ムル為メ「グ」氏等ニ対スル報酬トシテ約五六十「セント」ノ支出ヲ求ムル旨來電アリ右ニ対シ貴見電報アレ又貴電第五五号ニ関シ貴官ハ本件ノ解決上如何ナル程度迄「グ」氏ノ運動ヲ期待シ居ラルルヤ

四〇八

八月一日

在伯国畑公使ヨリ
加藤外務大臣宛

「サンパウロ」州行本邦移民問題ニ関シ同州

統領及政治家ト会談ノ結果具報ノ件

機密第七号

(十一月二日接受)

大正三年八月一日

在伯

特命全權公使 畑良太郎(印)

外務大臣男爵

加藤高明殿

附屬書一

畑公使ヨリ連邦上院議員「インディオ、ド、ブラジル」ニ手交ノ覚書訳文

二千九百九年十一月伯国外務大臣「リオ、ブラソコ」ヨリ内田公使宛書東ノ一節訳文

三 畑公使ヨリ連邦「グリセリオ」上院議員ニ手交ノ覚書訳文

四 内田公使ヨリ「リオ、ブラソコ」伯国外務大臣宛書東訳文

臣宛書東訳文

五 伯国外務大臣「リオ、ブラソコ」ヨリ内田公使宛返東訳文

本件前後策ニ関シテハ差向キ卑見ノ通り目下出京中ノ州統領及政治家ニ懇談シテ之カ解決ニ十分尽力スヘキ旨御訓示

四〇六 八月一日

在伯国畑公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

「サンパウロ」州ハ排日の移民法案提出ノ模様ナキ件

第五六号

内探スル所州政府ハ目下排日ニ関スル議案提出ノ模様更ニナシ

四〇七 八月一日

在伯国畑公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

伯国行本邦移民ニ関シ竹村東洋両社代理人ヨリ「グリセリオ」氏等ヘ報酬支出方ノ件

第五七号

貴電第五一号ニ関シ両社ハ此際G氏并ニ從來両社ノ為ニ尽シタル人士ニ報酬ヲ与フル必要アルノミナラズ兩代理人ハ目下計画中ノ他州ニ対スル運動ニ付キテモ亦G氏ノ勢力利用ノ必要ヲ認メ既ニ氏ニ報酬ノ暗示ヲ為シタリ右ハ会社ノ利益上機宜ノ処置ナリト認ム又本件ハG氏ノ持論遠カラス州政府ノ意向ヲ翻ヘシ得ベシト期待シ居ルモ八月三日会见ノ筈ニ付其上ニテ更ニ申進スベシ

ノ次第有之候ニ付右ニ遵由シ先以テ聯邦上院議員予備海軍中將「インディオ、ド、ブラジル」(Indio do Brasil)氏ト会见致候氏ノ姓名ハ之ヲ訳スレバ「伯刺西爾ノ印甸人」ナル意ニシテ其容貌日本人ニ酷似シ一見シテ直ニ印甸人ノ血統タルコトヲ知ルニ足ルノミナラズ氏ハ寧ロ其印甸人タルコトヲ誇リトシテ自ラ斯克ノ如キ氏名ヲ択ヒ且伯国印甸人ハ日本人ト血統ヲ同クスルモノナリトシテ從來本邦人ニ対シテ多大ノ好意ヲ表シ曩ニ帝國軍艦生駒及東京商船学校練習船大成丸來伯ノ節之カ欲待ニ尽力シ尚ホ皇后陛下ヘ「アマゾン」地方ノ鳥類図譜(Album de Aves Amazonas)ヲ献納シ帝國博物館ヘモ人類学上有益ナル物品ヲ献上シタルコト有之候趣又氏ノ夫人ハ「ラーデ」家ノ出ニシテ(「ラーデ」商会ハ当国屈指ノ富豪ニシテ「リオ」灣内「ギアンナ」島ニ造船所ヲ有シ且其所有ノ汽船ヲ用ヒテ沿岸航行ノ業ヲ営ミ現ニ工場徒弟トシテ岡山孤兒院及東京養育院ヨリ推選シタル少年七名ヲ養成シツツアリ)夫婦共ニ甚タ日本風眞ニ有之本使ハ本件ニ関シテ同氏ノ意見ヲ徴シ候処氏ハ此際「サンパウロ」州ニ關係アル多数ノ政治家ニ事ヲ諮ル時ハ其間区々ノ議論モ生シ却ツテ事ノ進捗ヲ害

スルノ虞アルヘキヲ以テ「サンパウロ」州出身聯邦上院議員「フランシスコ、グリセリオ」(Francisco Glycerio)氏ニ万事ヲ託スル方得策ナルベシトノ勸告ヲ与ヘ呉レ候右「グリセリオ」氏ハ同州政治家中錚々タル人ニシテ伯国ガ共和政体ヲ採用シタル当時農工務卿ノ重職ニ就キタルコトモアリ目下上院予算委員長トシテ重要ノ地位ヲ占メ自州ニハ多数ノ乾児アリ人格崇高州内官民ノ間ニ尊信セラルル人物タルコトハ予テ聞及ヒタル処ニ有之候且ツ氏ハ既記ノ「インディオ、ド、ブラジル」氏トハ別懸ニシテ「インディオ」氏ノ依頼トアレバ如何ナル事ニテモ辞セサル程ノ間柄ナルノミナラズ予ネテ本邦人ニ対シテハ頗ル好感情ヲ有シ曩ニ水野竜カ「サンパウロ」州政府ト珈琲販路擴張ニ關スル契約ヲ結び「カフエー、パウリスタ」ナルモノヲ設立シテ本邦ニ伯國產珈琲ノ販路擴張ヲ試ムルニ際シテモ「グリセリオ」氏ニ於テ多大ノ援助ヲ与ヘタル關係有之候趣ニテ本使モ数回ノ面識ニヨリ氏ガ十分信頼スルニ足ルヘキ人物タルヲ認メ本件ノ解決上先ツ第一ニ指ヲ氏ニ屈シ居タル折柄ニ付「インディオ」氏ノ勸告通り今回ノ場合ハ万事ヲ「グリセリオ」氏ニ一任スル方可然ト存ジ上院副議長タル

元老「ピニエロ、マシヤド」氏、「サンパウロ」州出身ノ内務司法卿「エルクラノ、デ、フレイタス」氏及其他ノ政治家等ト本件ニ関シテ会見スルコトハ態ト差控ヘ予メ「インディオ」氏ヲ經テ当方ノ意ヲ通シ置キタル上「グリセリオ」氏ニ面会シ今回「サンパウロ」州政府ノ本邦移民ニ対スル態度ヲ開陳シテ本件ハ若シ非公式ニ満足ナル解決ヲ得ズンバ必ズヤ國際的ノ葛藤ヲ惹起スヘキ重大問題ナルニ付氏ノ「サンパウロ」州ニ於ケル声望ヲ利用シ本件解決方配慮アリ度旨ヲ述ベ別紙第一号(訳文)ノ通りノ覚書ヲ氏ニ手交致候而シテ右覚書中ニハ日本人ハ日伯條約ニ從ヒ歐洲移民ト同様ノ待遇ヲ受クル權利アリト主張スルガ如キ理屈ケ間敷コトハ殊更ニ之ヲ避ケテ記述セズ單ニ口頭ヲ以テ輕ク之ヲ仄カスニ止メタルハ國民的自負心強キ當國人ノ心理作用ヲ顧慮シタル為メニ有之候

右ニ対シ「グリセリオ」氏ハ及バズナガラ充分奔走ノ勞ヲ執ルベク一面州統領ト会谈スルト同時ニ他ノ一方ニ於テ書面ヲ現ニ統領代理トシテ執政中ナル副統領及農務長官ニ送り本件ヲ非公式ニ解決スル様尽力スルコトヲ約諾致候斯クテ本使ハ「グリセリオ」氏ト第二回ノ会見ヲナスニ先

チ既記ノ第一回会見ニ於テ勾ハセ置キタル日伯條約第四条ノ明文并ニ千九百九年(明治四十二年)十一月當時ノ外務卿「リオ、ブランコ」氏ヨリ日本移民ノ待遇ニ関シ内田公使ニ送リタル宣言ノ一節ヲ摘記シタル別紙第二号(訳文)ヲ「インディオ」氏ヲ經テ「グリセリオ」氏ニ与ヘ置キタル上会見ノ際更ニ別紙第三号(訳文)ノ如キ当方ノ要求ヲ簡單ニ記シタル覚書ヲ手交シ自分ハ本件ニ関シ若シ本國政府ヨリ公然ノ手続ヲ執ルヘシトノ訓令ヲ受クルニ至ラハ日伯從來ノ親善ナル國交ニ鑑ミ甚タ遺憾トスル所ナルヲ以テ斯カル訓令ノ到達セサルニ先チ之ヲ解決ヲ切望スル旨ヲ述ヘ尚ホ本使ハ州統領ニ面会スルノ必要アリト相信候ヘ共為念右ノ序ヲ以テ氏ノ意見ヲ求メ候処ソハ至極宜敷カルヘク本使統領ニ会談ノ模様ヲ見タル上ニテ氏自身ニモ統領ニ面談スヘシトノ事ニ有之候故同日直ニ統領ヲ訪問致候処當時統領ハ病後衰弱未タ恢復ニ至ラサルニ拘ハラズ當國政界多事ノ折柄トテ政党ノ首領株数名ト庭園内ニテ会谈中ニ有之歩行モ余リ自由ナラサル為メ別室ニ於テ内談ヲ求ムルコトモ相成ラズ無余儀其儘ニテ機ヲ見テ辛フジテ左記ノ如キ会谈ヲ遂クルコトヲ得申候

本使曰ク閣下御病後ヲモ顧ミス推參シタルハ日伯兩國ノ利益ノ為メ特ニ閣下ノ御尽力ヲ煩ハサンカ為メニシテ事ノ次第ハ「サンパウロ」州政府側ニ於テ日本人ヲ除外シ歐洲人ト同等ノ待遇ヲ与ヘサルノミナラズ更ニ進テ日本人除外ノ新法案ヲ州議會ニ提出セントスルノ意嚮アルヤニ聞ク斯クノ如キハ從來ノ日伯親交ト相容レサルモノナレハ自然伯國中央政府ニ対シ交渉ヲ開クヘシトノ本國政府ノ訓令ヲ受クルニ至ラン然レトモソハ自分ノ最モ遺憾トスル所ナレバ御静養中閣下ヲ煩ハスハ本意ノ至リナレトモ事兩國ノ國交ニ關スルコトナレバ閣下ノ優秀ナル勢力ト德望トニ依頼シ本件ヲ非公式ニ且ツ円満ニ解決センコトヲ望ムニ外ナラズトノ意ヲ陳述致候処統領ハ之ニ答ヘテ曰ク予ハ病氣ノ為メ過去約一ヶ年間ハ全然政事ニ与カラズ從テ州ノ内外ヲ通シテ如何ナル事件發生セシヤヲ知ラズト雖トモ予自身ノ執政中「サンパウロ」州内ニ於ケル日本移民ノ声価ハ頗ル良好ニシテ耕主モ移民モ双方共ニ満足セルノ状態ナリキ現ニ予ノ所有耕地ニモ多数ノ日本移民ヲ使用シ居レルモ何等欠点アルヲ認メズ又一般移民事務ニ関シテモ州政府当局ハ全然予ノ執リ來レル方針ヲ襲踏スル筈ナルヲ以テ副統領「ギ

マラエス」氏ニ於テ別段特殊ノ企画アルヘシトモ思ハレズ
尚ホ現任農務長官ノ如キハ予自ラ任命シタル人ナルヲ以テ
其政見ニ於テ予ト相容レサル所ナカルヘキヲ信ズ去リ乍ラ
予ハ前述ノ如ク一年以來病氣ノ為メ現職ヲ離レ州ノ政權ハ
副統領實際掌握セル所ナルヲ以テ本件ニ関シ予ニ於テ如何
トモ取計ヒ難シトテ巧ミニ逃避セントシタルニ付本使ハ右
ニ対シ閣下ガ現ニ州ノ政權ヲ執ラレサルコトハ自分ノ熟知
セル所ニシテ斯ク閣下ガ州政ニ遠カリ居ラルヘコソ閣下
ノ御尽力ヲ煩ハス次第ナレ何トナレバ若シモ閣下カ現ニ
「サンパウロ」州ノ執政者ナランニハ如何ニ非公式トハ言
ヘ日本公使タル自分ヨリ申入ヲナスコトハ其体裁ニ於テ到
底非公式タルヲ許ササルガ故ナリ即チ閣下ガ暫時政權ヨリ
離レ居ラルルコト并ニ閣下政治上ノ経歴（曩ニ聯邦大統領
タリシコトアリ）名望コソ本件ノ非公式解決ニ関シ御尽力
ヲ仰クニ最モ適當ナルヘキヲ信シ御依頼ニ及ブ次第ナリト
ノ意ヲ述ヘ候処統領ハ苦笑シツツ然ラハ本件ニ関シ詳細ノ
事実ヲ聞キタケレトモ何分病後ノ事トテ今尚ホ心身疲労ヲ
覺ヘ只耳ニテ聴取スルハ差支ナキモ口頭ヲ以テ弁述スルニ
ハ遺憾ナカラ精力足ラサルヲ以テ非公式ニ本件ニ関スル願

未并ニ貴下ノ希望等ヲ列記セル覺書様ノモノヲ交付セラレ
ナハ熟読ノ上予ノ及ブ範圍ニ於テ良好ナル解決ヲ見ル様
旋尽力スベシト答ヘ候仍テ曩ニ「グリセリオ」氏ニ手交シ
タル覺書ノ写ヲ統領ニ呈シ其尽力ヲ依頼シタルニ追テ何分
ノ回答ヲ為スヘシトノコトニテ茲ニ同日ノ会談ヲ了り候
右州統領ト会见ノ翌日本使ハ「グリセリオ」氏ニ面会ノ上
統領ト会談ノ要旨ヲ告ゲ候処氏モ之ニ満足シタルモノノ如
ク何レ自分モ兩三日中ニ統領ニ面会シ其模様ヲ通知スヘシ
要スルニ本件ハ本使希望ノ通り必ズ非公式ニ解決ノ見込
アリト述べ尚ホ「インデリオ」氏ニ就キ本件ニ関スル「グリ
セリオ」氏ノ感想如何ヲ相尋ネ候処「グ」氏ハ条約第四条
ト「リオ、ブランコ」外務卿ヨリ内田公使宛ノ書束アル以
上ハ大丈夫ナリト告ケタル由ニテ「インデリオ」氏ハ日本
人ヲ歐洲人ト差別的ニ待遇スルコトハ伯國憲法ニモ違反セ
リト再言致候
而シテ「グリセリオ」氏ハ一面州副統領宛ニ発シタル書束
ニ対スル回答ヲ待チツツ他ノ一方ニ於テ州統領ニ面会ノ心
組ナリシモ歐洲時局ノ影響当國ニ及ビ州政府当局者多忙極
メタル為メナルベキカ州副統領ヨリノ回答未ダ到達セズ又

統領ハ病後ノ事トテ何時ニテモ面会シ得ベキ身ニアラサル
ノミナラズ「グリセリオ」氏自身モ中央政界ノ多事ニ加フ
ルニ氏自身ノ健康勝レサルヲ以テシ予定ノ時日内ニ統領ト
会见ノ機会ヲ得ズ從ツテ本件解決ニ向ツテ何等ノ進捗ヲ見
ル能ハサリシモ万一農務長官ニ於テ其計畫アリト称スル本
邦移民排斥ニ関スル法案州議會ニ提出セラルル模様アラハ
急速ニ之ヲ防止スル方策ヲ講セサルヘカラサル次第ニ付此
辺ノ事情ニ関シテモ本使ハ始終注意ヲ怠ラサリシガ其後屢
々内探シテ得タル情報ニ拠レハ右法案提出ノ模様ハ一向ニ
無之コト本日発往電第五六号上申ノ通ニ有之彼是此際余リ
督促ヲ重ネ候コトハ却ツテ面白カラズ況ンヤ先方ニ前陳ノ
事情有之候上当國人ノ通弊タル遷延主義モ幾分之二伴フヲ
免レズ候故当方ニ於テハ余程忍耐ヲ要スル義ト被存候
右之次第ニ付本件ノ解決上今少シ前途ニ光明アルヲ確ム
ルニ及テ電報致スヘキ胸算ニ有之候処七月二十七日発貴電
第五〇号ヲ以テ州統領及政治家等ト会談シ結果電稟可致旨
御訓示相成候ニ付即チ前記ノ要領本日発往電第五七号ヲ以
テ申進シタル次第ニ有之候

トスル態度ニ因リテ生シタルモノニ有之候得共次便ヲ以テ
可申進通り其実排日ノ氣運ハ決シテ同州一般ニ蟠レルニア
ラサルヲ以テ之ニ胚胎セルモノニアラサルコト勿論ニ有之
元來同州ハ伯國連邦中物質的ニ最モ進歩セル一州ニシテ勢
力強大往々中央政府ヲ凌カントスルノ風アリ然ルニ前便申
進置候通り偶々州ノ現任農務長官「モライス、バルロス」氏
ガ北米加州ニ於ケル排日ニ見做ヒ北米ト当國トハ自ラ移民
政策ノ根底ヲ異ニセルコトヲ悟ラズ、「サンパウロ」州ヲ
以テ直ニ之ヲ加州ニ比シ且其性質ノ剛慢ナル能ク州政權ノ
掌握者タル副統領ヲ動カシ尚同長官ハ元來医師ニシテ法学
思想ニ乏シキ為メカ國際條約ニ想到セス遂ニ如斯傍若無人
ノ挙ニ出デタルモノナラント察セラレ候現ニ氏ヨリ以前ニ
農務長官タリシ人ニシテ現ニ州ノ上院議員タル「カンデ
イ、ロドリゲス」氏前任農務長官タリシ「パドアサレ
ス」氏并ニ州上院議員「ルイス、ピーザ」氏ノ如キハ現長
官ニ反対ノ意見ヲ抱キ居リ又昨年来ノ不景氣ニモ不拘今秋
本邦移民三千名ノ注文アリタル一事ハ耕主側ニ於テ日本移
民ヲ歓迎セル有力ナル証左トナスニ足ルベク尚ホ聯邦内務
司法卿「エルクラノ、デ、フレイタス」氏モ「インデリオ」

氏ト均シク日本人ヲ差別的ニ待遇スルハ憲法違反ナリトノ意見ヲ發表シ居ル形勢ニ有之候ニ付州統領ト「グリセリオ」氏ノ勢力ヲ利用スルニ於テハ本件ノ円満ナル解決ヲ見ルナラント思考致シ候

尚ホ本使ハ機會ヲ見テ州統領ニモ面会シ且「グリセリオ」氏ニ對シテモ間接直接ニ督促相試ミ其結果可及報告候得共以上本件今日迄ノ成行爲念及具報候 敬具

追テ千九百九年内田公使ヨリ伯国外務大臣「リオブランコ」氏ニ送リタル本邦移民待遇ニ関スル書東并ニ同大臣ヨリノ右ニ對スル返東原訳文御閱覽上ノ便宜ノ爲メ添付致置候

(附屬書一)

別紙第一号

烟公使ヨリ連邦上院議員「インデイオ、ド、ブラジル」ニ手交ノ覚書訳文

幸ニ日伯兩國間ニ存在シ且逐日益々親密トナリツツアル善良ナル關係ニ鑑ミ左ノ事件ノ円満ナル非公式ノ解決ノ爲メニ閣下ガ(特典のニ有セラルル)個人の勢力ヲ多量ニ用ヒラレンコトヲ懇願ス從來「サンパウロ」州ヘノ日本移民誘

對シテモ之ヲ適用スベク日本人ヲ除外セントスル如何ナル立法モ之ヲ避ク可キ事

附言

日本移民ノ成績ニ関シテハ茲ニ贅セス既ニ日本移民ヲ自己ノ農場ニ使用シ其有用ナルヲ確信セル耕主及未ダ日本人ヲ使用シタルコトナキモ他人ノ農場ニ於ケル成績ヲ聞知シテ之ヲ希望スル新耕主等ヨリ移民会社ヘ日本移民ノ注文多キ事實ハ偶々以テ日本移民ノ適當ナルヲ雄弁ニ語ルモノトイフベク要スルニ來ル十月ニ日本移民三千名ヲ誘入セントシテ其目的ヲ達スル能ハサリシ企圖ハ必要ニシテ且有益ナル勞力ノ自然的需要ニ応セントシタルモノニ外ナラズ

(附屬書二)

別紙第二号

千九百九年十一月伯国外務大臣「リオブランコ」

ヨリ内田公使宛書東ノ一節訳文

前記条約(日伯条約)第四条ニヨリ「伯国ニ來着スル日本人ハ其移民タルト否トヲ問ハズ最惠国民ガ既ニ受ケ若クハ今後受クベキ一切ノ特典及免除ヲ享受スベシ」

入ハ契約ヲ以テ日本会社之ヲ行ヒタルガ州政府ハ過般該契約ヲ廢棄シタルヲ以テ同会社ヨリ(複數)農務長官ニ交渉シ移民ニ関スル現行法令ノ一般の規定ニ基キ州ノ補助若クハ助成金ヲ得テ日本移民ヲ誘入スル爲メ認許ヲ与ヘラレンコトヲ求メタルニ今後日本移民ニ對シ何等ノ補助金若クハ助成金ヲ与ヘサルノミナラズ移民收容所及内地輸送ニ関スル便益スラモ与ヘストノ回答ヲ得尚ホ現行法令ハ日本人ヲ除外スル明文ヲ含サルニヨリ日本人除外ヲ目的トスル一ノ法律案ヲ本期ノ州議會ニ提出スル企圖アリト云フ

若シモ此事ガ事實トシテ現レンカ右ハ日本人ノ除外ヲ意味スルモノナルニ付斯クノ如キ不快事ノ出来ヲ未然ニ防カントスルニハ先ツ閣下ノ正義心ニ訴フルヲ良策ト認メラルルニ付閣下ノ勢力ヲ利用シテ日本人ヲ他國移民ト均等ニ待遇セシムル様御尽力アリタシ

一、他國移民ニ對シ旅費還附ヲ行フ間ハ日本移民ニモ之ヲ還附スル事

二、他國移民ニ對シテ与フル州ノ移民收容所ノ宿泊及内地輸送ニ関スル便益ハ日本移民ニ對シテモ之ヲ与フル事

三、結局移植民ニ関スル現行法令ニ規定ノ条項ハ日本人ニ

(附屬書三)

別紙第三号

烟公使ヨリ連邦上院議員「グリセリオ」ニ手交ノ

覚書訳文

「サンパウロ」州移植民ニ関スル現行法令一切ノ規定ハ当然之ヲ日本人ニ適用シ歐洲人ニ附与スヘキ所ト同様ノ恩典并ニ便益ヲ總ベテ之ニ許与スベク而シテ日本人ヲ除外セントスル立法的企圖ハ一切之ヲ避クベシ

(附屬書四)

内田公使ヨリ伯国外務大臣「リオ、ブランコ」宛

書東訳文

公文第九七号

以書簡致啓上候陳者今回本使一時帰朝致候ニ付テハ其以前ニ當リ不在中万一起ルヤモ計リ難キ誤解ヲ予防スル爲メ茲ニ本文ヲ閣下ニ呈シ當国ニ渡來スル日本移民ノ待遇ニ関スル伯國政府ノ意向ヲ確メ置キ度ト存候

日本移民ヲ當国ニ誘入スルコトハ既往十數年以來屢々計畫セラレ候得共種々ノ事情アリテ毎度中止セラレ漸ク昨年ニ至リ「サンパウロ」州政府ト我カ移民会社トノ契約ニ基キ

初メテ其実行ヲ見ルコトト相成候然ルニ同移民会社ハ當時契約履行期限切迫シ日本内地ニ於テ移民ヲ募集スルニ際シ適當ナル労働者ヲ精撰スルニ充分ナル時日ヲ有セザリシ為メ其取扱ニヨリ誘入セル第一回移民中ニハ契約ニ定メタル珈琲園ノ労働ヲ厭フ者多ク其大部分ハ到着間モナク契約耕地ヲ去リ大ニ雇主ヲシテ失望セシムル、結果ト相成候処元來日本移民ノ渡來ヲ以テ自己ノ利益ヲ伸張スルニ不都合ナリト思惟シ不快ノ念ヲ以テ之ヲ注視シタル外国人等ハ此ノ機ニ乘シ内外ノ新聞紙等ヲ利用シテ日本移民ノ排斥ヲ試ミタルニヨリ此等惡意ヲ以テ構造シタル所論ノ影響ハ當國人土ノ間ニモ波及シ曾テ日本移民誘入ニ賛成シタル者ニシテ既ニ其ノ説ヲ翻シタル者モ有之哉ニ見受ケラレ候仍テ本使ハ野田通訳官ヲ「サンパウロ」ニ派遣シ實地ニ就キ該移民ノ真狀ヲ調査セシメ候処今回其ノ齎ラセル視察報告ニヨレハ彼等ノ内本国ニ於テ平素農業労働ニ慣レタル真正ノ家族移民ハ珈琲園ニ留マリテ引続キ労働シ其成績何レモ良好ニシテ雇主ニ満足ヲ与ヘ且漸次相當ノ貯蓄ヲナシ當国ニ定住ノ考ヲ起シタル者モ少カラサル模様ニ有之候付テハ珈琲園ノ労働モ適當ナル者ヲ撰択シテ連レ來ラバ日本人モ亦決シ

合ニハ彼等ハ貴国官憲ヨリ同一ノ目的ヲ以テ渡來スル歐洲移民ト均等ノ取扱ヲ受ケ且之ト同一ノ恩恵及特典ヲ与ヘラレンコトヲ主張スヘキハ当然ノ義ニ有之而シテ本使ノ見ル所ニヨレバ伯国政府ハ平素外國移民奨励ニ関シ寛大ナル方針ヲ執ラルルノミナラズ日伯兩國間ニハ幸ニシテ親善ナル友誼の關係存在シ殊ニ兩國間ノ現行條約第四條ノ規定モ有之候事故貴国官憲ガ日本移民ヲ殊別シ且我國ト均シク最惠國タル他外國ノ移民ト異ナリタル待遇ヲ日本移民ニ与フルガ如キ理由ハ毫モ無之義ト存候

就テハ伯国政府ニ於テ果タシテ日本移民ニ對シ何等殊別的取扱ヲ為サズ歐洲ヨリ渡來スル移民ニ与フルト同一ノ恩恵及特典ヲ以テ之ヲ待遇スル御趣意ニ有之候ハハ本使明年一月ヲ以テ本邦ニ到着ノ節親シク詳細ノ事情ヲ我政府ヘ具報致度候間其御趣意ヲ本使ヘ御報告相成候様希望致候

千九百九年十一月六日

「ペトロポリス」ニ於テ

「リオ、デ、ジャネイロ」

内田定槌

テ他外国人ニ劣ラサル好成績ヲ挙げ得ルコトハ今日迄ノ実績ニヨリ既ニ証明セラレタルコトト存候
元來我農民ハ一般ニ伶俐且勤勉ニ有之候ニ付単ニ珈琲園ノ労働ニ限ラズ如何ナル種類ノ勞役ニモ従事シ得ル義ニ候得共就中彼等ガ平素最モ熟練セル処ハ米作及養蚕ノ二業ニ御座候

而シテ本使ガ一昨年中着任以來閣下ノ御厚配ニヨリ内地ヲ巡回視察セシ処ニヨレハ當国内ニハ地味氣候等前記二業ニ適當ト思ハルル地方少カラズト存候ニ付此等地方ニ我農民ヲ連レ來リ其特長トスル産業ニ従事セシメナバ彼等自身ノ成効ハ勿論當国ノ富源開發ニモ貢獻スル処可有之尚ホ我國ニ於テ諸種ノ製造業ニ熟練セル職工中ニモ海外ニ出テ職業ヲ求メントスルモノ有之候ニ付是亦相當ノ方法ヲ以テセバ伯国ニ誘入シ其工業ノ発達ヲ助ケシムルコト出來難キニアラズト思考致候

然ルニ日本移民ハ我國ニ接近セル地方ニ於テ渡航スヘキ場所少カラズ候ニ付距離頗ル遼遠ナル當国ヘ彼等ヲ誘入スルコトハ甚ダ困難ノ業ト存候得共今後若シ日本人中出稼若クハ家族ト共ニ永住ノ目的ヲ以テ當国ニ渡來スル者有之候場

伯国外務大臣「リオ、ブランコ」閣下

註 右原文省略

(附屬書五)

伯国外務大臣「リオ、ブランコ」ヨリ内田公使宛

返東訳文

以書翰致啓上候陳者本月六日付公文第九十七号ヲ以テ「サンパウロ」洲ニ於ケル日本移民若干ノ偶然ノ不結果ヲ述ヘラレタル末貴國人カ伯国政府ヨリ受ケヘキ待遇ニ関シ貴使御出発前ニ之ヲ御承知相成度旨御申越ノ趣承悉致候尚ホ貴翰ニ對スル參考書類トシテ千八百九十五年十一月五日ヲ以テ伯国及日本間ニ調印セラレタル修好通商航海條約第四條寫及千九百八年十二月三十一日法律第二千五百号(訳註即伯国予算法)中移民植民ニ関スル部第六項「移民ノ配置」トアル次キニ「但シ亜細亞人ヲ除ク」ト附記セル條項寫ヲ御添付相成是亦閱読致候

當国国会ガ近々經過シ去ラントスル本年ノ予算法中ニ挿入規定シタル該制限ハ日本移民ニ關係ナシ何トナレバ貴國人ハ國際條約ニ依リテ保証セラレ同條約實施中ハ西締盟國ノ何レタリトモ普通法ヲ以テ該條約規定ノ條款ニ違反スルコ

トラ得サルカ故ナル旨ハ既ニ口頭ヲ以テ閣下ニ宣言致置候
通ニ有之候

仮令条約ナキ場合ニ於テモ其ノ活動、進歩及労働ヲ好ムノ
精神ヲ以テ自國ヲ一等國タラシメタル人民而カモ伯國力之
ニ永久的の公使館ヲ創設シテ維持シツツアル友邦ノ人民カ広
大ナル伯國領土ニ來住スルヲ拒絶セント試ミ若クハ之ニ不
利益ヲ与フル如キ意志ハ當國政府ノ有セサル所ナル旨茲ニ
書面ヲ以テ該宣言ヲ証定致候間右様御確信相成度候
之ト同時ニ千九百八年十二月三十一日ノ法律第二千五百十号
中ニ挿入シアル言句ニ關シテ起ルコトアルベキ誤解ヲ防止
センガ為メ國會ハ千九百十年ノ予算法中ニハ該規定ヲ記載
セサル様審議致候

乍併尚ホ一層之ヲ明瞭ナラシムル為メ左ノ通り宣言致候
前記条約第四条ニ依リ伯國ニ來着スル日本人ハ其移民タ
ルト否トヲ問ハズ最惠國人民ガ現ニ受ケ若クハ今後受ケ
ヘキ一切ノ特典及免除ヲ享受スヘシ但シ該条文ハ伯國政
府ガ何レカノ他外國移民ヲ契約シ若クハ他外國ニ於テ伯
國ニ來ルヘキ移民ヲ奨励スル場合ニ於テ日本又ハ他ノ
「最惠國條款」ニ均霑スル國ニ於テモ同様ニ移民ヲ契約

ヲ來シ前途ノ目算立チ難キ為メ未ダ何等ノ進捗ヲ見ズ

四一 八月十日 在伯國公使ヨリ
加藤外務大臣宛

「サンパウロ」州政府ノ一部ニ排日的態度ア
ルモ同州一般ハ排日ニ非ザル旨具報ノ件

機密第八号 (十二月五日接受)

大正三年八月十日

在伯

特命全權公使 畑 良太郎(印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

十月一日附機密第七号信ヲ以テ本件ハ「サンパウロ」州政
府ガ本邦移民ヲ排斥セントスル態度ニ因リテ生シタルモノ
ニ有之候得共真相ニ至リテハ決シテ排日ノ氣運同州一般ニ
蟠レルノ結果ニアラズシテ全ク現農務長官カ北米加州ニ於
ケル排日ヲ見傲ヒタルガ為ニ外ナラサル趣續陳致置候処東
洋竹村両移民取扱人力數ヶ月以來本邦移民ニ関シ
「サンパウロ」州農務省移民当局官吏並ニ聯邦及州政治家
ト会谈ヲ遂ケタル際聴取シタル談話及其他二三ノ意見ノ
要領ハ別紙ニ記載セル通ニ有之當國人士ノ我移民ニ對スル

スベシトノ義務ヲ伯國政府ニ負ハシムルモノニアラズ
以上申述タル所ニヨリ貴翰中ニ相見エ候御憂慮ハ全ク消除
セラレ候コトト存候

本大臣ハ此機會ヲ利用シ閣下ニ向ヒ敬意ヲ表シ候 敬具
千九百九年十一月十六日

外務大臣リオ、ブランコ手署

日本帝國特命全權公使内田定槌閣下

註 右原文省略

四〇九 八月一日 在伯國公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

東洋竹村両社合同並森岡トノ妥協電報方ノ件

第五八号

両社合同并ニ森岡ト妥協ニ関スル模様本使心得ノ為電報ア
リタシ

四一〇 八月三日 加藤外務大臣ヨリ
在伯國公使宛(電報)

東洋竹村両社合同並森岡トノ妥協不進捗ノ件

第五二号

貴電第五八号ノ件ハ本邦移民ニ對スル州政府ノ態度ニ變化

感想ヲト知スルノ資料ト可相成ト被存候ニ付更ニ其要点ヲ
摘撮シ之ニ本使自ラ「サンパウロ」州及聯邦ノ政治家ト会
談ニヨリテ得タル感想ヲ加ヘ為御參考左ニ之ヲ列記致候

別紙第二号及第三号「サンパウロ」州移民收容所長ノ言並
ニ第四号土地移植移民局長ノ說ハ孰レモ州農務省側ナルヲ以
テ自然第一号農務長官主張ト其系統ヲ同クシ移植民ニ関ス
ル州ノ現行法令ハ其立法ノ精神ニ於テ亜細亞人ヲ包含セシ
メサリシモノナレバ之ヲ適用ヲ受クルハ歐洲移民ニ限ルト
ノ解釈ニ一致シ居リ要スルニ三者共ニ本邦人排斥ニ歸着致
候第五号ニ記セル意見ノ發表者「フランシスコ、シユミツ
ト」ハ「サンパウロ」州最大ノ咖啡園主ニシテ從來本邦移
民ヲ歡迎シ現ニ本邦人数百名ヲ使用セルニ拘ラズ今回日本
移民反對ノ意見ヲ述フルニ至リタルハ多分其本心ヨリ出デ
タルモノニアラサルベク或ハ利益上農務長官ノ意見ニ迎合
シタルニアラズヤトノ疑モ有之候趣又第六号「サン、マノ
エル」市農會ノ決議ハ特ニ本邦移民ニ関シテハ何等言及ス
ル所無之候得共一般ノ輿論ガ自由移民誘致說ニ傾キツツア
ルコトハ之ニ依リテ察知スルヲ得ベク州政府ノ補助ヲ受ケ
テ移民誘入ヲ行ハントスル上ニハ不利益ナル決議ト存セラ

レ候

之ニ反シテ第七号及第八号ノ説ヲ持スル前農務長官ニシテ今ハ州ノ上院議員タル「パドア、サレス」氏ハ州ノ移民補助ニ関スル方針トシテハ直接ニ移民ヲ補助スル代リニ汽船会社ヲシテ定期航路ヲ開始シテ貿易助長ノ計画ヲナサシメ此等ノ事業ヲ補助シテ間接ニ移民誘入ノ便ヲ図ルニ在リトシ旅費自弁ノ本邦移民ニ対スル渡航費還付額ハ歐洲移民ト同額タラサルベカラズト思考スルモ現下之カ還付ヲ実行スルハ困難ナラン但シ本邦移民ニ対シ收容所使用及内地鉄道無賃輸送ノ便益ヲ与フルハ至当ナルヘシトノ意見ニ有之候第九号及第十号ノ意見ヲ吐露セル州ノ上院議員「カンデイド、ロドリゲス」氏ハ曾テ州農務長官並ニ聯邦農工務卿タリシコト有之氏モ亦現下ノ形勢ニテハ州費補助ノ下ニ移民誘入ハ困難ナルヘク渡航費還付モ数ニ限りアルベシ然レトモ旅費自弁移民ガ收容所使用鉄道輸送ノ便益ヲ受クル丈ケナラバ何等支障ナカルヘシト考ヘ居リ大体ニ於テ「パドア、サレス」氏ト同意見ニ有之尚ホ第十一号同氏ノ談話中州政府ノ法律顧問ノ説ニ依レバ移民法規中外国人トアルハ日本人ヲモ含ムト解釈スルモノニシテ現ニ第十二号ニ記セ

血統ヲ受ケ居ル為メ特ニ日本人ニ好意ヲ表シ本官着任披露ノ為メ上院副議長（事実上ノ議長）トシテ氏ヲ同院ニ訪問シタル際ノ如キモ多忙中ナルニ拘ハラズ二三同僚ヲ伴ヒ来リテ懇切ニ応対シ大ニ日本ヲ推賞シ衷心ヨリ我ニ好意ヲ表セルヲ見受ケ候將又聯邦農商務卿「エドヴィジス、デ、ケイロース」氏ノ如キハ本年四月十六日付機密第四号ヲ以テ申進置候通り單ニ日本移民ヲ歓迎スル而已ナラズ聯邦移民規則改正ノ企アルニ付日本ニ於テ何カ希望アラハ申シ出ツヘシト言ヒ又別信ヲ以テ可申進我移民会社カ「ミナス」州ヘ日本移民誘入ノ企圖ニ関シ過般本使面会ノ際モ日本移民誘入ニ関シ同州政府ヨリ農商務省ヘ願出アラハ法律規則ノ許ス限り日本移民ニ便宜ヲ与ヘ且ツ旅費ノ還付ヲ為スベシト被申候

以上列挙致候談話ニ就テ見ルモ排日ノ農務長官ヲ載ケル「サンパウロ」州農務省ノ官吏輩ガ本邦移民ニ不利益ノ態度ヲ採ルハ自然ノ勢ナレトモ他ハ概シテ本邦移民ニ好意ヲ表スルモノニ有之尚ホ本使過般「サンパウロ」ニ出張ノ際面会シタル州下院議員「フオンテス、ジュニオール」、同「ガブリエル、レツサ」元衛生局長「エミリオ、リヴァス」

ル如ク「カンデイド」氏ガ農務長官ト談話ノ際其場ニ居合ハセタル法律顧問ニ向ヒ法律上日本人ニ何等ノ恩典ヲ与ヘサルモ差支ナカルヘキヤト質問シタルニ農務長官ハ顧問カ口ヲ開クニ先チ法律ノ如何ニ拘ハラズ都合上恩典ヲ与フルヲ得ズト言ヒタルハ同長官モ法律上日本人ヲ除外スルコトハ顧問ニ於テ反対ノ意見アルヘキヲ知り之ヲ陳述セシメサラン為メ斯クハ其答弁ヲ遮リタルモノナラント思考セラレ候

第十三号州上院議員「ルイス、ビーザ」氏ハ仮令農務長官ニ於テ排日意見ヲ抱クトスルモ元来伯国ガ北米ニ於ケル如キ排日論ヲ云々スルハ愚ナリト評シ法規上日本人ハ歐洲人ト同格ノ恩典ヲ受ケ得ヘキモノト考フルモ補助移民ハ不可能ナルベク又渡航費還付ハ多額ナラサレバ或ハ行ハルベシト申居リ候

以上三氏ハ孰モ本邦移民ニ対シテ好感情ヲ有シ従来移植民会社ノ為ニ尽力シ呉レタル人々ニ有之候

次ニ第十四号聯邦内務卿ハ憲法上日本人ヲ歐洲人ト區別スヘカラズト論シ又第十五号伯国政界ノ元老「ビニエーロ、マシヤド」氏モ日本移民賛成論者ニシテ氏自身ニ印甸人ノ

氏等モ亦皆我移民歡迎論者ニ有之候尤モ咖啡園主中「シユミット」ノ如キ大耕地主ニシテ今回本邦移民ヲ惡口スルニ至リタルハ既述ノ如ク農務長官ニ迎合スル為メナランモ其動機ノ那邊ニ存スルヲ問ハズ「シユミット」ノ如キ耕主ガ斯カル態度ニ出ヅルノ我ニ不利ナルハ勿論ノ義ニ有之候併シ他ノ一面ニ於テハ前便申進候通り今秋本邦移民三千名ノ注文有之而シテ其申込耕地總數四十四箇所ノ内従来日本人ヲ使用シ居ル向二十八ヶ所、新規ニ注文セル向十六箇所ニシテ現ニ兩者取扱移民ヲ配布セル耕地總數八十ナレバ新旧耕地ヲ合算シテ九十六箇所トナリ耕主ガ日本移民ヲ所望スル程度漸次増高シツアルヲトスルニ足ルヘシト存候

將又「サンパウロ」現任内務長官「アランテス」氏ハ昨年現農務長官歐洲旅行ノ留守中農務ヲ兼摂セル機會ニ於テ昨秋臨時ニ本邦移民四千名ノ移入ヲ断行シタル人ニ有之氏ノ如キモ無論日本移民歡迎論者ニシテ過般本官同地ニ出張会谈ノ際現ニ日本移民賛成ノ意ヲ漏シタル次第モ有之候ニ付旁々現在ノ州政府部内ニ於テハ農務長官以外ニ排日家ヲ以テ目スヘキ当路者無之様觀察セラレ候

右ノ次第二付現農務省ガ如何ニ排日ノ態度ヲ持セントスル

モ州政府内部ニハ「アランテス」氏ノ如キ親日家アリ上下兩院議員等ノ間ニモ未タ排日家トシテ目スヘキ者無之ノミナラス却ツテ既記ノ如ク我ニ好意ヲ表スル名士アリ同州政治家中ニモ前ニ農務長官タリシ「カルロス、ボテリヨ」氏ノ如キ日本風扇ノ人少カラズ又聯邦上院ニハ或ハ「インデイオ」氏ノ如キ或ハ今回ノ善後策ヲ託シタル「グリセリオ」氏ノ如キ或ハ又上院ノ元老「ビニエイロ、マシヤド」氏ノ如キアリ聯邦内閣ニハ農商務卿「ケイロース」氏内務卿「エロクラノ、デ、フレイタス」氏アリ而カモ幸ニシテ未ダ排日政治家ナルモノアルヲ聞カサル現況ニ有之候而已ナラズ耕主側ニ於テモノ「シユミット」ヲ除クノ外他ハ概シテ本邦移民ヲ歡迎セル有様ニ候得バ如何ニ剛愎ナル現農務長官ト雖トモ飽迄其意志ヲ貫クコトハ不可能ニ可有之歟ト推測致シ候

要スルニ機密第六、七両号拙信中申進置候「サンパウロ」排日ノ氣運ハ決シテ同州一般ニ瀰漫セルモノニ無之今回ノ事ハ全ク農務長官ガ平素本邦人ニ對シテ抱懷セル感情ト州ノ財政上ノ都合及一般經濟上ノ狀態ニ加フルニ北米加州ニ於ケル排日ノ適例等ヲ以テシ終ニ同長官ヲシテ我移民会社

促シ然ル上回答スヘク尚目下出京中ノ州上院議長 Rubiao ニ謀リ目的遂行ノ心組ナリト語レリ

四一四 八月十三日 加藤外務大臣ヨリ
在伯国畑公使宛(電報)

移民会社側ニ於テ「グ」氏報酬支出困難並松

村書記官「サンパウロ」出張等ノ件

第五四号

「グ」氏ニ報酬支出ノ件ハ移民会社側ニテ実行頗ル六ヶ敷キモノノ如ク又会社重役派遣ノ件モ時局ノ為メ中止スルノ外ナカルヘク又貴館ハ「サンパウロ」ト遠隔シ万事ニ不便多キニ付此際松村書記官ニ書記生一名ヲ附シ「サンパウロ」ニ出張セシメ現場ニ於テ形勢ヲ觀察シ篤ト今回契約解除事件ノ真相ヲ調査セシメ尚時宜ニヨリテハ貴官側ノ御尽力ト相俟テ先方ノ好意ヲ誘起シ大勢ヲ挽回スルノ方策ヲ講セシムル事機宜ノ処置ト認メラル殊ニ歐洲戦乱ノ為メ本邦人ニ對スル感情ノ如キモ自然問題タル程度ヲ減スルコトモアルベク且ツ戦争ノ為メ我ニ取リ却テ有利ナル機会ナキヲ保シ難ク旁此場合此儘ニ推移スルハ得策ニアラスト考ヘラルル処右ニ對スル貴見如何尚「サンパウロ」領事館新設予

ニ對シ今回ノ措置ヲ執ルニ至ラシメタルモノト思考致シ候以上多少重複ニ渉ルノ嫌有之候得共「サンパウロ」州官民ガ一般ニ本邦移民ニ関シテ有スル意嚮並ニ同州農務省ガ排日態度ヲ発表スルニ至リタル真相ニ関シ委細貴聞ニ達シ置度ト存シ別紙一括相添此段申進候 敬具

註 別紙省略

四二二 八月十日 加藤外務大臣ヨリ
在伯国畑公使宛(電報)

「グリセリオ」氏トノ會談ノ結果電報方ノ件

第五三号

貴電第五七号末段G氏ト御會談ノ結果回電アレ

四一三 八月十一日 在伯国畑公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

「グリセリオ」氏トノ會談ノ結果回電ノ件

第六一号

貴電第五三号ニ関シG氏病氣ノ為漸ク八月十一日會見シタリ氏ハ副統領及農務大臣ヨリ未タ何等回答ニ接セス察スルニ歐洲時局ノ重大ナル影響ニ基ク緊急問題ノ為本件調査未了ナルニ因ルヘキモ十三日迄ニ回答ヲ得サレハ電報ニテ督

算成立スル迄相当ノ吏員ヲ同地ニ派シ事實上領事館ノ事務ヲ執ラシムル事必要ト認メ目下経費其他ニ関シ考究中ナリ

四一五 八月十六日 在伯国畑公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

「サンパウロ」州行本邦移民問題及館員「サ

ンパウロ」出張ニ付意見回示ノ件

第六三号

貴電第五四号ニ関シ本件ノ重大ナルニ鑑ミ此際歐洲時局ノ影響ヲモ顧慮シ日夜専心大勢挽回策ヲ攻究シツツアリ此儘推移スルノ不得策ナルハ全然貴見ノ通ナリ就テハ此際「サンパウロ」ニ館員ヲ派スルハ一策ナルベキモ單ニ旅懸リノ出張ニテハ十分ナル効果ヲ得ル能ハスト思考スルニ付往電第二三号及第二七号ノ趣意ニ依リ貴電末段ノ方法ヲ至急実行セラレタシ尚本使ハ「グ」氏其他ヲ經テ州政府ニ對シ日伯条約第四条并ニ之ニ關聯スル明治四十二年十一月十六日内田公使宛伯国外務大臣來翰ノ趣旨ヲ十分ニ了解セシメ日本人ニ對シテモ歐洲移民ト同様現行法令ノ恩典及待遇ヲ与フルノ当然ナルコトヲ説明シツツアルモ時局ノ影響ト当国人ノ氣風トニ由リ急速ニ運ヒ難カルベシ

右御舎アリタシ

四一六 八月二十三日

加藤外務大臣ヨリ
在伯国烟公使宛(電報)

「サンパウロ」領事館新設迄松村書記官同地

出張方ノ件

第五六号

貴電第六三号ニ関シ

領事館新設ノ際迄常駐ノ目的ヲ以テ松村書記官ニ大谷書記生ヲ附シ可成九月一日迄ニ到着スル様「サンパウロ」へ出張セシメ往電第五四号ノ任務ヲ執ラシメラルヘシ松村へ十二円書記生へ三円五十銭ノ日当ト渡切費月額百五十円宴会費年額千円ヲ支給ス委細公信

四一七 八月二十三日

在伯国烟公使ヨリ
加藤外務大臣宛

「サンパウロ」州行本邦移民問題ニ関シ「グ

リセリオ」氏ノ運動有利ナル旨詳細回報ノ件

附屬書

烟公使ヨリ聯邦上院議員「グリセリオ」ニ手交

覚書訳文

機密第九号

(十一月九日接受)

大正三年八月二十三日

在伯

特命全權公使 烟 良太郎(印)

外務大臣男爵 加藤 高明殿

本件ニ関シ州統領并ニ聯邦上院議員「グリセリオ」氏ト会谈ノ顛末ハ本月一日付機密第八号拙信ヲ以テ申進置候処之ト相前後シテ本使ハ本件ノ解決上如何ナル程度迄同氏ノ運動ヲ期待シ居ルヤニ関シ貴電第五一号ヲ以テ御尋問之次第有之元来同氏ハ既ニ機密第七号信中詳細ニ申進置候通り人格崇高声望隆々「サンパウロ」出身政治家中第一位ノ人物トシテ伯国政治家間ニ尊信セラレ且ツ從來我レニ好感情ヲ有スル名士ナレバ本使ハ氏ノ尽力ニ依リ州政府ノ意嚮ヲ翻スヲ得ベシトノ信念ヲ抱キ居リ候得共恰カモ當時八月三日ヲ以テ同氏ト会见ノ約束有之シニ付其上ニテ更ラニ申進スヘキ旨一応電信ヲ以テ拜答致置候ト同時ニ一面「グリセリオ」氏ニ対シ間接直接ニ督促相試ミ且ツ州統領ニモ屢々面謁致度旨申入レ候得共後者ハ健康未ダ快復セズ「グリセリオ」氏モ當時発熱引籠中ニテ面会ヲ得ズ漸ク八月十一日ニ至リ辛フシテ「グ」氏ト会见ヲ遂ケ候而シテ氏ハ予定通り

曩ニ州副統領及農務長官ニ書面ヲ発シ置キタルモ未ダ何等ノ回答ニ接セズ時恰カモ歐洲戦乱勃発シ其影響トシテ当國ノ財政及經濟界ハ劇甚ナル打撃ヲ蒙リ聯邦政府ハ勿論各州就中「サンパウロ」州政府ノ如キハ之カ応急策ニ悩殺セラレ焦眉ノ急ニ迫レル諸問題続出シ居レル最中ニ付本件ノ如キハ調査ニ着手スル暇モナキ為自然回答延引シタルモノナルベシト思惟スレトモ若シ十三日迄ニ回答ナキニ於テハ電信ニテ督促シ其上ニテ本使ヘ何分ノ回答ヲ為スヘシト語リ尚ホ目下上京中ナル州上院議長「ルビオン」氏(Dr. Joás Alvares Rubião Junior)ニ諮リ目的遂行ノ心組ナリト談話致候ニ付即チ右ノ趣本月十一日往電第六一号ヲ以テ申進シタル次第ニ有之右「ルビオン」氏モ同州有数ノ政治家ニシテ頗ル敏腕ノ声高ク既ニ次期ノ州統領候補者トシテ擬セラレ多数政治家ノ注視ヲ受ケ居ル人ナル由ニテ政治上ノ経歴亦「グ」氏ニ次キ現副統領等ノ如キハ寧ロ其下風ニ立ツベク到底氏ニ此肩スベクモアラズ州統領罹病以来実際州政ヲ処弁セルハ副統領ト統領秘書官(統領子息)ノ二人ナレトモ諸般ノ発意ハ常ニ「ル」氏ニ出ヅルノ評アル位ニ候得バ若シ「グリセリオ」氏ガ愈々副統領及農務長官ヨリ回答ヲ

得サルニ於テハ玆ニ「ルビオン」氏ヲ動カシ以テ氏ノ勢力ヲ直接州政府ニ及ボスノ策ニ出テ可申此一事前途大ニ光明ヲ見ル次第ニテ本件ノ解決上頗ル有利ナルヘシト存セラレ候又一方ニ於テ州統領ノ健康ハ頃日稍々回復致候モ本使往訪ノ当日ハ歐洲動乱ノ影響ニ対スル善後策ニ関シ「サンパウロ」州政治家ト会谈中ニ有之辛フシテ前副統領ノ子息タル秘書官ニ面会シ曩ニ統領ニ依頼シ置キタル本件ノ回答ヲ求メ候処同秘書官ハ本使提出ノ覚書ニ統領ノ意見ヲ付シ副統領ノ方ヘ送付シ置キタルトモ未ダ何等ノ回答ニ接セサル旨ヲ相答ヘ候ニ付本使ハ之ニ対シ抑モ本件タルヤ「サンパウロ」州政府側ヨリ見ルモ他人ノ瑣事ニアラズ苟クモ之ヲ非公式ニ解決スルヲ得ザランカ必ラズヤ國際的葛藤ヲ惹起シ日伯兩國ノ利害ニ関スル緊切ナル重要問題ナルヲ以テ自分ハ本國政府ヨリ伯國政府ニ対シ公然抗議ヲ提出スヘシトノ訓令ヲ受ケサル前本件ヲ非公式ニ解決センコトヲ焦慮セル次第ナレハ此辺ノ事情再応統領ニ縷陳ノ上速カニ円満ナル解決ヲ告クル様配慮ヲ乞フ旨申述置候然シ当日ノ会谈中同秘書官ノ口振ニテハ当方ノ希望スル要点未ダ十分先方ニ徹底シ居ラサル様思考セラレ候ニ付本使ハ此点ニ関シ些ノ

誤解ナカラシムコトヲ期スル為メ元々本件ハ移民誘入問題ニ
 関聯シテ起リタルモノナリトハイヘ決シテ移民誘入問題其
 物ニアラズ畢竟州政府ガ移民法令中ノ恩典例之ヘハ收容所
 宿泊内地無賃輸送等ノ如キ便宜ヲ歐洲人ニ限り許シ之ヲ
 日本人ニ及ホサスト為シタルニ基因シ此ノ如キハ明カニ条
 約ノ精神及明文ニ反スルモノニシテ若シ非公式ニ解決セサ
 レバ必然重大ナル國際上ノ葛藤ヲ誘発スヘキ問題ナリト反
 覆警告致置之ニ反シ「グリセリオ」ニ於テハ無論当方ノ精
 神ヲ能ク了解セルコトハ同氏カ本使ニ内示シタル副統領宛
 ノ本件ニ関スル書翰ニ拠ルモ明白ニ有之候得共氏ガ「ルビ
 オン」氏及州政府ニ対シテ交渉ヲ為スニ当リ後ノ二者ヲシ
 テ当方ノ主張及希望ノ存スル所ヲ簡明ニ了解セシムヘキ材
 料ヲ為念「グ」氏ニ提供シ置ク方適當ナルヘント思考致候
 ニ付此目的ヲ以テ今回ハ前陳州統領ニ申聴ケタルト同様ノ
 趣旨ニテ別紙原訳文ノ通り警告的覚書ヲ作製シ之ヲ「グ」
 氏ニ交附スル等有ラユル手段ヲ尽シ日夜孜孜シテ本件善
 後策ニ就キ考慮罷在候折柄本月十三日發貴電第五四号ヲ以
 テ「グ」氏報酬支出ノ件ハ移民会社側ニ於テ実行頗ル六ヶ
 敷モノノ如ク次キニ会社重役派遣ノ件モ時局ノ為メ中止ス

ル外ナカルベキ旨御申越相成候ト同時ニ尚ホ当館ハ「サン
 パウロ」ト隔絶シ万事ニ不便多キニ付此際松村書記官ニ書
 記生耆名ヲ附シテ同地ニ出張セシメ現場ニ於テ形勢ヲ觀察
 シ篤ト今回契約解除事件ノ真相ヲ調査セシメ且事宜ニヨリ
 テハ本使側ノ尽力ト相俟テ先方ノ好意ヲ喚起シ大勢挽回ノ
 方策ヲ講セシムルヲ機宜ノ処置ト御認相成候趣ヲ以テ右ニ
 関スル卑見開陳可致旨御来示ニ接候然ル処「サンパウロ」
 州政府ガ本邦移民誘入契約ヲ解除スルニ至リタル事情ニ関
 シテハ既ニ屢々及具報置候通り其真相ヲ突止メ得タリト相
 信候仍チ之ニ適応スル善後策ヲ講シ居ル場合ニ有之候ヘハ
 今更事新シク真相調査ノ必要アルヘントモ思考致サレズ從
 テ早急松村書記官等ヲ出張セシムルニ及ハサル様存セラレ
 候而已ナラズ從來ノ經驗ニ依ルニ旅懸リノ臨時出張ニテハ
 有力者ト懇親ノ機會スラ稀ニシテ到底充分ナル効果ヲ収メ
 難シト相考候ニ付右ノ次第本月十六日發往電第六三号ヲ以
 テ及回答置候ト同時ニ尚ホ本使ハ「グ」氏其他ヲ經テ州政
 府ニ対シ日伯條約第四條并ニ之ニ関聯スル明治四十二年十
 一月十六日付内田公使宛伯国外務卿書束ノ趣旨ヲ充分了解
 セシメ日本人ニ対シテモ歐洲移民ト同様現行法令ノ恩典及

待遇ヲ与フルノ当然ナルヲ説明スルコトニ相努メ居リ候モ
 時局ノ影響ト万事緩漫ニシテ遷延勝チナル当国人ノ氣風ト
 ニ因リ急速ニ運ヒ難カルヘント被存候ニ付右御含置アリ度
 旨ヲモ申添致置キタル次第第二御座候右ニ対シ本月二十三
 日發貴電第五九号ヲ以テ「サンパウロ」領事館新設セラ
 ル迄常駐ノ目的ヲ以テ松村書記官ニ大谷書記生ヲ附シ成ルヘ
 ク九月一日迄ニ到着スル様同地ニ出張セシメ貴電第五四号
 ノ任務ヲ執ラシムヘキ旨御訓示相成右ハ恰カモ曩ニ本使ヨ
 リ閣下ノ前任牧野大臣ヘ再三上申シ置キタル所ト符合シ頗
 ル機宜ニ適セル御措置ト思考致シ候蓋シ「サンパウロ」州
 ハ今日迄本邦移民ヲ誘入セル唯一ノ州ト可申現ニ一万三四
 千ノ本邦移民ハ殆ンド全部同州内ニ在留シ之ヲ誘入シタル
 移民取扱人ノ代理人等亦「サンパウロ」市ニ定住セルヲ以
 テ其保護監督ノ任務ヲ遂行シ併セテ彼等ノ事情ヲ調査スル
 為メニハ領事館設置ニ至ル迄松村書記官ノ程ノ地位年輩ノ
 官吏ヲ同地ニ常駐セシメ平素州政府当局者并ニ民間ノ有力
 者及耕地主等ノ知己ヲ求メ置キ候時ハ如何ナル事件發生ス
 ルモノ一々適當ノ時機ニ於テ適宜ノ措置ヲ為シ得ヘク本件ノ
 解決上ニモ万事ニ好都合ニシテ今後幾多ノ利便可有之在留

本邦人モ非常ニ満足可致ト被存候

將又本件ノ現状ハ前ニモ申述候通り「グリセリオ」氏ヨリ
 本件ヲ上院議長「ルビオン」氏ニ諮リ之カ解決ヲ圖ル手続
 ト相成居候ニ付其後指ヲ屈シテ時日ノ經過ヲ測リ本月二十
 五日漸ク「グリセリオ」氏ニ会见ヲ遂ケ候処同氏告ケテ曰
 ク本件ニ関シ州副統領ヨリハ未ダ何等ノ回答ニ接セサルモ
 一昨日再度上京ノ「ルビオン」氏ノ復命ニ依レバ氏ハ過日
 「サンパウロ」ニ帰還後直ニ副統領ニ本件交渉ヲナシタル
 モ其交渉ハ不幸ニシテ何等具體的解決ヲ見ルニ至ラサリシ
 トイフ、依テ予ハ更ラニ氏ト会谈ノ末氏ガ来ル木曜日又ハ
 金曜日（即チ本月二十七八日）ニ再ビ「サンパウロ」ニ歸
 ル機會ヲ利用シ更ラニ氏ヲシテ副統領ト交渉ヲ遂ケシムル
 胸算ナルガ幸ヒ副統領ヨリ暗示モアリタル趣ナレバ予ハ一
 応本件ニ関スル精細ナル建自的覚書（其内容ハ本使ヨリ
 「グ」氏ニ手交シタル覚書ヲ正々堂々ト敷衍シタルモノ）
 ヲ作製シ之ヲ「ル」氏ニ交付シ之ニ基キ直接交渉ヲ重ネシ
 ムベク氏ト予トノ間ニハ本件ニ関シ既ニ充分ナル協議ヲ尽
 クシ意志自ラ疏通スルモノアリ惟フニ副統領ニ対スル「ル」
 氏這回ノ交渉ハ必ラスヤ好結果ヲ齎スヘキヲ信スルヲ以テ

遅クモ来月(九月)五六日頃ニハ何分ノ確答ヲ得ヘキ見込ナリ尚ホ自分ハ州統領トノ会见ハ「ル」氏ノ勸告ニヨリ一時之ヲ中止スルコトトセリ云々ト談話有之候ニ付即チ右会见ノ要領昨二十七日発往電第六八号ヲ申進置候

尚ホ右「グリセリオ」氏トノ会談ニ於テ氏ハ単ニ不幸ニシテ具体的ノ解決ヲ見ルニ至ラズト言ヒタルノミニテ其交渉ノ内容ヲ詳細説明スルヲ避ケタルハ察スル処州政府ノ方ニテモ愈々排日的態度ヲ執ルニ決定スル迄ニハ相当ノ調査研究ヲ重ネ確乎トシテ信憑スル所アルヘキニ付恐ラク北米加州ニ於テ調査セシメタル排日ノ理由ヲ初メ其他本邦移民ニ関シテ不利益ナル事項等ヲ散々列挙シ来リテ州政府ノ態度ヲ弁解スルニ努メタルコトナルベク「ルビオン」氏モ先方ノ主張ニ對シ即座ニ之ヲ弁駁スル丈ケノ用意ナカリシガ為メカト存セラレ候得共兎ニ角今回「グリセリオ」氏ガ作製シタル覺書ハ前回ノ書翰トハ全ク其趣ヲ異ニシ毫モ依頼ノ性格ヲ帶ビス真正面ヨリ正々堂々ノ論議ヲ張リ諸所ニ警告の語句モ相見エ候而已ナラズ「ル」氏ニ於テモ今回ハ再応「グ」氏ト意見ヲ交換シタル結果トシテ本件ニ関スル知識益々加ハリ同時ニ利益關係モ一層深厚ト相成タルコトナル

ベク尚ホ本使ハ同氏ヲ訪問シテ其尽力ヲ謝シ日伯兩國交ノ利益ノ為メ今後尚ホ一層尽力アラシコトヲ請フトノ意ヲ述ヘタルニ氏ハ本件ハ必ラズ非公式ニ解決スヘキニ付御安心アレト確信の態度ヲ以テ本使ニ声言致候次第モ有之候ニ付氏ノ声望ト敏腕トハ本件ノ円満ナル解決ヲ期待スルニ足ルヘシト思考致候併シ乍ラ何ヲ申スモ目下伯國財政界ノ多事ナルコト古来未曾有ニシテ両氏共ニ財政ノ「オーソリティー」ヲ以テ推サレ現ニ「グリセリオ」氏ハ聯邦上院ノ財政委員長タリ又「ルビオン」氏ハ自ラ銀行ヲ經營シ居リ其多忙ナルコト言語ニ絶スル次第ニ付此際本件ニ意ヲ専ラニセシムル能ハザルハ遺憾ノ至ニ有之本使ハ宛然腫物ニ触ルルガ如キ心地ニテ間接直接ニ督促ヲ試ミ居ル現況ニ有之候本件本日迄ノ經過別紙相添此段及報告候 敬具

註 別紙中ノ原文省略ス

(附屬書)

畑公使ヨリ聯邦上院議員「グリセリオ」ニ手交ノ覺書

書訳文

覺書

耕主ノ注文ニ基キ日本兩移民会社ハ此秋約三千人ノ日本移

(別紙)

甲号(「サンパウロ」州農務次官カ同長官ニ代リテ日本移民会社

代理人ニ与ヘタル書翰訳文)

日本移民ニ関スル件ニ就キ本月二日付貴束ヲ以テ御問合ノ趣了悉右ニ對シ長官ノ名ニ於テ左ノ通及回答候

第一問及第二問ニ関シテハ移民誘入ニ對スル補助及自発的ニ渡来スル移民ノ旅費還付ニ関スル法律ノ規定ハ確定的ノモノニアラズ又有ラウル移民ニ附与セル權利ヲ構成スルコトナシ右ハ政府ニ於テ適當ト思考スルトキ適當ノ形式及條件ヲ以テ此等ノ恩典ヲ許与スルコトヲ得ヘキ單純ナル權能ヲ政府ニ附与セルモノニ過キスト思料ス

而シテ政府ハ過般日本移民誘入ノ為メニ存在シタル契約ヲ廢棄シ且日本補助移民ガ引続キ誘入セラルルノ適當ナルコトヲ指摘スル何等ノ事情ナキニ依リ上記二問ニ對スル回答ハ勢ヒ否定的ノモノタラサルヲ得ズ

第三問ニ関シテハ左ノ通り思考スベシ

自由移民ト認メラレタル三等旅客ニ与フルコトナレル「サントス」港ニ於ケル上陸、移民收容所迄ノ輸送、其就地スル迄同所内ニ於ケル滞在及内地迄輸送ノ恩典ハ予メ政

民誘入ノ企圖ヲ為スニ際シ農務次官カ長官ニ代リテ会社代理人ニ与ヘタル書束ノ末節(別紙甲号)并ニ同長官自身会社代理人ニ申聴ケタルコト若シ代理人ノ了解シタル如ク(別紙乙号)ナリトセハ右ハ日本人ヲ歐洲人ト差別的ニ待遇スルヲ意味スルモノニシテ縱令條約ノ明文ナキ場合ニ於テモ不条理不公平ニシテ對等國間ニ於ケル國際ノ通義ニ反スルヲ以テ日本政府ノ甘受セサルヘキハ明ナリ況ンヤ日伯條約ニ最惠國條款ノ蔽トシテ存スル而已ナラズ此条文ハ移民ニモ及フ旨千九百九年當時ノ伯外務大臣ヨリ内田公使ニ送リタル書束中ニ宣言シアルニ於テヲヤ

余ハ今日迄ノ日伯親善ノ關係ニ鑑ミ政府ヨリ伯國政府ヘ公然抗議ヲ提出スヘシトノ訓令ヲ受クルニ先チ迅速ナル閣下ノ御配慮ヲ以テ非公式ニ本件ノ解決ヲ告ゲシコトヲ切望ス為念附言ス本問題ハ移民誘入ノ企圖ニ関シテ起リタルモノナリトハ言ヘ移民ノ誘入問題其モノニアラズ州政府カ移民ニ對スル法令中ノ恩典例ヘハ收容所宿泊無賃内地輸送等ヲ歐洲人ト限リ日本人ニ及ホサストナシタルニ依リテ起リ條約ノ精神并ニ明文ニ反スルモノニシテ若シ非公式ニ解決セサレハ必ラスヤ重大ナル國際ノ葛藤ヲ惹起スヘキ問題ナリ

府ノ許可ヲ經ルヲ要セスシテ總テノ移民ニ普及スルモノトス但シ法律ハ仮令明白ニ言フ所ナシト雖トモ而カモ歐洲ヨリ出発シ來ル移民若クハ歐洲起源(歐註即チ歐洲人種ニ屬スル)ノ移民ノミニ関スルモノナリト考量セサルヘカラズ何トナレハ立法者ハ該法律制定ノ時ニ當リ亜細亞移民ニ関シテ考慮スル所ナク亜細亞移民ハ単ニ例外ノ手段トシテノミ考察シ之カ奨励ヲ為スタメ特別ノ形式ヲ設定セルヲ以テナリ而シテ茲ニ所謂特別ノ形式トハ日本移民ノ為メニ締結セラレタル契約即チ之レナリ 以上

農務次官「エウジエニオ、レフェーブレ」(手署)

乙号(去ル七月十日ノ会見ニ於テ農務長官ガ日本兩移民会社代理人ニ語り且ツ兩代理人ニ於テ了解シタル事項)

「法律ニ対スル解釈ハ現行法ハ歐洲移民ニノミ適用スヘキガ立法ノ精神ナレバ自然日本移民ニハ適用セサルコトナルナリ現法規ニハ明確ニ歐洲移民ニ限ル旨ヲ記セサルガ故ニ迷ヲ生スル虞アリ故ニ近ク議會ノ開会ヲ待ツテ議案ヲ提出シ現法規ノ歐洲移民ノミニ適用スルモノナルコトヲ明瞭ナラシム管ニナリ居レリ」

第六九号

在米 探スル所ニ拠レハ往電第二一号上申ノ Lampreia ノ復命ハ本邦人ニ対シテ非常ニ不利益ナルモノノ由ニテ農務大臣ガ愈々排日ノ臍ヲ堅ムルニ至リタルハ主トシテ同復命ニ因ルモノナルベク州政府ニ対スル「グ」氏第一回交渉ノ奏功セザリシモ右ノ根底アリタル為メナラン

四二〇 九月二日 加藤外務大臣ヨリ
在伯国畑公使宛

「サンパウロ」州政府委託「ラムプレイア」

加州日本人状態調査復命書入手方ノ件

通送第七七号

在米本邦人状態ニツキ「ラムプレイア」ノ為シタル調査復命ニ関シ貴電第六九号ヲ以テ御報告ノ趣聞承貴地ニ於テモ右報告書ヲ入手センハ頗ル難事ニ可有之ト存候得共何等方法御案出ノ上右入手方御配慮相成候様致度此段申進候也

四二一 九月二日 加藤外務大臣ヨリ
在米国珍田大使及在桑港沼野総領事代理宛

「サンパウロ」州政府委託「ラムプレイア」

加州日本人状態調査ニ関スル件

一五 「ブラジル」移民雜纂 四二〇 四二一 四二二

四一八 八月二十七日 在伯国畑公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

「サンパウロ」行本邦移民問題ニ関シ「グ
セリオ」氏ノ回答要旨報告ノ件

第六八号

往電第六一号及第六三号ニ関シ八月二十五日「グ」氏回答ノ要領左ノ如シ

過日 Rubiao ト熟談ノ上氏ヲ介シテ副統領ト交渉セシメタルモ何等具體的解決ヲ見サリシニ付更ニ出京中ノ「ル」氏ト会谈ヲ重ネ副統領ヨリ暗示モアリタルニ付本件ニ関スル精細ナル建白的覚書ヲ作成シ之ニ依リ「ル」氏ヲシテ交渉ヲ重ネシムル積ナリ氏ト自分トハ意思疏通十分ナルヲ以テ今回ノ交渉ハ必ス好結果ヲ齎スベシト信シ遅クトモ九月五六日迄ニハ交渉ノ結果ヲ知ルヲ得ベク州統領トノ会見ハ「ル」氏ノ勧告ニ依リ此際見合セタリト語レリ

四一九 八月三十日 在伯国畑公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

「サンパウロ」州政府委託ニ依ル「ラムプレイア」ノ加州日本人情况調査ニ付内探ノ件

在米 珍田大使宛通送第一二八号

在桑港 沼野総領事代理宛通送第一六〇号

前伯刺西爾駐葡葡牙公使「ラムプレイア」ナル者曩ニ伯国「サンパウロ」州農務長官ノ囑托ニヨリ在米本邦人状態ノ調査ヲ試ミタル次第御既承通ニ有之候処今回畑公使ヨリ同人ノ復命ハ本邦人ニ対シテ頗ル不利益ナリシモノノ由ニテ農務長官ガ近來排日説ヲ固持シ本邦移民反対ノ態度ヲ執ルニ至リタルハ職トシテ同復命ニ因ルモノト推測セラルト報告有之候ニ付左様御了承相成度尚右復命書ヲ入手方畑公使ヘ及訓令置候得共貴方ニ於テモ何等便宜有之候ハバ復命内容御確メ相成候様御配慮相成度此段申進候也

四二二 九月二日 加藤外務大臣ヨリ
在伯国畑公使宛(電報)

「サンパウロ」出張中ノ松村総領事ニ対スル
訓令伝達方ノ件

第六〇号

往電第五六号ニ関シ

出張中ハ実行シ得ラルル限り「リオデジャネイロ」在勤「サンパウロ」出張中ノ総領事トシテ領事館ニ属スル一切

ノ事務ヲ取扱フヘキ旨并ニ本省及其他諸官庁ト直接通信ヲナシ差支ナキ旨松村ヘ伝達アレ尚「サンパウロ」官憲ニ対シ右ノ趣可然通知方取計ハシメ置カルベシ

四二三 九月三日 在伯国烟公使ヨリ
加藤外務大臣宛

松村書記官「サンパウロ」出張中ノ職務範圍
ニ関スル件

公第五十六号 (十二月五日接受)

在伯

特命全權公使 烟 良太郎(印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

「サンパウロ」州ニ於ケル本邦移民ノ數及一般ノ利益ニ鑑ミ同州首府「サンパウロ」市ニ領事館設置ノ急務ナルハ今更言ヲ費スノ必要ナキ義ニ有之候処不幸ニシテ本年度予算不成立ノ為メ右新設ノ運ニ至ラサリシニ付名義ハ出張ナルモ其實在「リオデジヤネイロ」總領事館ヲ同地ニ移シタルト同様ノ効能アル方法ヲ講セラレ度旨本年四五五月ニ亘リ前任牧野大臣ニ対シ數回電稟ヲ重ネタル次第有之候得共當時經費ノ都合上詮議難相成旨ノ回示アリテ其儘沙汰止ト相

成居リ候然ルニ其後同州ニ於ケル本邦移民問題ノ推移ニ伴ヒ客月十三日發貴電第五四号ヲ以テ此際松村書記官ニ書記生一名ヲ附シ「サンパウロ」ニ出張セシムル件ニ関シテ本使ノ卑見ヲ徵セラレ尚ホ同地領事館新設ノ予算成立スル迄相当ノ吏員ヲ同地ニ派シ事実上領事館ノ事務ヲ執ラシムルコトヲ必要ナリト御認相成經費其他ニ関シ御考究中ナル旨御申越ニ接シ右ノ内後段ノ御計画ハ恰カモ曩ニ本使電稟ノ驥望ト一致符合致候而已ナラズ前段ノ御諮問ニ対シテハ單ニ旅懸リノ出張ニテハ充分ナル効果ヲ得ル能ハスト思考致候ニ付旁々後段御記載ノ方法至急御実行相成度旨同月十六日発拙電第六三号ヲ以テ及電稟候処早速卑見ノ通り御詮議ノ上今回松村書記官ニ大谷書記生ヲ附シ領事館新設迄「サンパウロ」出張ヲ命セラレ候ハ誠ニ機宜ニ適セル御措置ト相考候而シテ同書記官該地出張中ハ実行シ得ラルル限リ「リオデジヤネイロ」在勤「サンパウロ」出張中總領事トシテ領事館ニ屬スル一切ノ事務ヲ取扱フベキ旨并ニ本省及同地ノ諸官庁ト直接通信スルモ差支ナキ旨同官ニ伝達スヘク且ツ「サンパウロ」官憲ニ対シ右之趣相当通知方取計ハシメ置クヘキ旨本月二日發貴電第六〇号ヲ以テ御申越相

四二五 九月十七日 在伯国烟公使ヨリ
加藤外務大臣宛

「サンパウロ」州行本邦移民問題解決ニ関ス

ル運動統制ノ件

附屬書 烟公使ヨリ「グリセリオ」氏ニ手交シタル覚書

訳文

機密第一〇号 (十一月二十一日接受)

大正三年九月十七日

在伯

特命全權公使 烟 良太郎(印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

四二四 九月十六日 在伯国烟公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)
「サンパウロ」州行本邦移民問題ニ関シ松村
書記官「ルビオン」氏ト会見ノ件
第七三号
往電第六八号ニ関シ松村ヲシテ「ル」氏ニ会見セシメタリ同氏ハ副統領ト懇談ヲ遂ケ結局副統領ハ篤ト研究ノ上円満ナル解決ヲ与フヘシト云ヒタル趣ニテ「ル」氏ハ我布望ノ全然貫徹ヲ期待シ居ル由ナルモ「グ」氏ニ対シ未タ何等回報ナキハ副統領ノ決定ヲ待ツ為ナラン

邦移民問題調査ノ囑託ヲ受ケタル「ラムブレヤ」氏ノ報告其主因タルヘシト思考セラルル旨本年七月二十五日附機密第六号拙信ヲ以テ申進置候得共尚ホ為念州農務省ニ勤務セル者ヲ経テ此点ニ関シ内探ヲ遂ゲ候效果セル哉右「ラムブレヤ」氏ノ復命ハ本邦人ニ対シ非常ニ不利益ナルモノノ由ニテ農務長官ガ愈々排日ノ臍ヲ固ムルニ至リタルハ主トシテ同復命ニ基クモノナルコト判明シ從テ「グリセリオ」氏ガ州政府当局者ニ向ツテ試ミタル第一回交渉丈ケニテ本件ヲ解決セシムル能ハサリシハ畢竟右ノ根底アリタル為ナルヘシト察セラレ候ニ付即チ右ノ事情客月三十日発往電第六九号ヲ以テ申進タル次第ニ有之候

而シテ「グリセリオ」氏ハ客月二十八日付機密第九号拙信中ニ申進置候通り本月五六日頃ニハ「ルビオン」氏ヨリ何分ノ確答ヲ得ベキ見込ナリト相語り候得共「グリセリオ」氏ノ意ヲ体シテ直接州副統領ト交渉スヘキ上記「ルビオン」氏ノ滯京永引キ漸ク去ル六日ニ至リ「サンパウロ」ニ帰還セシ趣ニ有之自然前記ノ日取ニ「ル」氏ノ回報ヲ得ル能ハサル事ト相成リ候処恰カモ當時二三ノ方面ヨリ探聞スル所ニ拠レバ州政府当局者ハ本件ニ関スル談話アル毎ニ日

下不景氣ノ折柄云々トノ語句ヲ繰返シ元來当方ノ意志ハ強チ此際州ノ財政及經濟情態ヲ顧慮セシテ直ニ移民輸入ヲ実行セントスルモノニアラズ今後景氣回復産業勃興シ本邦移民ノ渡來ヲ必要トスル場合ニ於テ我移民ニ対シ歐洲移民ニ対スルト同様ノ待遇ヲ与フベキ根本主義ヲ今ヨリ確立シ置カントノ趣旨ナルニ拘ハラズ恰カモ現下本邦移民ヲ州費補助ノ下ニ誘入セント企図スルカノ如ク誤解シ「グリセリオ」氏ハ既ニ十分当方主張ノ要点ヲ了解シ「ルビオン」氏亦之ヲ会得セル筈ナレトモ州政府当局者ガ屢々不景氣云々ヲ口実トシテ本件交渉ヲ避クルノ風アルコト既述ノ如クナルヨリ察スレバ或ハ当方ノ意志完全ニ先方ニ徹底シ居ラサルヤノ懸念相生シ候ニ付「ル」氏ガ「サンパウロ」ニ歸着シタル翌々日ハ恰カモ祭日ニ當リ同氏或ハ未ダ副統領ト会谈シ居ラサルヤモ図ラズ左スレハ今一応「ル」氏ニ向ツテ本件交渉ノ目的ヲ説明シ置ク方可然ト存シ右ノ趣意ニテ「サンパウロ」出張中ナル松村書記官ニ電訓シ「ル」氏ト会见セシメ候然ルニ同書記官ノ回報ニ拠レハ「ルビオン」氏ハ目下ノ經濟問題ニテ非常ニ多忙ニシテ殆ント寸暇ナク本月九日漸ク短時間会见ヲ遂ケタルガ氏ハ「サンパウ

ロ」へ歸着ノ翌日（九月七日伯國獨立祭日）其休日ナルニ

拘ハラズ副統領ニ面会シ詳細懇談ヲ遂ケタル処副統領ハ篤ト研究ノ上円満ナル解決ヲ与フベシトノ事ナリシヲ以テ日本公使ノ希望ハ充分貫徹セラルヘシト信ス尚ホ其節副統領ハ伯國移民事業ハ今回ノ戦乱ノ為大變動ヲ蒙リ戦後當國移民政策ハ根本ヨリ之ヲ變更スルノ必要アルベク其際ハ日本移民誘入ニ関シテモ満足ナル具体的ノ解決ヲ与フヘシ云々ト語りタル由ヲ告ゲ尚ホ同書記官ヨリ説明シタル当方ノ意志ハ不日重ネテ副統領ニ面会ノ節充分ニ之ガ疏通ヲ計ルヘシト相答ヘタル趣ニ有之候仍テ本月十二日「ルビオン」氏ヨリ「グリセリオ」氏ニ対シ如可ナル回答アリタルカヲ尋ネンガ為メ「グ」氏ト会见致候処氏ハ「ル」氏ヨリ未ダ何等ノ回答ニ接セズ多分副統領ノ決定ヲ待ツ為メナラント相語り候ニ付即チ以上ノ成行往電第七三号ヲ以テ概略申進置候次第ニ有之尚ホ同日「グリセリオ」氏ト会见ノ際ニハ松村書記官ヲシテ「ルビオン」氏ト会见セシメ州政府側ニ於テ當方主張ノ要点ヲ誤解セサル様注意ヲ乞ヒタル次第ヲ語り據ニ松村書記官ヲシテ「ルビオン」氏ニ通セシメタル通り別紙ノ覺書ニ作製シ參考ノ為メ之ヲ「グリセリオ」氏

ニ手交致置候

以上本件今日迄ノ經過別紙原訳文相添此段申進候 敬具

（附屬書）

畑公使ヨリ「グリセリオ」氏ニ手交シタル覺書訳

文

此際我ノ希望スル所ハ直ニ移民誘入ヲ行ハントスルニアラスシテ今後日本人ヲシテ歐洲人ト同様ノ待遇ヲ享ケシムヘシトノ主義ノ確立ヲ希望スルニアルコト閣下ノ既ニ承悉セラルルトコロナリ

「サンパウロ」州政府側ニテハ本件ニ関シ屢々現下ノ不景氣ニ際シ云々トノ言辭ヲ用ヒタル趣ニテ目下ノ不景氣ヲモ顧ミス直ニ移民誘入ヲ実行セントスル企図アルカノ如ク思惟セルモノノ如キモ是レ全ク誤解ナリ現今ノ不景氣繼續スル間ハ移民自身モ其利益上渡來スルコトナカルヘク又日本政府モ彼等ノ渡航ヲ許可セサルナラント思考セラルルヲ以テ仮令州政府及耕主等ニ於テ日本移民ヲ所望スルトモ此際移民誘入ハ事実行ハレ誰キ事ト察セラル蓋シ目下ノ状態ニテハ左記ノ不利益ニ遭遇スヘキ虞アルヲ以テナリ

一、食料品ノ騰貴

- 二、之ニ反シ賃銀ノ低下
- 三、賃銀支払ノ不確実
- 四、国元へ送金ノ困難
- 五、為替相場ノ下落

註 右原文省略

四二六 九月二十二日

在伯国畑公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

「サンパウロ」州政府ハ本邦移民ヲ欧洲移民

ト同様ニ待遇スベキ旨言明ノ件

第七六号

往電第三三三号ニ関シ九月二十二日「グ」氏ト会見シタルニ
「ル」氏ノ尽力ニ依リ州政府ハ日本移民ヲ欧洲移民ト全然
同様ニ待遇スヘキ旨言明シタル趣同氏ヨリ復命アリタリト
語レルニ付右言明ヲ文書ニテ取置ク形式ニ関シ目下協議中
ナリ

四二七 九月二十四日

在伯国畑公使ヨリ
加藤外務大臣宛

欧洲戦乱ノ在伯国本邦移民ニ及ホス影響ニ関

ヲ来シタル為メ元来移民ハ其取得労働中ヨリ各自ノ生計費
ヲ差引キタル残額ヲ以テ純収トナスモノナレバ物価高値ト
ナリタル丈ケハ明カニ其純益減少スル而已ナラズ新来移民
中稍不運ニシテ取得少ナキ割合ニ却テ多額ノ生活費ヲ支出
セルモノノ如キハ往々収支ノ均衡ヲ失シ却テ若干ノ負債ヲ
為ス向モ可有之候

第二、労働ノ低落ニ関シテハ咖啡園ニ労働セル移民ニ在リ
テハ本年十一月頃迄ハ契約ヲ以テ定メタル通ノ咖啡牛入賃
及咖実収穫賃ヲ得ヘキモ現農年ノ契約満了シ次年ノ契約ヲ
結ハントスルニ当リ恐ラク一層低廉ナル賃銀ニ甘セサルヘ
カラサル不利益可有之候何トナレバ過去数ヶ月不景氣ノ結
果トシテ欧洲移民ノ渡伯數漸次減少シ殊ニ戦乱ノ為メ其後
益々外国移民ノ渡来數ヲ減少スルニ至リタルニ拘ハラズ国
内ニ於テ工場ノ中止若クハ事業縮少土木工事ノ繰延其他各
方面ニ於ケル人減シノ結果トシテ都会労働者ノ職ヲ得サル
者続出シ平常多少ノ貯蓄アリシ輩ハ之レヲ旅費トシテ陸続
田舎ニ落行タレトモ其日暮シニ過コシ来リタル貧困者ハ
田舎ニ赴ク旅費タニ無ク彼等ノ窮状実ニ甚敷モノアリ首府
「リオデジャネイロ」市ニ於テハ此種ノ困難民比較的小数

スル件

通公第六三三号

大正三年九月二十四日

在伯

特命全權公使 畑 良太郎(印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

欧洲戦乱ノ伯国財政及經濟上ニ及ホシタル影響ニ関シテハ
既ニ客月二十五日付領第四四号ヲ以テ松村總領事ヨリ報告
ノ次第有之候処現今当国ニ在留セル一万三千名余ノ本邦移
民ガ今回ノ大戦乱ノ為メ直接間接ニ蒙ル影響モ頗ル深大ナ
ルモノアルヘキハ勿論ナレトモ就中

- 一、食料其他日常必需品ノ価格騰貴
- 二、労働ノ低落
- 三、賃銀支払ノ不確
- 四、国元へ送金ノ困難
- 五、伯貨相場ノ下落

等其重ナルモノナリ今少シク詳細ニ亙リテ説明ヲ試ムレバ
第一、食料品中本邦移民ニ欠クヘカラサル白米塩砂糖等ヲ
初メトシ其他日常必須品孰レモ戦乱勃発後頃ニ數割ノ暴騰

ニシテ多クハ市費ヲ以テ之ヲ田舎ニ送還スルヲ得タレトモ
「サンパウロ」市ニ於テハ不景氣ノ打撃一層甚敷カリシ丈
ケニ無職ノ困難民ヲ出スコトモ「リオデジャネイロ」市ニ
數倍シ客月中三千名ノ労働者ハ内地ニ去リテ咖啡園ニ入レ
リト伝ヘラルルニ拘ハラズ尚多數ノ難民市中ニ残留シ若シ
之ヲ自然ノ成行ニ放任シ置カンニハ彼等ハ忽チ飢餓ニ迫リ
絶望ノ極如何ナル騒動ヲ惹起スルヤモ計リ難キ形勢ナリシ
ヲ以テ同州内務司法長官主唱者トナリ新聞記者等ヲ集メテ
之カ善後策ヲ討究シ現政府党ノ機關タル「コレイオ、パ
ウリストアー」新聞社長ニシテ州ノ上院議員タル「カルロ
ス、デ、カムボス」氏主動者トナリ労働者救済会ヲ組織シ
地方重要ノ地ニ支部ヲ設ケ公衆ヨリ義捐金ヲ募集シ無職勞
働者ヲ救護スル方法ヲ講シツツアル現状ナルト同時ニ耕地
主等ニ於テモ咖啡園ノ新規拡張及諸般ノ改良ヲ見合セ現在
ノ耕地ヲ維持スルニ止メタル結果假令例年ノ如ク多數ノ外
国移民渡来セストモ格別労働者ノ不足ヲ感セサルノミカ態
々低賃ニ甘ンシテ労働者ノ労働口ヲ求ムル困難民亦少カラ
サルカ為メニ有之候

第三、賃銀支払ノ不確実ニ関シテハ元来本邦移民ハ移民会

社ノ業務代理人ヲシテ比較的確実ナル耕主ヲ択ハシメタルヲ以テ今日迄ハ単ニ一二ノ例外ヲ除キ我移民ニ對スル賃銀支払ハ滞リナク行ハレタレトモ今ヤ世界ニ於ケル咖啡市場戰亂ノ為メ縮少セラレ咖啡ノ市価モ從テ下落シ金融逼迫其極ニ達セルヲ以テ今後我移民ニ對スル賃銀支払延滞スル耕主ナキヲ保セズ甚シキニ至テハ約二年前ニ現出シタル如ク耕主ノ倒産スルモノ続出シ多數ノ伊太利移民ハ巨額ノ損失ヲ蒙リ之カ為メ移民問題ニ関シ伯伊兩國間ニ確執ヲ見ルニ至リタル如キ現象ヲ再現スルコトナシトモ測リ難ク前途頗ル憂慮スヘキモノ有之候尤モ「サンパウロ」州政府ハ同州否伯國全体ノ經濟上ニ最大ノ關係アル咖啡ノ販路拡張及其市価維持ニ関シテハ從來一日モ注意ヲ怠ラズ這般ノ困難ナル時局ニ際シテハ極力此方面ニ努力シ同州選出上院議員「アルフレド、エリス」氏（氏ハ本邦移民ヲ僱用セル咖啡園主ノ一人ニ候）ヨリ咖啡買収ノ為メ聯邦政府紙幣二億「ミルレイス」ヲ発行シ以テ一面咖啡相場ノ下落ヲ防止スルト同時ニ他面ニ於テ金融ヲ豊カニシ耕主及一般實業界ノ悲境ヲ救済スヘキ一議案ヲ過般聯邦議會ヘ提出シタル程ニ右之該案ハ一時「サンパウロ」ニ利益アルモノノ如キモ聯

ノ意志無之ハ勿論耕主ニ於テモ敢テ格段ニ勞働者ノ欠乏ヲ感スル訳ニテモ無之仮リニ数歩ヲ譲リテ州政府及耕地主ヨリ本邦移民ヲ誘入シ度シト懇願シ来ルトスルモ我政府ハ既記五箇ノ不利益アル現況ニ鑑ミ此不景氣回復スル迄ハ移民ノ渡伯ヲ御許可可相成サルヲ適當ト思考セサルヘカラサル形勢ト一変シ来リ候

右御參考迄及報告候 敬具

四二八 九月二十五日
在伯国畑公使ヨリ
加藤外務大臣宛

「サンパウロ」州行自由移民二対スル旅費還

付中止ノ件

「サンパウロ」州令第二五三三号訳文

通公第大四号

(十一月二十一日接受)

大正三年九月二十五日

在伯

特命全權公使 畑 良太郎（印）

外務大臣男爵 加藤 高明殿

「サンパウロ」州農務長官ハ昨年後半以來引続テノ不景氣
并ニ州財政ノ現状ニ鑑ミ從來外國移民ニ与ヘツツアリタル

一五 「ブラジル」移民雑纂 四二八

邦政府ハ最近既ニ二回ニ一億七千五百万「ミルレイス」ノ紙幣増発ヲ行ヒ之カ為メ伯貨相場ノ下落ヲ招ケル際ニシテ此上増発セハ益為替相場ニ影響スヘキヲ以テ同案ノ通過ハ目下頗ル困難ナルヘシト觀測セラレ候トモ又何トカ悲境救済ノ方法講セラルルニ至ルベシ

第四、本邦移民ノ郷里送金ハ從來主トシテ郵便為替ニ依リ
タレトモ歐洲戰亂起リテ以來伯國郵便局ニテハ一切歐洲宛
及歐洲經由ノ外國郵便為替取扱ヲ中止シ又銀行ニ於テモ一
般ニ為替取組ヲ為サズ移民中現ニ懷中セル貯金ヲ郷里ニ送
付セントスルモ當分ノ間到底行ハレ難ク加之從來英貨十六
片替以上（邦貨六十六七錢）ニ相當シタル伯貨一「ミルレ
イス」ハ開戰前後ヨリ漸次低落シ昨今ニテハ五十錢内外ト
ナリタルヲ以テ移民ハ仮リニ従前ト同額ノ純収ヲ得タリト
スルモ其受取ル貨幣ハ伯國紙幣ナルヲ以テ邦貨ニ換算シ約
四割ノ損失ト相成リ之ニ第一・第二ノ物価騰貴収入減少ヨ
リ生スル損害ヲ加フレバ移民ノ収益ハ尚一層減少ヲ見ル次
第ニ有之候

目下ノ情勢大略上述セル通りニ有之候ニ付此際「サンパウロ」州政府ニ於テ補助金ヲ与ヘテ迄外国移民ヲ誘入セント

補助金及助成金ハ漸次之ヲ節約廃止スル方針ヲ執リ過般本邦移民誘入契約ヲ廢棄スルニ至リタルモ亦同一ノ理由ニ基ク旨屢々申進置候処州政府ハ同一目的ヲ以テ今回更ニ自費渡航移民ニ對シ渡航後其旅費金額ヲ還付スルコトヲ中止シ而シテ右中止ハ州令發布後六十日ヲ経テ乗船スル移民ニ對シ一樣ニ之ヲ適用スル旨本月十六日州令第二千五百三十三号ヲ以テ規定シ同令ハ翌々十八日ノ州官報ヲ以テ公布セラレ候ニ付何国ノ移民タルヲ問ハズ本年十一月十七日後同州ニ向ヒ乗船出発スル者ハ總テ其自弁ニ係ハル三等船賃ノ還付ヲ受クル能ハサル義ニ有之從テ本使別信「通公第六三三號」ヲ以テ及報告置候以外更ラニ本邦移民ノ此際渡航スルヲ不得策トスル一理由ヲ増シタル次第ニ有之候

別紙州令原訳文相添此段申進候 敬具

註
州令原文省略

(附屬書)

「サンパウロ」州令第二五三三號訳文

州令第二五三三號（一九一四年九月十六日）

州統領代理タル副統領ハ千九百十三年七月九日州令第二千四百号第一百一条ノ規定ニ従ヒ左ノ州令ヲ発ス

六四五

第一条 移民、植民及農業労働者保護ニ関スル法令及決定

ヲ集成シタル千九百十三年七月九日州令第二千四百号規定条件ニ依ル自由移民^{イミグレーション・システム}ニ対スル旅費金額ノ還付ハ之ヲ中止ス

第二条 前条ノ規定ハ本令公布ノ日附（訳註九月十八日）

ヨリ六十日後ニ乗船スル移民ニ之ヲ適用スベシ
千九百十四年九月十六日

「サンパウロ」州政府ニ於テ

副統領「カルロス、アウグスト、ペレイラ、ギマ

ライス」（手署）

農務長官「パウロ、デモラエス、バルロス」（副署）

四二九 九月三十日

在伯国畑公使ヨリ
加藤外務大臣宛（電報）

本邦移民ノ待遇ニ付「サンパウロ」州政府言

明ノ文書化ニ関スル件

第七七号

往電第七六号^{（註）}ニ関シ先ツ当方ヨリ副統領宛ノ公文案ヲ「グ」氏ニ提出シ十月四日帰国スベキ「ル」氏ヲシテ副統領ト会

見篤ト協議ノ上先方ヨリ回答案ヲ内示セシメ本使満足ナルニ於テハ公然文書ノ交換ヲ為ス筈ニ付本件落着ハ尚多少時日ヲ要スル見込

註 前掲四二六文書

四三〇 十月一日

サンパウロ出張松村総領事ヨリ
加藤外務大臣宛

「サンパウロ」州在住本邦移民ヨリノ呼寄証

明義給ニ関シ請訓ノ件

領第五三号

（十一月十九日接受）

大正三年十月一日

サンパウロ出張中

総領事 松村 貞雄

外務大臣男爵 加藤 高明殿

「サンパウロ」州政府ハ客月十六日附州官令第二五三三号ヲ以テ千九百十三年七月九日附州官令第二四〇〇号第百〇一条自由移民旅費還付ニ関スル規定ヲ廃止致候処我移民会社トノ移民誘入契約モ既ニ解除セラレタル今日最早呼寄移民ト呼寄人トノ関係ハ当国法令上ニ於テハ全然無意味ノモノト相成候ニ付テハ自今呼寄証明ハ其移民タルト否トニ拘

大正三年十月三日

在伯

特命全權公使 畑 良太郎（印）

外務大臣男爵 加藤 高明殿

本件ニ関シ客月十二日「グリセリオ」氏ト会见シタルニ同氏ヨリ州副統領ト直接本件交渉方ヲ依嘱シタル州上院議長「ルピオン」氏ヨリ未タ何等ノ回報ニ接セサル趣ニシテ右ハ副統領ノ決定ヲ俟テル為ナルヘシト本使ニ談話アリタル次第ハ不取敢同月十六日発往電第七三号ヲ以テ申進候ト同時ニ引続キ翌十七日付機密第一〇号拙信ヲ以テ本件同日迄ノ成行ト共ニ逐一及具報置候処其後「ルピオン」氏ニ於テハ予テヨリ奔走中ナリシ「サンパウロ」州財政上ノ緊急問題ニ関シ聯邦当局者ト協議ノ為九月二十日再ビ「リオ、デ、ジャネイロ」市ニ到着シタルヲ以テ必ラズヤ本件ニ関スル消息モ氏自ラ之ヲ齎セルナラント推察セラレ候ニ付同氏副統領ト交渉ノ結果ハ順序トシテ「グリセリオ」氏ヨリ聴取スルトスルモ本件ニ関シ氏等ト懇談ヲ遂ケ十分ニ意志ノ疎通ヲ図ルノ目的ヲ以テ翌二十一日日本使ハ両氏ヲ初メトシ「サンパウロ」州側ヲ代表シテ「ルピオン」氏ト同行セル

四三一 十月三日

在伯国畑公使ヨリ
加藤外務大臣宛

本邦移民ノ待遇ニ関シ文書交換方「サンパウ

ロ」州政府トノ交渉経過報告ノ件

附 記

十月五日附畑公使ヨリ加藤外務大臣宛私信
日伯両国間ノ諸問題ニ関スル件

機密第一三号

（大正四年六月二十九日接受）

次期州統領候補者ノ一人タル「オラボ、エヂデリオ」氏（氏ハ数年前州ノ大蔵長官ノ重職ニ就キ其在職中一時農務長官ヲ兼ね従来本邦人ニ好意ヲ表セル有力者ニ有之候）并ニ最初ヨリ本件解決ニ助力ヲ与ヘツツアル聯邦上院議員予備海軍中將「インディオ、ド、ブラジル」氏ヲ招待シ中央俱樂部ニ於テ晚餐ヲ催シ食卓ニ於テハ勿論其前後ニ於ケル会話中ニモ本使ハ成ルベク話題ヲ本邦移民ノ上ニ転セシメ其ノ誘入ハ伯國特ニ「サンパウロ」州ノ為メニ必要且ツ有益ナル所以ヲ説キ本邦人が移住地ニ於テ依然其言語風習ヲ固守シ同化セズト云フガ如キハ事実ニ反スル捏造説ニシテ元来日本人ハ頗ル同化シ易キ特質ヲ有スルヲ以テ当國ニ永住スル時ハ漸次伯國化スルノミナラズ殊ニ当國ニ於テ出生シタル日本人ノ子女ハ純然タル伯國人トナルハ必然ナリト告ケ尚進ンテ北米ニ於ケル排日ノ非理不法ナルハ勿論ニシテ殊ニ伯國ノ如キハ北米合衆國トハ大ニ其事情ヲ異ニシ未懇ノ沃土広大ナルモ人口甚タ稀少ニシテ之カ開発ハ主トシテ外國移植民ノ手ニ依ラサルベカラサル状態ニ在リ然ルニ日本ノ人口ハ年々五六十万ヅツ劇増スルモ土地狭小ニシテ人口過剰ナルガ故ニ伯國ニ於テ需要ノ途アル限りハ之ニ向

ニセル如ク調査若クハ研究ヲ要セスシテ最初ヨリ判明セル極メテ簡單ナル問題ナリ故ニ帝國政府ニ於テモ本件ノ解決ニ斯ク多大ノ時日ヲ要スルハ其意外トスルトコロナルベク、遷延今尚確答ニ接セサルハ自分ノ苦慮決シテ尋常ニアラサル旨ヲ陳述致候処同氏ハ其義ナラバ自分ヨリ急速解決ヲ見ル様督促スヘキニヨリ安心シテ可ナリトノ挨拶ニ有之尚機ヲ見テ「グリセリオ」氏ニ對シ「ルビオン」氏ノ復命ヲ聴取セリヤト相尋候処「ル」氏出京以來互ニ多忙ノ為メ行違ヒ未ダ懇談ノ違ナカリシヲ以テ孰レ明日ノ会見ニ於テ詳細本使ニ語ルヘシト告ケ直ニ「ル」氏ヲ拉キテ辭シ去リ其模様如何ニモ今ヨリ「ル」氏ノ報告ヲ聴取セントスルモノノ如ク相見エ候ニ付仍テ翌二十二日午後「グ」氏ト会見ヲ約シテ相分レ候

斯クテ九月二十二日「グリセリオ」氏ト会見ヲ遂ケ候処同氏ハ本使ニ向ヒ「ルビオン」氏ガ復命シタル所ニ拠レハ州政府ハ冒頭ニ於テ州ノ財政及目下ノ不景氣ニ鑑ミ歐洲移民ニ比シ一層多額ノ補助金ヲ要スル日本移民誘入ノ為メニ一旦解除トナリタル契約ヲ更ラニ締結スルノ意ナク（契約復活ノ当方ノ請求ニアラサリシモ玆ニ之ヲ言フハ契約ヲ解除

ツテ多数ノ移植民ヲ送出スルコトヲ得ヘク日伯兩國ハ有無相通ノ天理ニ基キ今後益々關係密接トナルヘキ運命ヲ有スルモノト確信スル旨ヲ述ヘ談話交驩ノ間ニ本邦移民ノ真価並ニ排日ノ不当ナルヲ了解セシムル様努力致シ候処列席者ハ何レモ既ニ日本屬員ナレバ欣ンテ本使ノ所言ニ傾聴シ異口同音ニ本邦移民ノ伯國ニ必要ナル旨ヲ唱和シ相互ノ意志疎通上大ニ裨益スル所アリタル様被察候然ルニ話柄ハ上記ノ如ク屢々本邦移民ノ事ニ及ヒタルニ拘ハラズ肝心ノ對副統領交渉ノ結果ニ関シテハ局外者ト見做スヘキ「オラボ、エヂデリオ」氏ノ同席セルヲ憚リタル為メカ或ハ「ルビオン」氏ヨリ「グリセリオ」氏ニ對シ未ダ復命ノ違ナカリシ為メカ兩氏ヨリハ何等語リ出サズ却テ食後喫煙室ニ於ケル雜誌中「インディオ」氏ヨリ本件其後ノ成行如何ト尋ネラレタル程ニ有之其際「ル」氏及「グ」氏ハ「エヂデリオ」氏ト時事問題ニ就キ談話中ナリシヲ以テ本使ハ「インディオ」氏ノ尋問ニ對シ元来本件ハ差当リテ日本移民誘入ヲ実行セント企圖スルモノニアラズ唯タ今後渡来スヘキ本邦移民ニ對シ歐洲移民ガ受クルト同一ノ待遇恩典ヲ与ヘラレ度シトスル主義上ノ問題ニ過ギサルヲ以テ州政府当局者ノ口

シタルハ決シテ排日ノ考ニ基キタルモノニアラズ財政經濟ノ都合タニ宜シカリセバ続行セラレシナラントノ意ヲ示ス為メナランカ）且ツ今後一般外國移民招待ノ方法ニ関シ一夫大改革ヲ行フ筈ナリ云々ノ語句アリタルモ結局日本公使ノ希望セラルル要点ハ貫徹セリ即チ副統領ハ日本移民ヲ歐洲移民ト全然同様ニ待遇スベキ旨ヲ隔意ナク言明シタル趣ナリト告ケ候ニ付本使ハ「グ」氏「ル」氏ノ尽力ニ依リ此言明ヲ得タルコトヲ欣ヒ且ツ深ク之ヲ感謝スル旨ヲ述ヘタル後然ラバ右州政府ノ言明ハ如何ナル形式ヲ以テ之ヲ確實ニスルヲ得ベキヤ貴見腹藏ナク承ハリ度シト相尋ネ候処開ハ兎ニ角文書ヲ以テ取置クラ適當ナリト思考スル旨ヲ答ヘタルヲ以テ然ラバ先ツ当方ヨリ「移植民ニ関スル『サンパウロ』州ノ法令ハ当然日本人ニモ適用セラレ從ツテ歐洲移植民ニ對シ附与セラルル一切ノ恩典及便益例セハ州設移民收容所ニ於ケル宿泊及内地無賃輸送ノ如キ利便ハ凡テ之ヲ日本移民ニモ附与セラルヘク換言スレハ總ヘテ日本人ハ其移民タルト否トヲ問ハズ『サンパウロ』州ニ於テ最惠國臣民及人民ガ受クル処ヨリモ不利益ナル待遇ヲ州政府及其諸官憲ヨリ与ヘラルルコトナカルヘク且ツ歐洲人ニ對シテ与

ヘラルルヨリモ劣等ナル待遇ヲ日本人ニ与フルガ如キ立法的企図ナキヲ確信ス右ノ通り心得然ルベキヤ」トノ意味ニテ州副統領ニ書面ヲ送り之ニ対シ先方ヨリ右全文ヲ繰返シテ「貴見ノ通り」ト回答セシメテハ如何幸ヒ当方ヨリ差出スヘキ文書ノ草案ヲ携帯シタレバ御一覽アリ度シト申述ベ候処「グ」氏ハ本使手交ノ文案ヲ一読シタル上御希望ノ要點ハ是ニテ充分明瞭ナレバ文意ハ間然スル所ナキモ用語其他ノ形式ニ関シテ尚ホ篤ト熟考ノ上協議ヲ凝スヘシト相答ヘ候ニ付即チ右ノ次第同日発往電第七六号ヲ以テ不取敢及申報置候

越エテ九月二十八日聯邦上院議員「インデイオ、ド、ブラジル」氏ハ本件ニ関シ尽力シツアル「グリセリオ」及「ルビオン」両氏が非常ニ多忙ニシテ日夜奔走シ居リ容易ニ会合懇談ノ機会ナキヲ知レルヲ以テ特ニ本使ヲシテ此等有力ナル政治家ト会谈ノ便宜ヲ得セシムルヲ以テ主眼トシ兼ネテ先日本使ガ氏等ヲ中央俱樂部ニ招キ晚餐ヲ餐応シタル返礼ノ意味ニテ氏夫妻ノ名ヲ以テ本使及妻並ニ恰カモ先日本使ガ招待シタル丈ノ人々ヲ氏ノ邸ニ招キ晚餐会ヲ催シ呉レ候ニ付同夜モ本件ニ関シ列席ノ諸氏ト談話スルノ好機

又之ニ対スル先方ノ回答ハ予メ一応当方ヘ内示ヲ求ムルコトヲ得ヘキヤ等ノ諸点ニ関シ協議セシメ候結果既記ノ本使ヨリ手交シ置キタル書翰文案ニ其意味ヲ変セサル程度ニ於テ氏自ラ文辭ニ多少修飾ヲ加ヘ本使閱了ノ上十月四日歸州ノ筈ナル「ルビオン」氏ニ之ヲ交附シ副統領ト会见篤ト協議ノ上先方ヨリノ回答案ヲ内示セシメ本使満足ナルニ於テハ玆ニ初メテ公然文書交換ヲ実行スルコトニ打合セ相繼リ候尤モ右ニ関シ直接副統領ト折衝ノ任ニ当レル「ルビオン」氏ハ既ニ屢々申進候通り殊ノ外多繁ノ身ニシテ歸州後直ニ副統領ト会谈シ得ルヤ否ヤ保シ難キ而已ナラズ州政府側ニテモ当國ノ通弊タル遷延主義ノタメ即座ニ回答案ヲ内示スルガ如キコトハ到底予期致シ難ク從テ本件全ク落着ヲ告クル迄ニハ尚ホ多少時日ヲ要スル義ト存セラレ候ニ付右ノ趣九月三十日発往電第七七号ヲ以テ申進タル次第ニ有之候就テハ今後本使ハ尚ホ機会アル毎ニ間接直接ニ督促ヲ怠ラズ以テ一日モ早ク本件ヲ円満ニ解決セシムル様努力致スベク候得共不取敢以上今日迄ノ經過及具報候 敬具

(附記)

十月五日附 在伯国畑公使ヨリ加藤外務大臣宛私信

会ヲ得タルヲ幸ヒ数日後ニ「サンパウロ」ニ歸ルヘキ「ルビオン」氏ニ対シテハ此迄ノ尽力ヲ謝スルト同時ニ諸君ノ好意ニヨリ州政府ヲシテ日本移民ヲ欧州移民ト同様ニ待遇スヘキ旨ヲ決意言明セシムルコトヲ得タル上ハ後日ノ為メ文書ヲ以テ右言明ヲ確カメ置クヲ適當ト思考シ当方ヨリ提出スヘキ文案ハ「グリセリオ」氏ノ手許迄差出シ置キタレバ何レ「グ」氏ヨリ貴下ニ依頼シテ之ニ対スル州副統領ノ回答ヲ得ルコトニ関シ予メ打合セ方御配慮ヲ煩ハス筈ニ付此上トモ何分宜シク御尽力ヲ請フト述ベ「グリセリオ」氏ニ向ツテモ尚ホ右文書交換ノ義ニ関シテハ「ル」氏トモ充分協議ノ上同氏歸州ノ好機ヲ利用シ速カニ之ヲ実行シテ本件ヲ首尾克ク落着セシムル様配慮アリ度シト依頼シ最後ニ「インデイオ」氏ニ対シテハ為念本件同日迄ノ經過ヲ逐一陳述シ愈解決ノ曉「グリセリオ」「ルビオン」両氏ノ功勞ニ酬ユヘキ適當ナル方法ニ関シテモ参考トシテ内々氏ノ意見ヲ求ムル等種々懇談相遂ケ候

尚ホ其翌二十九日本使ハ野田通訳官ヲシテ本使ノ意ヲ体シテ「グリセリオ」氏ト会见シ州副統領宛ニ差出スヘキ書面ノ文案ハ先日氏ニ交付シ置キタルモノニテ適當ナルヘキヤ

日伯兩國間諸問題ニ関スル件

謹啓

歐洲之戦乱ハ延テ帝國ノ対独開戦トナリ國務極メテ御多端之折柄閣下益御清榮慶賀之至リニ奉存候

当國ニ於テハ官民一般ニ英仏露ニ同情ヲ表シ自然日本ニ対シテモ感情宜敷新聞紙ハ我陸海軍ノ歐洲出動ヲ希望スルノ論調ニ有之候

対伯移植民及商業發展業ニ関シテハ曩ニ牧野前大臣ヘ卑見ヲ呈シ(大正三年二月二十一日通機密第三号)御參考ニ供シ置候処歐洲戦乱ノ当國ニ及ホシタル影響ハ甚大ニシテ頓ニ当國一般之不景氣ヲ致シ移民ノ誘入ハ当分不可能之姿トナリ(九月廿四日通公第六三号)商業モ亦本邦ト当國トノ間ニ直通航路ナキ為メ徒ニ戦乱ノ好機ヲ逸スル而已ナラス歐洲諸國ノ商業ト同様ノ打撃ヲ蒙リタルハ真ニ遺憾ノ至リニ候要スルニ戦乱中ト平時トヲ問ハス苟モ我國民ノ當國發展ト我対伯貿易ノ発達トヲ期セントセハ心スヤ先ツ當國ト本邦トノ間ニ直通航路ヲ開始セサル可カラスト存候右ニ関スル前記卑見中ニハ當國政府側ノ補助ヲ期待シ居リタルモ今回戦乱ノ為メ形勢一変近キ将来ニ於テ之ヲ得ルノ見込無

之ニ付此際我政府ハ大和民族當国大發展ノ根本的設備トシテ本邦船会社ニ補助ヲ与ヘ定期航海開始相成候様御配慮之程希望ノ至ニ不堪候(總領事館報告領第五〇号御参照)

「サンパウロ」州政府ノ排日態度非公式鎮圧運動ニ関シテハ從來屢上申之通り幸ニ当国政界之元老ノ熱心ナル協力ヲ得タルモ剛腹ナル現農務長官カ加州ニ於ケル排日ヲ根本的ニ取調ヘタル上決心之臍ヲ固メ統領ヲモ動カシ既ニ文書ヲ以テ我移民会社ニ其意ヲ表示シタル後ノ事故仲々一筋繩ニテハ屈服セス交渉数月ニ亘リ一時ハ多少悲観セシ程ナリシモ曩ニ電報ニテ申上候通り副統領ハ終ニ日本人ヲ歐洲人ト同様ニ待遇ス可キ旨ヲ言明シタル趣ニテ目下文書交換ノ協議中ニ有之候本件カ幸ニ國際問題トナルニ至ラス又排日間題トシテ世人ノ注意ヲ惹起セス又鎮圧運動ノ為メ当国官民之感情ヲ寸毫モ害セスシテ今ヤ極メテ円満ニ解決之間際ニ達シタルハ実ニ欣喜ノ至リニ堪ヘサルトコロニ有之候本件ノ如斯結果ヲ期待シ得ルハ主トシテ聯邦上院議員「インデイオ」氏元老「グリセリオ」氏及「サンパウロ」州上院議長「ルビオン」氏等カ目下財政ノ整理ニテ極度ニ多忙ナルニ拘ハラス熱心ニ尽力致シ與レタル結果ニ有之候ニ付本件

モ見エ十分ニ満足シ難キニ付更ニ当方ノ要望スル回答ノ案文ヲ提出シ「グ」氏ヨリ長文ノ警告ヲ副統領ニ送リ「ル」氏ヲシテ之ト再応交渉セシムル手筈ナリ

四三三 十一月十四日 在伯国畑公使ヨリ
加藤外務大臣宛

在米国本邦人状態ニ関スル「ラムブレイア」

報告書写入手ノ為報酬必要ノ件

通機密第一四号 (大正四年一月十六日接受)

大正三年十一月十四日

在伯

特命全權公使 畑 良太郎

外務大臣男爵 加藤 高明殿

当国「サンパウロ」州ノ密旨ヲ受ケ在北米本邦人ノ状態ヲ調査シタル「ラムブレイア」ノ報告書写ハ之ヲ入手スルコト頗ル困難ナルベキモ何等カノ方法ヲ以テ右入手方尽力致スヘキ旨本年九月二日付通送第七七号公信ヲ以テ御来示ノ趣敬承右報告入手方ニ関シテハ「サンパウロ」出張中ナル松村総領事ニ於テ同地到着以來常ニ心懸居リタル処近来懇意ニセル同州農務局商工課勤務ノ一員ガ農務長官ノ秘書官

終了ノ上ハ相当ノ報酬ヲ贈ル必要可有之右ニ関シテハ追而熟慮之上稟請ニ可及候ヘ共前陳ノ次第ヲ御含置被下度願上候、以上要件申上旁平素御無音之御託迄匆々頓首

大正三年十月五日

在伯公使館

畑 良太郎

加藤外務大臣閣下

四三二 十一月七日 在伯国畑公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

本邦移民ノ待遇ニ付「サンパウロ」州政府言

明ノ文書化交渉ニ関スル件

第七九号

往電第七七号ニ関シ本使ハ曩ニ農務大臣ガ文書ヲ以テ表示シタルコトト正反對ノ言明ヲ更ニ文書ニテ為サシメントスルモノナレハ実行上幾多ノ困難ナル事情アリ一ヶ月以來有ユル方法ヲ尽シ漸ク回答案ニ接シタリ同案ノ趣旨ハ現ニ歐洲自由移民ニ与ヘツツアル恩恵ハ我自由移民ニモ之ヲ拒絶セサルヘント云フニ在リ当面ノ問題ハ之ニ依リ解決スヘキモ日欧移民均等待遇主義ニ言及セス且幾分留保ケ間敷語句

ニ就キ内探シタル処ニ抱レハ同報告ハ頗ル大冊ナルガ上ニ農務長官ハ機密書類トシテ自身ニ之ヲ秘藏セルヲ以テ全部ノ窃写ハ到底行ハレ難ク目下ノ処ニテハ該報告ヲ一見シタルコトアリト言ヘル同秘書官ノ記憶ニ基キ其要点タケヲ探知スル外良策ナカルヘキニ付右ハ寧ロ同報告カ他日一個ノ書類トシテ記録ニ移サルル咄ヲ俟テ全体ヲ写取ラシムル方得策ナルヘントノコトナルガ両者孰レノ方法ニ依ルモ該報告入手ニ関シテハ相当ノ報酬ヲ要スル趣今般同總領事ヨリ内報ノ次第有之候間此辺ノ事情御高察ノ上右ニ要スル報酬並ニ同州ニ於ケル本邦移民ノ利益ニ関スル諸般ノ事項内探ニ要スル費用トシテ機密金凡參千円予メ同官ヘ御交付置相成候様致度回答旁此段申進候 敬具

四三四 十一月十五日 在伯国畑公使ヨリ
加藤外務大臣宛

本邦移民ノ待遇ニ関スル文書交換ニ付「サンパウロ」州政府側トノ交渉具報ノ件

附屬書一 畑公使ヨリ「サンパウロ」州副統領宛公文案

訳文

二 「サンパウロ」州政府回答案訳文

三 「サンパウロ」州政府回答案(当方対案) 訳文

通機密第一五号

(大正四年二月四日接受)

大正三年十一月十五日

在伯

特命全權公使 畑 良太郎(印)

外務大臣男爵 加藤 高明殿

本件ニ関シ「サンパウロ」州政府ハ既報ノ如ク本邦移住民ヲ歐洲移住民ト同様ニ待遇スベキ旨「ルビオン」氏ヲ經テ「グリセリオ」氏マデ言明シタル趣ニ付後日ノ為メ右言明ヲ文書交換方法ニヨリ確カメ置クヲ適當ト認メ先ツ本使ヨリ州副統領宛ニ差出スヘキ書翰文案ヲ先方ニ示シ之ニ對スル回答案ノ内示ヲ求メ本使満足ナルニ於テハ茲ニ愈公然文書交換ヲ実行スルコトニ相談相纏リタル次第ハ既ニ去ル九月三十日發往電第七七号及十月三日付通機密第十三号ヲ以テ申進シ置キタル通りニ有之右打合せニ基キ先ツ本使ヨリ州副統領ニ宛ツヘキ答ナル別紙甲号原訳文ノ書翰案ヲ作成シ「現ニ歐洲移植民ヲ支配シツツアル法律ノ規定ハ当然日本移住民ニモ適用セラレ從ツテ当該法律及慣例ガ他外國移

シテ「ル」氏ハ十月初旬「サンパウロ」市ニ歸着ノ上自身之ヲ携ヘテ副統領ト面談シ先方回答ノ案文ヲ申受ケ「グ」氏ヲ經テ之ヲ本使ニ内示セシムル手筈ニ相成居リ既ニ副統領ガ一旦口頭ニテ言明シタル以上之ヲ書面ニ認メル丈ケノ事ハ一見甚ダ容易ナルガ如キモ其実ハ曩ニ農務長官カ移民会社代理人等ニ對シ文書ヲ以テ表明シタル所ト全然正反對ノ言明ヲ更ラニ公文ニテナサシメントスルモノナレバ実行上幾多困難ナル事情アルコトハ夙ニ承知致居候ト同時ニ諸事緩漫ナル国柄ナレバ絶エズ督促ヲ為スノ必要ヲ認メ「サンパウロ」出張中ナル松村書記官ニ對シテモ「ルビオン」氏ニ就キ催促方申送置候処同官ハ十月十六日ヲ以テ「ル」氏ニ会见シタルニ副統領ハ同日午後農務長官ト協議ノ上回答案文ヲ取極メ直ニ發送ノ事ニ約束済ナレバ遅クモ其翌日中ニハ發送セラルル筈ナリト談リ候由報告ニ接シ候仍テ右回答案ハ同月十八日頃ニハ「リオ」市ヘ到着スヘキニ付「グ」氏ニ於テ右接手ノ上ハ予テ打合せ置キタル通り早速同氏ヨリ通報アル筈ナリト心得ニ相俟チ候得共一向何等ノ沙汰モ無之ニ付同二十一日ニ至リ「グ」氏宛電信ヲ以テ本件ニ関シ「サンパウロ」ヨリ何等カノ消息ヲ得ラレタリヤ

住民ニ附与スル一切ノ恩典及便益例セハ州設収容所ニ於ケル宿泊及「サントス」並ニ「サンパウロ」ヨリ内地ニ到ル無賃輸送ノ如キハ總テ之ヲ日本移住民ニモ許与セラルルモノト確信ス換言スレバ移住民ヲモ含メル凡テノ日本人ハ「サンパウロ」州ニ於テ最惠国臣民及人民ガ受クル所ヨリモ不利益ナル待遇ヲ州政府及其諸官憲ヨリ受クルコトナカルベク且ツ一般歐洲人ニ對シテ与ヘラルルヨリモ不利益ナル待遇ヲ日本人ニ与ヘンカ為メ州政府及州議會ニ於テ現状ヲ變更スル意アリト推測シ難タシ」州政府ノ意向モ亦以上ノ見解ト一致スルモノナルヲ信ズト雖トモ將來疑義ノ起ルヲ避ケンカ為メ何分ノ義回示アリ度シトノ趣旨ニシテ之ニ對シ副統領ヨリ往翰全文ヲ繰返シテ右当方ノ見解ヲ承認スルカ若クハ簡單ニ「貴見ノ通」ト回答シ来ラバ夫レニテ事認セサルカ又ハ仮令承認スルモ後日本邦人ニ殊別の待遇ヲ与ヘ得ル如キ留保の語句ヲ加フル場合ニハ更ラニ考慮ノ必要アルコト勿論ノ義ニ付即チ上記書翰案ニ對スル州政府回答ノ案文内示ヲ求ムルコトトシ当方ノ書翰案ハ「グリセリオ」氏ヨリ當時上京中ナリシ「ルビオン」氏ニ手交シ、而

否ヤ問合セ候処未ダ何等ノ回答ヲ得ズ但シ本使宛ニ一書ヲ差出置キタレバ閱覽ヲ包フ旨ノ回電アリシヲ以テ翌二十二日「グ」氏ノ書翰到達ヲ俟テ一読致候処其要旨ハ最近「サンパウロ」州副統領ハ現行移植民規則中ノ或ル条項改正(大地主ヲシテ移植民ノ為メニ土地ヲ区分シ年賦ニテ内國人ニ對シテモ之ヲ売却セシムル様改正スルモノ)ヲ必要トスル教書ヲ州議會ヘ發シタル趣ナルニ付右機會ヲ利用シ州政府ガ日本公使ノ要求ヲ容ルル上ニ障礙トナルヘキ法律ハ總テ此際之レヲ廃止スル様州下院ニ向ツテ運動セヨト「ル」氏ニ申送リタル旨ヲ本使ニ知ラシムルモノニ有之候併シナカラ当方ニ於テハ從來調査シタル範圍ニ於テ移住民ニ関スル法律ハ千九百六年十二月二十七日発布ニ係ルモノ唯一アルノミ(州議會ノ協賛ヲ要セサル官令布達ノ如キハ別トシテ)ニシテ其規定中州政府ガ我レノ要求ヲ容ルル上ニ障礙トナルヘキ条項アルヲ認メズ仮リニ一歩ヲ譲リテ斯クノ如キ規定存在スルトシテモ先ツ法律ヲ改正若クハ廃止シ然ル後文書交換ヲ為スガ如キハ左ナキタニ遷延既ニ数日ニ亘レル本件ノ解決ヲ益々遷延セシムル次第ナルヲ以テ本使ハ其翌日(十月二十三日)野田通訊官ヲ「リオ」市ニ派遣シ本

使ノ意ヲ体シテ「グ」氏ト会见セシメ同官ハ先ツ第一ニ同氏ノ所謂障礙トナル法律トハ如何ナルモノナルヤヲ質問シタルニ「グ」氏ガ廃止ノ必要アリト認メタル法律トハ旅費還付中止ニ関スル最近ノ官令^{デクレ}(九月二十五日付通公第六四号ヲ以テ報告済)ヲ指ス由ヲ答ヘタリ然レトモ右ハ何等本件ト關係ナキモノト認メ居ル次第ニ付同官ハ更ラニ「グ」氏ニ向ヒ日本公使ハ州政府ニ於テ日本移住民ニ對シ歐洲人ト同様ノ待遇ヲ与フルニ異存ナキ旨ヲ言明シタル趣閣下ヨリ聴取セラルルヤ否ヤ直ニ其旨ヲ本国政府ニ電報セラレ爾來既ニ満一ヶ月ノ日子ヲ経タリ而シテ州政府力右言明ヲ為シタル以上日本政府ニ於テハ之ヲ確カムル為メノ文書交換ノ如キハ僅々數日間ニテ結了スヘシト思考セルコト勿論ナレハ此上遷延スルコトハ公使ノ大ニ苦慮セラルル所ニシテ万一之レガ為メ本国政府ニ於テ本件ハ非公式解決不可能ナリト認メ中央政府ニ對シ公然抗議ヲ申込ムヘシトノ訓令ヲ受ケラルルコトトナランニハ日伯ノ外交上悲シムヘキ事件ヲ生スルノミナラズ折角閣下等ガ今日迄尽力セラレタル所モ全ク水泡ニ歸スル次第ナレバ公使ニ於テハ此際法律改廃ノ如キ迂路ニ入ルヲ避ケ速カニ州政府ヲシテ回答案ヲ内示

セシムル為メ今一応閣下ヨリ書面、否、成ルベク電信ヲ以テ督促セラレンコトヲ切望シ居ラルト申入レタルニ「グ」氏ハ委細了承セリ「ルビオン」氏ノ違口緩慢ナルハ予ニ於テモ甚ダ不満足ニシテ実ハ立腹セル程ナレバ早速嚴重ニ督促ノ手段ヲ採ルベシト約束致シ候仍テ本使ハ更ニ松村書記官ニ電訓シ「ルビオン」氏ニ對シ斯クノ如キ法律廢止問題ニ触ルルハ肝心ノ文書交換ヲ遷延セシムルニ付右ハ他日ニ譲リ此際至急州政府回答案ノ内示ヲ迫ル様懇談セシメ尚ホ追電ヲ以テ縱令先方ヨリ回答案ヲ送付シ来ルトモ其内容ニシテ当方ノ質問ヲ明白ニ承認スルモノナラサル限りハ徒ラニ本件解決ヲ遷延セシムル而已ナラズ却テ害アリト思考セラルルニ付「ル」氏ニ於テハ單ニ当局者ガ回答案ヲ發送スヘシト言ヒタルヲ聴クニ止メズ案文ノ内容ヲ審查シ不満足ノ点アラバ直ニ之ヲ修正セシメ徒ラニ無益ノ日子ヲ費ササル様注意方及訓示候処同書記官ハ數日來度々「ル」氏ト会见ノ結果「本件解決方ニ付テハ專ラ州農務長官ニ於テ苦慮中ニテ同長官ハ日本移民ニ對シテ歐洲人同様ノ取扱ヲナストセハ將來日本移民ハ無限ニ入国スル虞アルニ付何トカ方法ヲ講シ日本移民ノ入国數ヲ制限スル事ニ致シ度シ云々

又当方ハ國際關係ノ立場ニ於テ理論上ノ要求ヲナスニ對シ先方ハ實際問題ノミニ着眼シ居ルモノト思考セラル云々」トノ内情ヲ探知シ十月二十四日付ニテ報告シ来リ而レテ本使ハ偶々四月二十六日大統領及同夫人ノ催ニ係ハル夜会ニ出席ノ為メ「リオ」市ニ出張ノ必要相生シ候ニ付右機会ヲ利用シ翌二十七日「グリセリオ」氏ニ会见ヲ求メ候得共同日ハ先約差開アリトテ其目的ヲ達スル能ハズ仍テ更ラニ其翌二十八日同氏ト会见ヲ遂ゲ本件解決ノ最早一日モ遷延スベカラサル事情ヲ一層語勢ヲ強メテ反覆シ次キニ聞ク所ニ依レハ州農務長官ハ若シ日本移民ニ對シ歐洲人同様ノ待遇ヲ与フルニ於テハ將來日本ノ移民ハ無限ニ入国スルナラントノ杞憂ヲ抱キ居レルモノノ如シ然レトモ予ノ見ル所ヲ以テスレバ日本移民ハ日伯間ノ遠距離ニ伴フ船賃ノ高額(歐洲移民ニ比シ三倍ノ旅費ヲ要ス)ナルコト日伯間ニハ未ダ直通航路ヲ有セサルコト其他歐洲移民ニ比シ渡航上ノ困難到底日ヲ同シクシテ談スヘカラサルヲ以テ歐洲移民ト均等待遇ヲ受クルトスルモ日本移民ノ方遙カニ不利益ノ地位ニ在リ之ニ均等待遇ヲ与フル結果トシテ無限ニ入国スルナラント臆測スルガ如キハ杞憂ノ甚シキモノタリ殊ニ現今ノ不

景氣ニ際シ日本移民ヲ誘入セント企ツルモノト推測スルガ如キハ甚タ不当ニシテ日外閣下迄差出シ置キタル覺書記載ノ通り目下本邦移民ノ渡來ヲ不可能ナラシムル五大理由アリ故ニ此二点ニ關スル州政府側ノ誤解ヲ除クコト必要アリト思考セラルルノミナラズ元來本件ハ農務長官ガ日本移民ヲ嫌ヒテ之ヲ制限セント企テタルニ基因スルモノナレバ副統領ガ回答案ノ起草ニ關シ同長官ノ意見ヲ求メツツアルコト果タシテ本使ガ得タル報道ノ如クナランニハ到底当方ヲ満足セシムル回答案ヲ得ルノ見込ナシト信ス仍テ閣下ハ上記州政府側ノ誤解ヲ除去スル外尚ホ副統領ニ於テ農務長官ノ反対意見ニ拘ハラズ当方ノ意ニ適スル回答案ヲ速カニ内示スル様先方ヘ申送ラレ度シト強硬ニ「グ」氏ニ逼リ候処氏ハ恰カモ前日ノ約ヲ履ミ今回ハ「ルビオン」氏ヲ經由セズ直接副統領ニ向ッテ本件ノ迅速ナル解決ヲ嚴重ニ督促スル為メ之ニ宛テタル長文ノ書翰起草中ナリトテ七八分通り出来上リタル草稿ヲ示シ全部脱稿ノ上ハ一応本使ノ意見ヲ求メ然ル後之ヲ副統領ニ發送シ尚為念「ルビオン」氏ヘモ其寫ヲ送付スル考ナリト述ベタルヲ以テ「グ」氏ニ對シテハ此上催促ノ方法モ無之ニヨリ右副統領宛私信ノ草稿出来

ノ上ハ一覽致シ度キ旨ヲ述ベテ一先旅館ニ引取候
斯クテ本使ハ尚ホ篤ト勘考ノ末「グ」氏ヨリ書面ヲ以テ催
促スルコトハ目下氏ガ唯一ノ方法ト思考セル所ナランモ更
ラニ本件ノ速決ヲ希望セル当方ノ見ル所ヲ以テスレバ寧ロ
出来得ベクンバ「グ」氏自ラ「サンパウロ」市ニ赴キ副統
領ト直談シテ事ヲ定ムルニ如カズ就テハ同氏ノ出張ヲ煩ハ
サントスル希望ハ直接之ヲ氏ニ申出ツルヨリモ氏ヲ動かス
ニ最有力ナリトノ評アル「インデイオ、ド、ブラジル」氏
ヲ通シテ先ツ其内意ヲ探ル方可然ト存シ候ニ付此目的ヲ以
テ「インデイオ」氏ニ会见ヲ求メ本件ノ成行ヲ詳述シタル
後斯クノ如ク遷延甚シキニ於テハ本使ハ本国政府ヨリ如何
ナル訓令ニ接スルヤモ図ラレサルヲ以テ実ニ薄氷ヲ履ムノ
感アリ云々ト語リタルニ氏ハ果タシテ然ラバ予ニ一策アリ
外務卿「ミユルレル」氏ハ州統領「ロドリゲス、アルヴ
エス」氏ガ聯邦大統領タリシ時其下ニ通信工部卿ノ職ヲ奉
シ頗ル懇親ノ間柄ナレバ先ツ「グ」氏ヨリ無論非公式ニ本
件ヲ外務卿ノ耳ニ入レ同卿ヲ以テ州統領ニ対シ本件ハ若シ
非公式ニ解決セサルニ於テハ由々敷國際的葛藤ヲ惹起スヘ
キ性質ノ問題ナレバ速カニ州政府ヲシテ日本公使ノ要求セ

リシ次第ニ有之候得共本使ヨリ「インデイオ」氏ヲ介シテ
之ヲ「グ」氏ニ提議シタル為メ慚カラズ「グ」氏ヲ刺激シ
本件解決ノ督促上大ニ有効ナリシ様思考致シ候尚ホ本使ハ
「リオ」出張中絶エズ松村書記官ニ電訓シ「ル」氏ニ面会
シテ説明及催促ヲ行ハシメ有ラユル方法ヲ講ジテ本件ノ迅
速ナル解決ニ努力致シ候

而シテ「グリセリオ」氏ヨリ州副統領ニ宛テタル長文書翰
ノ草稿ハ十月三十日（但シ書面日付ハ十月二十九日）本使
ヘ送付アリタルニ付閱読致候処其要領ハ予ハ元来日本移民
賛成者ナレトモ其賛成者タルノ故ヲ以テ本件ノ解決ニ尽力
スルニアラズ全ク「サンパウロ」州及其政治家ガ条約上有
スル責任ニ関スル問題ナルガ故ナリトイフニ筆ヲ起シ日伯
条約第四条ヲ抄記シ外務卿「リオブランコ」氏ハ内田公使
宛ノ公文ヲ以テ之ニ解釈ヲ加ヘ「伯国ニ来着スル日本人ハ
其移民タルト否トヲ問ハズ最惠國人民ガ現ニ受ケ若クハ今
後受クヘキ一切ノ特典及免除ヲ享受スベシ」ト言明シタル
ヲ以テ「サンパウロ」州政府ニ於テ時時場合ニヨリ契約其
他ノ方法ヲ以テ移民誘致ヲ為スハ全ク其自由ナレトモ若シ
州議會カ外國移民ノ為メニ補助金其他ノ援助ヲ可決スル場

ラルル言明ヲ為サシムル様尽力セラルヘシト説カシメテハ
如何トノ談ニ有之候ニ付开ハ本使ガ仮令非公式ニモセヨ外
務卿ノ援助ヲ仰キタルコトト解セラレテハ面白カラサルモ
「グ」氏ガ其力ニ及ハサル為メ氏一ケノ考ヲ以テ氏ヨリ外
務卿ノ助力ヲ求メタル姿トセバ頗ル妙案ナルガ如シ実ハ本
使モ別案即チ「グ」氏ニ「サンパウロ」出張ヲ請フコトニ
関シ先ツ意見ヲ伺ヒ若シ幸ニ御同感ナルニ於テハ閣下ヨリ
「グ」氏ノ意向ヲ探ラレンコトヲ懇請センガ為メ参上シタ
ル次第ナリト陳ヘ互ニ意見ヲ交換シタル上結局右ニ案ニ就
テハ兎ニ角「インデイオ」氏ヨリ一応「グ」氏ノ申立ヲ聞
キ異存ナキニ於テハ更メテ本使ヨリ「グ」氏ニ申出ツルコ
トニ相談相整候処其翌日「インデイオ」氏ハ上院ニ於テ
「グ」氏ト熟談ヲ遂ケタル結果「グ」氏ニ於テハ恰カモ副
統領ニ差出サントセル既記ノ長文書翰ハ必ラズ手答アルヘ
キヲ確信セル折柄トテ兎ニ角該書翰ヲ送付シ見ルベク而カ
モ奏功ナキニ於テハ玆ニ初メテ二案中孰レカラ採ル方然ル
ベシト相語り候趣「インデイオ」ヨリ回報ニ接シ候之レガ
為メ「グ」氏ノ「サンパウロ」出張ハ遂ニ實際問題ト相成
ラサリシニ付之ニ要スル報酬等ニ関シテモ何等稟致ササ

合ニハ日本人モ亦タ此等ノ恩恵ニ均霑スヘキハ勿論ニシテ
州政府ハ之ヲ除外スルコトヲ得ズ從ツテ条約ノ明文ニ從ヒ
最惠國ト同一ノ基礎ニ於テ日本移民ヲ待遇セラレ度シトノ
日本公使館ノ要求ハ之レヲ容レサル可ラズ仍テ予テ差出シ
置キタル日本公使ノ公文案御精読ノ上之ニ対スル回答案内
示アリ度シ尚ホ本件ニ関シ日本公使ハ極メテ穩カナル態度
ヲ執ラレ円満ナル解決ヲ熱望シ居ラルルニヨリ予ハ非公式
ニ本件解決ノ任ニ当レリ幸ニシテ其目的ヲ達スルヲ得ハ之
ヲ公然ノ沙汰トセズシテ相済ムベク又日本ノ一大強國タル
コトモ御注意相煩ハシ度シ最後ニ本件ハ國際的事件ヲ包藏
セルモノナルニヨリ州政府ニ於テ至急決定ヲ要ストイフニ
在リテ当方主張ノ要点及其根拠并ニ事件ノ性質ハ一読シテ
判然スル様起草セラレ居リ候ニ付同日午後「グ」氏ニ面会
ノ上該草稿中文書交換ニヨリテ日本政府ト「サンパウロ」
州政府間 *Modus Vivendi* ヲ設定スル云々ノ文字丈ハ之ヲ
刪除セシメ其他ノ部分ニ関シテハ異議ナキ旨ヲ告ゲ速ニ之
ヲ發送センコトヲ求メ置キ候

右「グリセリオ」氏長文ノ書翰未ダ州副統領ノ手元ニ達セ
サル前州政府側ニ於テハ松村書記官ヨリ「ル」氏ヲ介シテ

既述ノ如ク頻々督促ヲ試ミタル結果トシテ十月三十日午後四時ニ至リ本件回答案ヲ同書記官ヘ交付シ同官ヨリ直ニ之ヲ本使ヘ転送シ来リ本使之ヲ接手閱覽シタルハ十一月一日ノ事ニ有之候処右回答案ハ別紙乙号原訳文ノ通りニシテ其要旨ハ現行移植民規則(千九百十三年七月九日官令第二、四〇〇号)ニヨリ現ニ歐洲自由移民ニ与ヘツツアル(一)「サントス」港ニ於ケル上陸ノ便宜(二)州設移民収容所ニ於ケル宿泊(三)官設労働紹介所ノ中介ニ依ル就地(四)「サントス」港ヨリ「サンパウロ」市迄及後者ヨリ内地ニ到ル鉄道無賃輸送ノ四恩恵ハ本邦自由移民ニモ之レヲ拒絶セサルヘシトイフニアリ当面ノ問題ハ之ニヨリ解決スヘキモ日欧移民均等待遇ノ主義ニ言及セズ從ツテ他日移植民法規改正セラレタル場合ニ於テ新法規ニ依リ歐洲移民ニ与ヘラルル恩典ハ之ヲ本邦移民ニ及ホスモノナルヤ否カニ関シ又々今回同様彼我見解ヲ異ニシ同一ノ交渉ヲ繰返スノ虞ナキニアラズ又回答後半ニ於テ恩典減縮ノ方針ヲ云々シ多少留保ケ間敷相見エ若シ本使ヨリ副統領ニ送ラントスル公文案間ノ内容ニシテ本年六月二十三日貴電第四十一号中記載ノ如ク単ニ州政府ヨリ移民収容所ノ使用ト汽車無賃輸送ノ二点丈ケヲ保

候

尚ホ本件解決ニ関シテハ前信ヲ以テ屢次申進候通り専ラ「グ」氏ニ於テ州副統領ニ対シ交渉致来リタル行懸リ上数ケ月来病後静養ノ為メ出府中ナル州統領ノ援助ヲ請フコトハ態ト差控ヘ居リ候処州統領ハ健康全ク旧ニ復シ近々帰州スルヤノ噂モ有之旁々此際一度州統領ニ面会シ本件交渉ノ経過ヲ報告スルト同時ニ其注意ヲ喚起シ置ク方得策ナルヘシト思考セラレ候ニ付一応「グ」氏ノ意見ヲ求メ其賛成ヲ得テ本月十三日州統領ト会見シ本件ハ其後「グリセリオ」及「ルビオン」両氏ノ斡旋ニ依リ文書交換ノ方法ヲ以テ將來疑義ノ生スルヲ避クルト言フ点迄漕付ケタルモ州政府ヨリ内示アリタル回答案ハ日欧移民均等待遇ノ主義ヲ言明セサルモノニシテ未タ充分満足スル能ハサリシヲ以テ更ラニ当方ニ於テ対案ヲ作製シ是非トモ之ヲ承認セシメンガ為メ再応「グ」氏ヨリ副統領ニ交渉スルコトナレリトテ右対案ノ写ヲ州統領ニ手交シタル上若シ州政府ニ於テ迅速ニ本回答対案ヲ承認シ文書交換ヲ終了セシムルニアラサレハ必シスヤ本使ハ公然ノ処置ヲ執ルベシトノ本国政府ノ訓令ニ接スベケレバ願クハ副統領ニ於テ当方ノ要望ヲ容ルル様閣

証セシムルヲ目的トシタモノナランニハ前掲回答案ニテ可ナルヘキモ本使ノ州副統領宛公文案ノ範圍ハ既述ノ通り広汎ナルモノナルヲ以テ之ニ対スル回答トシテハ不釣合ナルモノト相認メ候ニ付出来得ヘクンバ此際最惠待遇ノ主義ヲモ言明セシメ置ク方得策ト思考被致候仍テ翌日(十一月二日)ハ宗教上ノ大祭日ニシテ一般ニ訪問等ヲ為ササル日ナルニ拘ハラズ本使ハ強イテ「グリセリオ」氏ヲ其寓居ニ訪問シ松村総領事ヨリ送付シ来レル回答案ノ写ヲ示シタルニ氏ハ一読ノ上之ニテ結構ニアラズヤトノ意ヲ洩ラシ候是ニ於テ本使ハ此回答案ハ未ダ以テ充分ニ満足スルニ足ラサル前記ノ理由ヲ説明シ翌四日更ニ同氏ト会見シ熟議ノ上今回ハ当方ニ於テ別紙丙号原訳文ノ州政府回答案ヲ起草シ州政府ノ回答ハ此意味ニ於テ認メラレサル可ラサル旨ヲ主張シ再ビ「グ」氏ヨリ右対案ヲ副統領ニ送付スル様依頼致シ候処氏モ全然之ト同意ヲ表シ前日副統領宛ニ差出シタル長文ノ警告書熟読ノ上ハ州政府ニ於テモ更ラニ前議ヲ繼ヘシ当方ノ要望スル回答案ヲ承諾スルナラント快ク右依頼ニ応シ呉レ茲ニ再応交渉セシムルコトト相成候ニ付即チ本月七日発往電第七九号ヲ以テ右ノ願未大要申進タル次第ニ有之

下ヨリ御言葉添アラントヲ望ムト陳述致候処統領ハ予ハ此種ノ事件ハ常ニ非公式ノ方法ニ依リ解決スルヲ佳ナリト信シ居ルヲ以テ副統領ノ施政ニ対シ干渉ケ間敷見ユルカ又ハ其威嚴ヲ傷クル如キ行為ハ出来難キモ其以内ニ於テ本件ノ円満解決ニ尽力スベシト約セラレ候ニ付州局者ノ有スル誤解及杞憂ニ関シテハ統領ニ会見前三十分以上令息(「サンパウロ」州選出聯邦下院議員)ト会話ノ際説明シ置キタレハ就テ御詳悉アリ度シト告ケ退出致シ候
右電意闡明旁本件今日迄ノ成行及具報候 敬具
(附屬書一)

別紙甲号

細公使ヨリ「サンパウロ」州副統領宛公文案訳文
「サンパウロ」州行日本移民ノ利益ヲ同州ノ立法及州政府ノ令規ト一致セシメ得ベキ適當ナル解決ヲ得ンガ為メ左記ノ見解ニ関シ閣下ノ賢明ナル御批判ヲ仰グノ光榮ヲ有シ候聯邦及「サンパウロ」州ノ立法ト伯国ニ於ケル歐洲移植民ノ発達ニ鑑ミ余ハ現ニ歐洲移植民ヲ支配シツツアル法律ノ規定ハ疑モナク日本移住民ニモ適用セラレ從ツテ同一ノ法律及慣例ノ他外國移民ニ附与スル一切ノ恩典及便益、例セ

ハ州設收容所ニ於ケル宿泊及「サントス」并ニ「サンパウロ」ヨリ内地ニ到ル無賃輸送ノ如キハ凡テ之ヲ日本移住民ニモ許与セラルルモノト確信致シ候

換言スレバ移住民ヲモ含メル凡テノ日本人ハ「サンパウロ」州ニ於テ最惠国臣民及人民ガ受クル所ヨリモ不利益ナル待遇ヲ州政府及其諸官憲ヨリ受クルコトナカルベク且ツ一般歐洲人ニ対シテ与ヘラルルヨリモ不利益ナル待遇ヲ日本人ニ与ヘンガ為メ州政府及州議會ニ於テ現状ヲ變更スル意アリトノ推測ハ出来難キ義ニ有之候

法律及實際ノ慣例上設定セラレタル所ニ照ラシテ事物ノ真意義ニ副ハサル意見及決定ノ異論將來ニ於テ起ルヲ避ケンガ為メ上記事項ニ関シ「サンパウロ」州政府ニ於テ御攻究ノ上何分ノ義自分ヘ御通知アラントヲ相待チ候

(附屬書二)

別紙乙号

「サンパウロ」州政府回答案訳文

日本移住民ノ件ニ関スル閣下ノ文書接手

右ニ対スル回答トシテ拙者ハ千九百十三年七月九日官令第二千四百号ニ規定セル条件ヲ具備スルトコロノ日本自由移

「サンパウロ」州政府回答案(当方対案)訳文

日本移住民ガ「サンパウロ」洲ニ於テ受クヘキ待遇ニ関スル〇月〇日附貴翰接到、左ノ通り及回答候、

「サンパウロ」州ニ到着スル所ノ日本移住民ニ対シ最惠国臣民若クハ人民ニ与ヘラルルト同一ノ待遇ヲ与ヘラルヘキハ疑ナキ所ニ有之候

從ツテ「サンパウロ」州政府ハ同一ノ条件ヲ具備スル日本移住民ニ対シ外国ヨリ渡来スル他国移住民ニ附与スル恩惠ヲ許与スヘク而シテ此等恩惠ハ千九百十三年七月九日官令第二千四百号ニ從ヘバ現在左ノ通り、一即チ「サントス」港ニ於ケル上陸ノ便宜、「サンパウロ」收容所ニ於ケル宿泊、官設労働紹介所ノ仲介ニ依ル就地、及ヒ、「サントス」港ヨリ「サンパウロ」市迄并ニ同地ヨリ内地ニ到ル鉄道無賃輸送ニ有之候

但シ財政上ノ必要及ヒ州内ノ労働状態ニ鑑ミ移住民ニ与フヘキ恩惠ニ関シ之ヲ全廢、増加、若シクハ減少スル一切ノ變更ヲ加フルコトハ該變更ガ日本人ニ対シ最惠国移住民ニ対スルヨリモ劣等ナル待遇ヲ与フルノ意義ニ於テ行ハレサル限り全ク州政府ノ自由ナリト御承知置相成り度シ

住民ニ対シ当州政府ハ外国ヨリ渡来ノ他ノ移住民ニ附与セル恩惠(數條)ヲ拒絶セサルベキコトヲ閣下ニ言明スルノ光榮ヲ有ス。其等ノ恩惠ハ既掲ノ官令ニ從ヘハ下ノ如シ、「サントス」ニ於ケル上陸ノ便宜(數條)「サンパウロ」收容所ニ於ケル宿泊、官設労働紹介所ノ周施ニ依リ就職スルコト、及ヒ、「サントス」ヨリ「サンパウロ」迄及後者ヨリ内地ニ到ル鉄道(數條)ノ無賃輸送。

尤モ当州政府ハ舊ニ歐洲戦乱ニ基クノミナラズ、尚ホ無數ノ工場ノ閉鎖及多數ノ公私事業ノ中絶ヲ現出スルニ至リタル地方特筈的ノ顯著ナル原因ノ為メ目下当州内ニ於ケル労働状態ノ不安定ナルコトヲ考慮スルヲ適當ト認ム此状態ノ益々危殆ニ赴クヲ避ケンガ為メ政府ハ種々ノ方法ヲ講ジタルガ中ニモ移住民ニ対スル恩惠附与ニ関シテ最モ制限的ノ説(即チ恩惠削減説)ヲ採用スルコトニ決シタク、而シテ既ニ此ノ目的ニ於テ移住民誘入ノ契約(數條)ヲ解除シ、歐洲ヨリ渡来スヘキ補助移民ノ數ヲ減シ尚ホ最近特ニ官令ヲ発シテ自費渡航移住民ニ対スル旅費還附ノ恩惠ヲ中止セリ。

(附屬書三)

別紙丙号

註 右甲乙丙各号ノ原文省略

四三五 十一月十六日 加藤外務大臣ヨリ在伯国畑公使宛(電報)

森岡ノ代表者「ミナス、ジェライス」州ニテ締結ノ移民契約ニ付報告方訓令ノ件

第六七号

森岡ノ代表者「ミナス、ジェライス」州ニテ移民契約締結セル由森岡ヨリ申出タリ右契約ノ内容及之ニ対スル御意見概要電報アレ

四三六 十一月十七日 在伯国畑公使ヨリ加藤外務大臣宛(電報)

森岡代表ノ移民契約ニ関シ回電ノ件

第八一号

貴電第六七号ニ関シ西坂ニ就キ問合セタルニ未タ契約締結ノ運ニ至ラサルモ成立ノ見込十分ナル意ヲ森岡ニ電報シタルニ過キスト

四三七 十一月二十八日 在伯国畑公使ヨリ加藤外務大臣宛(電報)

「サンパウロ」州副統領当方要望ノ回答案二

不同意ニ付更ニ案文提出ノ件

第八二号

往電第七九号ニ関シ其後統領ニ懇談スル等有ユル方法ヲ以テ催促シタルニ副統領ハ当方ノ要望ノ回答案ニ不同意ナリトテ長文ノ理由書ヲ「グ」氏ニ送附セラレタルニ付本使ハ「グ」氏宛トシタル一書ヲ以テ副統領ノ所論ヲ弁駁シ斯ノ如ク正反對ノ意見ナルニ拘ハラス日伯ノ親交ニ鑑ミ(不明)尚条約上ノ權利主張ヲ差控ヘ州政府ノ自由意志ニ基ク公明正大ノ決定ヲ望ムトノ趣旨ニテ更ニ交換文案ヲ提出シタルニ「グ」氏ハ全然同意ヲ表シ不日統領ニ面談ノ筈ニシテ今回コソハ円満ノ解決ヲ期待シ得ヘシト云ヘリ

四三八 十一月三十日

在伯国知公使ヨリ
加藤外務大臣宛

「サンパウロ」州行本邦移民ノ待遇ニ関スル

文書交換ノ交渉続報ノ件

附屬書一 十一月十二日附「サンパウロ」州副統領ヨリ

「グリセリオ」宛書翰訳文

二 十一月二十五日附知公使ヨリ「グリセリオ」

決答スル様督促ニ督促ヲ重ネ候処「グリセリオ」氏ヨリ本月十九日附書翰ヲ以テ副統領ハ本使ノ要望スル回答案ニ不同意ヲ唱ヘ依然トシテ曩ニ内示シタル回答案ヲ維持シ且ツ之ヲ固守スル理由ヲ縷述セル長文ノ返書ヲ「グ」氏宛ニ送付シ来リタルガ右返翰ハ前信ヲ以テ大要及報告置キタル氏ノ警告の長文書翰ニ対スルモノニシテ無論秘密ヲ守ルベキ私信ナレトモ本使ニハ欣ンテ之ヲ示スヘシト通報シ来リタルニ付兎ニ角右副統領ノ返翰ナルモノヲ精読シ如何ナル理由ニヨリ当方ノ要望スル回答案ニ不同ナルカラ確カメタル上之ニ適応スル手段ヲ講スル方可然ト存シ早速之ヲ借覽致候処其内容ハ別紙甲号原文写及訳文ニ就キ御詳悉可相成通リ当国ノ政体上「サンパウロ」州ハ其意ノ欲スル儘ニ移植民ニ恩典ヲ許スルノ完全ナル自由ヲ有シ而シテ此自由タルヤ実ニ憲法上ノ一特権ニシテ聯邦政府ノ締結シタル国際条約ノ為メニ何等ノ制限若クハ拘束ヲ受クヘキモノニアラズ從テ州政府カ移植民ニ関シ他国ノ臣民若クハ人民ニ現ニ附与シ若クハ今後附与スルコトアルヘキ一切ノ恩典ハ同様ニ之ヲ日本人ニモ及スヘキモノナリト了解スル能ハサルト同時ニ又日本移植民ニ対シ最惠国移植民ニ現ニ許与シ若ク

宛書翰訳文

通機密第一七号

(大正四年二月二十二日接受)

大正三年十一月三十日

在伯

特命全權公使 畑 良太郎(印)

外務大臣男爵 加藤 高明殿

本件解決ノ方法トシテ本使ヨリ「サンパウロ」州副統領宛ニ認メントスル公文案ニ対シ客月下旬州政府ヨリ内示アリタル回答案ハ当面ノ問題ヲ解決スルニハ十分ナルヘキモ未タ以テ本使ノ期待セル満足ヲ与フル程度ノモノニアラサリシニ付本月初旬更ラニ当方ノ要望スル回答案(当方対案)ヲ作製提出シ「グリセリオ」氏ヲシテ再応交渉セシムルコトト相成リタル迄ノ事情ハ不取敢往電第七九号并ニ本月十五日附通機密第一五号信ヲ以テ申進置キタル通りニ有之其後当国ニ於テハ大統領更任ノ為メ政界何トナク動揺シ「サンパウロ」州政府当局者ノ如キモ自然本件ニ遠サカル気味アルヘキヲ予想シタルヲ以テ本使ハ既報ノ如ク出府中ナル州統領ト懇談スル外尚ホ有ラユル方法ヲ尽シテ州政府ハ当方対案通りノ回答ヲ与フルコトニ同意スヘキヤ否ヲ速カニ

ハ今後許与スルコトアルベキ一切ノ恩典ヲ日伯条約ノ当然ノ結果トシテ許与スヘシトノ議論ニ服スル能ハズ若シ夫レ州政府ニシテ日伯条約ニ基キ日本移植民ニ対シ最惠国移民ト全然同様ノ恩恵ヲ許与セサルヘカラサル義務アリトセシカ州政府カ其希望セル某々国移民民ニ無料乗船券ヲ与ヘテ之ヲ招致スルノ自由ハ消失セン又穀類耕作者トシテ優良ナル独逸二国ノ移民民ニ土地付与其他ノ特惠ヲ与ヘ且ツ野菜栽培者トシテ好評アル白耳義人ニ市街附近ノ地区ヲ挾取スルノ優先権ヲ与ヘ以テ其渡来ヲ奨励スルコトモ不可能トナルベク是レ明カニ州政府ガ有スル憲法上ノ一特権ヲ無視スルモノニシテ故「リオブランコ」氏ガ日本公使ニ与ヘタル解釈の公文ノ如キモ其意蓋シ諸州政府ヲ拘束スルニアラズト推量ス要スルニ日本移植民ガ州政府ヨリ最惠国人民ト同一ノ恩恵ヲ現ニ享受シ若クハ今後享受スヘキ旨ヲ言明スルコトハ断然相成難タシト云フニ在リテ其聯邦憲法ニ違背シ且ツ国際条約ノ何物タルカラ解セサル暴論タルコト識者ヲ俟タズシテ明白ナルノミナラズ最惠国条款適用ノ範圍ヲ極度ニ広ク解釈シ一旦日本移植民ニ対シテ最惠待遇ヲ約スルニ於テハ将来某々國ノ移民民ノミヲ選別奨励スルノ權利

及外國移植民ヲ各其技能ニ応シテ適処ニ配置スルノ自由ヲモ奪取セラルルノ虞アリトシ之ガ為メ日伯條約ノ規定通りニ本邦移住民ヲ待遇スヘシトノ言明ヲ為スニ躊躇セルニアラズヤトモ思惟セラレ候而シテ以上副統領ノ所説ハ果タシテ其誤解ニ基クモノカ或ハ最惠國待遇ヲ与フルヲ欲セサル為メ故意ニ如此牽強付会ノ議論ヲ云々スルモノナルカハ判斷ニ苦ム所ニ有之候得共副統領ハ同返翰中他ノ部分ニ於テ州政府ハ日本移住民排斥ケ間敷行為ヲ敢テシタルコトナク却テ他外國民ノ受ケサル恩典ヲ与ヘタリト云ヒ尚ホ日本人ニ對シテハ勿論孰レノ交際國臣民ニ對シテモ嫌惡スヘキ且明白ナル制限ヲ加フル特別ノ規定若クハ手段ヲ含メル法律ヲ制定シ或ハ行政の処置ヲ実行スル能ハサルコトハ副統領ニ於テ充分理解シ居ル旨ヲ明言致居リ元來「サンパウロ」州ノ政治家等ハ伯國聯邦諸州中ニ於ケル自州ノ優越セル地位及努力ヲ誇リ恰カモ一獨立國タルカノ如キ考ヲ有シ中央政府トノ關係ハ加州ノ北米合衆國中央政府ニ對スルモノ以上ニ倨傲ノ態度ヲ持シ殊ニ近來中央政府ニ反抗スルヲ以テ快事ト心得ル傾向アリ加フルニ國際上ノ通義ニ關スル知識欠乏セルコトトテ旁々州政府ノ自由意志ヲ以テ日本移植

民ニ對シ歐洲移住民ニ對スルト同一ノ恩惠ヲ与フルハ兎ニ角、日伯條約當然ノ結果トシテ之ニ最惠待遇ヲ能ヘサルヘカラズト強制セラルルコトヲ著シク嫌惡スルモノニ相見エ候然ル処元來本件ハ非公公式解決ノ方針ヲ執リ來リタル次第ニ付副統領ガ其親友トシテノ「グ」氏ニ宛テタル書翰中ノ謬見ヲ直接本使ヨリ弁駁スルハ穩當ニアラズ左レバトテ仲介者タル「グ」氏ヲシテ親友ト論議ヲ交ヘシムルコトモ氏ニ對シテ氣毒ニ有之仮リニ一步ヲ譲リ強テ「グ」氏ヲシテ副統領ノ所説ヲ弁駁セシムルトスルモ先方ニ於テ果シテ當方ノ弁駁ニ服スルヤ否ヤ大ニ疑問ナキ能ハズ縱令幸ニシテ議論ニ於テ當方勝ヲ制スルトモ其代リ先方ノ感情ヲ害スル如キコトアリテハ是亦本件ノ円満ナル解決ヲ困難ナラシムル義ト思考セラレ候ニ付州政府ガ最モ不愉快ニ感シタリト思ハルル点即チ日本移住民ハ「サンパウロ」州ニ於テ最惠國民待遇ヲ受クヘキモノナリトノ語句ニ代フルニ日本移住民ハ「サンパウロ」州ニ於テ他外國移住民ト均等ノ基礎ニ於テ待遇セラルベシトノ語ヲ以テシ表面上當方ノ主張ヲ和ケタル如キモ實際ニ於テ同一ノ結果ト成ルベキ言明ヲナサシメ尚曩ニ州政府ガ内示シタル回答案中現ニ歐洲移住民ニ

附与セル「サントス」港上陸ノ便宜外三種ノ恩惠ヲ本邦移住民ニ許与スルコト及副統領ガ「グ」氏宛書翰中ニ記載シタル日本人ヲ制限若クハ排斥セントノ目的ヲ以テ法律ヲ制定シ若クハ行政手段ヲ講スル能ハサルコトヲ充分理解セリトノ二項ヲ加ヘ都合三項ノ言明ヨリ成ル回答案ヲ承認セシムルコトヲ得ハ單ニ當面ノ問題ヲ解決スルニ止マラズ將來日本人ヲ除外セントスル企圖ヲ未然ニ防止スル点ニ於テ前案ニ劣ラサル効力アルヘシト思考致候尤モ州政府ヲシテ當方ハ副統領力述ヘタル説ノ論拠ヲ覆ヘス能ハズシテ之ニ屈服シ遂ニ讓歩シテ最惠待遇ノ要求ヲ撤回シタルモノナリト速断セシムルコトハ甚タ不得策ト存セラレ候ニ付本使ヨリ「グリセリオ」氏ニ宛テタル書翰（別紙乙号原訳文）ヲ認メ該書中ニ於テ予ハ副統領ノ日伯條約ノ解釈其他ニ關スル意見トハ全然反對ノ意見ヲ有スルニ拘ハラズ州政府ハ條約ノ規定如何ニ拘ハラズ其自由意志ヲ以テ日本人ニ對シ公平ノ態度ヲ持スルモノナリト了解シタルニヨリ、「サンパウロ」州政府ニ敬意ヲ払ヒ且日伯兩國ノ親交ニ重キヲ措クカ為メ特ニ法律上ノ議論ニ入ルコトヲ避ケ專ラ州政府ノ公平ト好意トニ依頼シ當方ノ満足スル言明ヲ与ヘラルナラン

ト期待スル旨ヲ述ヘ尚ホ參考ノ為メ副統領ノ所説中重要ナル点ヲ簡明ニ弁駁シ間接ニ當方ノ主張ヲ先方ニ知ラシムル目的ヲ以テ別ニ寫二通ヲ添付シテ之ヲ「グ」氏ニ手交シ一通ヲ州副統領ニ郵送シ他ノ一通ハ之ヲ出京中ナル統領ニ示シ該書翰附屬「イ」号ノ當方往來案ニ對シ州政府ニ於テ「ロ」号ノ回答案ヲ承諾スル様更ニ交渉方依頼ニ及ヒ候処「グリセリオ」氏モ副統領ノ説ニハ全然不同意ニシテ本使ノ駁説ハ一々苛弊ニ中レリト信スルモ議論ニテ先方ヲ説キ伏セ當方要望通りノ言明ヲ書面ニテ為サシムルコトハ感情上頗ル困難ナラン然レトモ斯ク日本公使ニ於テ飽ク迄非公公式解決ヲ希望セラレ專ラ州政府ノ公明正大ナル自由意思ニ信頼セラルル上ハ先方ニ於テモ更ニ考慮ヲ加フルコトナルベク兎ニ角近日中州統領ニ面会シ、懇談スル筈ナレバ先ツ副統領ヨリノ返翰ヲ送り次ニ日本公使ノ弁駁書ヲ送付シ其精読ヲ求メタル上ニテ統領ヲ訪問スル計畫ナリト告ケ尚ホ今回コソハ本件ノ円満解決ヲ期待シ得ベシト附言致候ニ付即チ右大要不取敢本月二十八日發往電第八二号ヲ以テ電報ニ及ヒタル次第ニ有之候尤モ「グリセリオ」氏ハ自ラ道理ヲ尊重シ之ニ服従スル德

望ノ士ナルガ故ニ州政府ニ於テモ道理ノ存スル限リハ同シク之ニ服スルモノト了解シ常々事ヲ樂觀スルノ傾向有之候得共副統領ニ於テハ仮令口頭若シクハ友人間ノ書束ヲ以テ言明シタレバトテ愈々之ヲ公文ニ認ムル場合トナレバ後日ノ為メヲ慮リテ成ルヘク之レヲ避ケントスル底意アルコト亦推測スルニ難カラズ候ニ付今回ノ第二対案第一項ニ於テ所謂他国移住民ト均等待遇ヲ与フルコトハ其實質ニ於テ最惠国民待遇ヲ与フルト異語同義ナリト解シ而カモ國際條約ノ拘束力ニ関シテ依然其謬見ヲ固持スルニ於テハ或ハ之レニ応セサルヤモ計ラレズ又第三項ハ副統領ガ「グ」氏書束中ニ言明セル所ナリトハイヘ更ラニ之ヲ公文中ニ記載セシムルコトハ決シテ容易ノ業ニ無之若シ先方ニ於テ飽クマテ曩ニ内示タル回答案ヲ維持スルニ於テハ差当リ他ニ非公式解決ノ良策ナク且ツ公然抗議ヲ申込ムガ如キハ聯邦政府ト同州政府トノ關係既述ノ如クナルヲ以テ到底好結果ヲ取メ得ベシト期待致シ難ク候ニ付旁々此場合ニハ当方ヨリ送ルヘキ公文案ヲ改メテ州政府回答案ニ恰合スルモノトナシ之ニ對シ既示回答案記載ノ言明ヲ為サシメ我自由移民ニ對シ現ニ他国移民ニ附与シツツアル官令第二千四百号ノ恩惠

大統領タリシ人ニシテ当國政界ニ同氏ト肩ヲ比ブル者ナキ權勢家ナレバ自然文書ヲ以テ言明ヲ強ヒラルル事ハ自己ノ威嚴ニ関スルモノト信スル而已ナラズ其在職中將來ニ向ツテ州政府ノ行動ヲ束縛セラルル文書ヲ外国代表者ニ交付スルコトヲ欲セサルモノト察セラレ候ニ付同統領ニシテ飽迄文書交換ヲ拒ムニ於テハ此解決法ハ乍遺憾断念セサルベカラザルニ至ルヤモ計リ難ク場合ニヨリテハ農務長官ト我總領事トノ間ニ文書交換ノ形式ヲ採ルニ至ルヤモ計ラレズト存候ヘ共其何レニ決スルニモセヨ前後六ヶ月ニ亘ル非公式交渉ノ結果大ニ州当局者ノ迷夢ヲ覺醒シ強硬ナル農務長官ノ意志ヲ翻シ遂ニ我移民ニ對シ一旦拒絕シタル官令第二千四百号ノ恩惠ヲ受ケシメ且ツ排日的立法ヲ企テサル旨ヲ間接ナカラ言明セシムルコトヲ得タルハ我对伯移民事業ノ將來ノ為メ慶賀ノ至リニ不堪候

敬具

(附屬書一)

別紙甲号

「サンパウロ」州副統領ヨリ「グリセリオ」氏宛
書翰訳文

ヲ受ケシムルヲ得ハ實際ニ於テハ何等不都合ナカルベク將又別紙乙号「グ」氏宛本使書束ノ写ヲ州当局者閱読ノ上ハ日本人待遇ニ関スル從來ノ觀念ニ少カラサル交換ヲ来タシ少クトモ日本人ニ差別待遇ヲ与ヘントセバ國際の葛藤ノ惹起ヲ覺悟セサルヘカラストノ念慮ヲ生シタル義ト存セラレ候ノミナラズ既ニ州副統領ハ別紙甲号「グ」氏宛書束中日本人ヲ制限若クハ排斥セントノ目的ヲ以テ法律ヲ制定シ若クハ行政手段ヲ講ズル能ハサルコトヲ充分ニ理解セリ

ト明言致居候次第モ有之更ラニ本使ニ對シテ之ヲ言明セシメズトモ此言明ナキガ為メ今後排日的立法ヲ見ルカ如キコトナカルベシト信セラレ候ニ付万一今回ノ提案州政府ノ同意ヲ得サル場合ニハ前記ノ恩惠保障ニ関スル文書交換ニテ本件ノ局ヲ結ブ方得策ト思考致サレ候

乍去茲ニ懸念スヘキハ州副統領ハ曩ニ文書交換ヲ承諾シタルニ拘ラス近々復職スヘキ統領「ロドリゲス、アルヴェス」氏ハ文書交換ニ反對ナル趣最近「グ」氏ノ内報ニ接シタル一事ニ有之而シテ「グ」氏ハ絶対ニ統領ノ此態度ニ反對ノ説ヲ述ヘ置キタル趣ニ有之候ヘ共同統領ハ曩ニ共和国

覆啓日本移住民ニ関スル最近ノ貴翰ニ通拜受公務多忙ト健康勝レサリシ為メ返辭延引ノ段御寛恕相成度候

日本公使ヨリ拙者ニ宛テラルヘキ管ナル公文ニ對シテ拙者ヨリ差出スニ適當ナリト貴下ガ思考セラルル回答案ヲ慎重ニ査閱致シ候拙者ハ該案ニ不同意ナルコトヲ言明致シ度候本件ニ就テ吾等ハ互ニ爭論シツツアルモノニアラサルモノト御承知アリ度シ日本公使并ニ貴下ハ現行通商條約ニ関シテ拙者力有スル解釈トハ異リタル解釈ヲ与ヘ居ラレ候

拙者ハ当州ノ立法部若シクハ其行政部ガ移民及植民ノ事項ニ関シ他國ノ臣民若クハ人民ニ現ニ附与セルカ若クハ今後附与スルコトアルヘキ一切ノ恩典若シクハ特許^{コンセンション}ハ同様ニ

之ヲ日本人ニモ及ホスヘキモノナリトハ了解致サズ候又拙者ハ最惠国民カ州ノ權部(註訳 議會及政府)ヨリ現ニ享受シ若クハ今後享受スルコトアルベキ一切ノ恩典、特許若クハ免除ハ日本人モ現行條約ニ依リ之ヲ受クヘキモノナリトハ了解致サス候、拙者ハ我州ハ制限若クハ拘束^{オブリガション}ナシニ其欲スル儘ニ移民及植民ニ恩典ヲ許与スルノ完全ナル自由ヲ現有シ且ツ引続キ之レヲ有スヘキモノナリト了解シ從ツテ聯邦ガ締結セル何等條約(複數)ニ拘ラズ此等條約ハ

如何ナル方法ニ於テモ諸州ヲ拘束スル能ハサルモノト了解致シ候吾等ハ斯クノ如ク不一致ナルヲ以テ御提示ノ文案ハ全ク拙者ノ思考ヲ表示セルモノニアラサルコト勿論ニ有之候

日本移住民カ有利ナルカ將タ不利ナルカニ関シテハ茲ニ論議致サズ吾人ハ日本移住民ヲ排斥スルノ行為ト見做サルル如キコトヲ為シタルコトナク、否、却ツテ之ニ対シテハ他国民ノ受ケサル恩恵ヲ与ヘタリ、尚ホ現ニ一方家族ヲ就地セシムル為メ「イグワペ」地方ニ於テ彼等ニ許与シタル广大ナル官有地ノ測量及劃境事務ヲ実行致シ居リ候、今、拙者ノ論議スル所ハ吾人ニ取リテ頗ル重要ナル問題即チ最惠国條款ヲ設クル所ノ日伯通商条約ハ移民及植民ノ事項ニ於テ「サンパウロ」州ガ何レカ別国ノ移住民ニ対シ現ニ与ヘツツアルカ又ハ今後与フルコトアルベキ有ラユル恩典若クハ特許ヲ移住民ヨリ若クハ移住民タラサル日本人ニモ与フヘキ義務ヲ「サンパウロ」州ニ負ハシムルモノナリヤ否ヤノ問題ニ外ナラズ候拙者ハ其義務ナシト了解致シ候該意義ニ於テ吾等ニ義務ヲ負ハシムル条約ハ有リ得ヘカラサル義ニ有之候当国ノ聯邦制度ニ依レハ諸州ハ各其必要及便宜ニ

応シ換言スレバ「バルバリヨ」ノ註釈セル如ク最適當ト思考スル手續及方法ヲ用ヒテ移住民ヲ奨励スル權能ヲ有ス、況ンヤ聯邦憲法第三十五条第二ハ聯邦議會ガ地方權部ノ行動ヲ妨クル特典ヲ許与スルコトヲ禁ズルニ於テヤ、此レ諸州ガ有スル一權利、否、憲法上ノ一特權ニシテ該權利該特權ハ諸州カ其目的トセサル甲国若クハ乙国ノ人民ニ対シテ州政府ヨリ強イテ恩恵ヲ与ヘシメントスル義務ト両立セス却ツテ之レト相反スル義ニ有之候左ナキニ於テハ吾人ガ欲スル所ノモノニ無料乗船券ヲ与フルノ自由ハ消滅スヘシ吾人ガ適當ト認ムル者ニ地区ヲ附与スル為メニ有スル權利ハ最早存在セサルヘシ、戦争終結後ハ確カニ多数ノ歐洲住民渡来スヘク独逸人及奧國人ハ穀類耕作者トシテ優良ナル農夫ナリ吾人ハ彼等ニ土地其他ノ恩典ヲ与ヘテ之ヲ待ツタメ準備セサルヘカラズ吾人ハ何ガ為メニ日本人ニモ此等恩恵ヲ与フルノ義務ヲ負ハザル可ラザルカ白耳義人ハ野菜栽培者トシテ有名ナリ、何方故ニ吾人ハ市街附近ノ地区ヲ先ツ第一ニ彼等ニ与フルコトヲ差控ヘサル可ラサルカ、珈琲耕作ノ為メニ最良ノ小作人ハ伊太利奧太利及西班牙ノ某々県ノ人民ナルコトモ經驗之ヲ示セリ、州政府ハ珈琲耕作者

ノ請求ニ応スル為メ此等移住民誘入上大ナル犠牲ヲ供セリ而シテ日本移民ガ珈琲耕作ニ於テ成績良好ナラザリシコト確實ナルニ何ガ故ニ吾人ハ日本人ニモ恩恵ヲ擴張シテ此等犠牲ヲ増大セサル可ラサルカ、吾人ニ斯カル義務ヲ負ハシムル条約ハ在リ得ベカラズ、吾人ハ吾人ノ有スル特權ヲ支持スベク而シテ此点ニ関シ吾人ノ行動ヲ妨クル特典ハ之ヲ認ムル能ハズ貴下ハ「リオブランコ」氏ノ署名セル公文ヲ引援セラル。同氏ハ諸州ヲシテ恩恵附与ノ義務ヲ負ハシムル考ヲ以テ斯カル解釈の公文ニ署名シタルモノニアラズト認メラルル、又聯邦議會モ条約(訳註 日伯)ヲ認可スルニ

当リ斯クノ如キ意志ヲ以テ認可シタルモノニアラズ該公文ニ聯邦權部ヲ拘束スルコトアランモ決シテ地方ノ權部ヲ拘束スルコト能ハズ拙者ガ御承知ノ如クニ公文(訳註 回答案ヲ指ス)ヲ起草シタルハ即チ以上ノ理由ニ基クモノニシテ拙者ハ日本人ガ最惠国人民ト同一ノ恩恵ヲ現ニ享受シ、若クハ今後享受スヘシト言明スルコトハ絶対ニ相成リ難シ吾人ハ日本人ニ対シ若クハ他ノ孰レカノ交際国民ニ対シ嫌惡スベキ且ツ明白ナル制限ヲ加フル特別ノ規定若クハ手段ヲ含メル法律ヲ制定シ或ハ行政の処置ヲ実行スル能ハサル

コトハ拙者十分ニ理解致居リ候但シ拙者ハ聯邦(訳註 中央政府)ガ孰レカノ一条約ニヨリ吾人ヲシテ甲国又ハ乙国トイヘル如キ或ル特定ノ国ノ移住民ニ恩恵ヲ擴張シ若クハ之ヲ与フヘキ義務ヲ負ハシメ能フトイフニ対シテハ正式ニ抗議致シ候拙者ハ本件ニ対シテ貴下ノ最良ノ注意ヲ仰キ度而シテ拙者ノ言フ所正當ナルヲ御認メ被下候事ト確信致シ候拙者ハ州統領トシテ其ノ憲法上ノ特權ヲ防護スル義務有之且ツ斯カル重要ナル權利及特權ヲ拋棄スルコトハ拙者ノ為シ能ハサル所ニ御座候又日本公使ニ於テ拙者ノ決定ヲ諒トセラル可ク勿論同公使ハ吾人ガ政治及行政上宏寬ナル地方分權ノ制度ヲ有スルコト及移住民ノ如キ若干ノ事項ヲ処決スルハ地方權部ノ自由タルコト并ニ移住民ニ関スル「プレファレンス」及恩恵ヲ与フルノ義務ヲ中央政府ガ吾人ニ負ハシムル能ハサルコトヲ御存知ナキ義ニ候此意義ニ於ケル同公使ノ要求ハ何等ノ根拠無之候

拙者ハ果シテ貴下ノ御意見ト一致シ居ラサルモノナリヤ否ヤ御教示ヲ仰キ度拙者或ハ誤レルヤモ知レサレド拙者ノ有

スル論拠ハ之ト反対ノ確信ヲ抱カシメズ候「コンセレイロ、ロドリゲス、アルヴェス」氏貴地ニ在リ、何故貴下ハ本件ニ関シ同氏ト意見ヲ交換セラレサルヤ？ 同氏ハ拙者ヨリモ一層能ク事件ヲ承知シ居ラルルガ故ニ右様致サレナバ幸甚ニ御座候 拜具

千九百十四年十一月十二日

カルロス、ギマライス

グリセリオ殿

(附屬書二)

別紙乙号

畑公使ヨリ「グリセリオ」氏宛書翰訳文

拜啓

曩ニ副統領へ御伝達被下候当方ノ希望セル州政府ノ回答案ヲ副統領ガ不同意ナリトスル書柬ノ内容野田通訳官ヨリ概略伝承致候

右不同意ノ理由トシテ州副統領ガ挙ゲラレタル事項就中其根本的意見タル「サンパウロ」州ニ於テハ日本人ハ「日伯条約」結果トシテ該条の規定ノ最惠の待遇ヲ受クヘキモノニアラズ」又「聯邦カ締結セル何等条約ニ拘ハラズ如何ナ

又州政府ノ自由意志ニ基ク日本人待遇ニ関スル自分ノ了解前記ノ如クナルニ於テハ日伯条約ニ関スル州政府ノ意見ニ対シ何等論及スルノ必要無之モ万一分ノ前記了解間違ヒ居ル場合ヲ慮リ左ニ単ニ大体ノ意見ヲ閣下ノ御含ミ迄ニ申述候

一、國際条約ハ単ニ当該兩國ヲ拘束スル而已ナラズ公布(Promulgation)ニ依リテ国法上ノ拘束力ヲ有シ全国一般之レニ遵由スヘキモノナルノ点ニ於テハ他ノ法律ト異ナルコトナシ、左レハ伯国ニ於テモ聯邦法律ト法力ヲ均フスル条約ガ各州政府ヲ拘束スルハ勿論ナリ

二、國際条約ハ前記ノ如ク国ノ内外ニ重大ノ影響ヲ及ホスモノナルニ依リ各国ハ通例条約締結前利害關係ヲ有スル官衙、(果(独逸ニ於テハ各聯邦)各種団体及一個人ノ意見ヲ徴シ尚ホ締結ノ上ハ全国民ノ諸階級ヲ代表スル議會ノ協賛ヲ纏メタル上ニアラサレハ批准及公布ヲナサス左レハ条約ニ規定セラレントスルアル条項ノ為メ自由行動ヲ束縛セラルルヲ欲セサル州、団体、及一個人等ハ其成立ヲ防止スル適當ノ方法ヲ執リ得ヘキモ公布ニヨリ服従ノ義務ヲ生シタル以上ハ其拘束ヲ甘受セサル可ラサルハ勿論ナリトス

ル方法ニ於テモ諸州ヲ拘束スルモノニアラズ」トノ見解ニ対シテハ自分ハ全然之レニ反対ノ意見ヲ有スル者ニ有之候、但シ「サンパウロ」州政府ハ前記ノ見解ヲ採ルモノナルニ拘ハラズ州副統領ガ州政府ノ日本移植民待遇(全然其自由意志ニ基ク)ニ関シテ述ヘラレタルモノハ何等公平ヲ欠カサル而已ナラズ寧ロ日本人ニ対シ好意ヲ有スルモノト了解セラレ候而シテ此州政府ノ日本人ニ対スル公平ノ態度ガ条約上ノ規定ヲ顧慮シタルガ為メニアラズシテ全然其自由行動ノ結果ナルコトハ同州政府ノ公明正大ナルコトヲ察スルニ足リ之レヲ条約上ノ規定ニ束縛セラレ其意ニ反シ其規定通りニ行フニ比スレバ日伯ノ国交ノ利益上大ナル差異アルモノニシテ衷心欣喜スル次第ニ候

「サンパウロ」州政府ノ態度果タシテ前記自分ノ了解通りナリトスレバ当方ノ提出シタル如キ語句ヲ含ム回答案ヲ希望スル必要ナク又州副統領宛書柬案モ前ニ提出シタル如キ語句ノ必要ナシ単ニ自分ガ州副統領ノ本意ナリト了解シタルトコロハ果シテ州政府ノ意ニ符合スルヤ否ヤヲ確カメ置クラ以テ足レリト信シ候ニ付右ノ主意ニ基キ新タニ州副統領宛書柬案ヲ作製シ封入致シ置候

三、前記ノ理由ナルニ依リ「我州ハ制限若クハ拘束ナシニ其欲スル儘ニ移民及植民ニ恩典ヲ許スルノ完全ナル自由ヲ現有シ且ツ引続キ之ヲ有スヘキモノナリ」トノ副統領ノ意見ハ之レニ

「憲法及聯邦ノ法律并ニ國際条約ノ規定ニ反セサル限り」

トノ語ヲ加フルニ依リテ始メテ正当ナルモノニアラサルカ四、「リオブランコ」ノ公文ハ日伯条約第四条中ノ臣民又ハ人民ナル文字中ニ移植民ヲ含ムモノナリトノ条約締結當事者ノ意志ヲ宣言シタルニ外ナラズ既ニ前項記載ノ理由ニヨリ日伯条約カ諸州ニ及フモノナルニ於テハ此ノ解釈ノ宣言カ諸州ノ移植民ニ及フモ亦タ明カナリ

五、州副統領ハ日本人ヲ条約規定ノ通りニ待遇セハ州カ有スル憲法上ノ一特權ニ反ス可シト憲法第三十五条第二ヲ引用セラレタリ若シ夫レ單ニ國際法上ノ理論ヨリ言ヘバ州政府ガ憲法上ノ特權ヲ有スルト有セサルト、失フト失ハサルトハ、日本政府ガ聯邦政府ヲシテ条約上ノ義務ヲ履行セシムル為メ何等ノ影響アルモノニアラズ蓋シ「条約ハ神聖ニシテ侵ス可ラズ」(Sanctitas pactorum gentium

publicorum)トハ國際法上ノ原則ナレバナリ

聯邦政府ガ自ラ進ンテ「サンパウロ」政府ノ行動ヲ妨クル特典ヲ「サンパウロ」州ノ移民ニ与ヘントスル場合アリトセハ憲法違反ノ問題生スヘキモ本件ノ場合ニ於テ「サンパウロ」州政府カ聯邦法律ニ均シキ法力ヲ有スルカ上ニ聯邦政府ニ國際ノ義務ヲ負ハシムル條約ノ規定ニ從ツテ行動スルハ正シク州政府ノ憲法上ノ義務ニシテ履行セサル場合ニ聯邦政府カ州政府ニ其履行ヲ強フルハ其憲法上ノ權利ナル而已ナラズ又其國際上ノ義務タルハ疑ヲ客ルルノ余地ナケシ

六、條約上ノ規定通り州政府カ日本人ヲ待遇スルニ於テハ果シテ州副統領ノ言フガ如ク州政府ハ最適当ト思考スル手段及方法ヲ用テ移植民ヲ奨励スルノ權能ヲ害スヘキヤ。否。州政府ニシテ日本人ヲ外国人ニ比シ公平ニ待遇スル考ヲ有スル限りハ少シモ此權能ヲ害スルモノニアラズト信ス七、州政府ハ日伯條約第四條規定ノ最惠國條款適用ノ範圍ヲ極メテ汎ク解釈シタルカ為メ日伯條約規定通りニ行フコトヲ恐レラルルニハアラズヤ。日伯條約第四條ノ最惠國待遇ノ規定ハ州政府ガ公平ノ考ヲ以テ外國移植民ヲ各其技能

由意志ニ出テタル決定ヲ熱望シ國際ノ葛藤ヲ避ケ非公式ナル円満解決如何ニ尽力シ如何ニ「サンパウロ」州政府ニ敬意ヲ払ヒ又如何ニ日伯兩國ノ親交ニ重キヲ置ヤノ其熱心ノ一端ヲ知ルニ足ルベシト被存候ニ付閣下ノ御裁量次第州副統領ニ本書ノ寫ヲ交付セラレ候トモ宣布候 敬具

九千百十四年十一月二十五日

畑 良太郎

フランシスコ、グリセリオ閣下

(別紙)

「イ号」訳文

往翰案

日本移住民カ「サンパウロ」州政府ヨリ受クヘキ待遇ニ關シテ起ルコトアルヘキ疑義ヲ除去スル為メ左記ノ点ニ關シ御意見相伺候

一、「サンパウロ」州ニ於ケル日本移住民ハ他外國移住民ト同等ノ基礎ニ於テ待遇セラルルモノナリト信ス
二、從テ「サンパウロ」州政府ハ他國移住民ニ現ニ附与シツツアル千九百十三年七月九日官令第二千四百号ニ規定セル「サントス」港ニ於ケル上陸ノ便宜、「サンパウロ」市

一五 「ブラジル」移民雜纂 四三八

ニ応シ之ヲ其適當ノ場所ニ配布スルノ權能ニ至ルマテ之ヲ奪取スル程ニ範圍ノ広キモノニアラサルガ如シ、副統領ガ当方希望ノ回答案ニ同意ヲ表シ難シトスル「モチーフ」若シ此ノ懸念ノ為メナリトセハ、右ハ懸念無用ナラン之ヲ要スルニ州政府ガ條約ノ規定ニ拘束セラルルハ勿論ナリト雖トモ此拘束タル苟クモ州政府カ公明正大ノ觀念ヲ以テスル限りハ其自由意志ニ基ツク決定ト背馳スルモノニアラズト信ス

無條約國(例ヘハ独伯間ニハ通商條約ナシ)ト雖トモ自國臣民カ他國臣民ヨリ不利益ノ待遇ヲ受クルコトハ決シテ之ヲ甘受セサルベシ蓋シ無條約國ノ臣民ト雖トモ之ヲ他國臣民ト同様ニ待遇スルハ近世國際ノ通義ナレハナリ別紙ヲ以テ新タニ提出スル質問辛ニ全然同意ヲ得ルニ於テハ今後問題ノ發生セサル限りハ條約ニ論及スルノ必要ナシ、自分ハ州政府ノ公平ト寛仁トニ信賴シ如此場合ノ生セサルシコトヲ期待スルモノナリ。元來條約ノ引用ハ愈外務省ニ對シ抗議ヲ申込ム場合ニ於テナスヘキモノナレトモ州副統領ニシテ自説ト對照セハ日本公使ハ條約ニ對スル觀念ニ於テ如此全然正反對ノ確信ヲ有シナカラ尚ホ且ツ州政府ノ自

収容所ニ於ケル宿泊、官設労働周旋所ノ仲介ニ依ル就地、及「サントス」ヨリ「サンパウロ」市迄并ニ後者ヨリ内地ニ到ル鉄道無賃輸送ノ恩惠ヲ他國移住民ト同一ノ条件ヲ具備スル日本移住民ニ對シテモ許与セラルルモノト信ス
三、州政府ガ財政上ノ必要及ヒ州内ノ労働狀態等ニ懸ミ移住民ヘ与フル恩惠ニ關シ如何ニ之ヲ變更シ改廃スヘキヤハ全然其權内ニ在ルコト勿論ナレトモ州權部(訳註 州政府及議會ヲ指ス)ハ日本人ニ對シ嫌惡スヘキ制限ヲ加フル差別的ノ規定若クハ手段ヲ含メル法律ヲ制定シ或ハ行政的処置ヲ採ラサルコトモ亦疑ノ余地ナシト信ス

「サンパウロ」州政府ハ以上述ヘタル自分ノ見解ト同一ノ見解ヲ有セラルルヤ否ヤ何分ノ義御回示相成度茲ニ閣下ニ向ツテ最高ノ敬意ヲ表シ候 敬具

「ロ」号訳文

回答案

日本移住民ノ件ニ關スル○月○日附貴翰接手右ニ對スル回答トシテ閣下ニ向ヒ左ノ通り言明スルノ光榮ヲ有シ候
一、「サンパウロ」州ニ於ケル日本移住民ハ他外國移住民ト同等ノ基礎ニ於テ待遇セラルルモノナルコト

六七五

二、「サンパウロ」州政府ハ他国移住民ニ現ニ附与シツアル千九百十三年七月九日官令第二千四百号ニ規定セル「サントス」港ニ於ケル上陸ノ便宜、「サントス」市收容所ニ於ケル宿泊、官設労働周旋所ノ仲介ニ依ル就地及「サントス」ヨリ「サンパウロ」市迄并ニ後者ヨリ内地ニ到ル鉄道無賃輸送ノ恩恵ヲ他国移住民ト同一ノ条件ヲ具備スル日本移住民ニ対シテモ許与スルコト

三、州政府ガ財政上ノ必要及州内ノ労働状態等ニ鑑ミ移住民ニ与フル恩恵ニ関シ如何ニ之ヲ変更改廃スヘキハ全然其権内ニアルコトハ勿論ナレドモ州ノ権部（訳註 政府及議會）ハ日本人ニ対シ嫌惡スヘキ制限ヲ加フル差別的ノ規定若ハ手段ヲ含メル法律ヲ制定シ或ハ行政的処置ヲ採ラサルヘキコト

註 右甲号及乙号並別紙イ号及ロ号ノ各原文何レモ省略ス

四三九 十二月一日 加藤外務大臣ヨリ
在サンパウロ松村総領事宛

「サンパウロ」州在住本邦移民ヨリノ呼寄証

明発給ニ関シ回訓ノ件

通送第三一号

ナスニ及バズ事実ヲ密按シテ証明書ヲ発給セラルベシ
(ロ)イ号以外ノ労働移民ニ対シテハ特別ノ事情ナキ限り証明書ヲ発給セザルコト

三貴館ニテ証明書発給ノ場合ニハ明治四十二年四月二十九日付内訓（旅券竝移民事務取扱参考書一三二号参照）ニ準拠シ移民非移民ノ区別ヲ証明書ニ明記スルコト又証明書発給ニ際シ当省ヘ報告方ノ義ハ明治四十五年三月二十日付内訓（同参考書第一四三号）ニ準ジ御処理相成タシ

四四〇 十二月二十日 在米国珍田大使ヨリ
加藤外務大臣宛

伯国「サンパウロ」州政府囑託「ランブレア」

ノ在米国日本人状態調査報告書ニ関スル件

公第三〇三号 （大正四年一月二十八日接受）

大正三年十二月二十日

在米

特命全權大使子爵 珍田 捨己（印）

外務大臣男爵 加藤 高明殿

伯国「サンパウロ」州庁囑託日本人状態調査委員「ラムプレイア」氏ノ在米日本人状態調査報告書ハ頗ル我ニ不

本件ニ関シ本年十月一日付領第五三号ヲ以テ御談判ノ趣了悉伯国「サンパウロ」州ノ財政状態及歐洲戦乱ノ影響ヲ受ケ一般經濟界ニ恐慌ヲ起シ居ル事情ハ隨時御報告相成ル処ナルニヨリ此際伯国渡航者ニ対シテハ多少制限ヲ加フル必要アリト認メ候条左諸分類ノ趣旨ニ依リ呼寄証明書御発給相成度此段及回訓候也

追テ本年九月二十五日付通公第六号附屬州令第二五三三号ニ記シタル千九百十三年七月九日州令第二千四百号第一条ノ規定ニ関スル原文訳文入用ニ付御送相成度候

記

一非移民呼寄

非移民呼寄ニ於テハ別ニ制限ナキモ呼寄人ノ身元經歷資力等ヨリ考查シ呼寄ノ事実確實ナル者ニノミ証明書ヲ発給セラルベシ商店員等ノ呼寄ハ非移民呼寄トシテ取扱ハルベシ

二移民呼寄

(イ)既ニ州内ノ農場ニ定住セル家族若クハ親戚ト同居労働センガ為メ渡航スル農業労働者ナルニ於テハ其既婚未婚ノ別年齢、親戚關係ノ親疏等ニツキ嚴重ナル差別ヲ

利益ナルモノナリシ趣畑公使ヨリ報告有之候旨ヲ以テ当方ニ於テモ何等便宜ノ方法存在スルニ於テハ右ノ内容相確メ候様本年九月二日附通送第一二八号ヲ以テ御来示ノ趣敬承致候右調査ニ関シテハ當時駐米伯国大使ノ依頼ニ依リ本使ニ於テ在紐育及桑港本邦領事ニ同氏紹介ノ勞ヲ執リタル縁故モ有之候ニ付曩ニ同大使ニ面会ノ節該報告入手方ヲ内密ニ依頼致シ候処同大使ハ之ヲ快諾シ早速「サンパウロ」州知事ニ照会致シ具候処今般同知事ヨリ回答有之右報告書ハ全然 private ノモノナレバ何分ニモ本使ノ需ニ応シ兼ヌル旨申越有之候趣ニ付キテハ差当リ当方ニ於テ右入手又ハ其内容探知ノ方法無之候間左様御承知相成度候而シテ右調査ニ付前陳伯国大使ニ面談ノ際其内話ニ拠レハ伯国官憲ニ於テハ右ニ対シ格別重キヲ置キタルモノニ無之実ハ「ラムプレイア」氏ハ葡国公使トシテ伯国駐在中本國ニ於ケル革命ト共ニ其職ヲ失ヒ窮境ニ陥キリタル所平素親交アル「サンパウロ」州知事ハ之ニ同情ヲ寄セ氏ニ「ロ」ヲ与フルノ意味合ヨリ調査ヲ依頼シタル内情ニシテ從テ「ラムプレイア」氏ニ於テモ自家調査ノ結果ニ対シ幾分ハ無責任ノ態度ニ出テ現ニ同氏ハ帰途当地ニ立寄り同大使ヲ訪問シ葡國ニ

於ケル妻女病氣ノ為メ至急帰葡ノ必要ヨリ報告書調製ノ途ナシトテ其調製方ヲ依頼シタルモ同大使ハ無論之ヲ峻拒シ其後同氏ハ当国ヨリ直接葡萄牙国ニ帰航シタル始末ナルヲ以テ好シ報告書ヲ提出シタリトスルモ其内容ハ信スルニ足ルヤ頗ル疑ハシト述ヘラレ居候右様ノ事情ニ有之候間右ル報告書ハ此上入手ノ手段ヲ講スルモ目的ヲ達スルニ困難ナノミナラス實際其価値ヲ有セサルヘシト愚考致候為念此段トモ添テ申進候 敬具

四四一 十二月二十九日 在伯国畑公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

「サンパウロ」州統領ノ態度急変報告ノ件

第八三号

往電第八二号ニ関シ「グ」氏ハ近ク就職スヘキ統領ト数回ノ会谈ニ於テ当方ノ主張ヲ支持シタル統領ハ中途ヨリ頓ニ其態度ヲ変シ頑トシテ応セサルニ至リタル趣ニテ本使ハ此ノ場合咄嗟ノ間ノ解決ノ必要ヲ感シタルニ付曩ニ州政府ガ与ヘントシタル回答案中留保ケ間敷キ箇所ヲ除キ之ニ適応スル往翰案ヲ作り更ニ交渉ヲ重ネセシメタルニ統領ハ「グ」氏ノ所論ニハ尽ク屈シタルニ拘ハラヌ遂ニ国際問題トセラ

外務大臣男爵 加藤 高明殿

本件善後策ニ関シ州政府ヲシテ本邦移住民ニ対シ「最惠待遇ヲ与フル旨」ヲ文書ニテ言明セシメントシタル交渉ハ遂ニ其目的ヲ達スル能ハサリシニ付本使ト州政府当局者間ニ交換スベキ書束ノ案文ヲ改メ表面上当方ノ主張ヲ和ラゲタル如ク見ユルモ其実前案ト同様ノ効果アルモノトナシ更ニ「グリセリオ」氏ヲシテ交渉ヲ重ネシムルコトトナリタルモ果シテ当方ノ期待セル言明ヲナサシムルコトヲ得ヘキヤ否計リ難ク且ツ近々復職ノ答ナル州統領「ロドリゲス」、アルズ」氏ハ文書交換ニ反対ナル趣最近ニ至リ「グ」氏ヨリ内報アリタル迄ノ事情ハ客月二十八日付往電第八二号及同月三十日付通機密第一七号ヲ以テ逐一申進置候通りニ有之「グ」氏ニ於テハ特ニ副統領ヨリ慫慂シ来レル次第モアリ副統領ニ対シ交渉ヲ続クル以外別ニ出京中ナル州統領ト懇談シ統領ヨリ副統領ニ対シテ本件ノ円満解決ニ関スル忠言ヲ与ヘシメンコトヲ企画シ同氏ハ統領ニ面会前、先ツ副統領ヨリ「グ」氏ニ送リタル長文ノ返翰ヲ送り、統領本使ガ「グ」氏宛ニ作製シタル弁駁書ヲ写ヲ送付シ、統領ガ之ヲ精読シタル時分ヲ見計ヒテ「グ」氏自ラ統領ヲ訪問シ本件

レタシト放言事茲ニ至リタルハ統領ガ頃日ニ至リ不図文書宣明ノ将来ニ対スル責任ノ重大ナルニ怖ヲ抱キタルカ為ナルヘク目下ノ形勢ニテハ結局間接ノ言明ニ満足スル外ナキニ至ルヤモ計リ難シ但統領「グ」氏何レモ版州スヘキニ付「サンパウロ」ニ於テ更ニ交渉ヲ継続セシメ而モ事情ノ許ス限り公文ヲ以テ確メ置ク所存ナリ

四四二 十二月二十九日 在伯国畑公使ヨリ
加藤外務大臣宛

「サンパウロ」州行本邦移住民ノ待遇ニ関スル
文書交換交渉ニ於テ同州統領態度急変具報ノ件

附屬書一 十二月十七日付畑公使ヨリ「グリセリオ」宛
書翻訳文

- 二 「サンパウロ」州政府宛往來案訳文
- 三 「サンパウロ」州政府回答案訳文
- 四 「グリセリオ」宛覚書訳文

通機密第一八号 (大正四年三月十日接受)

大正三年十二月二十九日

在伯 特命全權公使 畑 良太郎(印)

ニ関シテ熟談ヲ試ムル手順ト相成居リ候処「グ」氏ヨリ本月五日付書束(翌々七日接到)ヲ以テ氏ハ本件ニ関シ州統領ト長時間ノ会见ヲ遂ケタル結果トシテ、統領ハ日本移住民誘入ニハ賛成ナレドモ「サンパウロ」州政府トシテハ曩ニ松村総領事ニ交付シタル回答案ノ範圍ヲ超脱スヘカラズト認メ右ノ趣旨ニテ副統領ニ書状ヲ発シタルモノト推察セラレ旨ヲ報シ同時ニ「グ」氏自身ノ意見ヲ付記シテ曰ク、右州政府ノ回答案ハ適切ナル語ヲ用ヒテ日本移住民ニ均等待遇ヲ与フヘキ旨ヲ直接ニ明言セスト雖トモ該案文中「「サンパウロ」州政府ハ日本自由移民ニ対シ州ノ立法カ他外国移住民ニ付与スル恩恵ヲ拒絕セザルベシ」トイヘル語句ヲ少シク熟考スル時ハ実質ニ於テ均等待遇ヲ表明セルモノニ外ナラサルヲ知ルベク、即チ此言明ハ日本公使ノ対案第一項及第二項ニ相当シ、又対案第三項後段ハ、今回新タニ挿入セラレタルモノナレバ無論州政府回答案中何等之ニ言及スル所ナシト雖トモ、独リ日本移住民ニ限ラズ何国ノ移住民ニ対シテモ除外的ノ法律ヲ設ケ、若クハ嫌悪スヘキ手段ヲ講スルガ如キハ聯邦憲法ノ規定ト相容レサルモノナルニ付強テ言明ヲナサシムルニモ及ハサルベク兎ニ角正副統領

ノ意見執レモ前記ノ如クナルニ於テハ此場合日本公使ニ於テ州政府ノ回答原案ヲ以テ姑ク満足セラレ、尚ホ不足ノ点ハ後日時機到来スルヲ俟ツテ新タニ運動ヲ開始シ隨時之ガ拡充ヲ図ラルル方得策ナルベシ云々ト申来リ候右「グ」氏ノ所説ハ一応理アルカ如ク相見ヘ候得共、抑々本使ガ曩ニ州政府ノ回答案ニ接シタル際同案中ニハ当面ノ問題ヲ解決スルニ足ル文字アルニ拘ラズ終ニ之ニ不同意ヲ唱フルノ止ムヲ得サリシ主ナル理由ハ、当方ノ往來ニ於テハ日本移民民均等待遇ノ主義原則ヲ質問スルヲ主眼トセルモノナルニ関ラズ先方ハ之ニ対スル回答トシテ単ニ自由移民ニ対シ現法令中ノ或ル条項ニ記載セラレタル恩恵ヲ与フルコトヲ拒マサルヘシト言フノミニテ其ノ原則ニ言及スルコトヲ避ケ居ルガ故ニ若シ如此文書ヲ交換セハ将来ニ於テ當時州政府ノ意志ハ均等待遇ノ主義原則ヲ認メタルニアラズ單ニ便宜ノ為メ或ル条項ノ恩恵ヲ与ヘタルニ過ギト主張スルコトヲ得ヘク從テ今後州政府ガ該条項ヲ改廃シ若クハ他ノ条項ヲ設ケテ歐洲移民民ニ恩恵ヲ与フルカ又ハ州ノ移民民法ヲ改正シテ自由移民以外ニ他ノ名称ヲ附シタル移民ノ種類ヲ設ケ之ニ別種ノ恩恵ヲ与ヘタル場合ニハ本邦移民民ハ右州政

府回答ノ当然ノ結果トシテ直ニ此等恩恵ニ均霑スルコト能ハサルベク即チ理論上ヨリ言ヘハ州政府ハ此ノ如キ言明ヲナストモ之ガ為メ向來本邦移民民ニ対シテ差別的待遇ヲ与フベカラサル拘束ヲ受クルモノニアラズ若シ夫レ當方ノ往來ニシテ單ニ自由移民ニ対シ現行法ノ或ル条項ノ恩恵ヲ与フルヤ否ヤヲ質問スルモノナランニハ州政府ノ回答案ハ本体ニ於テ可ナラサルニアラズト雖トモ均等待遇ノ主義ニ関スル質問ニ対シ何等此主義ニ言及セサル回答ハ毫モ回答タルノ価値ナキノミナラズ之ヲ受領シ置クコトハ反テ後日ノ害トナルノ虞ナキニアラズ左レハ此ノ際採ルヘキノ策ハ第一、均等待遇主義ノ往來ヲ支持シ之ニ適合スル回答ヲ得ル様更ニ交渉ヲ開始スルコト

第二、州政府ノ回答案ニ適合スル様往來ヲ改ムルコト、即チ日本移民民均等待遇主義ニ何等言及スルコトナク單ニ自由移民ニ対シテ現法令ノ或ル条項ニ規定セル恩恵ヲ与ヘラルヘキヤヲ質問シ且回答案中留保ケ間敷嫌アル第二項及第三項削除セシムルコト

ノ二案ニ有之ベク尚ホ其優劣難易ニ就キテ篤ト勘考ヲ加ヘ候処第一案ハ成立上第二案ニ比シ困難ナルモ愈々成功ノ曉

ハ根本的ニ我移民民ノ均等待遇ヲ確認セシムルモノニシテ之ヲ第二案ガ縱令實際上当面ノ問題ヲ解決スルニ足ルトハイヘ理論上今後本邦移民民ニ対シ差別的待遇ヲ与ヘ得ルノ余地アルコト既述ノ如クナルニ比スレバ其優劣到底同日ノ論ニアラサルヲ以テ本使ハ比際先ツ第一案ニ就キテ更ラニ交渉ヲ重ネ万止ムヲ得ザル場合ニ初メテ第二案ヲ提出スルモ遅カラズトノ信念ヲ抱キ居リ候ニ付右理由ニ基キ通機密第一七号拙信ノ別紙乙号附屬「イ」号修正往來東案ニ於テハ其語句ハ大ニ最初ノ案ニ異ナルモ實質ニ於テ第一案ノ主旨ニ基キ移民民待遇問題ヲ根本的ニ解決セントスルノ方針ニ至リテハ毫モ之ヲ變更セサリシ次第ニ有之此点ニ於テ本使ハ上記「グ」氏ノ讓歩説ニ直ニ同意ヲ表スル能ハサリシヲ以テ不取敢自説維持ノ考ヲ以テ早速電報ニテ会见ノ打合ヲ為シ翌日十日「リオ」市ニ於テ「グ」氏ト会见ヲ遂ゲ先ツ前記ノ理由ニ依リ修正案ノ通リ文書交換ノ必要ヲ説キタルニ氏ハ之ヲ諒トシタルニ付更ニ此方針ニ依リ尽力ヲ依頼シ且ツ試ニ氏ハ先日ノ計畫通り統領ト会见ヲ予メ副統領ノ返翰及本使ノ弁駁書写并ニ修正交換文案ヲ送付シ置キ然ル後統領ト会谈セラレタル次第ナルヤ換言スレバ統領ハ當方ノ弁

駁書ヲ精読シタルニ拘ハラズ尚ホ自説ヲ主張スルモノナルヤヲ相尋ネ候処氏ハ自身之ヲ携帯シ行キ機ヲ見テ示サン考ナリシモ形勢甚敷非ナルヲ見テ之ヲ示スモ到底無効ナラント察シ其儘持歸リタル趣ニシテ右ハ本使ニ於テ頗ル意外且ツ遺憾ニ感シタル所ニ有之候尚ホ「グ」氏ノ言ニ依レハ州統領ハ曩ニ内示シタル州政府回答案ヲ無記名ノ儘交附スヘシト語リタル趣ナルモ斯クノ如キハ文書交換ノ形式ヲ無視シ且一國ノ代表者ヲ輕侮スルモノトイフベク到底認容シ難キ所ナルヲ以テ州当局者ノ署名ヲ要スルコト勿論ナレバ願クハ此意ヲ統領ニ伝ヘラレタシト請求スルト同時ニ是非共本使ノ弁駁書写ヲ統領ニ廻付シ閣読ヲ請ハレ度左スレハ統領ニ於テモ大ニ悟ル所アリテ當方ノ要望スル回答ヲ与フルコトヲ承諾セララルヤモ計ラレズ又一方副統領モ既ニ「グ」氏ヨリ郵送シタル右弁駁書写ヲ一読スルニ於テハ或ハ自己ノ所説ノ不當ナルヲ知ルト共ニ當方要求ノ根拠アルヲ見テ之ニ服シ當方提案通リノ文書交換ヲ実行スベシトテ或ハ直ニ承諾ノ回答ヲ与フルヤモ計ラレサルニヨリ旁々「グ」氏ニ於テ今一応統領ト懇談シ十分ニ本使ノ誠意ノ存スル所ヲ説明シテ其再考ヲ求メラレ度シト依頼致置候

然ル処越テ十七日ニ至リ「グ」氏ヨリ書束ヲ以テ州統領ハ頑強ニ前説ヲ維持シ当方ノ提議ニ応セサル旨ノ通知ニ接シタルヲ以テ州政府ヲシテ日欧移住民均等ニ待遇スヘキ旨ヲ文書ヲ以テ言明セシムルコトハ目下ノ形勢ニテハ到底其目的ヲ達シ難カルヘク此場合寧ロ吐嗟ノ間ニ解決ノ必要アリト相感シ候ニ付前記第二案ヲ以テ一先ツ本件ヲ落着セシムル方得策ナラント思考致候尤モ先方ノ説ニ服シテ当方ノ主張ヲ撤回シタルモノト思惟セシムルハ不得策ニ付先ヅ別紙第一号原訳文ノ通り「グ」氏宛返翰ノ体裁ニテ一書ヲ認メ州統領ノ維持スル回答案ナルモノハ日欧移住民均等待遇ノ主義ニ言及セスト雖トモ亦以テ当面ノ問題ヲ解決スルニ足ルベシト思考セラルルニ付本国政府ヨリ別途ノ訓令ヲ受クルニ先ダチ速カニ文書交換ヲ了シ本件ヲ非公式ニ解決セシムルコトハ日伯ノ国交上最モ適切ノ処置ト信スルニヨリ曲ケテ譲歩ヲナスモノナルノ意ヲ仄カシ尚ホ該回答案ヲ認諾セントスレバ勢ヒ当方ノ往翰案ヲ改メテ互ニ能ク符合スルモノトナス必要アリ之ト同時ニ回答案中第二及第三ハ当方ニ於テ必要ヲ認メサルニ依リ之ガ删除ヲ希望スル旨ヲ記載シ之ニ別紙第二号往東案及第三号回答案ヲ添付シ且ツ右

回答案ニハ後半部删除ヲ希望スル理由ヲ脚註トシテ附記シ本使ハ翌十八日「リオ」市ニ出張「グ」氏ニ面会シテ右書類并ニ其写二通ツヲ交付シ之ヲ最後ノ提案トシテ年内ニ本件ヲ落着セシメ度而シテ之カ為メニハ不日帰州ノ由ナル統領在京中ニ相談ヲ纏ムル必要アリト信スルニ付其積ニテ至急御配慮ニ預リ度尚ホ自分ノ書翰写ハ統領及副統領ヘ一通ツツ廻付アリ度シト及依頼候処同氏モ一々当方ノ説ニ賛成シ殊ニ今回ノ往東案ハ極メテ巧妙ニ出来上リ居ルヲ以テ州政府ヨリ之ニ適合スル回答ヲ得ルコトハ從來ノ交渉ニ比スレバ極メテ容易ナリト思考スル旨談話有之当方ニ於テ斯ク迄譲歩スル以上ハ今回コソ文書交換ヲ年内ニ終了セシメ得ベシトノ希望ヲ抱キテ其日ノ会见ヲ了リ「グ」氏ヨリ吉左右ノ報アルヲ相俟チ居リ候処豈図ランヤ二十二日ニ至リ同氏ヨリ州統領應諾セズトノ電報ニ接シ候ニ付同日直ニ「グ」氏ニ会见ノ目的ヲ以テ「リオ」市ニ出張致候得共生憎氏ハ議會ニ於テ緊要ナル會議中ニテ面会スル能ハズ仍テ翌二十三日先ツ野田通訳官ヲ派遣シテ「グ」氏ニ就キ詳細ノ事情ヲ聴取ラセ候処氏ノ報告ハ実ニ意外ニシテ州統領ノ態度遽カニ一変シ前回ノ会谈ニ際シテハ無署名ノ回答ヲ与

フルノ意ヲ洩シタルニ過キサリシニ今ヤ全然文書ノ交換ヲ拒ミ且ツ「グ」氏ノ所論ニハ委ク屈服シタルニ拘ハラズ本件ハ州統領タル予ノ論議スヘキ問題ニアラサルヲ以テ公然外務省ニ対シ交渉セラルベシト放言シタル趣ニテ察スル所同統領帰州ノ上復職ノ事ハ最近ノ決定ニ係ハリ右決定迄ハ副統領ト本使ノ間ニ行ハントスル文書交換ニ関シテ別段深刻考フル処ナカリシナランモ愈々復職ト定マリタル上ハ勢ヒ統領自身ニ於テ右文書ニ署名セサルヘカラサルガ故ニ不図文書宣明ガ将来ニ及ホス影響及其署名者タル自己ノ責任ノ重大ナルニ想到シ急ニ恐怖心ヲ抱キ初メタルト又一方ニ於テ現任伯国外務卿「ラウロ、ミユルレル」氏ハ独逸人ノ子ニシテ内心日本ニ対シ好意ヲ有セサル人物ナルノミナラズ統領ガ嘗テ共和国大統領タリシ間氏ヲ拳ケテ工部通信卿トナシタル關係アリテ統領ハ外務卿ヲ自己ノ意ノ儘ニ動かシ得ヘキニ付愈々國際問題トナリタル場合ニハ自己ノ在職中問題ヲ遷延セシメ未決ノ儘ニ後任者ニ押付ケテ引退セント企ツルモノナルベク「グ」氏ノ觀察モ亦右本使ノ推量ト大同小異ニ有之候而シテ「グ」氏モ年末ニハ議會ノ閉會ト共ニ一旦「サンパウロ」州ニ引揚クル趣ニ付本使ハ本月二

十八日「リオ」市ニ出張シ氏ト会见シテ互ニ意見ヲ交換致候処「グ」氏ハ最早自身ノ力ニ及バスト悟リタル為メカ本件ヲ非公式ニ外務卿ニ談話シ同卿ノ非公式援助ヲ仰キテハ如何トノ意見ヲ提出致候得共本使ハ仮令非公式ニモセヨ本件ヲ外交当局者ニ知ラシムルコトハ未ダ其時機ニアラサル旨ヲ答ヘ日伯兩國ノ為メ、否、寧ロ「サンパウロ」州政府ノ為メニ本件ハ飽マデ非公式解決ノ軌道ヲ脱出スヘカラズト主張シタル結果氏モ再考スル所アリ統領ノ性質ヨリ察スルニ今ハ甚ダ面白カラサルモ復職ノ上本件交渉ニ関スル書類ヲ通読熟考スルニ於テハ或ハ今日ノ非ヲ悟ルコトナシト言フベカラズ且ツ自分ハ当分「サンパウロ」市ニ滞在スヘキニ依リ彼地ニ於テ徐々ニ統領副統領及農務長官ヲ説カハ多分好結果ヲ奏スヘシト述べ申候元々当方ニ於テハ本件ヲ國際問題トナスノ意志ナカリシハ勿論文書交換ノ如キモ事情ノ許ス限り之ヲ行ハントノ底意ヲ有シ居ル次第第二モアリ旁々引続キ「グ」氏ヲ煩ハシテ依然非公式ノ交渉ヲ試ムルコトトシ同氏ニ向テ本使ノ意中ヲ吐露シ今後交渉ノ方針等ヲ語リタル上同氏記憶ノ為メ其要領ヲ記載シタル別紙第四号原訳文ノ覺書ヲ手交シ帰州ノ上ハ「サンパウロ」ニ於テ更

ニ交渉ヲ繼續シ苟クモ事情ノ許ス限りハ文書ヲ以テ州政府ノ言明ヲ確ムルコトニ尽力アランコトヲ依頼致置候

右要領ハ既ニ本日発往電第八三号ヲ以テ上申済ニ有之候得共尚ホ詳細ノ事情説明旁此段及具報候 敬具

(附屬書一)

別紙第一号

畑公使ヨリ「グリセリオ」宛書翰訳文

覆啓

州統領ハ斷乎トシテ其説ヲ維持スル旨ヲ御通報被下候本日附責翰接手拜見致候

州統領ノ維持セラルル回答案即チ曩ニ州政府ヨリ在「サンパウロ」日本総領事ニ交付セラレタルモノハ日欧移住民均等待遇ノ主義ニ言及セズト雖トモ当面ノ問題ヲ解決スルニハ足ルヘント思考セラル然レトモ当方ノ往翰案ニ対スル回答トシテハ甚ダ不釣合ノ嫌アルニ付該回答案ヲ認諾スル為ニハ勢ヒ当方ノ往翰案ヲ別紙A号ノ如ク變更シ以テ該回答案ニ適合セシメ尚ホ之ト同時ニ同一ノ目的ヲ以テ回答案中第二及第三項ハ別紙B号脚註ノ理由ニヨリ之カ删除ヲ要求シ以テ此際自分カ本国政府ヨリ別途ノ訓令ヲ受クルニ先

(附屬書二)

別紙第二号

「サンパウロ」州政府宛往翰案訳文

以書翰致啓上候

陳ハ「サンパウロ」州ニ日本移民ヲ誘入スル為メノ契約ハ過般貴州政府ニ於テ財政上ノ必要ヲ理由トシテ之ヲ御解除相成候ニ付テハ今後貴州ニ到着スルコトアルベキ日本自由移住民ニ対シ貴州政府ハ現ニ他国自由移住民ニ対シテ附与セラレツアル千九百十三年七月九日官令第貳千四百号規定ノ恩恵ヲ同令規定ノ条件ニ從ヒ同様ニ附与セララル義ト相信シ候

「サンパウロ」州政府ハ右自分ノ見解ト同一ノ見解ヲ有セラルルヤ否ヤ、何分ノ義御回示相成度茲ニ閣下ニ向ツテ最高ノ敬意ヲ表シ候 敬具

(附屬書三)

別紙第三号

「サンパウロ」州政府回答案訳文

日本移住民ノ件ニ関スル閣下ノ文書接手右ニ対スル回答トシテ拙者ハ千九百十三年七月九日官令第

ダチ速カニ文書交換ヲ了シ茲ニ本件ヲ非公式而カモ円満ニ解決落着セシムルコト日伯兩國ノ国交上最適切ノ処置ト相信シ候

「サンパウロ」州政府ニ於テ日本移住民ヲ歐洲移住民ト同様ニ待遇セラルヘキコトハ既ニ州副領ヨリ口頭ヲ以テ「ルビオン」氏ヘ言明アリタル旨閣下ヲ經テ承知セルノミナラズ伯国聯邦憲法及日伯条約ノ規定ニ基キ当然ノコトト信ズ又「サンパウロ」州憲法モ恐ラク法律ノ前ニハ各国民均等ナルヲ保障スル義ト推察セラルルニ付州政府ニ於テ飽ク迄之ガ言明ヲ拒ムニ於テハ此際強テ之ヲ言明セシムルコトヲ差控ヘ申スベキモ、今後万一州政府ニ於テ日本移住民ニ対シ歐洲移住民ニ比シ劣等ナル待遇ヲ与ヘントシタル場合ノ生スルニ於テハ遺憾ナカラ本問題ヲ提起スルノ止ムヲ得サルニ立至リ申ベク候仍テ州政府ノ公平ナル態度ニ信賴シ本件ヲ本年内、否、州統領在京中ニ落着セシムル為メ別紙案文通リノ文書交換速カニ相済ミ候様特別ニ閣下ノ御配慮相煩シ度回答旁此段御依頼ニ及ヒ候 敬具

千九百十四年十二月十七日

グリセリオ將軍閣下

二千四百号ニ規定セル条件ヲ具備スルトコロノ日本自由移住民ニ対シ当州政府ハ外国ヨリ渡来ノ他ノ移住民ニ付与セル恩恵ヲ拒絕セサルヘキコトヲ閣下ニ言明スルノ光榮ヲ有ス、其等ノ恩恵ハ既掲ノ官令ニ從ヘバ下ノ如シ。「サントス」ニ於ケル上陸ノ便宜。「サンパウロ」収容所ニ於ケル宿泊。官労働紹介所ノ周旋ニヨリ就職スルコト。及、「サントス」ヨリ「サンパウロ」迄、及、後者ヨリ内地ニ到ル鉄道ノ無賃輸送。

(附屬書四)

別紙第四号

「グリセリオ」宛書翰訳文

閣下御記憶ノ為メ

一、自分ハ本件ノ円満解決ヲ熱望スルノ余リ自分ノ立場ノ不利益ニ陥ルヲ顧ミズ州政府ノ与ヘントセル回答案ニ迎合セントノ誠意ヲ示セリ

二、自分ハ何故ニ統領カ曩ニ州政府ノ与ヘントシタル回答案ヲ基礎トシテノ絶對ニ交譲のナル交渉ヲ拒ミ本件ヲ國際問題タラシメント言ヘルカ其真意ノ那辺ニ存スルヤヲ知ルニ苦シムモノナリ蓋シ非公式解決ニハ条約ノ解釈等

ニ関スル意見ハ単ニ参考ニ供スルニ過キスシテ必ラスシ
モ一致スルヲ要セズ單ニ州政府ノ自由意志ハ日本人ヲ差
別的ニ待遇スルニアラサレハ足レハナリ

三、閣下ノ知ラルル如ク自分ハ苟クモ非公式解決ヲ遂ケン
トスルニハ自分ハ日本ノ代表者タルト同時ニ是非共自分
ヲ州政府ノ益友タルノ地位ニ置カサレハ不可ナリトノ信
念ヲ有スルモノニシテ實際州政府ノ立場ヲ日本政府ヘ弁
解シタルコト一再ニシテ止マラサリシナリ要スルニ双方
ノ利益ヲ調和セントシツツアル自分ノ誠意未タ貫徹シ居
ラサルヤモ計ラレサルニ付此点閣下ヨリ御説明ヲ乞フ
四、自分ノ誠意先方ニ知レ候上ハ尚非公式解決ノ望ナシト
言フ可カラズト信スルニ付日本政府ヘ右ノ意見ヲ上申シ
置キタレバ多分差向キ反對ノ訓令ニ接セサルヘシト思考
ス

五、此上閣下ヲ煩ハスハ恐縮ニ堪ヘサレトモ自分ハ今本件
ヲ直チニ國際問題トスルコトハ双方ノ利益ニアラズト信
スルモノナルニ付御帰國ノ際州政府ノ回答案ヲ基礎トシ
テ立案シタル文書ノ往復ニテ円満解決ヲ得候様何分ノ御
尽力ヲ煩シ度候

六、文書交換ノ對手ハ当方ハ自分ニテモ在聖總領事ニテモ
又先方ハ統領副統領デナクトモ農務長官ニテモ差支無之
又文書交換ノ目的ハ單ニ日本ヘ報告スル確言の報告ノ基
礎ヲ得ルニ過ギサル而已ナラズ本件ノ起原及解決方法ノ
世間ニ知ラルルコトハ好マシカラサルニ付可成当局者間
ノ知了ニ止メ置キ度シ

七、在聖松村總領事ニ閣下在聖中閣下ト交渉ヲ委任致候ニ
付同總領事伺候ハハ御面会被下度候

註 別紙第一、二、三、四各号ノ原文省略

事項一六 朝鮮ニ於ケル外国居留地整理一件

四四三 一月十四日

在本邦独國大使ヨリ
牧野外務大臣宛

在鮮各國居留地廢止議定書是認問題ニ対スル

独國政府ノ態度回示ノ件

Kaiserlich

Deutsche Botschaft

Tokio, den 14. Januar, 1914.

Herr Minister

Euerer Exzellenz beehre ich mich auf das gefäl-
lige Schreiben vom 27. August vorigen Jahres Nr.
87 betreffend die Fremdenniederlassungen in Chosen,
mitzuteilen, dass die in dem Protokoll von Söul hin-
sichtlich der Fremdenniederlassungen getroffenen Ver-
abredungen von der Kaiserlichen Regierung als Grund-
lage für eine endgiltige Vereinbarung mit der Kai-
serlich Japanischen Regierung angenommen werden,
sofern auch die übrigen beteiligten Regierungen zu-
stimmen, und unter der Voraussetzung, dass Zuge-
ständnisse, die etwa irgend einer anderen Macht

wegen des Erwerbs und der Übertragung koreanischer
Grundstücke gewährt werden, auch dem Deutschen
Reich gemacht werden.

Ich ergreife die Gelegenheit Euerer Exzellenz die
Versicherung meiner ausgezeichnetsten Hochachtung
zu erneuern. (gez.) Rex.

Seiner Exzellenz
dem Kaiserlich Japanischen Minister
der Auswärtigen Angelegenheiten
Herrn Baron Makino.

(右和訳文) (註 日本外務省作成)

千九百十四年一月十四日東京ニテ

独逸帝國大使館第一号

レ ッ ク ス

日本帝國外務大臣 牧野男爵閣下

朝鮮外国人居留地ニ関スル客年八月二十七日附第八七号貴
翰ニ対シ本使ハ若シ他關係各國政府モ亦之ニ同意スルニ於